

府中市インフラマネジメント白書

(2023年度)

令和6年3月

府 中 市

目 次

第 1 章 インフラマネジメント白書について	1
1.1 インフラマネジメント白書とは	2
1.2 位置付け	3
第 2 章 管理数量・人口・財政運営について	5
2.1 管理数量	6
2.2 人口	8
2.3 財政運営の考え方	10
第 3 章 インフラの現状について	11
3.1 インフラ充足度	12
3.2 インフラの整備状況	14
3.2.1 地域の区分	14
3.2.2 根拠一覧	15
3.2.3 車道	16
3.2.3.1 全体数量	16
3.2.3.2 点検結果	20
3.2.4 歩道・植樹ます	37
3.2.4.1 全体数量	37
3.2.4.2 位置	38
3.2.4.3 点検結果	39
3.2.5 案内標識	44
3.2.5.1 全体数量	44
3.2.5.2 位置	45
3.2.5.3 整備状況	46
3.2.5.4 地域区分別数量	46
3.2.6 警戒標識・その他標識	47
3.2.6.1 全体数量	47
3.2.6.2 位置	48
3.2.6.3 整備状況	49
3.2.6.4 地域区分別数量	49
3.2.7 街路灯	50
3.2.7.1 全体数量	50
3.2.8 道路反射鏡	52
3.2.8.1 全体数量	52
3.2.8.2 位置	53
3.2.8.3 整備状況	54
3.2.8.4 管理状況	54
3.2.8.5 地域区分別数量	55

3.2.9 街路樹	56
3.2.9.1 全体数量	56
3.2.9.2 位置	58
3.2.9.3 地域区分別数量	60
3.2.9.4 路線別数量	62
3.2.10 橋りょう	64
3.2.10.1 全体数量	64
3.2.10.2 位置	67
3.2.10.3 整備状況	68
3.2.10.4 点検結果	75
3.2.10.5 地域区分別数量	78
3.2.11 立体横断施設等	80
3.2.11.1 全体数量	80
3.2.11.2 位置	81
3.2.11.3 整備状況	83
3.2.11.4 管理状況	83
3.2.12 大型構造物	84
3.2.12.1 全体数量	84
3.2.12.2 位置	85
3.2.12.3 整備状況	86
3.2.12.4 管理状況	86
3.2.13 公園緑地等	87
3.2.13.1 全体数量	87
3.2.13.2 位置	94
3.2.13.3 整備状況	95
3.2.13.4 公園施設の整備状況	100
3.2.13.5 地域区分別数量	103
3.2.14 法定外公共物	122
3.2.14.1 全体数量	122
3.2.14.2 整備状況	122
3.2.15 下水道	124
3.2.15.1 全体数量	124
3.2.15.2 整備状況	127
3.2.15.3 管理状況	129
3.3 インフラ管理の現状	132
3.4 インフラ管理ボランティア制度(府中まちなかきらら)の推移	135
3.5 インフラに係る決算の推移	136
3.5.1 管理費用位置付け	136
3.5.2 維持管理費及び補修更新費の推移	137
3.5.2.1 インフラ経費の推移	137
3.5.2.2 道路・橋りょう・その他道路施設に係る経費の推移	137
3.5.2.3 公園緑地等に係る経費の推移	138

3.5.3 維持管理に係る経費	139
3.5.3.1 車道	141
3.5.3.2 歩道・植樹ます	141
3.5.3.3 標識(案内標識・警戒標識・その他標識)	142
3.5.3.4 街路灯	142
3.5.3.5 道路反射鏡	143
3.5.3.6 街路樹	143
3.5.3.7 橋りょう	144
3.5.3.8 立体横断施設等	144
3.5.3.9 大型構造物	145
3.5.3.10 公園緑地等	145
3.5.3.11 法定外公共物	146
3.5.3.12 道路施設・公園緑地以外の維持管理費	146
3.5.3.13 道路等包括管理事業に係る経費	147
3.5.3.14 道路等包括管理事業(道路施設以外)	149
3.5.4 補修更新に係る経費	150
3.5.4.1 車道	151
3.5.4.2 歩道・植樹ます	151
3.5.4.3 標識(案内標識・警戒標識・その他標識)	152
3.5.4.4 街路灯	152
3.5.4.5 道路反射鏡	153
3.5.4.6 街路樹	153
3.5.4.7 橋りょう	154
3.5.4.8 立体横断施設等	154
3.5.4.9 大型構造物	155
3.5.4.10 公園緑地等	155
3.5.4.11 法定外公共物	156
3.5.4.12 道路施設・公園緑地等以外の補修更新費	156
3.5.5 諸経費	157
3.5.6 人件費	157
3.5.7 歳入の推移	158
3.5.7.1 市歳入	158
3.5.7.2 地方譲与税	158
3.5.8 下水道に係る経費	159
3.5.8.1 支出	159
3.5.8.2 収入	162
3.5.9 歳出・歳入の比較	163
第4章 将来の管理に係る経費の予測について	165
4.1 将来予測の条件	166
4.2 インフラ経費の将来予測	170
4.2.1 将来予測の内訳(維持管理費)	170
4.2.1.1 車道	170

4.2.1.2	歩道・植樹ます	170
4.2.1.3	標識	170
4.2.1.4	街路灯	170
4.2.1.5	道路反射鏡	170
4.2.1.6	街路樹	171
4.2.1.7	橋りょう	171
4.2.1.8	立体横断施設等	171
4.2.1.9	大型構造物	171
4.2.1.10	公園緑地等	171
4.2.1.11	法定外公共物	172
4.2.1.12	道路等包括管理事業	172
4.2.1.13	下水道	172
4.2.1.14	維持管理費の将来予測	173
4.2.2	将来予測の内訳(補修更新費)	174
4.2.2.1	車道	174
4.2.2.2	歩道・植樹ます	186
4.2.2.3	標識	186
4.2.2.4	街路灯	186
4.2.2.5	道路反射鏡	186
4.2.2.6	街路樹	186
4.2.2.7	橋りょう	186
4.2.2.8	立体横断施設等	187
4.2.2.9	大型構造物	187
4.2.2.10	公園緑地等	187
4.2.2.11	法定外公共物	187
4.2.2.12	下水道	188
4.2.2.13	補修更新費の将来予測	190
4.2.3	将来予測の内訳(人件費)	191
4.2.3.1	人件費の将来予測	191
4.2.4	歳出の将来予測	192
4.2.5	歳入の将来予測	194
4.2.6	歳出・歳入の将来予測の比較	196
4.3	将来予測の概要	198
4.3.1	歳出	198
4.3.2	車道	198
4.3.3	歩道・植樹ます	198
4.3.4	標識	198
4.3.5	街路灯	198
4.3.6	道路反射鏡	198
4.3.7	街路樹	199
4.3.8	橋りょう	199
4.3.9	立体横断施設等	199

4.3.10	大型構造物	199
4.3.11	公園緑地等	199
4.3.12	法定外公共物	199
4.3.13	道路等包括管理事業	200
4.3.14	人件費	200
4.3.15	下水道	200
4.3.16	歳入	200
4.4	『前白書』と『本白書』の経費比較	201
第5章 インフラマネジメントの関心		203
5.1	インフラマネジメントの関心	204
5.2	アンケート結果及び評価	211
第6章 参考資料(用語の解説)		213

※本白書作成にあたり再集計と更新を行った結果、『府中市インフラマネジメント白書（2017年度）』

（平成30年）と数値が異なる箇所があります。

※本白書で使用するデータは令和4年度時点までとしています。

※年度（年）の表記について、平成31年4月は令和元年度と表しています。

※本白書における数値は、端数処理を行っているため、合計と内訳が一致しない場合があります。

例 全数に対する割合として、警戒標識：77.4%、規制標識：15.5%、遊歩道案内版：4.4%、安眠標識：2.8%、合計：100.1%となるが、100.0%とします。

※道路・公園緑地等は一般会計であるため、歳出・歳入とし、下水道は公営企業会計であるため、支出・収入とします。

第1章 インフラマネジメント白書について

第1章 インフラマネジメント白書について

1.1 インフラマネジメント白書とは

市は、主に昭和30年代から昭和40年代までの高度経済成長期に、道路、橋りょう、公園緑地等、下水道などの多くの都市基盤施設（以下、「インフラ」と言います。）を整備し、市民生活の根幹を担うものとして管理してきました。現在、その多くが整備後40年以上を経過しており、老朽化の進行が懸念されることから、戦略的な維持管理と更新が求められています。

上記に伴い、今後のインフラ管理に係る経費（既存インフラの維持管理や補修更新費、新たに整備すべきインフラの新設費等）は増加していくことが予測されますが、現在の市の財政事情では従来と同等なレベルでの管理を続けていくことが難しい状況にあります。

そこで、市は平成24年10月にインフラの現状と課題を整理した『府中市インフラマネジメント白書（以下、『白書』と言います。）』を作成しました。その後、平成25年1月に、上記『白書』を根拠として今後のインフラ管理に関するマネジメント方針を示した『府中市インフラマネジメント計画（以下、『計画』と言います。）』を策定しました。

以降、社会情勢の変化への対応や新たな観点での経費予測を行うため、平成30年3月に『白書』を更新し、平成30年7月に『計画』を改定しています。

『府中市インフラマネジメント白書（2023年度）（以下、『本白書』と言います。）』は、引き続きインフラマネジメントを進めていくためにインフラ管理に係る現状や課題、管理経費などを改めて整理し、更新するものです。

1.2 位置付け

『本白書』は、『第7次府中市総合計画』（令和4年）を上位計画とし、今後のインフラ管理に関するマネジメント方針を示す『計画』の改定に向けて、改めて現状調査を行い、前回（平成30年3月）の『白書』を更新したものです。

なお、『本白書』と『計画』の位置付けは次のとおりです。

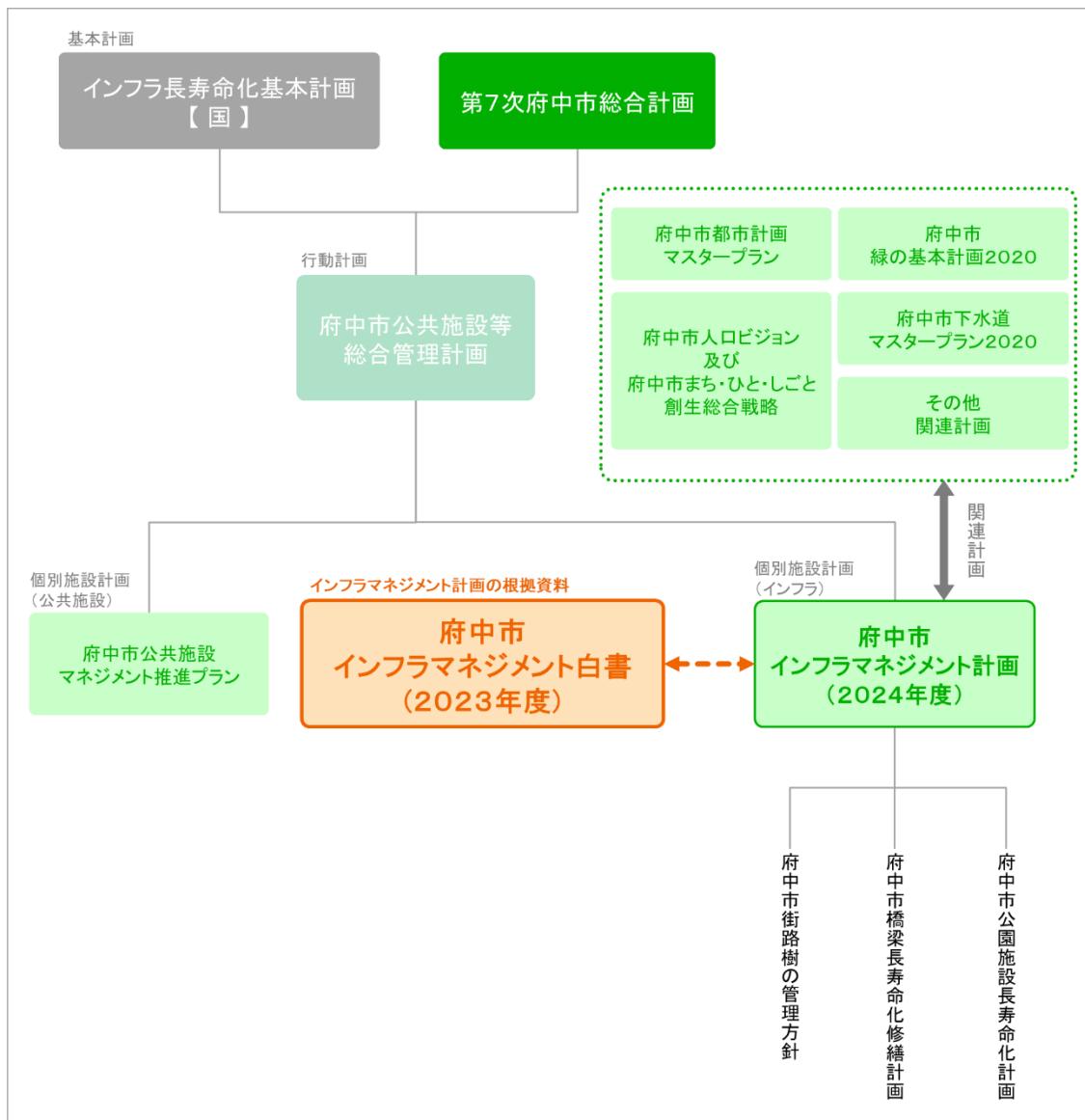


図1-2-1 『本白書』の位置付け

第2章 管理数量・人口・財政運営について

第2章 管理数量・人口・財政運営について

2-1

管理
数量

2.1 管理数量

市が管理する令和5年3月末時点のインフラの規模及び数量は、次のとおりです。

表2-1-1 「本白書」対象施設 一覧表

施設項目			数量	延長	面積	備考
道路	車道	幹線市道	61 路線	88.549km	988,191m ²	
		一般市道	2,410 路線	348.403km	1,729,962m ²	
		合計	2,471 路線	436.952km	2,718,153m ²	
	歩道等	歩道	–	171.112km	476,283m ²	
		植樹ます	2,493 か所	–	–	
道路附属物	標識	施設案内標識	833 基	–	–	
		警戒標識	195 基	–	–	
		その他標識	57 基	–	–	
		合計	1,085 基	–	–	
	街路灯	交通安全灯	7,270 基	–	–	
		防犯灯	10,398 基	–	–	
		その他	1,150 基	–	–	
		合計	18,818 基	–	–	
	道路反射鏡		3,152 基	–	–	
	街路樹	低木	62,243m ²	–	–	
		高木	8,767 本	–	–	

施設項目		数量	延長	備考
橋りょう	道路橋	21 橋	405m	
	歩道橋	15 橋	402m	
	合計	36 橋	807m	
立体横断 施設等	ペデストリアンデッキ	2 か所	-	府中駅、府中本町駅、西府駅、分倍河原駅及び多磨駅の各付近
	エレベーター	12 基	-	
	エスカレーター	6 基	-	
	合計	20 か所	-	
大型構造物	建築物	2 か所	-	西府駅自由通路、多磨駅自由通路
	擁壁 ボックスカルバート	6 か所	-	
	擁壁	9 か所	-	
	ボックスカルバート	5 か所	-	
	合計	22 か所	-	

施設項目		箇所数	面積	備考
公園緑地等	市立公園	都市公園	272 か所	1,315,154m ²
		スポットパーク	52 か所	7,569m ²
		広場	46 か所	24,149m ²
		府中多摩川 かぜのみち	1 か所	35,048m ²
		市立公園以外の管理地	38 か所	71,765m ²
	合計	409 か所	1,453,685m ²	

施設項目		面積	備考
法定外 公共物	里道(赤道)	85,262m ²	
	水路	167,798m ²	
	市有通路	51,020m ²	

施設項目		管きょ延長	区域面積	備考
下水道	北多摩一号処理区	735,394m	2,505.73ha	
	野川処理区	30,257m	219.47ha	
	合計	765,651m	2,725.20ha	布設年度不明分を含む

※出典：各種調書等（P 15に詳細を記載）

2.2 人口

2-2

人口

市の総人口は増加傾向にあり、令和2年時点で26万人に達しています。

また、総人口の将来見通しについて『第7次府中市総合計画』(令和4年)では、「令和12年(2030年)の26.2万人をピークに減少に転じ、令和32年(2050年)には令和2年(2020年)比で4.8パーセント減少、令和42年(2060年)には同年比で10.3パーセント減少する見込み」であるとされています。

ここで、市が策定した『府中市人口ビジョン及び府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略』(平成27年)で、計測されている将来人口推計(基本ケース)と比較すると、令和3年時計測結果が「やや上方にかい離していますが、年々その差は徐々に縮まり、推計の最終年である令和42年(2060年)には人口ビジョンをやや下回る結果」となっています。

また、人口構造に関するシミュレーション結果では、「令和2年(2020年)には、45～49歳のいわゆる団塊ジュニア世代を中心として40～50歳代の人口比率が高くなっていますが、20年後の令和22年(2040年)には、65～69歳の人口比率が最も高い構成となる見込み」とされています。

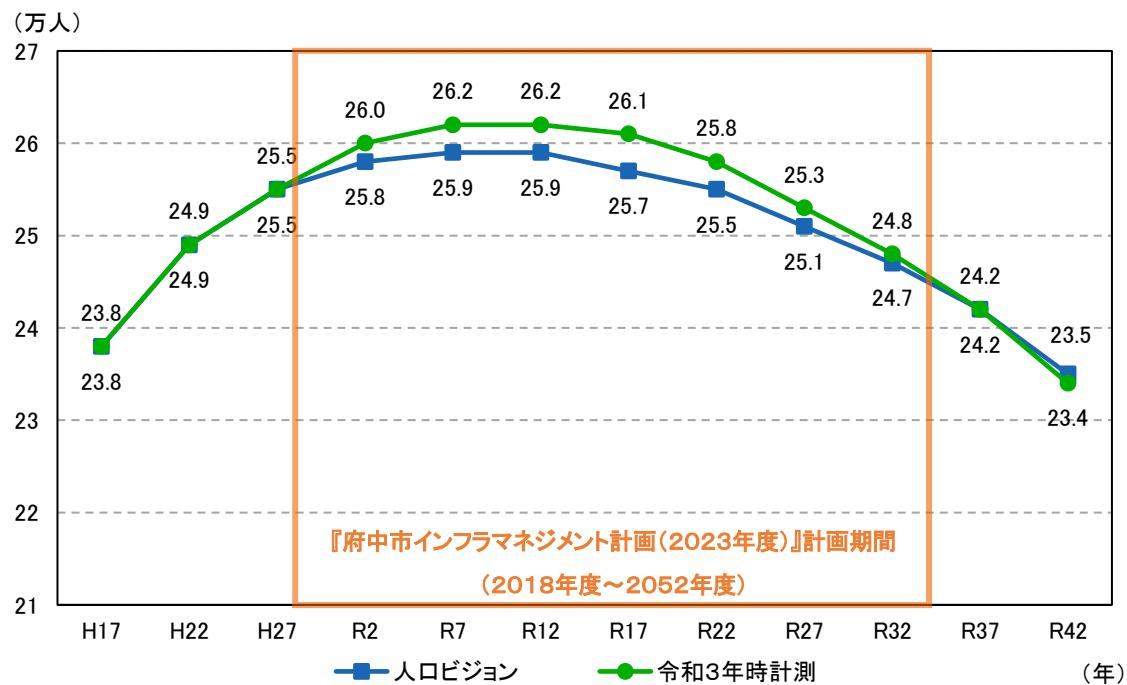
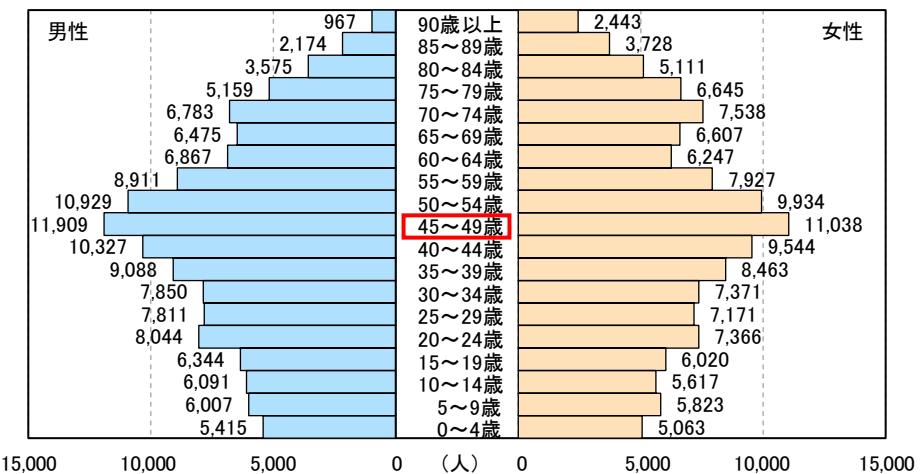


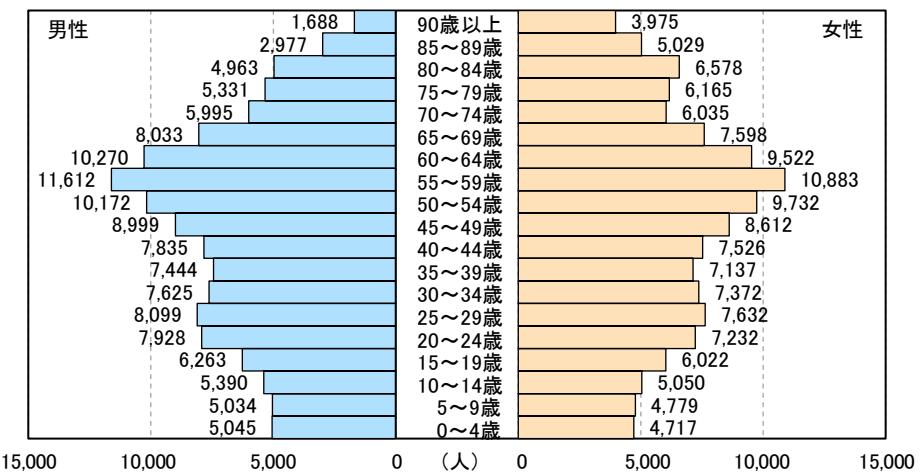
図2-2-1 将来人口の見通し

※出典：『第7次府中市総合計画』(令和4年)

令和2年



令和12年



令和22年

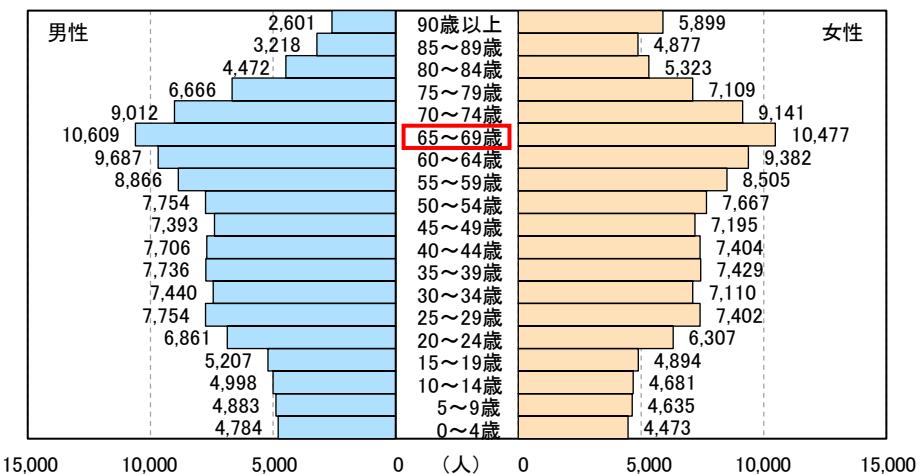


図2-2-2 人口構造に関するシミュレーション結果

※出典：『第7次府中市総合計画』（令和4年）

2.3 財政運営の考え方

市の財政運営について、『第7次府中市総合計画』（令和4年）では、以下のとおり記載されています。

市の財政見通し

第7次府中市総合計画前期基本計画期間（令和4年度～7年度）の財政見通しとしては、歳入の根幹である市税は、令和元年度（2019年度）まで増加傾向にありました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、今後の景気の動向が不透明な中、現在の状況や今後の変動要因等を勘案し、横ばいになると見込んでいます。

歳出では、高齢化の更なる進展により、扶助費や繰出金などの社会保障関係経費の増加が予想されます。

さらに、今後、学校施設老朽化対策などの施設の更新や大規模修繕にかかる費用が増大するほか、防災・減災対策や環境施策など、時代の要請に応じた施策も求められています。

このため、今後も、新たな歳入の確保や事務事業の見直し等の行財政改革に引き続き取り組むことで、歳入に見合った事業展開に努めるとともに、計画的に基金を積み立てるなど、将来への過度な負担とならないよう、持続可能な財政運営を行う必要があります。多様化する市民ニーズに応えるためにも、事業の選択と集中により、引き続き効率的な市民サービスの提供に努めるとともに、十分に将来を見据えた上で健全財政を維持していくことが求められます。

表2-3-1 財政見通し（普通会計）令和4年度～令和7年度

	令和3年度 (当初予算)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	計画期間合計 (R4～R7)
歳入	1,102億円	1,218億円	1,103億円	1,155億円	1,111億円	4,587億円
市税	481億円	505億円	505億円	502億円	504億円	2,016億円
国庫・都支出金	335億円	346億円	336億円	349億円	353億円	1,384億円
基金繰入金	64億円	94億円	52億円	57億円	38億円	241億円
市債	39億円	83億円	43億円	79億円	50億円	255億円
その他	183億円	190億円	167億円	168億円	166億円	691億円
歳出	1,102億円	1,218億円	1,103億円	1,155億円	1,111億円	4,587億円
義務的経費	489億円	487億円	498億円	501億円	507億円	1,993億円
人件費	129億円	131億円	135億円	136億円	138億円	540億円
扶助費	322億円	321億円	323億円	325億円	326億円	1,295億円
公債費	38億円	35億円	40億円	40億円	43億円	158億円
投資的経費	157億円	245億円	144億円	195億円	145億円	729億円
その他経費	456億円	486億円	474億円	473億円	473億円	1,906億円
削減目標額	0億円	0億円	▲13億円	▲14億円	▲14億円	▲41億円

第3章 インフラの現状について

第3章 インフラの現状について

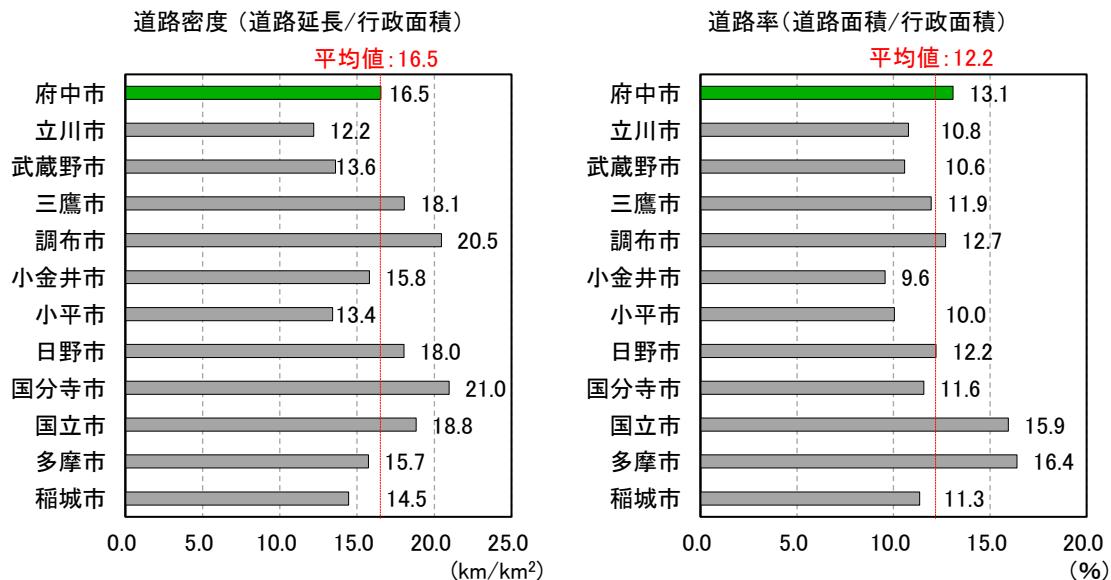
3-1

インフラ
充足度

3.1 インフラ充足度

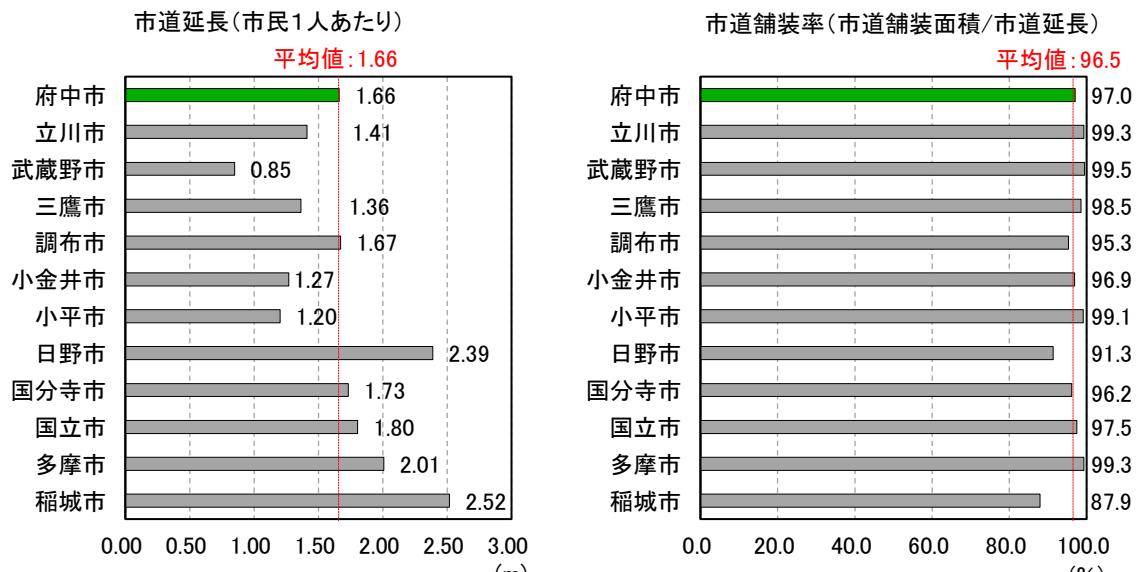
市と近隣市のインフラ充足度を比較すると、市のインフラ充足度は、同等または高い状況にあります。

【道路】



※国道・都道を含む

※国道・都道を含む

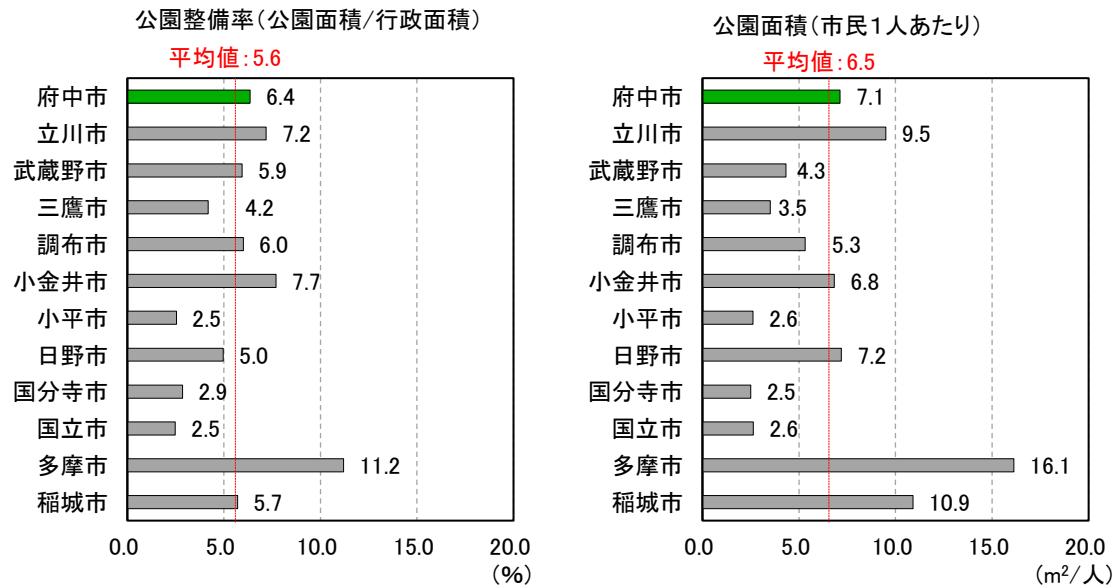


※市道のみ

※市道のみ

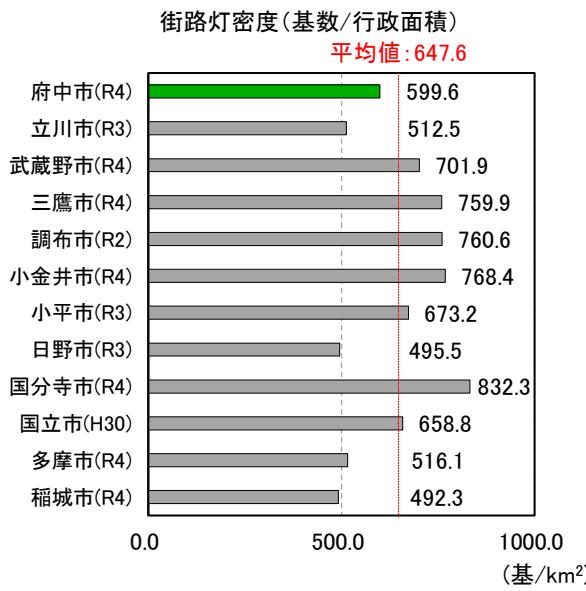
※出典：【道路】『東京都道路現況調査』（東京都建設局道路管理部、令和5年）、『令和5年全国都道府県市区町村別面積調』（国土地理院、令和5年）

【公園緑地等】

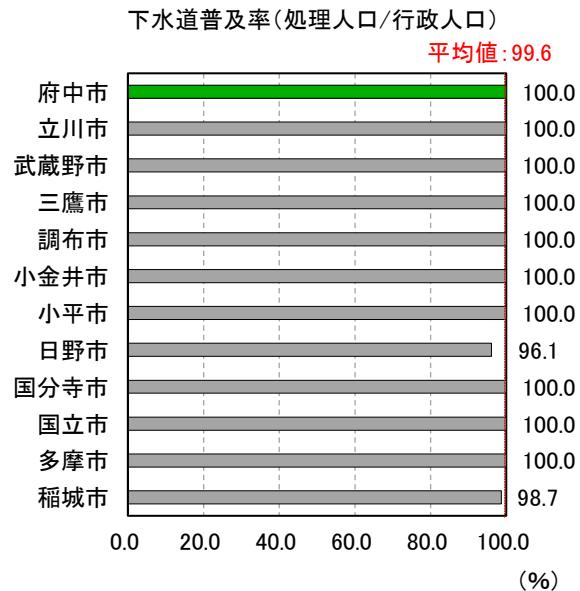


※出典:【公園緑地等】『東京都都市公園等区市町村別面積・人口割比率表』(東京都建設局, 令和4年)

【街路灯】



【下水道】



※出典:【街路灯】各市の統計資料等 (公開されている最新データを記載)

※出典:【下水道】『全国市町村別 下水道処理人口普及率一覧 (令和3年度)』(公益社団法人日本下水道協会, 令和4年)

3.2 インフラ整備状況

3.2.1 地域の区分

インフラの整備状況は、市全体での整理のほか、『府中市都市計画に関する基本的な方針（府中市都市計画マスターplan）』（令和4年）で定める「地域別まちづくり方針（地域別構想）」の地域区分ごとに整理します。地域区分は、次のとおりです。

表3-2-1-1 地域区分一覧表

地域区分	面積	地域範囲
第1地域	約5.4km ²	多磨町全域、朝日町全域、紅葉丘全域 白糸台1丁目～3丁目及び4丁目～6丁目の一部 若松町3丁目～5丁目
第2地域	約5.9km ²	白糸台4丁目～6丁目の一部、押立町全域、小柳町全域 若松町1丁目及び2丁目、清水が丘全域、日吉町全域 是政1丁目～5丁目
第3地域	約3.9km ²	浅間町全域、天神町全域、新町全域、幸町全域 晴見町全域、栄町全域
第4地域	約2.3km ²	府中町全域、緑町全域、宮町全域、八幡町全域 本町1丁目及び2丁目、宮西町全域、寿町全域
第5地域	約2.4km ²	武蔵台全域、北山町全域、西原町全域、東芝町の一部
第6地域	約2.5km ²	片町全域、日鋼町全域、東芝町の一部、美好町全域 分梅町1丁目、本宿町全域、西府町全域
第7地域	約4.1km ²	是政6丁目、矢崎町全域、本町3丁目及び4丁目、南町全域 分梅町2丁目～5丁目、住吉町全域
第8地域	約2.7km ²	四谷全域、日新町全域

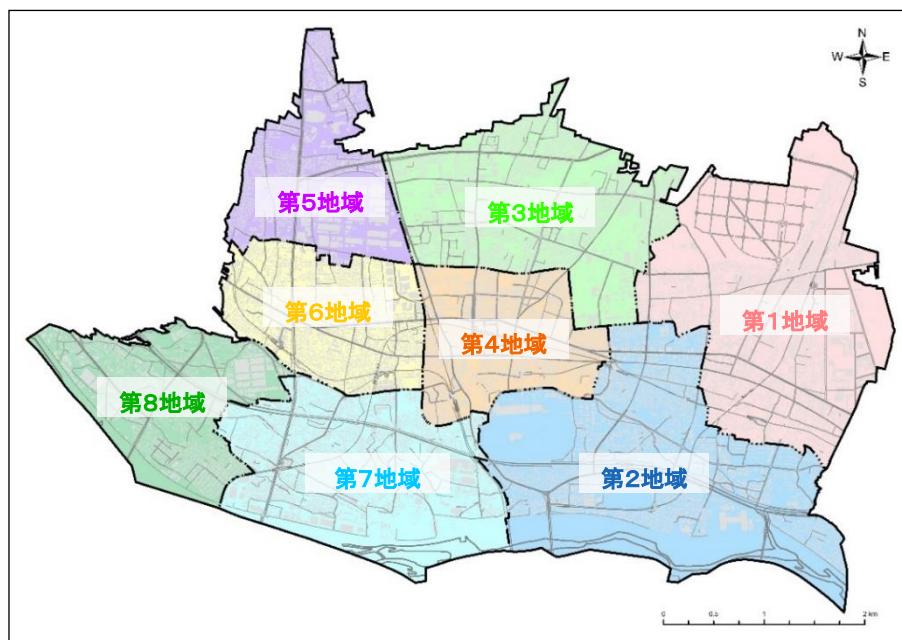


図3-2-1-1 地域区分図

※出典：『府中市都市計画に関する基本的な方針（府中市都市計画マスターplan）』（令和4年）

3.2.2 根拠一覧

『本白書』で整理している施設ごとの情報は、次の資料を根拠にしています。

表3-2-2-1 根拠一覧

施設項目	資料	年度	調査方法
道路	路面性状調査	令和3年度	機械調査 目視調査
	土木工事台帳	令和4年度	-
	歩道・植樹ます	現地調査	目視調査
道路附属物	案内標識	案内標識台帳	目視調査
	警戒標識 その他標識	警戒標識・その他標識台帳	目視調査
	交通安全灯 防犯灯	現地調査結果	目視調査
	道路反射鏡	道路反射鏡台帳	目視調査
	街路樹	街路樹台帳	目視調査
橋りょう		橋りょう点検結果	目視調査
立体横断施設等		立体横断施設台帳	-
大型構造物		大型構造物台帳	-
公園緑地等	公園調書	令和4年度	-
	PARKFUL	令和4年度	-
	府中市公園施設長寿命化計画	令和5年度	-
法定外公共物	法定外公共物管理台帳	令和4年度	-
下水道	府中市下水道マスタープラン 2020	令和2年度	-

3.2.3 車道

車道の全体数量及び状況は、次のとおりです。

3.2.3.1 全体数量

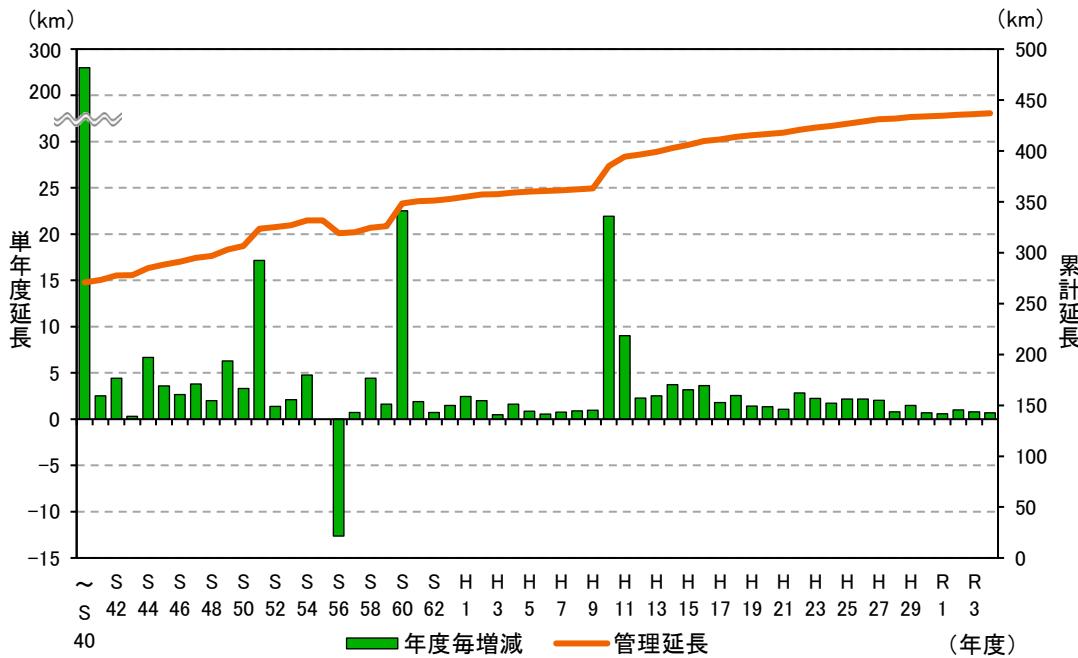
車道の全体数値は、次のとおりです。なお、この表の数値は、歩道を含む数量です。

表3-2-3-1 車道(全体)の管理数値

項目	延長	面積
車道	436,253m	2,714,114m ²
舗装	423,054m	2,633,660m ²
舗装率	97.0%	97.0%

※出典：『東京都道路現況調書』(東京都建設局道路管理部, 令和5年)

市が管理する車道は、延長が約436km、面積が約271万m²です。このうち、道路延長の約63%、道路面積の約37%が昭和40年度までに整備されたものです。なお、市街地への土地利用が進むことが想定されるため、数量も増えることが考えられます。



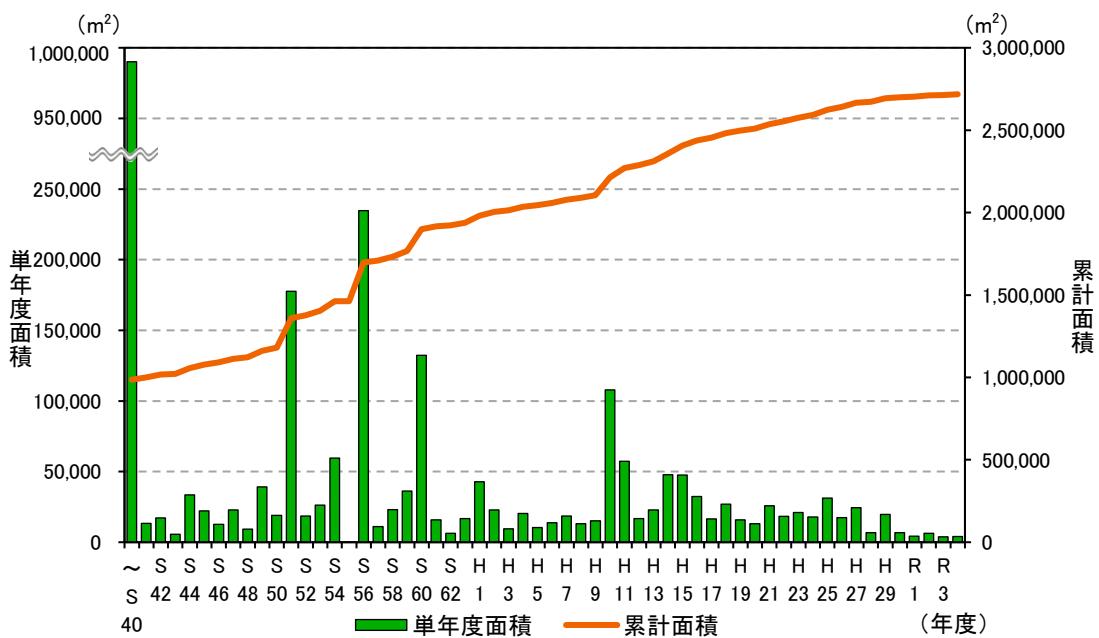


図3-2-3-2 市道の認定状況(面積)

※昭和 56 年度の市道の再編成時に数値を整理しています。

※出典：『府中市公共施設等総合管理計画』（令和 4 年）

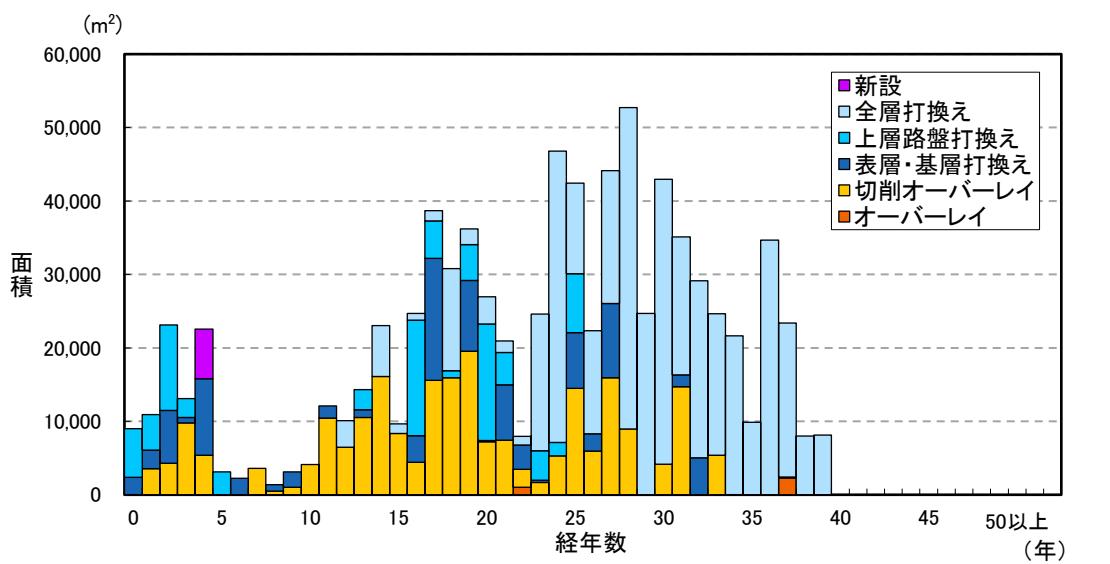


図3-2-3-3 幹線市道の舗装更新周期(実績)

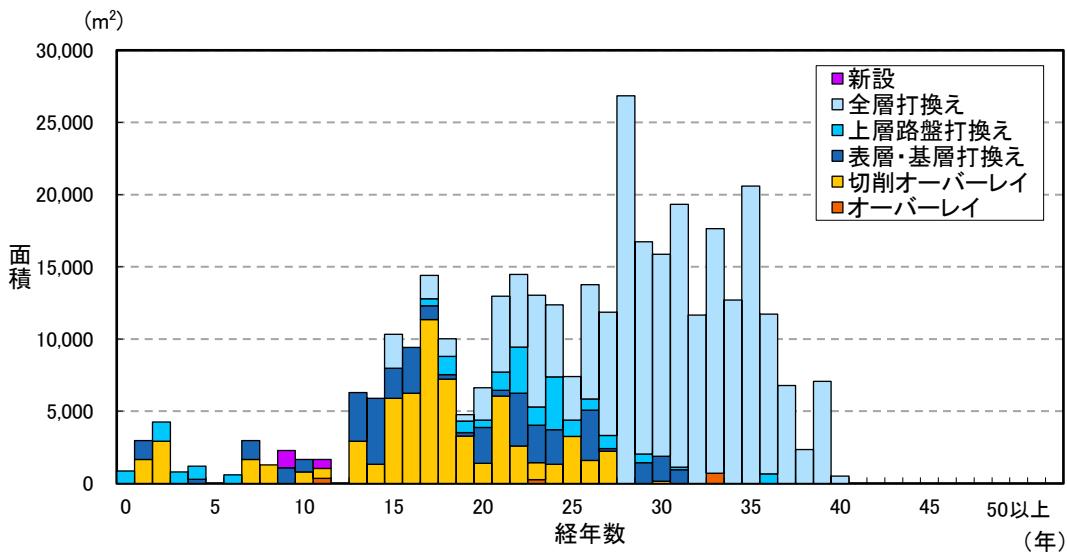
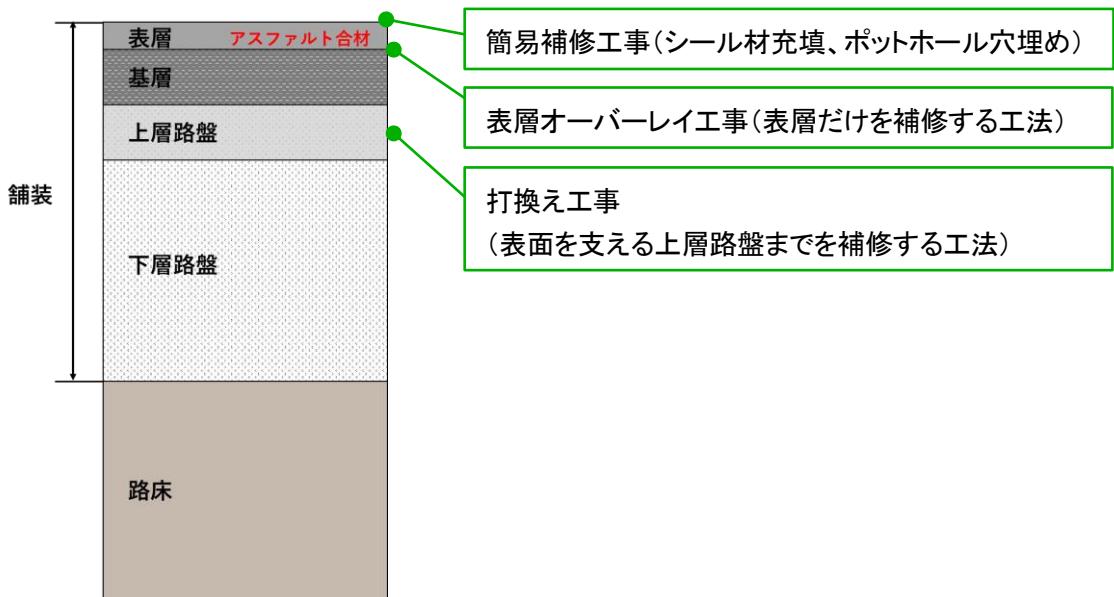


図3-2-3-4 一般市道の舗装更新周期(実績)



3-2-3
インフラの整備状況(車道)

図3-2-3-5 舗装の構造と補修工事のイメージ

※出典:『舗装点検要領』(国土交通省道路局, 平成28年)

3.2.3.2 点検結果

(1) 条件

1) 実施数量

車道の劣化調査を令和3年度に実施しました。調査延長は、次のとおりです。

3-2-3

表3-2-3-2 車道調査数量一覧

調査方法	道路種別	調査延長	評価単位	上下線※	備考
機械調査	幹線市道	162,892m	100mごと	上下	多車線区間は全車線を調査(付加車線除く)
	一般市道	302,264m			
目視調査	一般市道	21,689m	街区ごと	下りのみ	
	合計	486,845m	-	-	

※路線の起点から終点に向かう方向を上り線としています。

インフラの整備状況(車道)

2) 調査方法

【機械調査^{※1}】

幹線市道及び一般市道の幅員が広い箇所は路面性状測定車、路面性状測定車が侵入できない一般市道はMMS^{※2}により調査を行いました。

なお、調査項目は以下のとおりです。

① ひび割れ率

対象車線全面において連続測定を行い、車道の面積に対してどの程度ひび割れがあるのかを0.1%単位で調査しました。

② わだち掘れ量

測定区間の進行方向10mごとにmm単位で調査しました。

※1：機械調査では、公的機関が毎年実施する「路面性状自動測定装置の性能確認試験」に合格し、道路維持作業用自動車として登録されている専用の車両を使用しています。

※2：MMSとは、車両に搭載した3次元レーザー計測器により、舗装状況(路面性状)を把握することができ、地理情報とともに管理が可能なシステムです。

【目視調査】

路面性状測定車及びMMSが侵入できない一般市道を対象に、調査員による目視調査を実施しました。この区間については、大型車両が少なくわだち掘れが発生しにくいと判断し、ひび割れ調査のみを行っています。

なお、ひび割れの劣化程度は、次に示す判定基準に基づいて決定しました。

表3-2-3-3 目視調査時のひび割れ率の判定基準

ランク	判定基準	劣化程度	代表値
ランク0	ひび割れの発生が認められない	0%	0%
ランク1	ひび割れが2~3本発生している	0.1%~15%	7%
ランク2	縦もしくは横方向に連続したひび割れが発生している	15.1%~30%	22%
ランク3	半分にひび割れが縦横に発生している	30.1%~50%	40%
ランク4	一部を除き縦横にひび割れが発生している	50.1%~	75%

3) 解析方法

路面性状測定車による機械調査は、『舗装調査・試験法便覧』(社団法人日本道路協会、平成31年)に基づいて解析しました。なお、解析する際、目地は劣化に含まないこととしています。

① ひび割れ率

ひび割れ率は、評価単位区間内の平均的なひび割れ率を以下の式により算出し、評価しました。

$$\text{ひび割れ率} (\%) = \frac{\text{ひび割れ面積} (m^2) + \text{パッキング面積}^* (m^2)}{\text{単位評価面積} (m^2)} \times 100$$

*パッキング面積とは、小規模な補修で車線幅いっぱいにわたらないものや、施工延長が車線の幅員を越えない程度の修正箇所の面積です。

② わだち掘れ量

わだち掘れ量は、20mごとの横断測定記録から最大わだち掘れ量を計測し、単位評価区間ごとの最大値と平均値にて評価しました。

表3-2-3-4 健全度の区分及び損傷評価の例

診断区分	III(修繕段階)	II(表層機能保持段階)	I(健全)
損傷レベル	大	中	小
状態	管理基準に照らし、それを経過しているまたは早期の超過が予見される状態	管理基準に照らし、劣化の程度が中程度	管理基準に照らし、劣化の程度が小さく、舗装表面が健全な状態
ひび割れ率 (C)	 $40 \leq C$ <ul style="list-style-type: none"> 左右両輪の通過部でそれぞれ亀甲状に発生 車線内全面に渡り亀甲状に発生 	 $20 \leq C < 40$ <ul style="list-style-type: none"> 左右両輪の通過部で発生し、かつ片側の車輪通過部ではひび割れが亀甲状あるいは縦横に派生するなど複数本発生 	 $0 \leq C < 20$ <ul style="list-style-type: none"> ひび割れの発生が認められない 縦断方向に1本連続的に発生 左右両輪の通過部で縦断方向に1本ずつ連続的に発生 評価単位区間内で片側の車輪通過部で複数本または亀甲状に発生
わだち掘れ量 (D)	 $40 \leq D$	 $20 \leq D < 40$	 $0 \leq D < 20$
IRI	 $8 \leq IRI$	 $3 \leq IRI < 8$	 $0 \leq IRI < 3$
MCI値	$0 \leq MCI\text{値} \leq 3$	$3.0 < MCI\text{値} \leq 5.0$	$5.0 < MCI\text{値}$

※出典:『舗装点検要領』(国土交通省道路局、平成28年)、『府中市道路舗装長寿命化計画』(令和2年度)

3-2-3

4) 評価方法

評価には、MC I 値を用いています。MC I 値は、維持管理指標のことで、旧建設省が作成した舗装の評価指標です。「ひび割れ率」、「わだち掘れ量」の組み合わせから数値化します。

【算出方法】

MC I 値は、次の式より算出しています。

$$MCI_0 = 10 - 1.51C^{0.3} - 0.30D^{0.7} \quad \dots \dots \dots (1)$$

$$MCI_1 = 10 - 2.23C^{0.3} \quad \dots \dots \dots (2)$$

$$MCI_2 = 10 - 0.54C^{0.3} \quad \dots \dots \dots (3)$$

MCI_i : 維持管理指数

i : 経過年数

C : ひび割れ率(%)

D : わだち掘れ量(mm)

※機械調査は、上記 (1) ~ (3) の式で算出した値のうち、最も小さい値を用いました。

※目視調査は、(2) の式で算出した値を用いました。

【判定基準】

算出した値より、以下のランクに評価します。

MC I 値は、10を最大値とした減点法で評価され、状態が悪いほど数値が低下します。ただし、MC I 値を用いた評価は、交通量や道路特性など道路機能の観点が欠けており、あくまで目安として参照するのが望ましいとされています。

表3-2-3-5 MC I 値の標準的な判定基準

評価ランク	評価の範囲	判定結果
水準Ⅰ	$0.0 \leq MC I \text{ 値} \leq 3.0$	早急に修繕が必要
水準Ⅱ	$3.0 < MC I \text{ 値} \leq 4.0$	修繕が必要
水準Ⅲ	$4.0 < MC I \text{ 値} \leq 5.0$	修繕が望ましい
水準Ⅳ	$5.0 < MC I \text{ 値}$	望ましい管理水準

※出典:『第34回建設省技術研究会報告』(建設省道路局国道第一課, 昭和55年度)

※望ましい管理水準とは、軽微な劣化は含まれるもの、一般的に安全面で影響がないと判断できる健全な状況を指します。

【劣化状況例ごとのMCI値】



図3-2-3-6 MCI値=5
ひび割れが見える程度



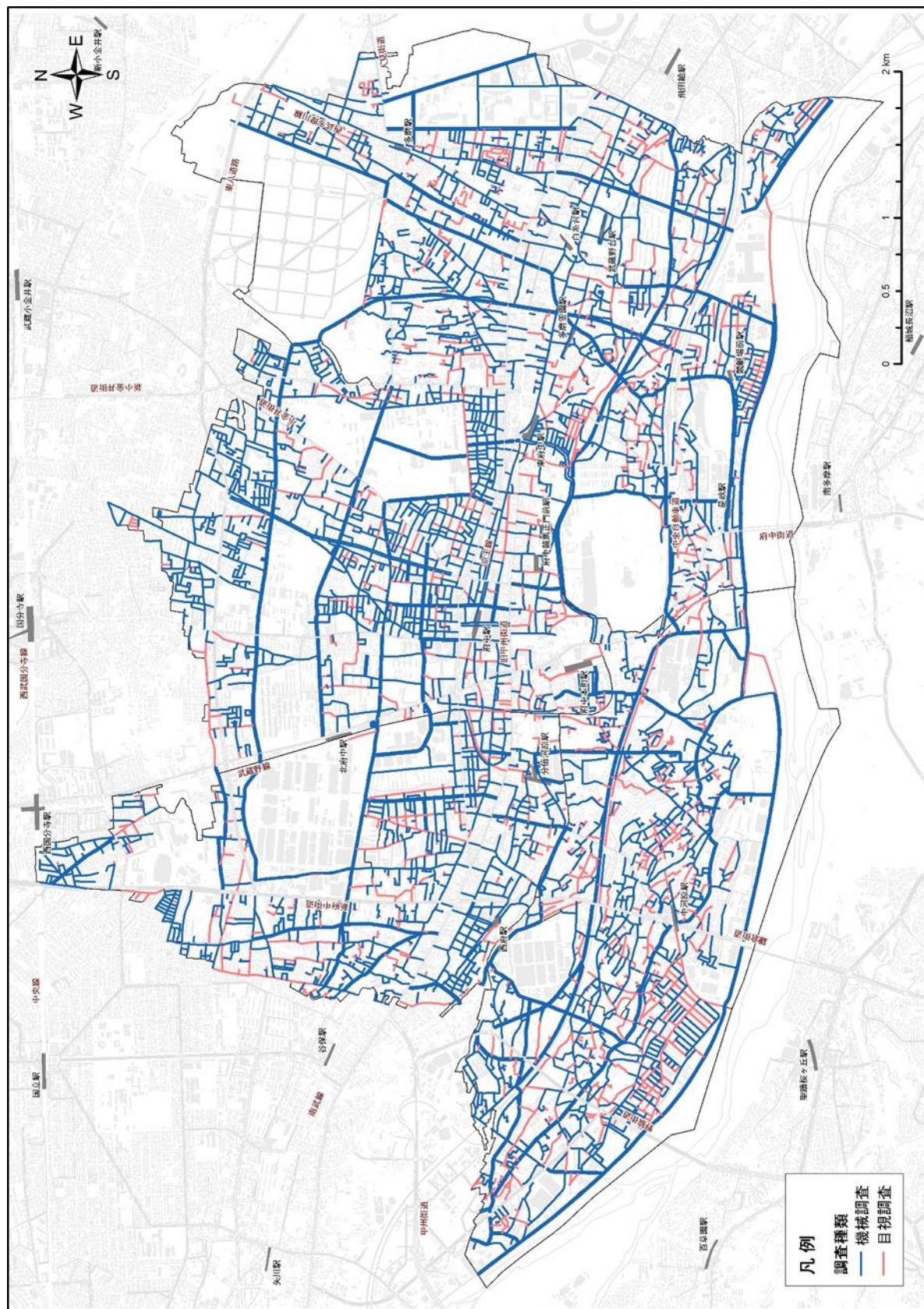
図3-2-3-7 MCI値=4
ひび割れが複数ある程度



図3-2-3-8 MCI値=3
ひび割れが面状にひろがり、わだち掘れが顕著



図3-2-3-9 MCI値=2
ひび割れが全面にひろがり、わだち掘れが顕著



(2) 結果

1) ひび割れ率

調査結果より平均ひび割れ率を算出しました。

市全体での平均ひび割れ率は8.8%であり、前回調査を実施した平成28年度の結果(7.1%)から1.7%増加しています。

また、地域区分別の比較では第3地域が最も高く、平均ひび割れ率は10.9%です。

表3-2-3-6 車道の劣化程度(地域区分別のひび割れ率)

地域区分	令和3年度		前回調査(平成28年度)		前回比
	調査延長	平均ひび割れ率	調査延長	平均ひび割れ率	
全域	486,845m	8.8%	482,713m	7.1%	+1.7%
第1地域	76,294m	10.3%	75,160m	6.8%	+3.5%
第2地域	93,806m	7.9%	91,131m	6.9%	+1.0%
第3地域	61,995m	10.9%	62,712m	7.2%	+3.7%
第4地域	47,684m	8.2%	46,885m	7.9%	+0.3%
第5地域	31,608m	8.9%	32,808m	8.1%	+0.8%
第6地域	48,185m	9.1%	47,128m	7.1%	+2.0%
第7地域	69,024m	6.6%	68,233m	6.3%	+0.3%
第8地域	58,249m	8.4%	58,656m	7.7%	+0.7%

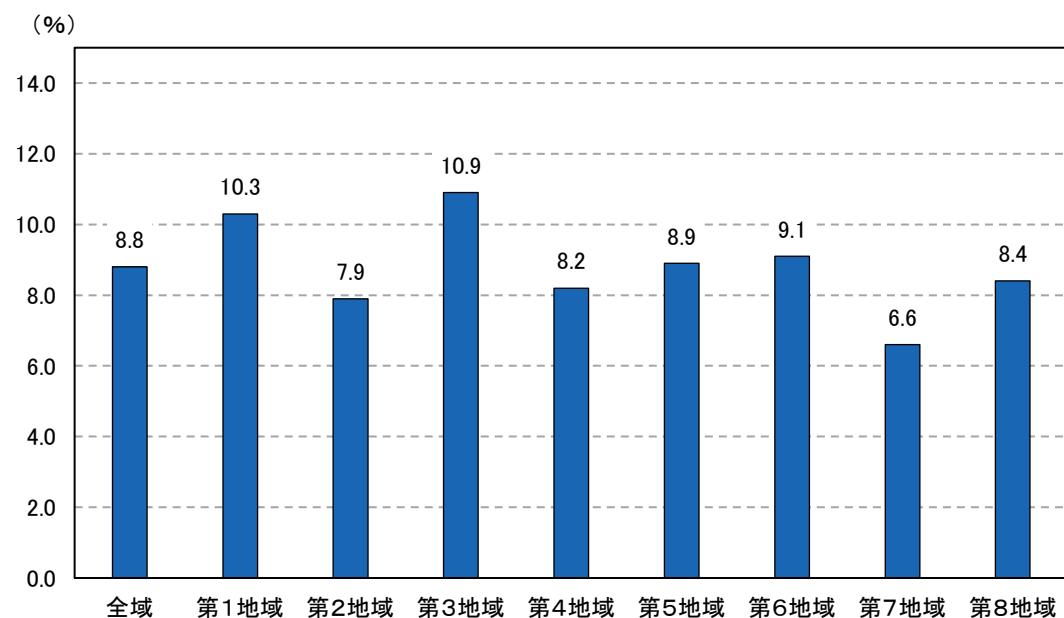


図3-2-3-11 令和3年度 地域区分別平均ひび割れ率比較

2) ひび割れ率ランク別割合

修繕段階である診断区分III(40%以上)に該当する区間の割合は、市全体で1.6%でした。また、診断区分IIIにおける地域区分別の比較では、第3地域(4.5%)が最も高く、次いで第1地域(2.2%)、第5地域(2.0%)となっています。

3-2-3

インフラの整備状況(車道)

表3-2-3-7 車道の劣化割合(地域区分別のひび割れ率(C))

診断区分	III	II	I	合計
管理基準(%)	40≤C	20≤C<40	0≤C<20	
全域	1.6%	7.1%	91.3%	100.0%
第1地域	2.2%	8.6%	89.1%	100.0%
第2地域	1.2%	5.9%	93.0%	100.0%
第3地域	4.5%	10.5%	85.0%	100.0%
第4地域	1.3%	5.7%	93.1%	100.0%
第5地域	2.0%	8.3%	89.7%	100.0%
第6地域	0.5%	6.1%	93.4%	100.0%
第7地域	0.6%	5.2%	94.2%	100.0%
第8地域	0.4%	7.0%	92.6%	100.0%

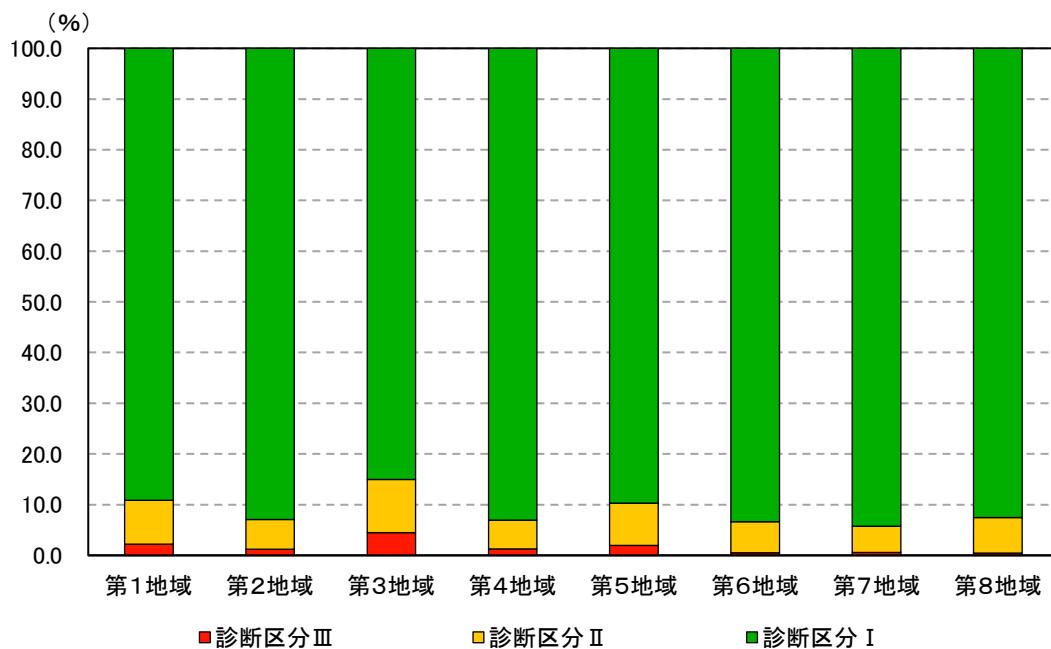


図3-2-3-12 ひび割れ率ランク別比率

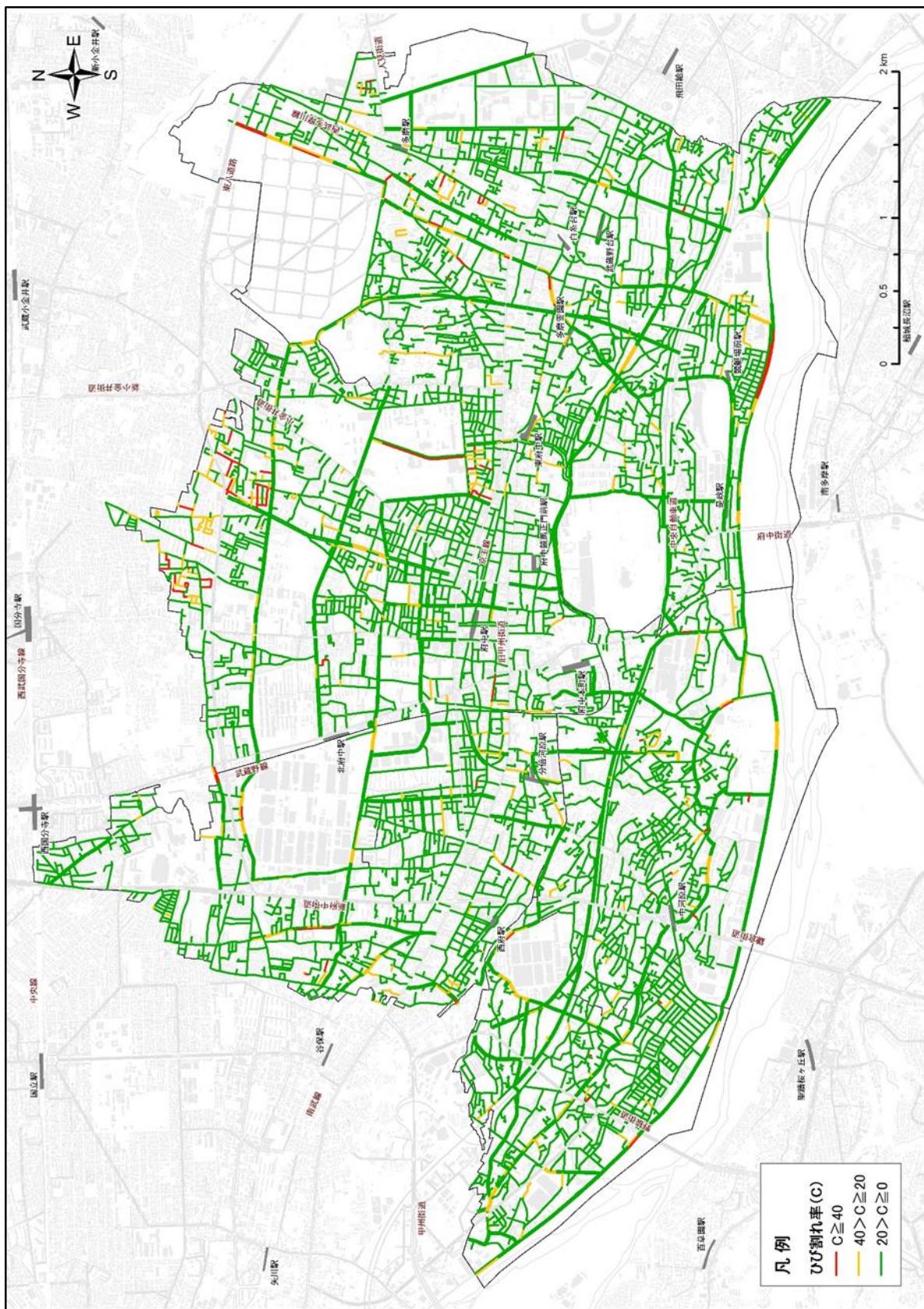


図3-2-3-13 ひび割れ率ランク別位置図(令和3年度調査)

3) わだち掘れ量

調査結果より平均わだち掘れ量を算出しました。

市全体での平均わだち掘れ量は6.3mmであり、前回調査を実施した平成28年度の結果(7.0mm)から0.7mm減少しています。

また、地域区分別の比較では第5地域が最も高く、平均わだち掘れ量は7.4mmです。

3-2-3

表3-2-3-8 車道の劣化程度(地域区分別のわだち掘れ率)

地域区分	令和3年度		前回調査(平成28年度)		前回比
	調査延長*	平均わだち掘れ量	調査延長	平均わだち掘れ量	
全域	460,742m	6.3mm	162,546m	7.0mm	-0.7mm
第1地域	72,762m	6.6mm	22,088m	6.2mm	+0.4mm
第2地域	87,174m	6.2mm	34,083m	7.2mm	-1.0mm
第3地域	60,573m	7.0mm	18,216m	6.1mm	+0.9mm
第4地域	45,179m	5.9mm	11,882m	7.2mm	-1.3mm
第5地域	29,886m	7.4mm	12,578m	7.2mm	+0.2mm
第6地域	46,381m	5.0mm	13,527m	6.1mm	-1.1mm
第7地域	63,930m	7.0mm	25,836m	7.8mm	-0.8mm
第8地域	54,857m	5.1mm	24,336m	7.2mm	-2.1mm

*機械調査の結果より算出しているため、調査延長が他項目と異なります。

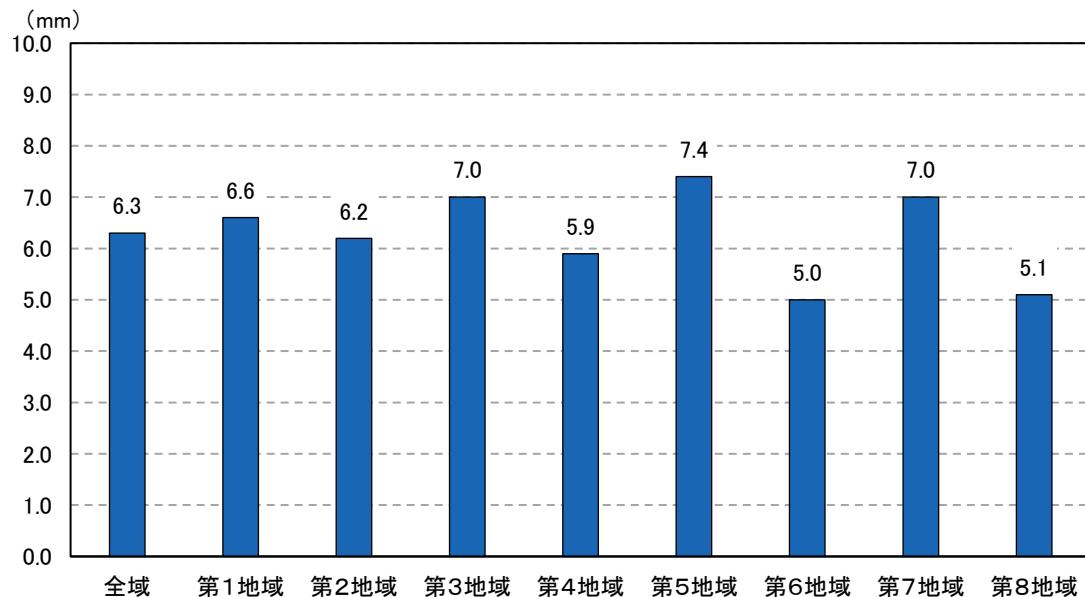


図3-2-3-14 令和3年度 地域区分別平均わだち掘れ量

4) わだち掘れ量 ランク別割合

修繕段階である診断区分III（40mm以上）に該当する区間は、ありませんでした。

また、表層機能保持段階である診断区分II（20mm以上40mm未満）に該当する区間は市全体で0.4%でした。地域区分別の比較では第7地域（0.8%）が最も高く、次いで第5地域（0.6%）、第4地域（0.5%）となっています。

表3-2-3-9 車道の劣化割合(地域区分別のわだち掘れ量(D))

診断区分	III	II	I	合計
管理基準(mm)	40≤D	20≤D<40	0≤D<20	
全域	0.0%	0.4%	99.6%	100.0%
第1地域	0.0%	0.3%	99.7%	100.0%
第2地域	0.0%	0.2%	99.8%	100.0%
第3地域	0.0%	0.3%	99.7%	100.0%
第4地域	0.0%	0.5%	99.5%	100.0%
第5地域	0.0%	0.6%	99.4%	100.0%
第6地域	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
第7地域	0.0%	0.8%	99.2%	100.0%
第8地域	0.0%	0.3%	99.7%	100.0%

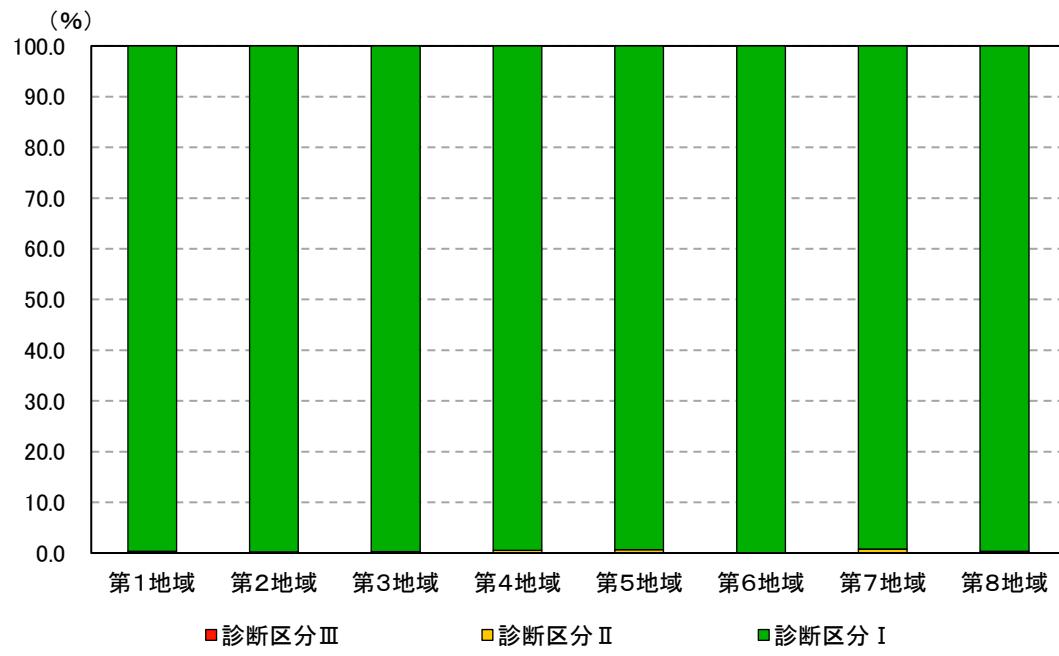


図3-2-3-15 わだち掘れ量ランク別比率

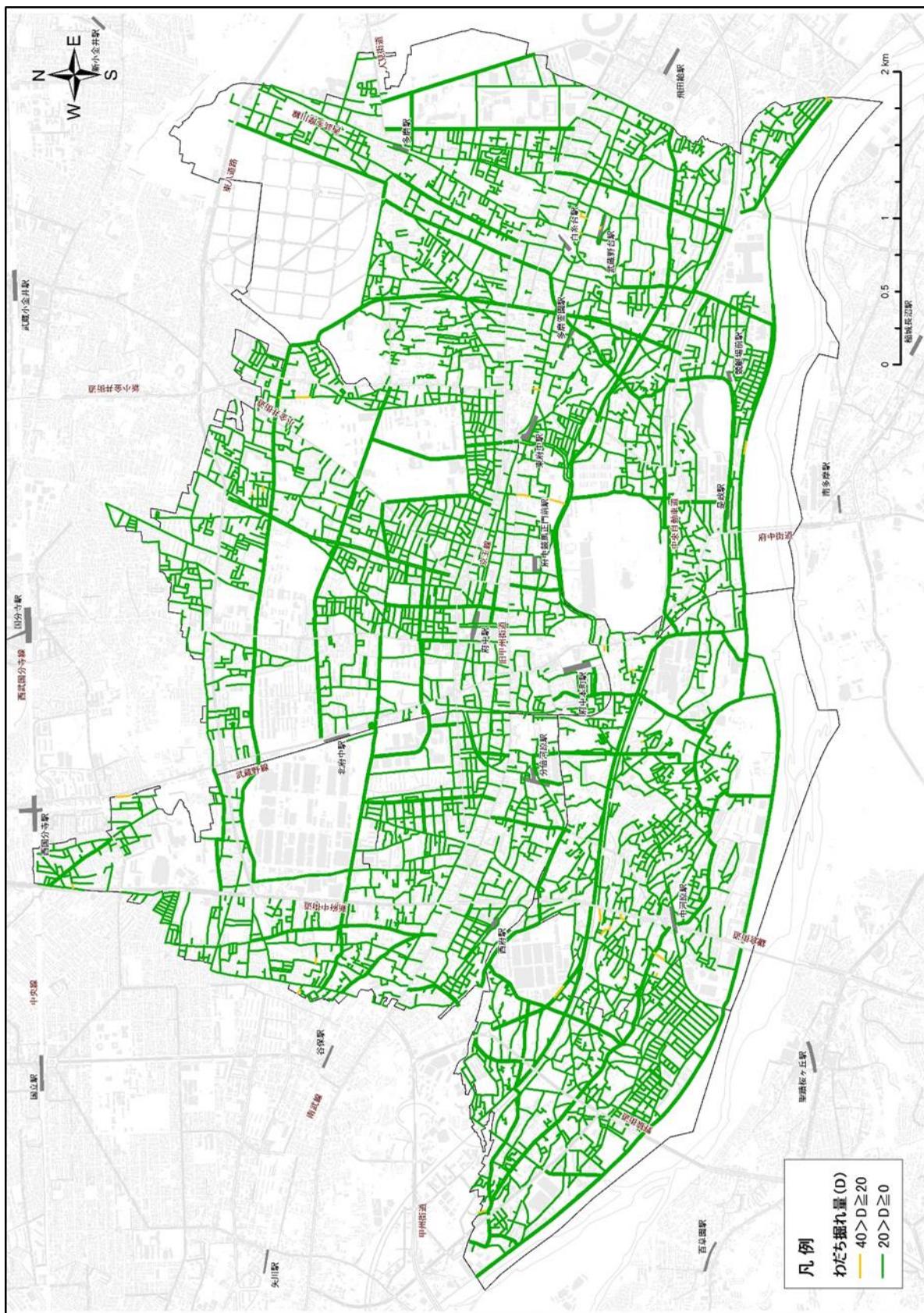


図3-2-3-16 わだち掘れ量ランク別位置図(令和3年度調査)

5) MCI値

調査結果より平均MCI値を算出しました。

市全体での平均MCI値は5.8であり、前回調査を実施した平成28年度の結果(6.7)から0.9減少しています。

また、地域区分別の比較では第1地域・第3地域が最も低く、平均MCI値は5.6です。

表3-2-3-10 車道の劣化程度(地域区分別のMCI値)

地域区分	令和3年度		前回調査(平成28年度)		前回比
	調査延長	平均 MCI 値	調査延長	平均 MCI 値	
全域	486,845m	5.8	482,713m	6.7	-0.9
第1地域	76,294m	5.6	75,160m	6.9	-1.3
第2地域	93,806m	5.9	91,131m	6.7	-0.8
第3地域	61,995m	5.6	62,712m	6.7	-1.1
第4地域	47,684m	6.0	46,885m	6.6	-0.6
第5地域	31,608m	5.7	32,808m	6.5	-0.8
第6地域	48,185m	5.8	47,128m	6.7	-0.9
第7地域	69,024m	6.0	68,233m	6.7	-0.7
第8地域	58,249m	5.9	58,656m	6.5	-0.6

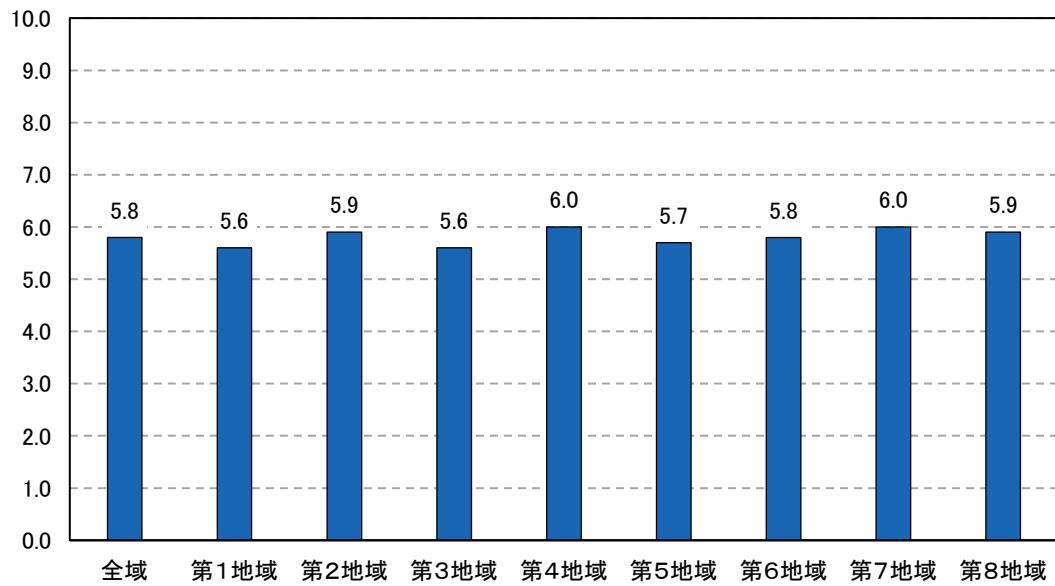


図3-2-3-17 令和3年度 地域区分別平均MCI値

6) MCI値 ランク別割合

MC I 値の標準的な判定基準(表3-2-3-5)に基づき、「MC I 値が3.0以下(早急に修繕が必要)」、「MC I 値が3.0を超え4.0以下(修繕が必要)」、「MC I 値が4.0を超え5.0以下(修繕が望ましい)」、「MC I 値が5.0を超える(望ましい管理水準)」の4ランクに分類して延長割合を算出しました。

その結果、早急に修繕が必要なMC I 値3.0以下は、市全体で0.9%でした。

また、早急に修繕が必要なランクにおける地域区分別の比較では第3地域(2.3%)が最も高く、次いで第5地域(2.0%)、第1地域・第2地域(1.0%)となっています。

表3-2-3-11 車道の劣化割合(地域区分別のMC I 値)

判定結果	早急に修繕が必要	修繕が必要	修繕が望ましい	望ましい管理水準	合計
管理基準	0.0 < MC I 値 ≤ 3.0	3.0 < MC I 値 ≤ 4.0	4.0 < MC I 値 ≤ 5.0	5.0 < MC I 値	
全域	0.9%	5.1%	18.6%	75.4%	100.0%
第1地域	1.0%	7.1%	24.1%	67.8%	100.0%
第2地域	1.0%	3.4%	18.6%	77.0%	100.0%
第3地域	2.3%	9.6%	20.9%	67.1%	100.0%
第4地域	0.4%	3.6%	17.7%	78.3%	100.0%
第5地域	2.0%	7.1%	19.8%	71.1%	100.0%
第6地域	0.0%	2.9%	18.9%	78.2%	100.0%
第7地域	0.3%	3.5%	15.8%	80.4%	100.0%
第8地域	0.4%	3.8%	12.4%	83.4%	100.0%

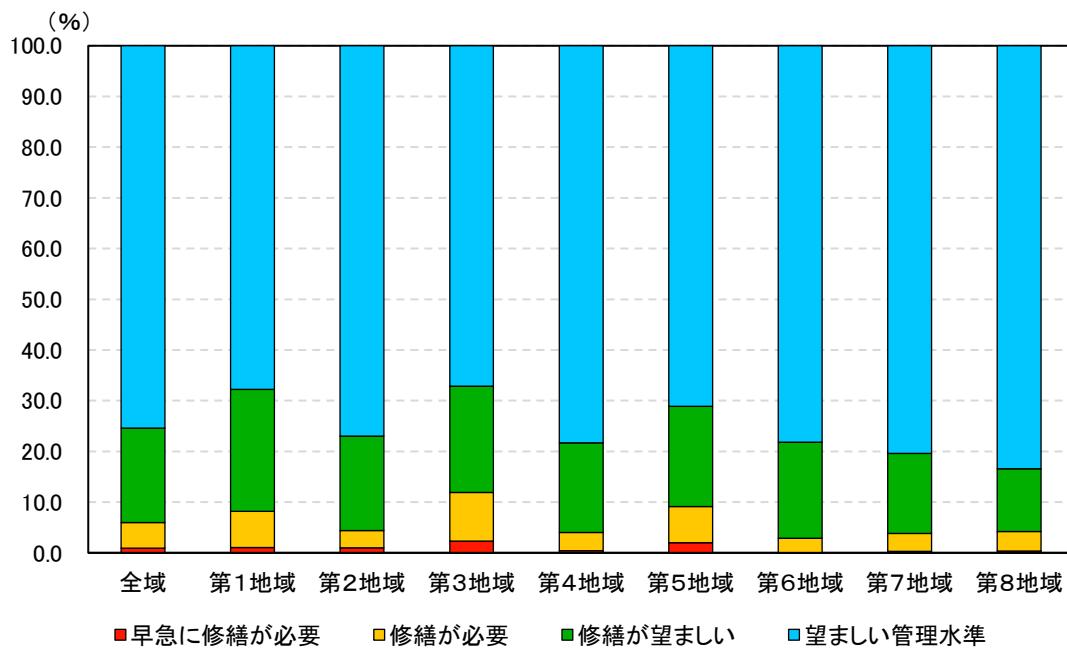


図3-2-3-18 MC I 値ランク別比率

3-2-3

インフラの整備状況(車道)

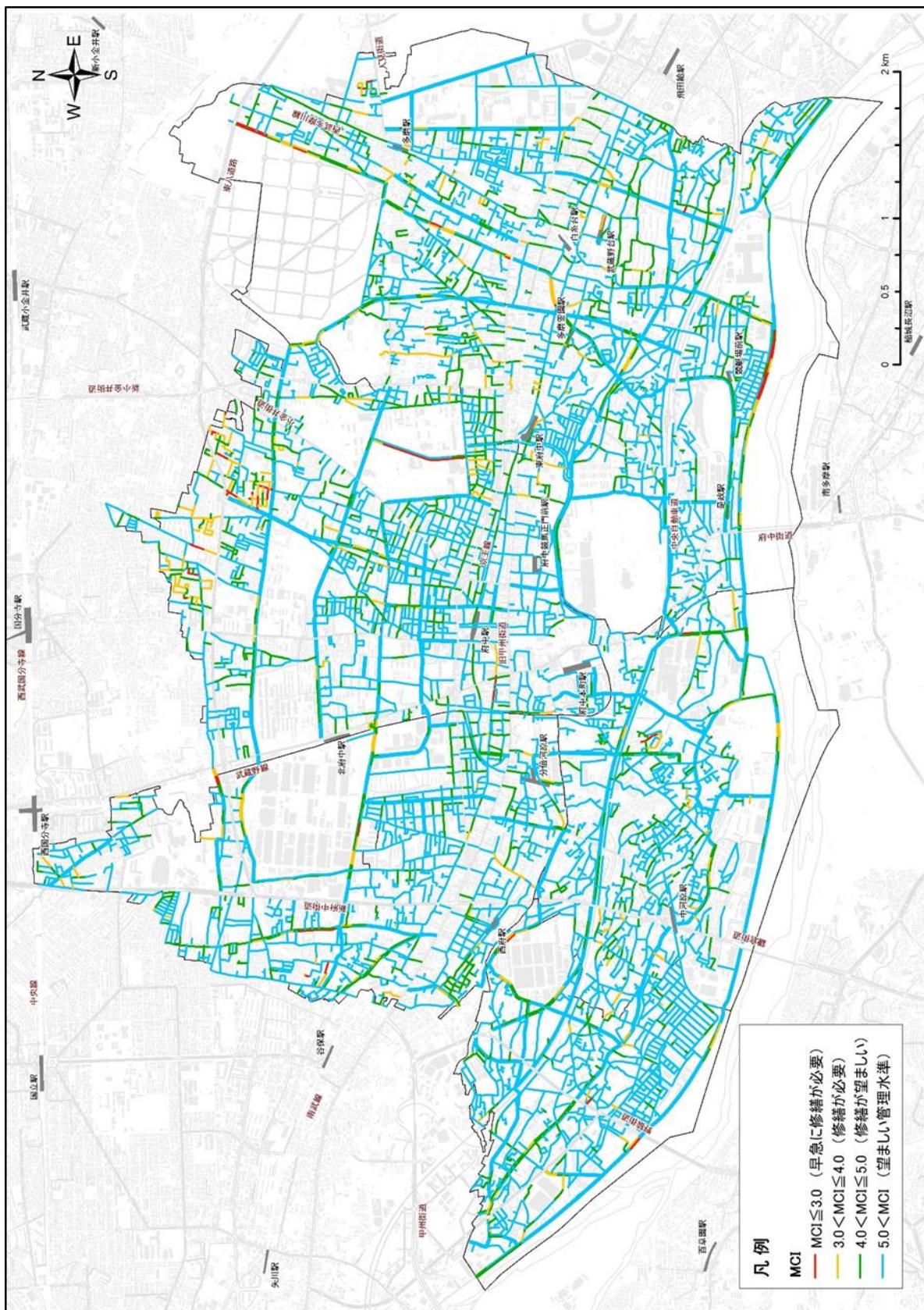


図3-2-3-19 MCI値ランク別位置図(令和3年度調査)

3-2-3

(3) 分析

1) 全体平均

市の車道における「ひび割れ率」、「わだち掘れ量」、「MCI値」の平均値は次のとおりです。

- 「ひび割れ率」と「MCI値」は、望ましい管理水準の範囲内ですが、前回調査時（平成28年度）より劣化が進行しています。
- 目視調査から機械調査に変更した箇所が多いため、「ひび割れ率」と「MCI値」が劣化した結果が得られたと想定されます。
- 「わだち掘れ量」は早急に修繕を要する箇所がなく、適切な修繕が行われている傾向にあると言えます。

表3-2-3-12 市全体の平均値及び前回比較

調査項目	今回調査平均値 (令和3年度)	前回調査平均値 (平成28年度)	前回比
ひび割れ率	8.8%	7.1%	+1.7%
わだち掘れ量	6.3mm	7.0mm	-0.7mm
MCI値	5.8	6.7	-0.9

2) 地域区分別平均

市の車道における「ひび割れ率」、「わだち掘れ量」、「MCI値」の地域区分別平均値は以下のとおりです。

- 平均ひび割れ率が最も高いのは、第3地域（10.9%）です。
- 平均わだち掘れ量が最も高いのは、第5地域（7.4mm）です。
- 平均MCI値が最も低いのは、第1地域・第3地域（5.6）です。

表3-2-3-13 地域区分別平均値

地域区分	調査項目		
	ひび割れ率	わだち掘れ量	MCI値
全域	8.8%	6.3mm	5.8
第1地域	10.3%	6.6mm	5.6
第2地域	7.9%	6.2mm	5.9
第3地域	10.9%	7.0mm	5.6
第4地域	8.2%	5.9mm	6.0
第5地域	8.9%	7.4mm	5.7
第6地域	9.1%	5.0mm	5.8
第7地域	6.6%	7.0mm	6.0
第8地域	8.4%	5.1mm	5.9

3) 補修必要区間

調査の結果から、「MC I 値 3.0 以下（早急に修繕が必要）」の区間は、39か所（3,111m）あります。

表3-2-3-14 補修対策箇所一覧表(MCI値の低い順)(1/2)

No	地域区分	路線名称	上下	距離標(m)		区間長(m)	ひび割れ率(%)	わだち掘れ量		MCI値
				自	至			最大(mm)	平均(mm)	
1	1	多磨霊園東通り	上	1,000	1,100	100	77.7	9.6	6.2	1.8
2	2	多摩川通り	上	7,300	7,400	100	72.4	10.8	7.7	1.9
3	2	多摩川通り	上	7,100	7,200	100	70.6	11.5	8.2	2.0
4	3	平和通り	下	600	700	100	66.6	9.3	6.3	2.1
5	2	多摩川通り	下	7,100	7,200	100	65.8	5.6	4.7	2.2
6	1	多磨霊園東通り	下	1,000	1,100	100	62.8	6.1	4.7	2.3
7	1	多磨霊園南参道	下	172	200	28	62	4.2	4.1	2.3
8	5	武蔵台通り	下	54	100	46	62.1	8.3	6.7	2.3
9	2	多摩川通り	下	7,000	7,100	100	60.3	5.3	4.5	2.4
10	1	多磨霊園東通り	上	1,100	1,200	100	60.8	6.8	5.8	2.4
11	3	平和通り	下	310	400	90	60.2	6.3	5	2.4
12	3	平和通り	下	500	600	100	59.1	6.8	5.3	2.4
13	2	多摩川通り	下	7,300	7,400	100	57.7	4.9	4.5	2.5
14	2	多摩川通り	上	7,000	7,100	100	55.8	9.2	6	2.5
15	5	七小通り	下	800	900	100	55.9	12.2	7.8	2.5
16	3	平和通り	下	800	900	100	57.9	8.1	5.5	2.5
17	2	多摩川通り	上	7,400	7,500	100	54.4	9	7.2	2.6
18	1	多磨霊園東通り	下	1,100	1,200	100	55.7	6.1	4.7	2.6
19	3	平和通り	下	400	500	100	55.5	8.8	5.8	2.6
20	8	多摩川通り	上	1,400	1,500	100	51.2	9.7	7.4	2.7
21	2	白糸台通り	上	598	600	2	50	6.6	6.6	2.8
22	2	多摩川通り	下	7,200	7,300	100	49.7	6.4	5.2	2.8
23	1	多磨霊園東通り	下	700	800	100	49.2	6.1	4.7	2.8
24	5	七小通り	下	900	1,000	100	50.1	10.8	7.5	2.8
25	4	番場北裏通り	下	0	100	100	49.6	7.6	6.1	2.8
26	4	番場北裏通り	下	100	200	100	49.5	8.7	6.1	2.8
27	5	武蔵台通り	上	54	100	46	49.6	4.9	4.9	2.8
28	1	多磨霊園東通り	上	1,200	1,221	21	46.5	9.5	9.5	2.9
29	1	多磨霊園南参道	上	700	800	100	48.4	8.7	4.6	2.9
30	5	七小通り	下	700	800	100	47.5	9.3	8.5	2.9
31	3	平和通り	下	700	800	100	46.7	7.1	5.8	2.9
32	1	東郷寺通り	上	300	315	15	46.1	7	7	3.0
33	8	日新通り	下	200	300	100	44.3	8.5	6.1	3.0
34	8	日新通り	上	2,400	2,407	7	44.5	4.1	4.1	3.0

表3-2-3-15 補修対策箇所一覧表(MCI値の低い順)(2/2)

No	地域区分	路線名称	上下	距離標(m)		区間長(m)	ひび割れ率(%)	わだち掘れ量		MCI値
				自	至			最大(mm)	平均(mm)	
35	8	日新四谷通り	上	700	703	3	45.3	3.2	3.2	3.0
36	3	富士見通り	下	1,600	1,605	5	38	14.1	14.1	3.0
37	5	富士見通り	下	2,300	2,400	100	34.1	19	17.2	3.0
38	7	ふるさと通り	下	0	100	100	45.4	10.8	9.2	3.0
39	2	市道2-237号	下	0	48	48	45.8	2.8	2.4	3.0

※「機械調査」はひび割れ率とわだち掘れ量、「目視調査」はひび割れ率を調査対象としています。

※■ : MCI値 3.0 以下 (早急に修繕が必要)

3-2-3

インフラの整備状況(車道)

3.2.4 歩道・植樹ます

市が管理する歩道・植樹ますの全体数量及び状況は、次のとおりです。

3.2.4.1 全体数量

市が管理する歩道・植樹ますについて、交差点で区切られる街区単位で調査しました。

表3-2-4-1 調査数量

調査方法	調査延長 ^{※1}	調査面積	調査項目	評価単位	備考
目視	170,989.40m	472,659.05m ²	舗装： ひび割れ、段差 ポットホール ^{※2} 、種別 植樹ます： 根上がり、本数 グレーチング ^{※3} 有無 種別	1,855区間 (交差点 街区)	平均歩道幅員 ^{※4} 幹線市道 3.03m 一般市道 2.46m

※ 1：実測した調査延長は、管理数量と異なります。

※ 2：舗装表面の局部的な小穴のことを指し、ひび割れに起因する剥離等が原因で生じます。

※ 3：道路の表面排水の目的で側溝におく蓋（縁石）を指し、歩道や植樹ますにも使われます。

※ 4：平均幅員は、『市の道路管理に関する調書』（平成28年）から算出しています。

3.2.4.2 位置

3-2-4

ヤマハの整備状況(歩道・植樹)

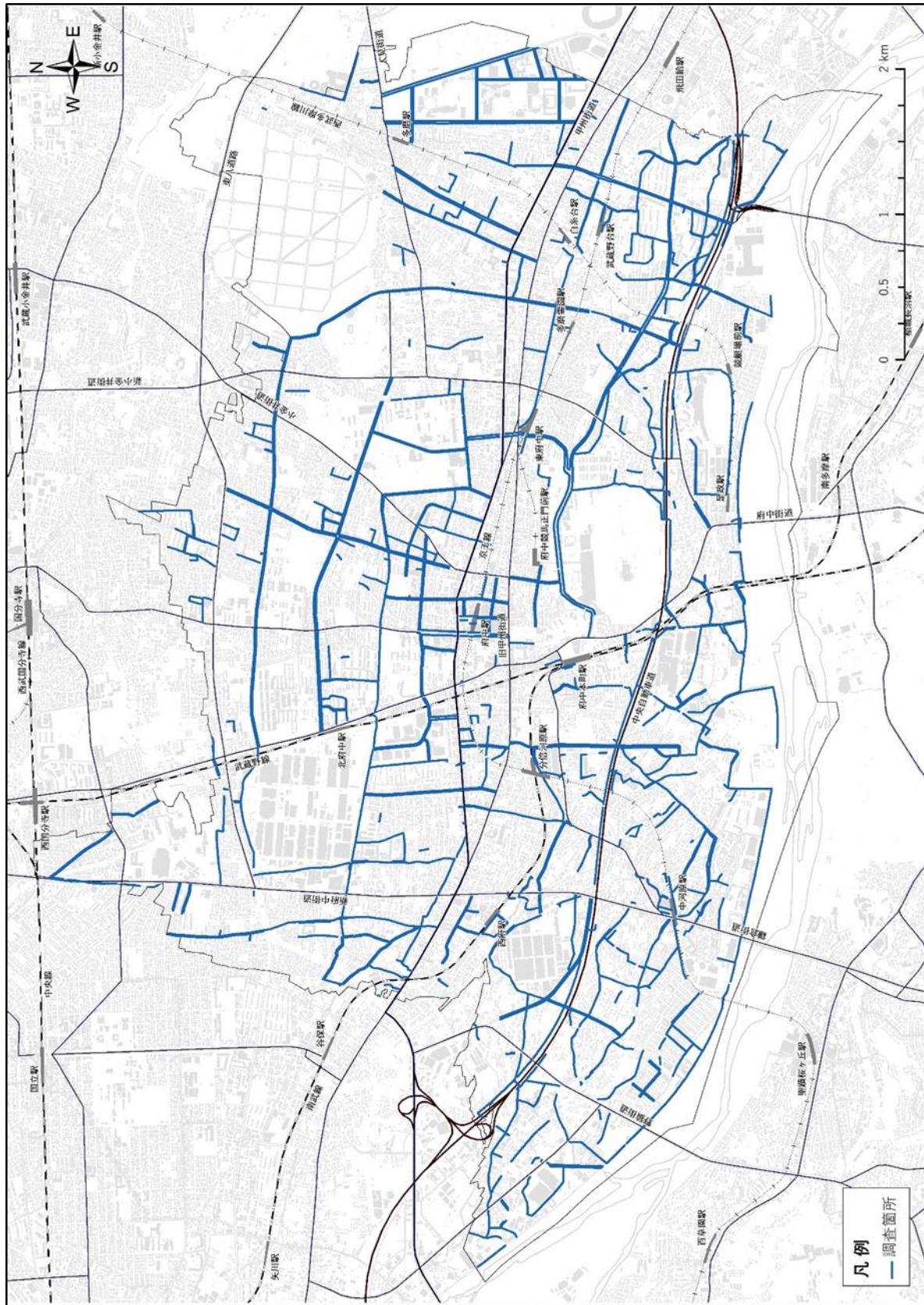


図3-2-4-1 調査箇所位置図

3.2.4.3 点検結果

（1）条件

1) 調査項目

歩道調査における調査項目は、段差によるつまずきの可能性を判断することを目的とし、次のとおりとしました。

① 舗装状況

ひび割れ、段差、ポットホール

② 植樹状況

根上がり、本数

また、歩道状況の基礎情報として、舗装種別、植樹ますの種別（グレーチングの有無、素材）について確認を行いました。

2) 調査対象

次の基準で調査対象を整理し、判定・記録をしました。

① 歩道

- ・ 切り下げ部のコンクリート舗装は調査しない。
- ・ 歩行するための支障程度を判定する。
- ・ 道路台帳と現地に相違がある場合は、簡易に記録する。

② 植樹ます

- ・ 「高木」、「中木」の本数や樹種は調査しない。
- ・ 「低木」、「花株」は調査しない。
- ・ 「切り株」がある場合は記録する。

3) 調査箇所の設定

市の『道路台帳平面図』により、調査箇所の位置を確認しました。

4) 調査方法

調査員による徒步調査を基本とし、歩道状況の評価は交差点街区（交差点巻込みごと）を1単位区間としました。

5) 評価方法

調査結果の評価方法は、次に示す3つの判定としました。

表3-2-4-2 判定結果と評価方法	
要補修判定	評価
大	転倒など、歩行や通行に問題があると評価した箇所
小	根上がり等あるが、歩行や通行には問題がないと評価した箇所
無	問題がないと評価した箇所



図3-2-4-2 根上がり判定例

6) 調査項目の判定基準

歩道や植樹ますにおいて補修を必要とする判定基準は、次のとおりです。

表3-2-4-3 歩道の要補修判定基準	
要補修判定	歩道劣化の程度
大	<ul style="list-style-type: none"> 舗装材の流出や穴がある 段差、穴などの劣化箇所を跨ぐ程度
小	<ul style="list-style-type: none"> 30cm以下のひび割れを許容する 歩行に支障がない程度
無	<ul style="list-style-type: none"> ベビーカーなどの手押し車や杖利用の歩行に支障がない程度 沿道からの流出土堆積、縁石の擦り減り・破損は影響しない

表3-2-4-4 植樹ますの要補修判定基準

表3-2-4-4 植樹ますの要補修判定基準	
要補修判定	植樹ます劣化の程度
大	<ul style="list-style-type: none"> 根上がり等の進行により、植樹ますの破損が顕著である 植樹ます原型が認められない
小	<ul style="list-style-type: none"> 縁石やグレーチングが所定の位置から若干ズレているが、機能は有している 植樹ますの縁石やグレーチングがゆがんでいる
無	<ul style="list-style-type: none"> 縁石やグレーチングが所定の位置に収まっている 街路樹による破損が認められない

3-2-4

インフラの整備状況(歩道・植樹ます)

(2) 結果

歩道・植樹ますは、現地調査により現状を段階評価しました。

1) 歩道調査結果

歩道の劣化状況調査の結果、前回より劣化が若干進んでいます。また、前回調査で劣化していると判定された区間は、同様の結果でした。ただし、それらの区間は幹線市道と比較して交通量の低い一般市道が大半です。

表3-2-4-5 歩道の劣化状況調査結果

判定	平成28年度調査			前回調査(平成23年度)		
	区間	延長	面積	区間	延長	面積
大*	8	836.11m	2,044.83m ²	5	545.96m	1,397.80m ²
小	149	21,874.44m	60,482.96m ²	93	11,835.16m	32,142.44m ²
無	1,698	148,278.85m	410,131.26m ²	1,757	158,608.28m	439,118.81m ²
合計	1,855	170,989.40m	472,659.05m ²	1,855	170,989.40m	472,659.05m ²

※判定結果「大」の路線は、「市道1-307号」、「市道2-119号」、「市道4-342号」、

「市道4-384号」、「市道6-265号」、「市道6-322号」、「すずかけ通り」、
「多摩川通り」に各1か所です。

2) 植樹ます調査結果

植樹ますの劣化状況調査の結果、前回より劣化が若干進んでいます。劣化の多くの原因是、街路樹の成長に伴う根上がり等の進行であると考えられます。特に街路樹がサクラの箇所での根上がりが目立ちます。

表3-2-4-6 植樹ますの劣化状況調査結果

判定	平成28年度調査				前回調査(平成23年度)			
	区間	劣化箇所	グレーチング材質 (劣化箇所内訳)	区間	劣化箇所	グレーチング材質 (劣化箇所内訳)		
大*	17	26か所	コンクリート	0か所	7	7か所	コンクリート	0か所
			鉄	9か所			鉄	2か所
			なし	17か所			なし	5か所
小	66	104か所	コンクリート	2か所	65	112か所	コンクリート	2か所
			鉄	24か所			鉄	28か所
			なし	78か所			なし	82か所
無	1,772	-	-	-	1,783	-	-	-
合計	1,855	130か所	コンクリート	2か所	1,855	119か所	コンクリート	2か所
			鉄	33か所			鉄	30か所
			なし	95か所			なし	87か所

※判定結果「大」の路線は、「市道1-96号」、「市道1-307号」、に各1か所、

「市道1-355号」に2か所、「市道2-234号」、「市道6-265号」、

「市道6-351号」に各1か所、「桜通り」に2か所、「多摩川通り」に13か所、

「中央道側道」に1か所、「多磨霊園南参道」に3か所です。

(3) 補修対策箇所

劣化判定が「大」と「小」の区間を補修対策箇所とする状況は、次のとおりです。

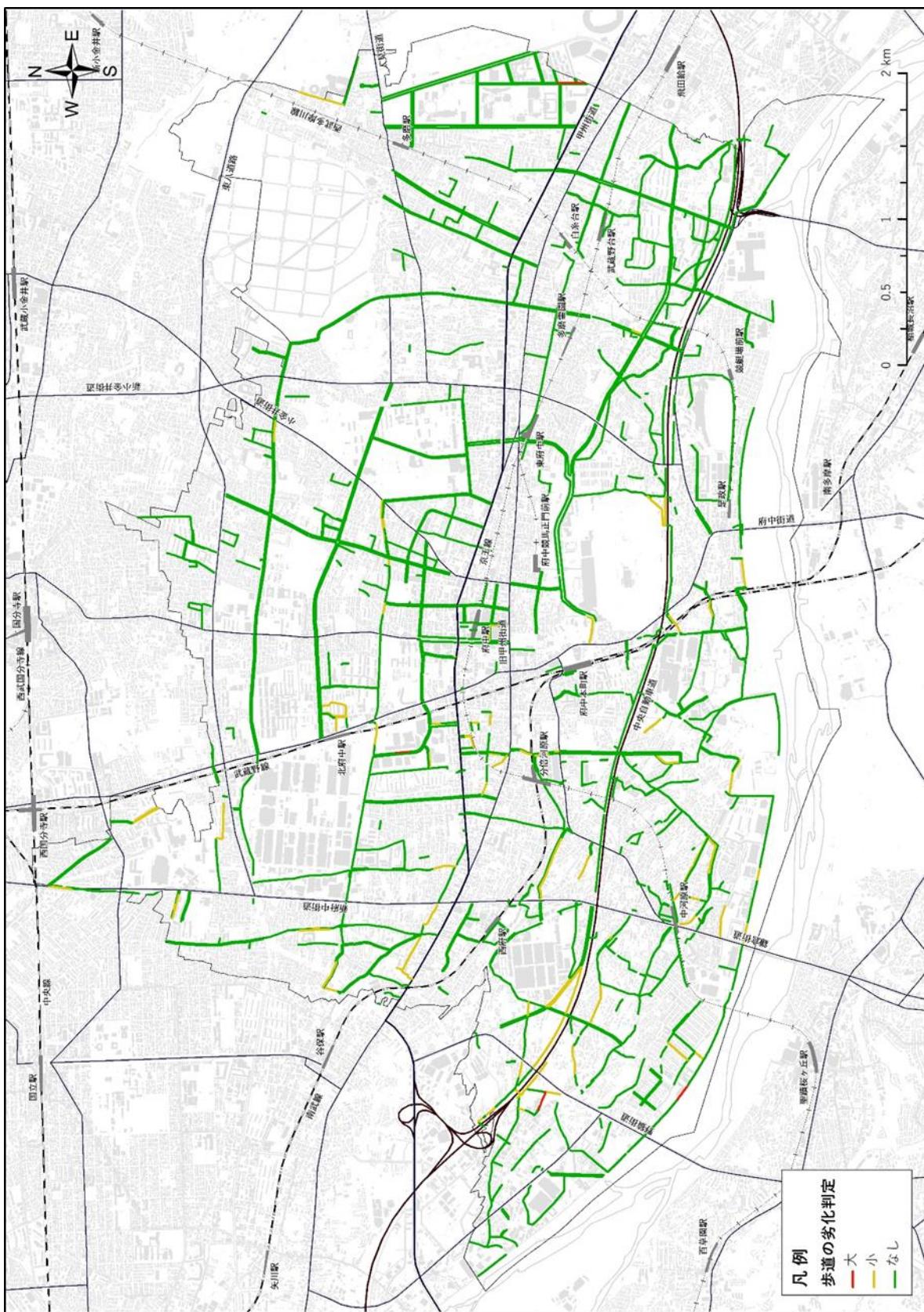


図3-2-4-3 歩道の劣化判定結果(平成28年度調査)

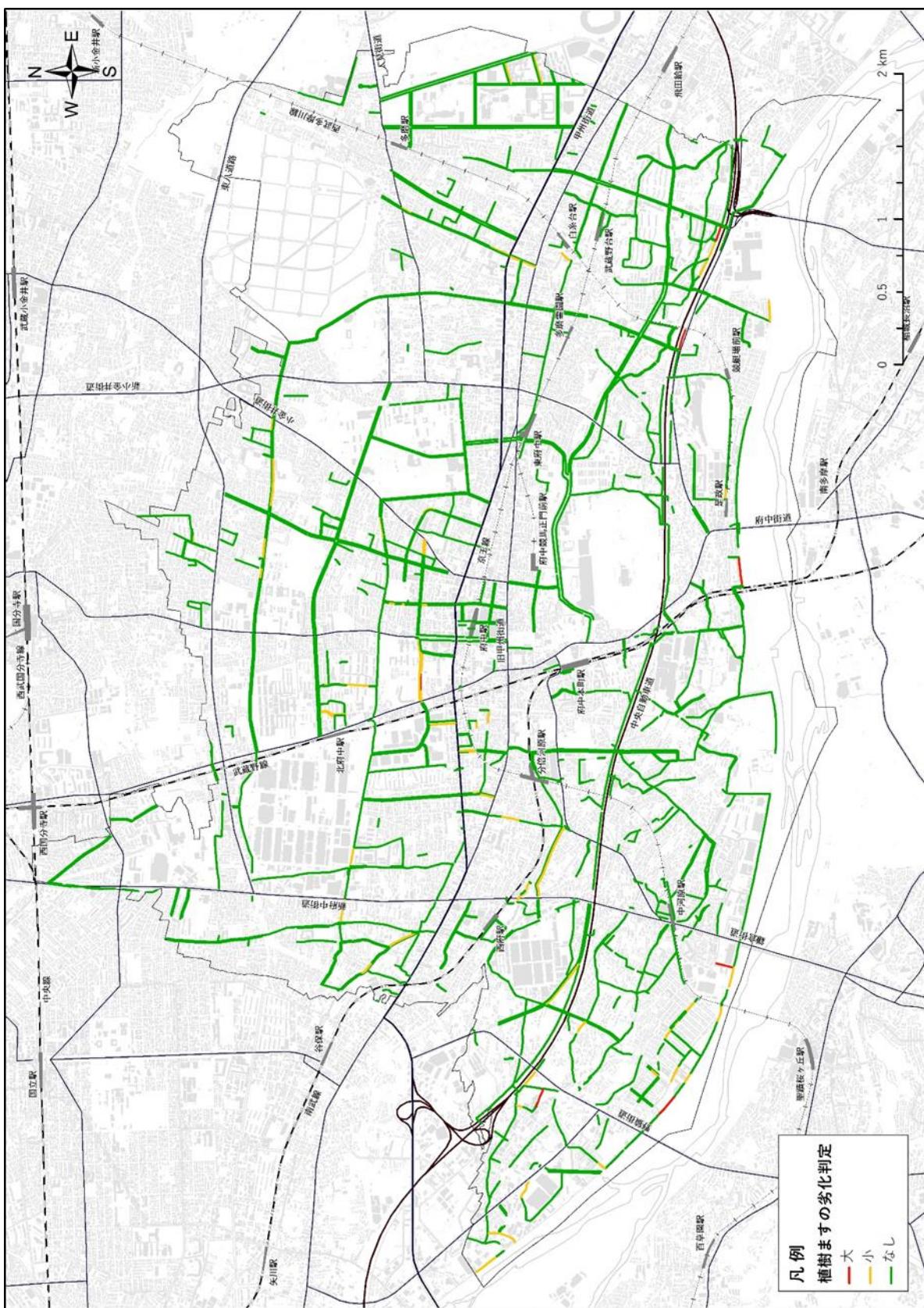


図3-2-4-4 植樹ますの劣化判定結果(平成28年度調査)

3.2.5 案内標識

市が管理する案内標識の全体数量及び状況は、次のとおりです。

3.2.5.1 全体数量

3-2-5

市が管理する案内標識は、833基あります。内訳として、『府中市都市サイン基本計画』(平成2年)等に従って設置された案内標識が539基、個別に設置した施設案内標識が294基あります。詳細は、次のとおりです。

表3-2-5-1 分類別設置数量

案内標識の分類	基数	割合
案内標識	539 基	64.7%
その他案内標識	294 基	35.3%
合計	833 基	100.0%



図3-2-5-1 案内標識の例1



図3-2-5-2 案内標識の例2



図3-2-5-3 案内標識の例3



図3-2-5-4 その他案内標識の例

3.2.5.2 位置

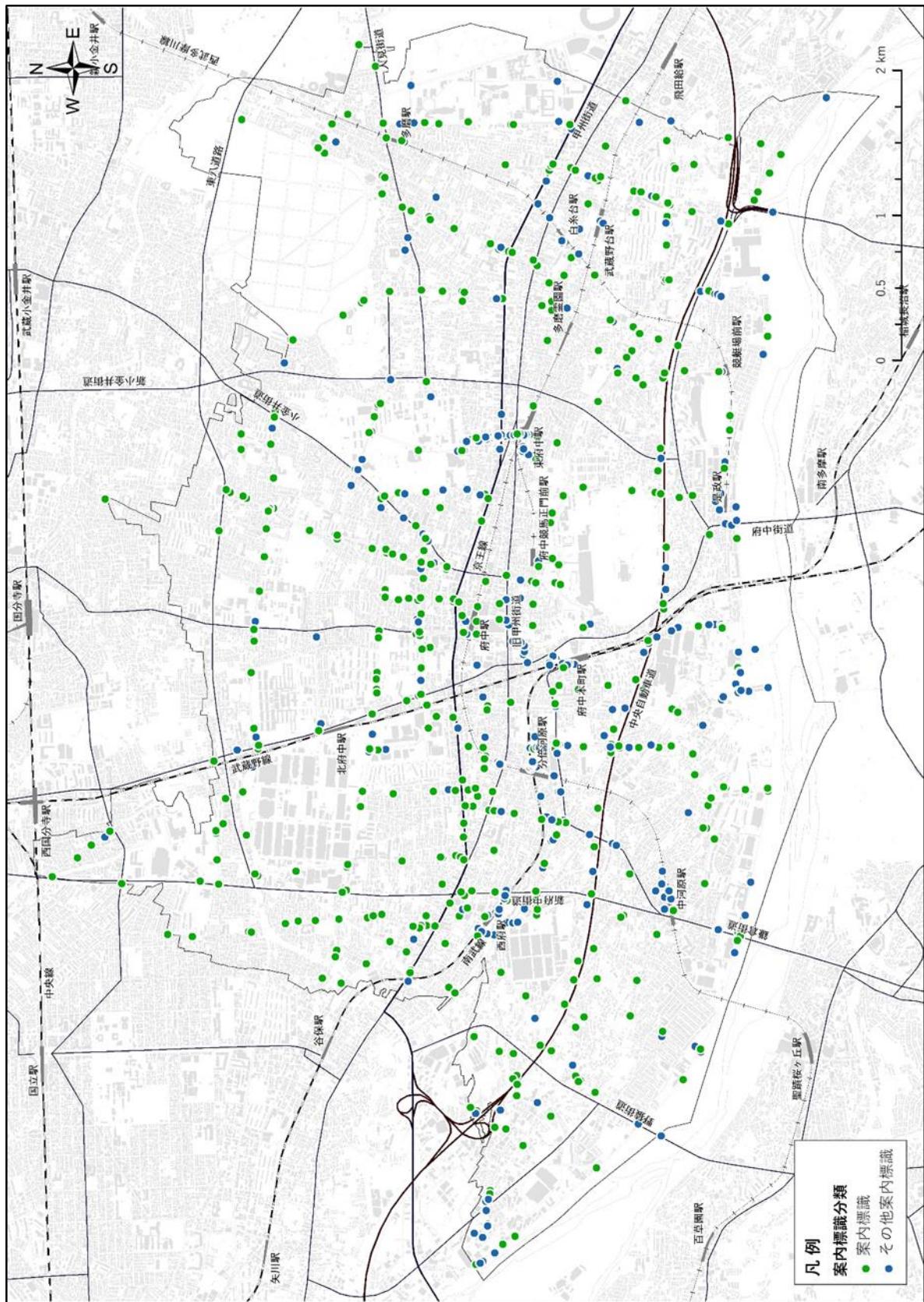


図3-2-5-5 分類別設置位置図

3.2.5.3 整備状況

案内標識は、令和5年3月に策定した『府中市公共サイン整備計画』により、公共サインの整備基準や配置計画を定め、計画に従って整備しています。

3.2.5.4 地域区分別数量

地域区分ごとの案内標識の設置状況は、次のとおりです。

表3-2-5-2 地域区分別設置数量

地域区分	案内標識	その他案内標識	合計
全域	539 基	294 基	833 基
第1地域	75 基	23 基	98 基
第2地域	69 基	37 基	106 基
第3地域	55 基	46 基	101 基
第4地域	74 基	63 基	137 基
第5地域	27 基	14 基	41 基
第6地域	80 基	80 基	160 基
第7地域	101 基	15 基	116 基
第8地域	58 基	16 基	74 基

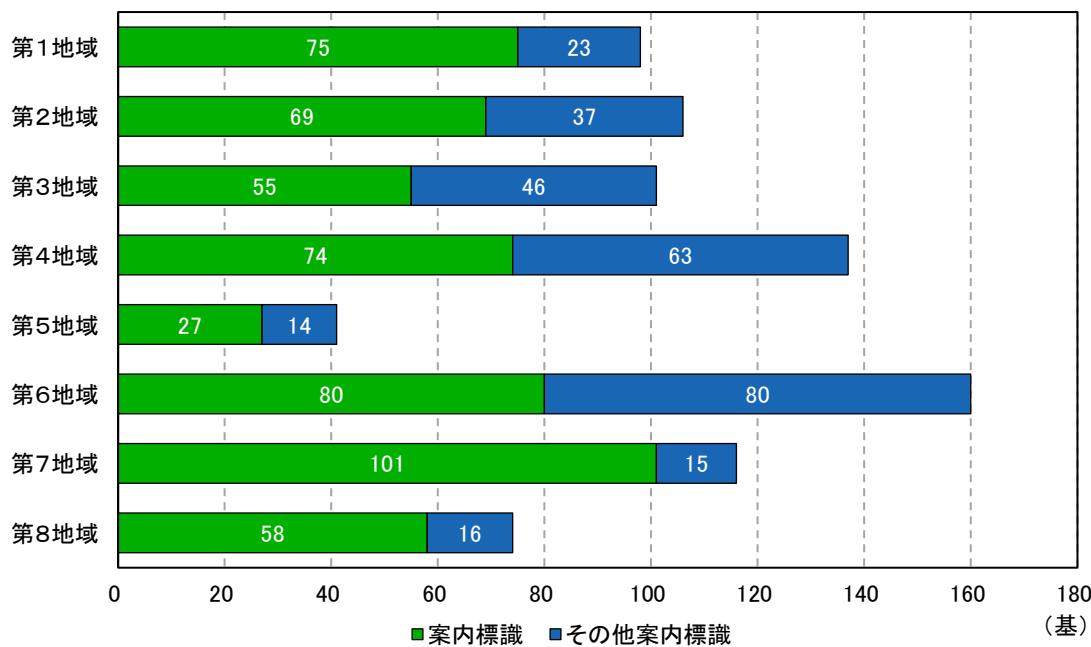


図3-2-5-6 地域区分別設置数量

3.2.6 警戒標識・その他標識

市が管理する警戒標識・その他標識の全体数量及び状況は、次のとおりです。

3.2.6.1 全体数量

警戒標識・その他標識は、市が所有している『標識台帳』に記録されています。その他標識とは、規制標識、遊歩道案内板、安眠標識です。詳細は、次のとおりです。

表3-2-6-1 分類別設置数量

分類	基数	全数に対する割合
警戒標識	195 基	77.4%
その他標識	規制標識	39 基
	遊歩道案内板	11 基
	安眠標識	7 基
合計	252 基	100.0%

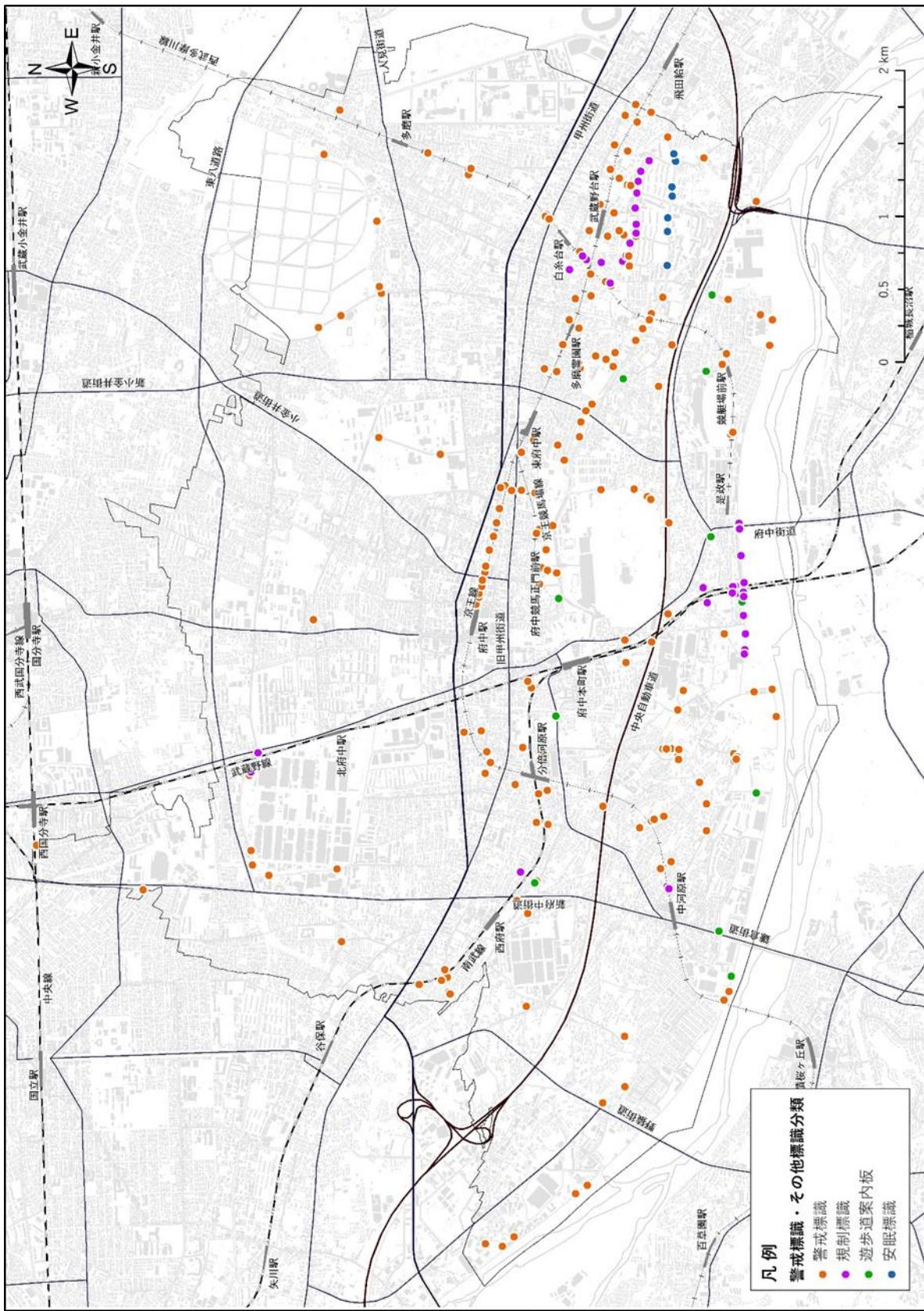


図3-2-6-1 分類別設置位置図

3.2.6.3 整備状況

『標識台帳』に記載されている警戒標識及びその他標識について、最も古い設置年が昭和50年です。最新設置年は令和3年で、多摩川通り拡幅改修工事に併せて新たに設置されたものです。

3.2.6.4 地域区分別数量

地域区分別の警戒標識・その他標識の設置状況は、次のとおりです。

表3-2-6-2 地域区分別設置数量

地域区分	警戒標識	その他標識			合計
		規制標識	遊歩道案内板	安眠標識	
全域	195 基	39 基	11 基	7 基	252 基
第1地域	36 基	14 基	0 基	0 基	50 基
第2地域	52 基	8 基	4 基	7 基	71 基
第3地域	4 基	1 基	0 基	0 基	5 基
第4地域	28 基	0 基	1 基	0 基	29 基
第5地域	8 基	1 基	0 基	0 基	9 基
第6地域	21 基	1 基	2 基	0 基	24 基
第7地域	36 基	14 基	4 基	0 基	54 基
第8地域	10 基	0 基	0 基	0 基	10 基

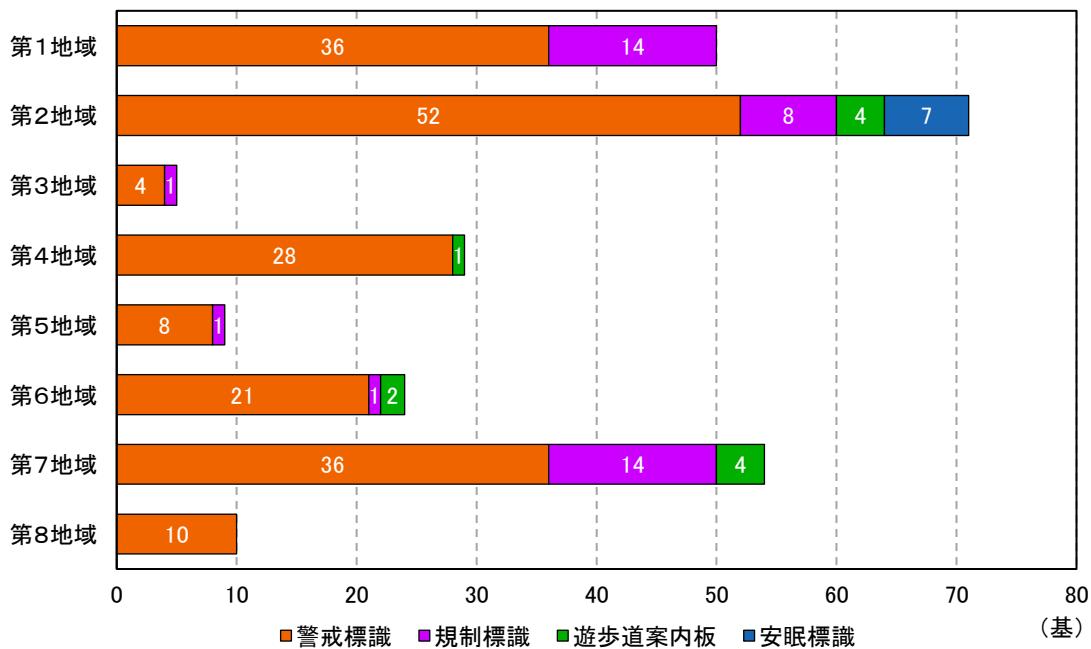


図3-2-6-2 地域区分別設置数量

3.2.7 街路灯

街路灯の全体数量及び状況は、次のとおりです。

3.2.7.1 全体数量

市が管理する街路灯は18,818基です。なお、交通安全灯・防犯灯は令和4年度までにLED灯への切り替えが完了しています。

(1) 照明形式

市では、「緑とともに暮らせる快適で安全安心なまち（生活・環境）」を目指し、交通安全灯と防犯灯を設置しています。

表3-2-7-1 地域区分別照明形式数量

地域区分	交通安全灯	防犯灯	その他*	合計
全域	7,270 基	10,398 基	1,150 基	18,818 基
第1地域	1,313 基	1,840 基	242 基	3,395 基
第2地域	1,136 基	1,806 基	60 基	3,002 基
第3地域	1,004 基	1,654 基	12 基	2,670 基
第4地域	1,182 基	797 基	519 基	2,498 基
第5地域	316 基	915 基	13 基	1,244 基
第6地域	832 基	991 基	152 基	1,975 基
第7地域	839 基	1,480 基	79 基	2,398 基
第8地域	648 基	915 基	73 基	1,636 基

*その他：跨線橋照明、地下道蛍光灯、歩道橋蛍光灯、プリンカーライト等

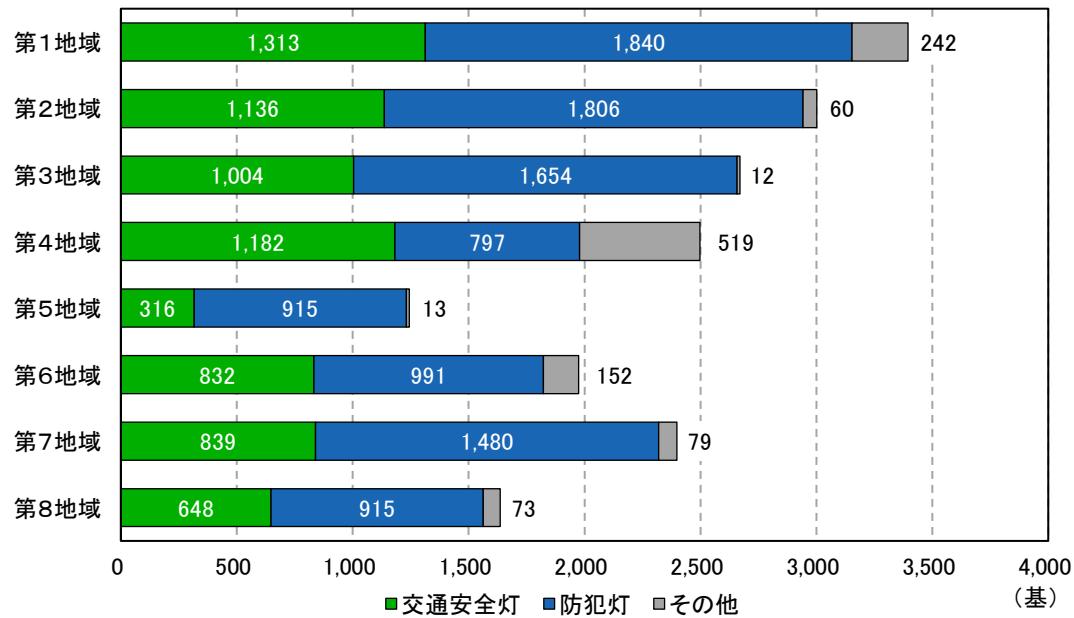


图3-2-7-1 地域区分別照明形式数量

(2) 灯柱形式

街路灯は、電力会社や電話会社の電柱などに共架している「共架柱」と、独立した柱に設置している「独立柱」があります。ただし、725基(4%)が設置形式不明です。

表3-2-7-2 地域区分別設置形式数量

地域区分	共架柱	独立柱	不明	合計
全域	13,595 基	4,498 基	725 基	18,818 基
第1地域	2,302 基	1,009 基	84 基	3,395 基
第2地域	2,152 基	712 基	138 基	3,002 基
第3地域	2,067 基	562 基	41 基	2,670 基
第4地域	1,225 基	996 基	277 基	2,498 基
第5地域	1,070 基	172 基	2 基	1,244 基
第6地域	1,440 基	409 基	126 基	1,975 基
第7地域	1,988 基	382 基	28 基	2,398 基
第8地域	1,351 基	256 基	29 基	1,636 基

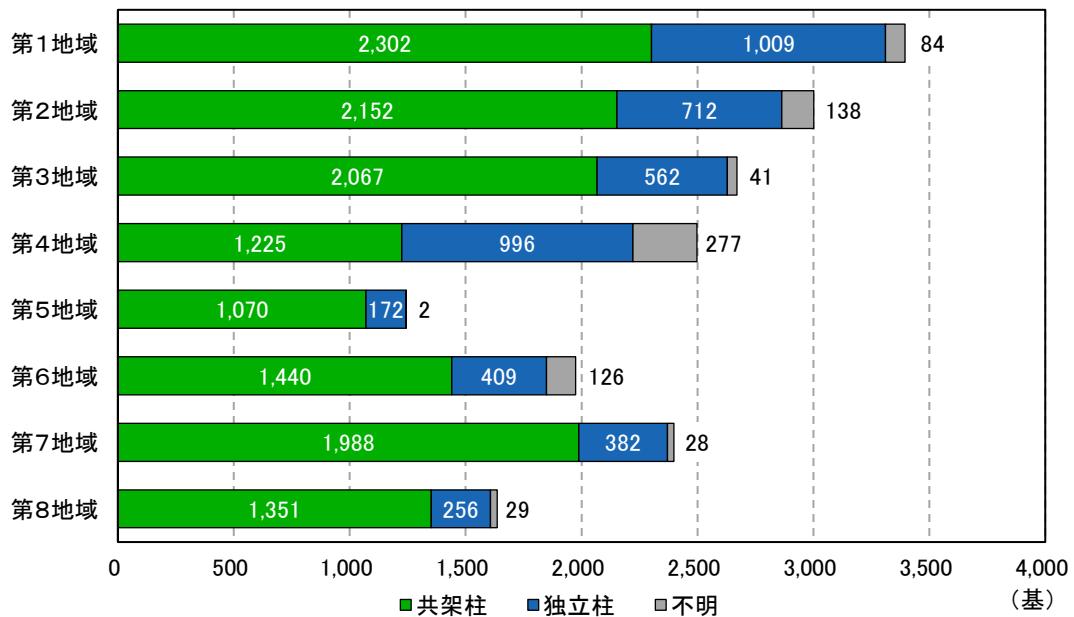


図3-2-7-2 地域区分別設置形式数量

3.2.8 道路反射鏡

市が管理する道路反射鏡の全体数量及び状況は、次のとおりです。

3.2.8.1 全体数量

3-2-8

インフラの整備状況(道路反射鏡)

市が管理する道路反射鏡は、3,152基あり、平成28年度と比べ39基が増加しています。

内訳として、鏡体を独自の柱で支える「独立柱」が2,700基、電力会社や電話会社の電柱などに共架している「共架柱」が452基となっています。

表3-2-8-1 設置形態別数量

道路反射鏡の設置形態	令和4年度調査		前回調査(平成28年度)	
	基数	割合	基数	割合
独立柱	2,700 基	85.7%	2,688 基	86.3%
共架柱	452 基	14.3%	425 基	13.7%
合計	3,152 基	100.0%	3,113 基	100.0%

3.2.8.2 位置

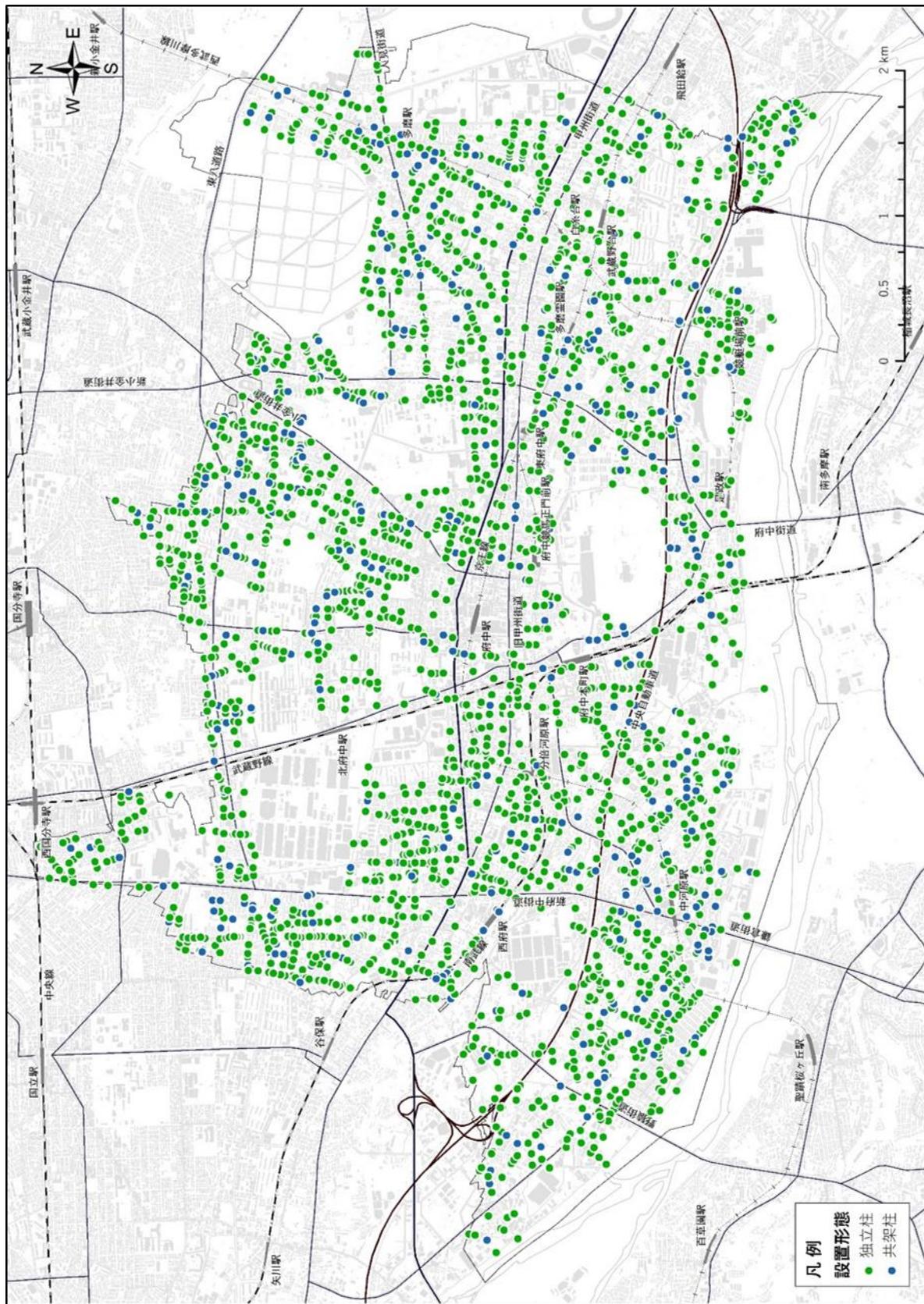


図3-2-8-1 設置形態別位置図

3.2.8.3 整備状況

前回調査以降、6年間で50基、年間あたり8.3基を新設・建替しています。

3-2-8

インフラの整備状況(道路反射鏡)

表3-2-8-2 年度別新設・建替数量

年度	独立柱	共架柱	合計
平成29年度	4基	4基	8基
平成30年度	4基	6基	10基
令和元年度	5基	3基	8基
令和2年度	1基	7基	8基
令和3年度	5基	4基	9基
令和4年度	2基	5基	7基
合計	21基	29基	50基
年平均	3.5基	4.8基	8.3基

3.2.8.4 管理状況

(1) 点検・清掃

既設の道路反射鏡については、年間500件程度点検・清掃を実施しています。主な点検・清掃内容は、次のとおりです。

- ・ 鏡面の清掃
- ・ 角度調整等の良好な状態に維持する軽作業
- ・ 不良なものの報告
- ・ 鏡面枚数の確認
- ・ 設置位置の確認

(2) 修繕

点検結果から、修繕が必要な道路反射鏡について、年間平均で83.3件を措置しています。

表3-2-8-3 年度別修繕措置内訳

年度	鏡面取替	支柱取替	その他*	合計
平成29年度	48件	1件	25件	74件
平成30年度	4件	0件	31件	35件
令和元年度	4件	1件	23件	28件
令和2年度	11件	0件	25件	36件
令和3年度	19件	1件	135件	155件
令和4年度	28件	0件	144件	172件
合計	114件	3件	383件	500件
年平均	19.0件	0.5件	63.8件	83.3件

*その他：角度調整、上部カバー取替、ステッカー取替、共架金具取替などの軽作業

3.2.8.5 地域区分別数量

市が管理する道路反射鏡数を地域区分別に見ると、独立柱・共架柱いずれも第3地域が多くなっています。

表3-2-8-4 地域区分別設置数量

地域区分	独立柱	共架柱	合計
全域	2,700 基	452 基	3,152 基
第1地域	442 基	68 基	510 基
第2地域	415 基	84 基	499 基
第3地域	504 基	88 基	592 基
第4地域	219 基	30 基	249 基
第5地域	234 基	40 基	274 基
第6地域	332 基	42 基	374 基
第7地域	315 基	65 基	380 基
第8地域	239 基	35 基	274 基

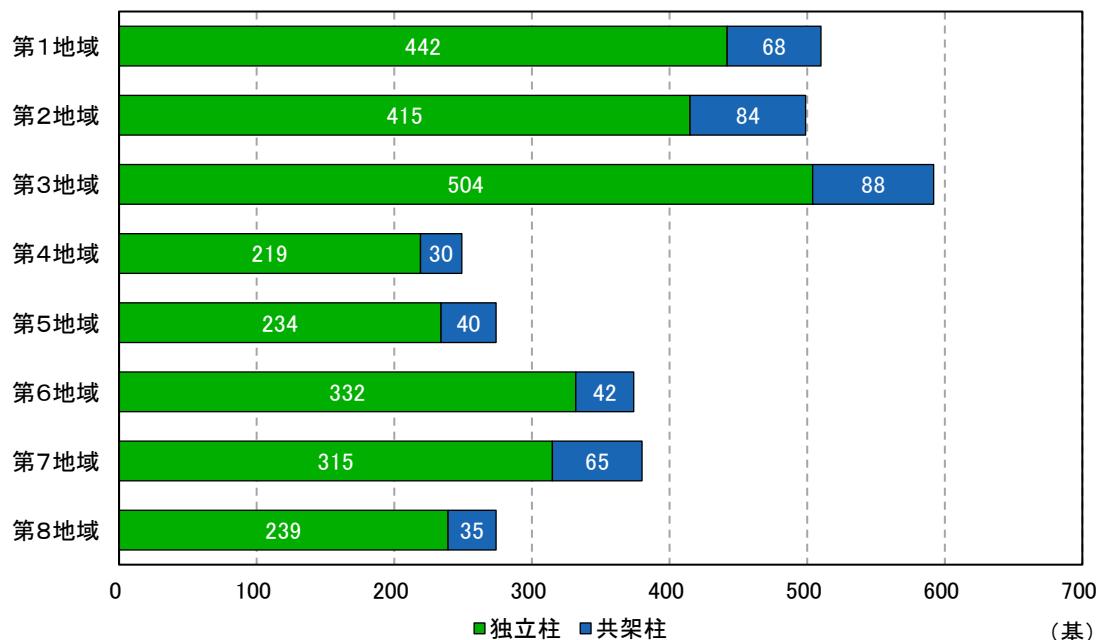


図3-2-8-2 地域区分別設置数量

3.2.9 街路樹

市が管理する街路樹の全体数量及び状況は、次のとおりです。

3.2.9.1 全体数量

3-2-9

(1) 低木の面積

市が管理する街路樹のうち、低木が植栽または植栽用地となっている面積は62,242.86m²となっています。

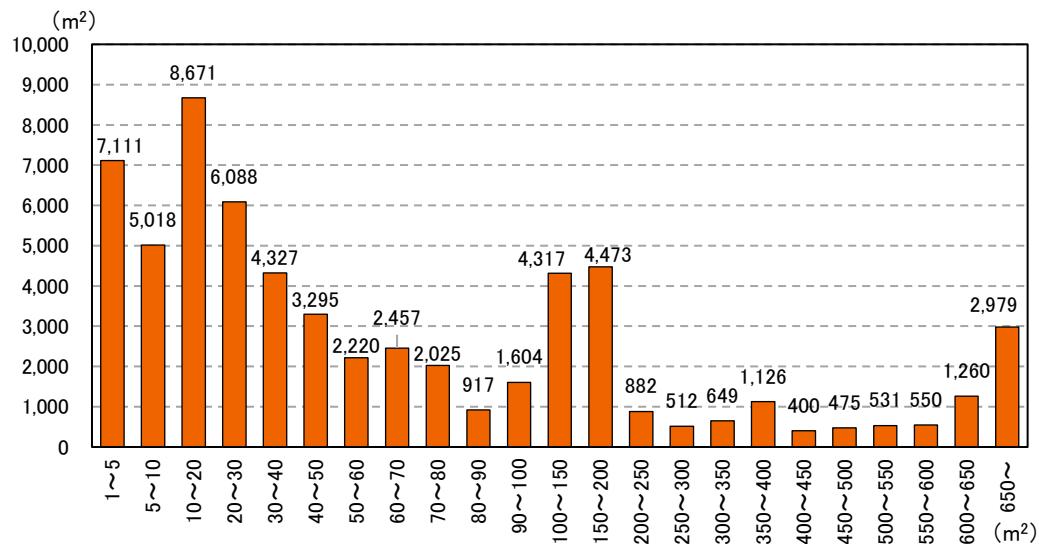


図3-2-9-1 低木の面積別内訳(0m²を除く)

(2) 高木の数量

市が管理する高木は8,767本あります。このうち約68.5%（記録なしの316本を除く）が幹回りの直径が1m以下の街路樹です。

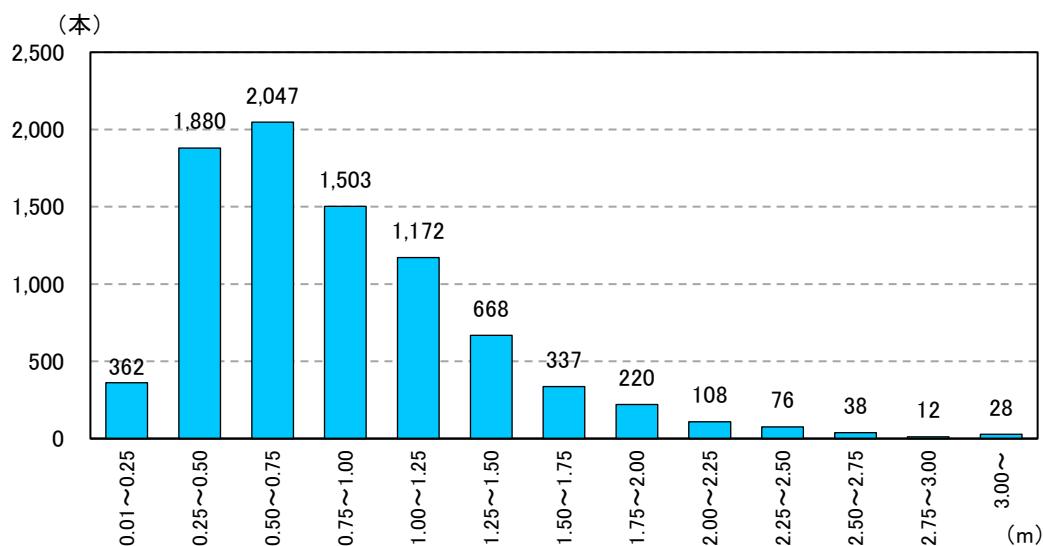


図3-2-9-2 高木の幹回り別内訳(記録なしを除く)

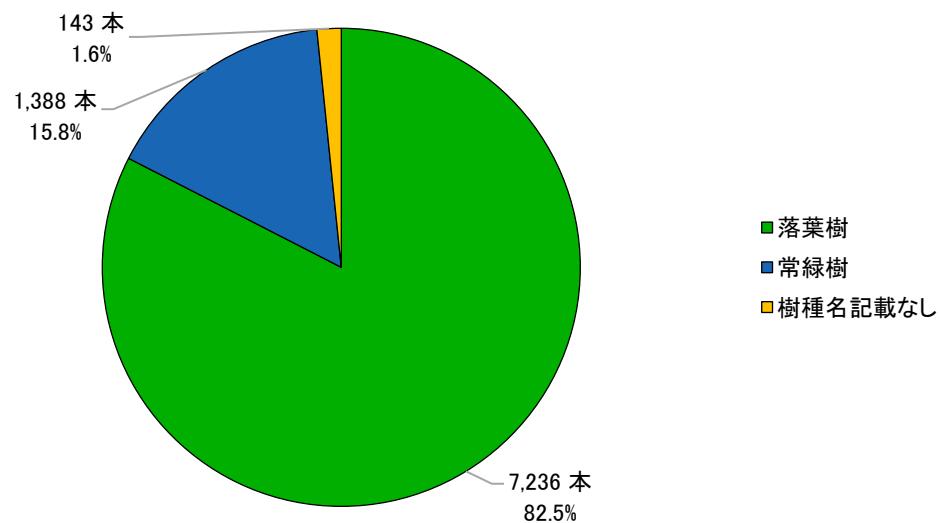


図3-2-9-3 高木の分類内訳

表3-2-9-1 高木の樹種内訳

落葉樹			常緑樹		
樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
ハナミズキ	2,544 本	35.2%	クスノキ	482 本	34.7%
サクラ	1,072 本	14.8%	カイズカイブキ	260 本	18.7%
イチヨウ	696 本	9.6%	ヤマモモ	219 本	15.8%
トウカエデ	647 本	8.9%	サザンカ	67 本	4.8%
ソメイヨシノ	453 本	6.3%	マテバシイ	64 本	4.6%
ケヤキ	369 本	5.1%	キンモクセイ	63 本	4.5%
コブシ	275 本	3.8%	ツバキ	57 本	4.1%
サルスベリ	249 本	3.4%	エメラルドグリーン	47 本	3.4%
アンズ	159 本	2.2%	ツゲ	36 本	2.6%
モミジバフウ	113 本	1.6%	シラカシ	21 本	1.5%
トチノキ	112 本	1.5%	アラカシ	11 本	0.8%
アオギリ	87 本	1.2%	サワラ	10 本	0.7%
ユリノキ	78 本	1.1%	モクセイ	9 本	0.6%
エンジュ	73 本	1.0%	ヒマラヤスギ	9 本	0.6%
ウメ	34 本	0.5%	カナメモチ	7 本	0.5%
カツラ	32 本	0.4%	アカシア	7 本	0.5%
その他	243 本	3.4%	その他	19 本	1.4%
合計	7,236 本	100.0%	合計	1,388 本	100.0%

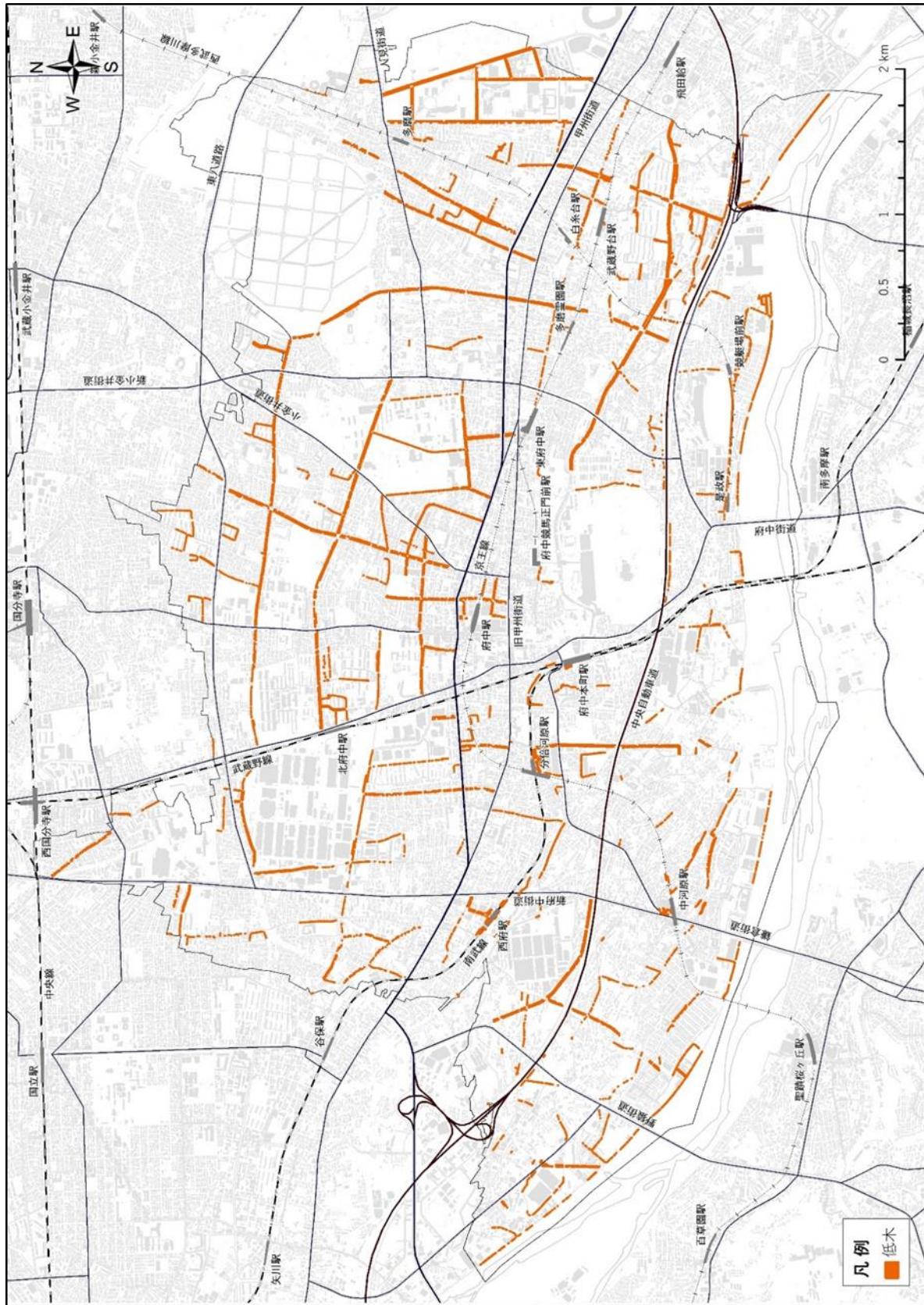


図3-2-9-4 低木位置図

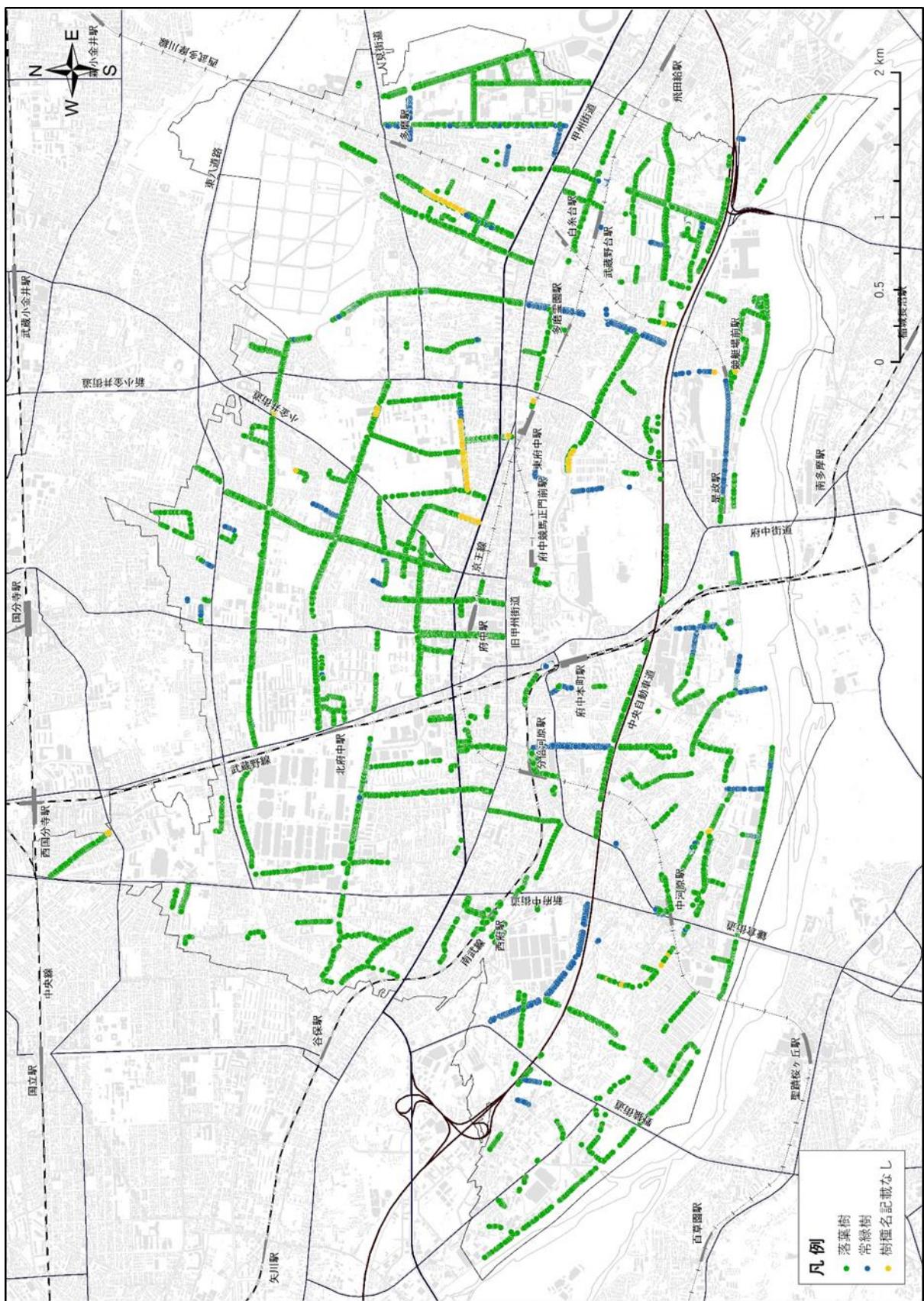


図3-2-9-5 分類別高木位置図

3.2.9.3 地域区分別数量

(1) 低木

街路樹のうち低木の面積を地域区分別に見ると、第1地域が最も多くなっています。同地域のうち、「スタジアム通り」や「白糸台通り」などで低木の街路樹が多くなっています。次いで、「多摩川通り」や「競艇場通り」が通る第2地域、「美術館通り」や「学園通り」が通る第3地域が多くなっています。

3-2-9

インフラの整備状況(街路樹)

表3-2-9-2 地域区分別低木面積

地域区分	面積	割合
全域	62,242.86m ²	100.0%
第1地域	14,110.08m ²	22.7%
第2地域	13,387.41m ²	21.5%
第3地域	11,016.50m ²	17.7%
第4地域	4,245.42m ²	6.8%
第5地域	4,346.20m ²	7.0%
第6地域	3,329.80m ²	5.3%
第7地域	5,640.76m ²	9.1%
第8地域	6,166.69m ²	9.9%

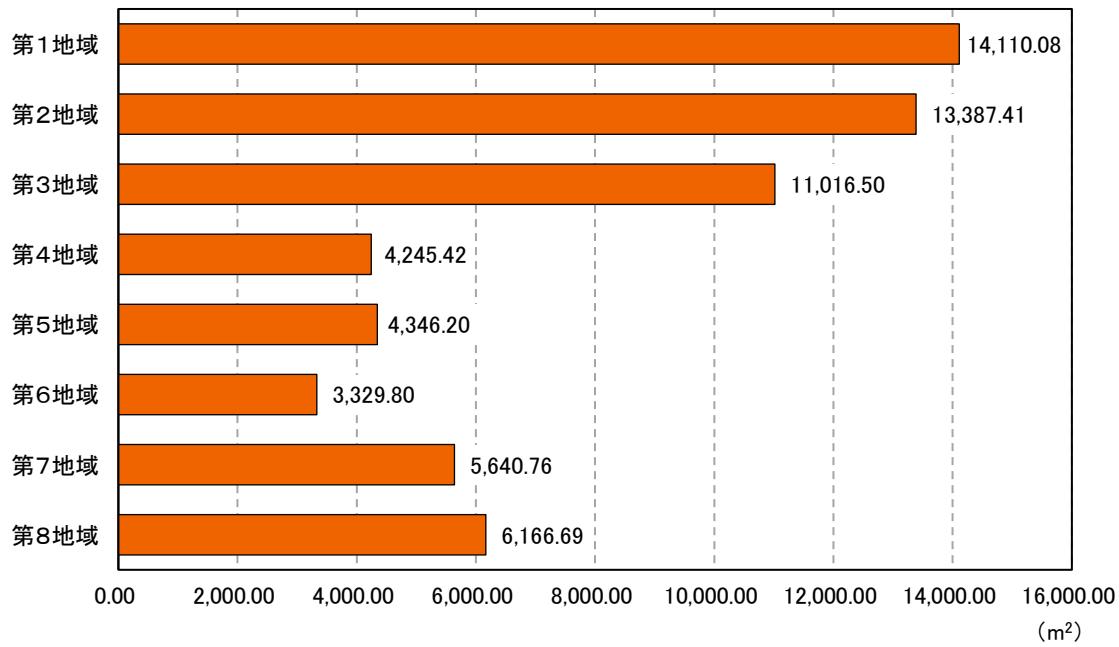


図3-2-9-6 地域区分別低木面積

(2) 高木

街路樹のうち高木の本数を地域区分別に見ると、低木と同じく第1地域が最も多くなっています。次いで、第3地域、第2地域の順で多くなっています。

表3-2-9-3 地域区分別高木数量

地域区分	分類			合計	割合
	落葉樹	常緑樹	樹種名記載なし		
全域	7,236 本	1,388 本	143 本	8,767 本	100.0%
第1地域	1,415 本	282 本	26 本	1,723 本	19.7%
第2地域	1,141 本	326 本	23 本	1,490 本	17.0%
第3地域	1,354 本	95 本	60 本	1,509 本	17.2%
第4地域	783 本	79 本	23 本	885 本	10.1%
第5地域	485 本	124 本	2 本	611 本	7.0%
第6地域	666 本	67 本	0 本	733 本	8.4%
第7地域	915 本	332 本	9 本	1,256 本	14.3%
第8地域	477 本	83 本	0 本	560 本	6.4%

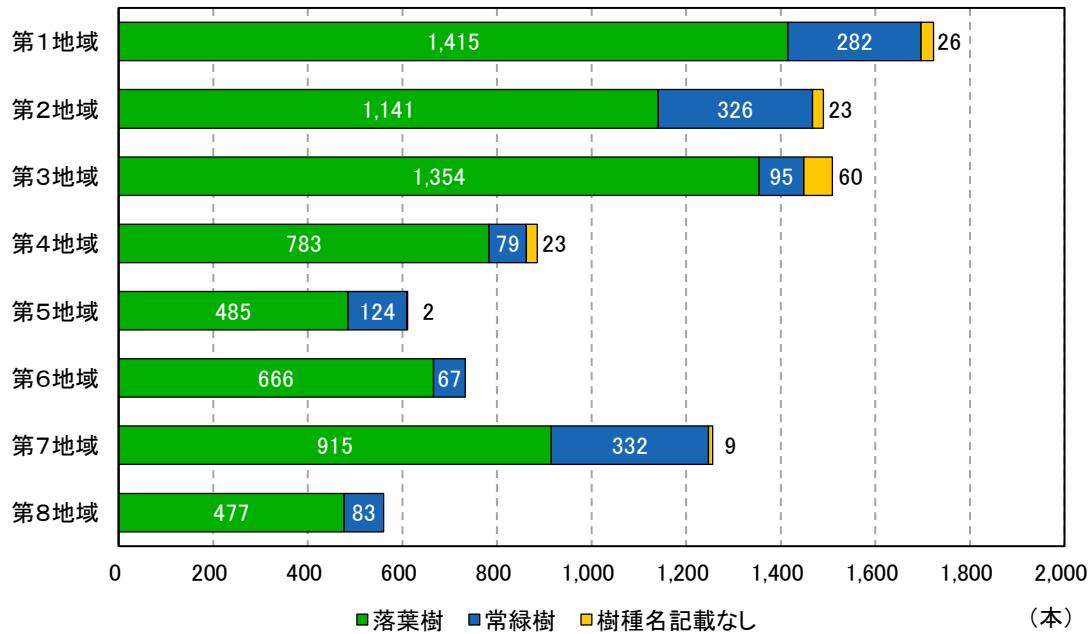


図3-2-9-7 地域区分別高木数量

3.2.9.4 路線別数量

(1) 低木

街路樹のうち低木が最も多い路線は、「しみず下通り」で4,735.18m²です。次いで、「美術館通り」で3,981.20m²、「スタジアム通り」で3,806.70m²、「富士見通り」で3,282.20m²、「多摩川通り」で3,169.64m²となっています。

なお、前回調査から樹木の管理方法及び本数の計測方法が変更されたため、路線数は前回の239路線より増加しています。

表3-2-9-4 路線別低木面積(面積順)

No	路線名称	低木(m ²)	No	路線名称	低木(m ²)	No	路線名称	低木(m ²)	No	路線名称	低木(m ²)
1	しみず下通り	4,735.18	65	市道3-187号	146.70	129	市道4-253号	50.20	193	市道3-176号	16.20
2	美術館通り	3,981.20	66	市道2-157号	139.80	130	市道3-029号	50.20	194	市道4-024号	15.80
3	スタジアム通り	3,806.70	67	市道6-428号	132.68	131	宮町中央通り	50.10	195	市道5-103号	15.70
4	富士見通り	3,282.20	68	市道6-430号	130.17	132	市道6-217号	49.65	196	市道2-206号	15.20
5	多摩川通り	3,169.64	69	市道4-343号	129.60	133	市道6-140号	49.18	197	市道2-250号	15.00
6	浅間山通り	2,369.00	70	市道6-203号	129.05	134	市道3-445号	49.10	198	市道4-267号	15.00
7	白糸台通り	2,051.80	71	市道2-160号	126.92	135	市道4-022号	48.30	199	番場北裏通り	13.80
8	くすのき通り	2,036.76	72	市道5-201号	125.00	136	市道1-354号	48.00	200	市道1-349号	13.70
9	かえで通り	1,860.41	73	市道2-429号	123.30	137	市道1-108号	47.80	201	市道6-346号	13.33
10	あんず通り	1,519.30	74	市道4-388号	121.20	138	市道4-159号	47.45	202	京所道	12.10
11	平和通り	1,362.40	75	市道4-117号	120.60	139	市道6-258号	47.15	203	市道3-165号	12.00
12	朝日町通り	1,225.94	76	日新通り	118.91	140	市道6-136号	45.60	204	市道2-189号	11.76
13	学園通り	1,090.80	77	市道1-302号	118.40	141	市道5-141号	43.50	205	市道2-208号	11.76
14	市道2-279号	1,084.92	78	芝間通り	114.57	142	市道6-155号	42.18	206	市道6-059号	11.76
15	多磨霊園南参道	1,042.80	79	東大山道	113.28	143	市道2-234号	42.16	207	市道4-280号	11.10
16	いちょう通り	978.20	80	市道4-185号	112.10	144	市道6-320号	41.53	208	市道4-037号	10.80
17	市道6-294号	892.33	81	市道6-048号	111.30	145	市道2-148号	41.51	209	市道4-390号	10.20
18	横街道	873.60	82	市道3-288号	110.60	146	市道5-093号	41.00	210	市道6-276号	10.16
19	九中通り	862.98	83	市道2-283号	109.60	147	市道4-229号	40.55	211	市道4-041号	9.75
20	本宿小通り	825.40	84	市道3-148号	109.30	148	市道4-392号	39.30	212	市道5-168号	9.60
21	三屋通り	803.61	85	東郷寺通り	107.52	149	十中通り	39.20	213	市道5-013号	9.60
22	市道3-094号	692.20	86	市道1-102号	106.60	150	市道4-122号	38.66	214	市道5-231号	9.60
23	あかしあ通り	646.03	87	市道2-288号	102.27	151	市道6-286号	37.56	215	市道3-081号	9.40
24	市道4-258号	591.10	88	市道4-383号	100.60	152	市道4-234号	37.20	216	市道4-228号	8.40
25	ふるさと通り	563.70	89	市道6-264号	97.00	153	市道1-081号	36.90	217	市道4-025号	8.09
26	市道4-090号	550.00	90	本宿南裏通り	96.13	154	市道4-482号	36.20	218	市道3-286号	7.20
27	市道6-263号	458.40	91	市道6-351号	95.70	155	市道3-446号	36.10	219	本宿北裏通り	7.20
28	市道1-392号	407.20	92	市道3-017号	90.60	156	市道2-059号	36.02	220	市道6-050号	7.00
29	三本木通り	396.45	93	市道6-441号	90.22	157	市道2-318号	35.25	221	押立通り	6.72
30	市道2-231号	374.60	94	市道3-152号	88.50	158	市道1-230号	34.80	222	市道4-021号	6.72
31	市道4-081号	371.81	95	市道3-095号	82.70	159	市道1-303号	34.50	223	市道6-035号	6.60
32	桜通り	367.50	96	市道4-202号	82.30	160	市道3-427号	34.00	224	市道1-139号	6.40
33	市道2-424号	365.07	97	すずかけ通り	80.50	161	市道2-319号	32.80	225	市道4-162号	5.37
34	市道5-136号	344.20	98	分梅通り	78.96	162	市道3-211号	32.00	226	市道6-127号	5.00
35	中央道側道	335.08	99	市道1-300号	78.00	163	市道2-256号	31.59	227	市道4-139号	4.80
36	市道2-227号	329.24	100	市道5-167号	76.80	164	市道4-023号	30.87	228	市道2-285号	4.20
37	市道4-251号	326.00	101	市道2-107号	76.00	165	市道4-272号	30.60	229	市道3-285号	3.20
38	市道2-281号	323.52	102	市道2-297号	73.80	166	武藏台通り	30.60	230	市道4-027号	2.88
39	市道4-424号	314.80	103	市道3-257号	73.60	167	市道3-079号	29.20	231	市道2-164号	2.40
40	七小通り	310.30	104	市道2-312号	72.48	168	市道6-319号	28.10	232	市道2-302号	2.40
41	西府駅前通り	297.90	105	市道1-355号	72.00	169	市道1-096号	28.00	233	市道2-375号	2.00
42	六中通り	292.06	106	市道2-311号	70.60	170	市道2-295号	27.07	234	市道3-030号	1.60
43	市道3-430号	285.50	107	奈良橋通り	69.30	171	市道3-144号	26.80	235	御獵場道	0.00
44	市道1-433号	285.10	108	市道4-352号	68.00	172	市道5-211号	26.40	236	競馬場正門通り	0.00
45	市道1-307号	282.24	109	市道3-153号	66.90	173	市道6-087号	25.80	237	けやき並木通り	0.00
46	市道3-133号	272.20	110	市道2-243号	64.14	174	市道3-093号	25.00	238	市道1-021号	0.00
47	品川街道	257.30	111	市道6-218号	63.46	175	市道4-036号	24.80	239	市道1-206号	0.00
48	美好町通り	234.53	112	市道6-281号	61.85	176	市道4-074号	24.38	240	市道4-038号	0.00
49	市道4-124号	231.00	113	市道2-317号	61.65	177	市道3-058号	24.00	241	市道4-206号	0.00
50	競艇場通り	229.24	114	市道5-111号	61.10	178	市道6-080号	24.00	242	市道4-213号	0.00
51	是政通り	219.69	115	市道2-130号	60.90	179	市道3-172号	23.00	243	市道4-245号	0.00
52	市道1-458号	216.60	116	市道6-057号	59.09	180	市道3-134号	22.80	244	市道4-281号	0.00
53	市道6-229号	214.47	117	市道3-431号	58.00	181	市道6-288号	22.80	245	市道4-325号	0.00
54	市道6-439号	202.84	118	市道2-204号	57.40	182	市道6-128号	22.50	246	市道4-338号	0.00
55	市道1-410号	201.30	119	市道3-188号	56.40	183	市道4-398号	22.20	247	市道4-384号	0.00
56	市道2-023号	200.50	120	市道6-195号	55.90	184	市道6-235号	20.21	248	市道4-443号	0.00
57	府中駅前通り	195.00	121	大山道	54.90	185	市道5-101号	20.00	249	市道5-080号	0.00
58	日新四谷通り	190.20	122	市道6-326号	54.59	186	市道1-088号	18.48	250	市道5-087号	0.00
59	市道1-012号	175.30	123	新宿仲通り	52.80	187	市道6-279号	18.02	251	下河原通り	0.00
60	市道3-432号	173.70	124	市道6-325号	52.58	188	市道3-173号	18.00	252	市有通路4-29号	0.00
61	市道3-002号	167.40	125	市道6-265号	51.60	189	市道3-131号	17.60	253	多磨駅東通り	0.00
62	府中公園通り	159.60	126	市道3-405号	51.20	190	市道4-354号	16.80	254	南通り	0.00
63	市道1-090号	152.52	127	市道4-154号	51.00	191	市道1-147号	16.50	255	郵便局横	0.00
64	市道6-438号	149.25	128	市道4-284号	50.93	192	市道4-321号	16.20			

(2) 高木

高木が最も多い路線は、「多摩川通り」で531本です。次いで、「富士見通り」で436本、「浅間山通り」で332本、「美術館通り」で328本、「学園通り」で285本となっています。

表3-2-9-5 路線別・分類別高木本数(本数順)

No	路線名称	高木(本)				No	路線名称	高木(本)				No	路線名称	高木(本)			
		落葉樹	常緑樹	記載なし	合計			落葉樹	常緑樹	記載なし	合計			落葉樹	常緑樹	記載なし	合計
1	多摩川通り	519	9	31	531	86	市道6-325号	19	0	3	22	171	市道5-211号	6	0	0	6
2	富士見通り	274	162	0	436	87	市道6-140号	18	0	3	21	172	市道6-155号	6	0	0	6
3	浅間山通り	311	20	1	332	88	市道6-430号	16	5	0	21	173	市道6-258号	6	0	0	6
4	美術館通り	324	0	4	328	89	市道3-172号	20	0	0	20	174	市道3-446号	0	6	0	6
5	学園通り	277	8	0	285	90	市道4-325号	20	0	0	20	175	東大山道	0	6	0	6
6	いちょう通り	270	0	0	270	91	市道1-096号	0	20	0	20	176	市道1-230号	5	0	0	5
7	白糸台通り	164	98	0	262	92	市道3-431号	19	0	0	19	177	市道4-041号	5	0	0	5
8	みすみ下通り	214	0	12	226	93	市道6-229号	19	0	0	19	178	市道4-162号	5	0	0	5
9	スタジアム通り	207	0	0	207	94	市道3-148号	12	7	0	19	179	市道5-013号	5	0	0	5
10	かえで通り	98	71	0	169	95	南通り	0	19	0	19	180	市道2-157号	4	0	1	5
11	市道1-307号	164	0	0	164	96	市道2-281号	18	0	0	18	181	市道1-088号	4	0	0	4
12	ふるさと通り	85	74	0	159	97	市道3-288号	18	0	0	18	182	市道3-153号	4	0	0	4
13	桜通り	149	0	0	149	98	市道3-058号	0	18	0	18	183	市道4-253号	4	0	0	4
14	多磨霊園南参道	147	0	0	147	99	市道1-303号	17	0	0	17	184	市道4-398号	4	0	0	4
15	中央道側道	147	0	0	147	100	市道1-102号	0	17	0	17	185	市道5-101号	4	0	0	4
16	九中通り	26	116	0	142	101	市道3-188号	16	0	0	16	186	市道6-059号	4	0	0	4
17	平和通り	134	0	4	138	102	市道3-133号	8	8	0	16	187	市道6-235号	4	0	0	4
18	朝日町通り	94	41	0	135	103	市道1-147号	15	0	0	15	188	市道6-428号	4	0	0	4
19	あんず通り	101	6	26	133	104	市道3-134号	15	0	0	15	189	市道6-438号	4	0	0	4
20	市道1-094号	12	50	66	128	105	市道4-024号	15	0	0	15	190	市道4-281号	2	2	0	4
21	けやき並木通り	126	0	0	126	106	市道6-281号	15	0	0	15	191	押立通り	0	4	0	4
22	品川街道	122	0	1	123	107	市道6-351号	15	0	0	15	192	市道2-148号	3	0	0	3
23	競馬場通り	12	92	1	105	108	市道1-300号	14	0	0	14	193	市道2-204号	3	0	0	3
24	美野町通り	104	0	0	104	109	市道2-189号	14	0	0	14	194	市道3-081号	3	0	0	3
25	くすのき通り	0	98	0	98	110	市道2-285号	14	0	0	14	195	市道3-144号	3	0	0	3
26	日新四谷通り	83	0	0	83	111	市道4-154号	14	0	0	14	196	市道3-285号	3	0	0	3
27	府中公園通り	80	0	0	80	112	市道6-352号	14	0	0	14	197	市道4-206号	3	0	0	3
28	市道4-258号	32	47	0	79	113	市道6-203号	14	0	0	14	198	市道2-297号	0	3	0	3
29	市道2-231号	23	55	0	78	114	市道6-217号	14	0	0	14	199	市道4-229号	0	3	0	3
30	奈良橋通り	75	0	2	77	115	市道6-263号	14	0	0	14	200	三屋通り	2	0	0	2
31	三木木通り	65	0	11	76	116	市道2-317号	13	0	0	13	201	市道1-349号	2	0	0	2
32	下河原通り	56	20	0	76	117	市道2-319号	13	0	0	13	202	市道2-164号	2	0	0	2
33	市道1-302号	72	0	0	72	118	市道2-318号	12	1	0	13	203	市道2-311号	2	0	0	2
34	日新通り	70	0	0	70	119	市道3-427号	9	4	0	13	204	市道4-021号	2	0	0	2
35	市道2-160号	67	0	0	67	120	市道6-264号	2	11	0	13	205	市道4-027号	2	0	0	2
36	本宿小通り	61	0	0	61	121	は政通り	0	13	0	13	206	市道4-037号	2	0	0	2
37	横街道	59	0	0	59	122	市道4-234号	12	0	0	12	207	市道4-038号	2	0	0	2
38	十中通り	58	0	0	58	123	市道4-383号	12	0	0	12	208	市道5-103号	2	0	0	2
39	市道5-136号	58	0	0	58	124	市道5-141号	12	0	0	12	209	市道2-375号	1	1	0	2
40	市道4-124号	0	53	0	53	125	市道6-136号	12	0	0	12	210	市道3-152号	0	2	0	2
41	六中通り	52	0	0	52	126	市道4-213号	11	0	0	11	211	市道4-284号	0	2	0	2
42	市道4-202号	31	20	0	51	127	市道6-319号	11	0	0	11	212	市道1-021号	1	0	0	1
43	市道1-392号	49	0	0	49	128	市道6-439号	11	0	0	11	213	市道1-433号	1	0	0	1
44	市道1-228号	49	0	0	49	129	市道6-128号	7	4	0	11	214	市道4-036号	1	0	0	1
45	分梅通り	47	0	0	47	130	市道1-090号	10	0	0	10	215	市道4-280号	1	0	0	1
46	市道1-355号	44	0	0	44	131	市道2-059号	10	0	0	10	216	市道4-392号	1	0	0	1
47	新宿仲通り	43	0	0	43	132	市道2-288号	10	0	0	10	217	市道6-279号	1	0	0	1
48	あかしあ通り	42	0	0	42	133	市道2-424号	10	0	0	10	218	市道1-206号	0	1	0	1
49	市道2-227号	32	7	0	39	134	市道3-405号	10	0	0	10	219	大山道	0	0	0	0
50	市道2-243号	37	0	0	37	135	市道4-267号	10	0	0	10	220	御楓場道	0	0	0	0
51	市道5-087号	37	0	0	37	136	市道4-338号	10	0	0	10	221	競馬場正門通り	0	0	0	0
52	市道6-218号	36	0	0	36	137	市道4-354号	10	0	0	10	222	市道1-108号	0	0	0	0
53	市道2-107号	0	36	0	36	138	市道4-390号	10	0	0	10	223	市道1-139号	0	0	0	0
54	市道3-430号	35	0	0	35	139	市道6-035号	10	0	0	10	224	市道2-023号	0	0	0	0
55	七小通り	35	0	0	35	140	市道3-093号	9	0	1	10	225	市道2-206号	0	0	0	0
56	市道1-012号	32	2	0	34	141	市道4-117号	0	10	0	10	226	市道2-256号	0	0	0	0
57	市道4-443号	33	0	0	33	142	京町道	9	0	0	9	227	市道2-283号	0	0	0	0
58	武蔵台通り	33	0	0	33	143	市道2-208号	8	0	0	9	228	市道3-017号	0	0	0	0
59	市道4-424号	30	0	3	33	144	市道2-429号	9	0	0	9	229	市道3-030号	0	0	0	0
60	市道1-354号	31	0	0	31	145	市道3-286号	9	0	0	9	230	市道3-131号	0	0	0	0
61	市道3-187号	31	0	0	31	146	市道4-159号	9	0	0	9	231	市道3-165号	0	0	0	0
62	市道3-002号	30	0	0	30	147	市道6-326号	9	0	0	9	232	市道3-211号	0	0	0	0
63	市道2-234号	29	0	0	29	148	市道6-265号	0	9	0	9	233	市道4-090号	0	0	0	0
64	市道2-279号	18	11	0	29	149	市道2-295号	8	0	0	8	234	市道4-122号	0	0	0	0
65	本宿南通り	28	0	0	28	150	市道4-022号	8	0	0	8	235	市道4-139号	0	0	0	0
66	市道4-081号	27	1	0	28	151	市道4-272号	8	0	0	8	236	市道4-185号	0	0	0	0
67	市道4-384号	10	17	0	27	152	市道5-080号	8	0	0	8	237	市道4-321号	0	0	0	0
68	市道3-257号	26	0	0	26	153	市道2-130号	7	0	1	8	238	市道5-111号	0	0	0	0
69	市道6-320号	26	0	0	26	154	市道3-029号	0	8	0	8	239	市道5-167号	0	0	0	0
70	東郷寺通り	26	0	0	26	155	市道1-081号	7	0	0	7	240	市道5-168号	0	0	0	0
71	市道4-251号	16	10	0	26	156	市道2-312号	7	0	0	7	241	市道5-231号	0	0	0	0
72	市道3-095号	25	0	0	25	157	市道3-079号	7	0	0	7	242	市道6-048号	0	0	0	0
73	市道3-176号	25	0	0	25	158	市道3-445号										

3.2.10 橋りょう

市が管理する橋りょうの全体数量及び状況は、次のとおりです。

3.2.10.1 全体数量

(1) 数量

市が管理する橋りょうは、道路橋が21橋、歩道橋が15橋の合計36橋です。詳細は、次のとおりです。

表3-2-10-1 分類別數量

分類	橋りょう数	路線数	橋長*
道路橋	21 橋	19 路線	404.82m
歩道橋	15 橋	9 路線	401.78m
合計	36 橋	28 路線	806.60m

※橋長

- ・ 道路橋：橋台間の橋桁の長さのこと。
 - ・ 歩道橋：横断部の橋桁の長さのこと。（「東芝町地内歩行者用道路階段橋」を除く）

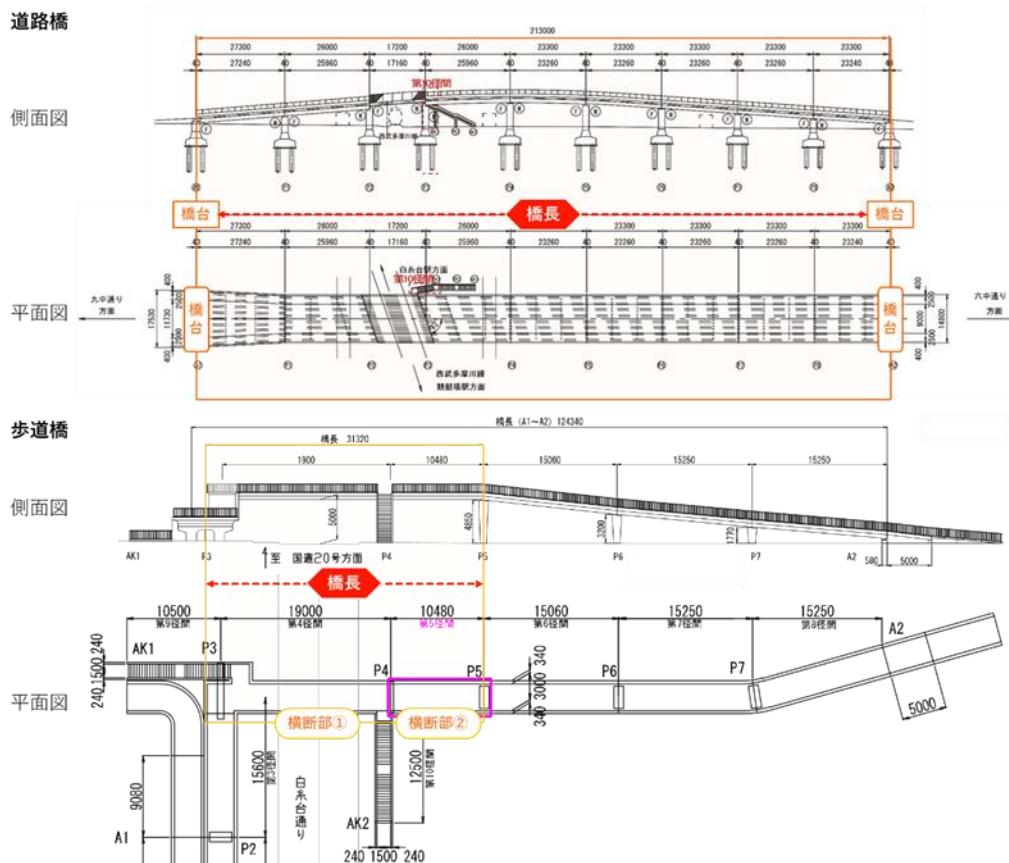


図3-2-10-1 分類別の橋長の範囲

(2) 一覧

市が管理する橋りょうの一覧は、次のとおりです。

表3-2-10-2 道路橋一覧(50音順)

No	橋りょう名	路線名称	所在地	橋長	建設年	橋種
1	大山橋	大山道	日新町 2-23	5.80m	昭和38年	PC橋
2	小柳橋	市道2-107号	小柳町 1-14-3	14.76m	昭和59年	RC橋
3	相模橋	大山道	日新町 2-39-26	4.00m	昭和41年	PC橋
4	白糸橋1号	市道2-221号	白糸台 5-18-2	10.94m	昭和51年	RC橋
5	白糸橋2号	白糸台通り	白糸台 5-19-5	10.54m	昭和51年	RC橋
6	白糸橋3号	白糸台通り	白糸台 5-5-10	15.00m	昭和51年	RC橋
7 [※]	雑田橋	市道4-173号	本町 3-31-34	4.50m	昭和47年	RC橋
					不明	PC橋
8	中央道側道1号	中央道側道	是政 3-64-5	7.50m	昭和40年	PC橋
9	鶴代橋	しみず下通り	小柳町 2-45	213.00m	平成2年	PC橋
10	火の見橋	市道6-176号	四谷 2-64	2.73m	昭和40年	RC橋
11	富士見通り立体橋	富士見通り	晴見町 2-24-14	71.00m	昭和48年	鋼橋
12	みょうらい橋	市道4-90号	本町 2-10-13	16.60m	昭和52年	PC橋
13 [※]	矢崎排水第三号橋	市道4-280号	是政 3-47-1	4.70m	昭和37年	PC橋
					昭和49年	PC橋
14	208号	東大山道	四谷 4-8-1	3.70m	昭和39年	RC橋
15	256号	市道4-276号	是政 3-60-4	4.54m	昭和42年	RC橋
16	261号	市道6-117号	住吉町 1-32	2.46m	昭和47年	RC橋
17	262号	市道6-121号	住吉町 4-26	2.40m	昭和40年	RC橋
18	264号	市道6-67号	日新町 4-40	2.90m	昭和40年	RC橋
19	265号	市道6-263号	日新町 5-29	2.36m	昭和41年	RC橋
20	267号	三屋通り	四谷 4-53	2.99m	昭和45年	RC橋
21	270号	市道6-269号	日新町 4-46	2.40m	昭和42年	RC橋

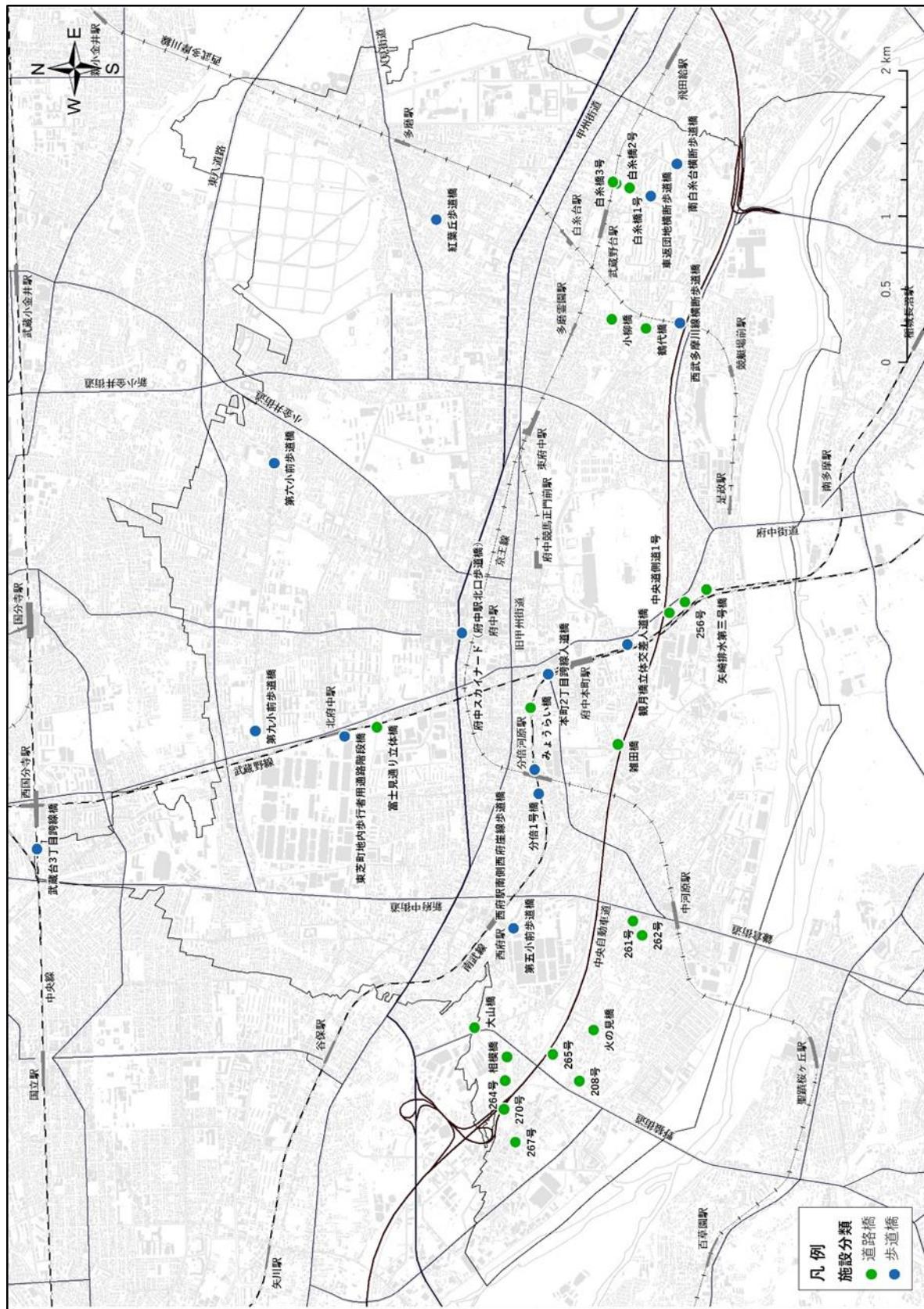
※No. 7雑田橋とNo. 13矢崎排水第三号橋は、一橋で分離構造(別構造形式)の橋りょうです。

表3-2-10-3 歩道橋一覧(50音順)

No	橋りょう名	路線名称	所在地	橋長	建設年	橋種
1	観月橋 立体交差人道橋	市道4-507号	矢崎町 1-32-2	8.11m	昭和50年	RC橋
2	車返団地横断歩道橋	白糸台通り	白糸台 5-31	31.32m	昭和50年	PC橋
3	西武多摩川線 横断歩道橋	市道2-130号	小柳町 2-46	16.60m	昭和48年	鋼橋
4	第五小前歩道橋	市道6-441号	日新町 1-7	32.86m	平成4年	鋼橋
5	第六小前歩道橋	学園通り	天神町 4-14	11.35m	昭和43年	鋼橋
6	第九小前歩道橋	学園通り	栄町 3-7	12.65m	昭和43年	鋼橋
7	東芝町地内歩行者用 通路階段橋	市道5-281号	東芝町 1	19.65m	平成26年	鋼橋
8	西府駅南側 西府崖線歩道橋	市道6-441号	日新町 1-6	47.77m	平成20年	鋼橋
9*	府中スカイナード (府中駅北口歩道橋)	けやき並木通り	府中町 1-14	34.54m	平成5年	鋼橋
10	分倍1号橋	市道4-158号	分梅町 1-7	19.40m	昭和4年	鋼橋
11	分倍河原駅人道橋	かえで通り	片町 2-38	53.77m	昭和53年	鋼橋
12	本町2丁目 跨線人道橋	市道4-122号	本町 1-6-1	55.80m	昭和49年	鋼橋
13	南白糸台横断歩道橋	しみず下通り	押立町 2-30	24.47m	昭和50年	鋼橋
14	武蔵台3丁目跨線橋	市道5-174号	武蔵台 3-52-9	23.00m	昭和35年	鋼橋
15	紅葉丘歩道橋	多磨霊園南参道	紅葉丘 1-30	10.50m	昭和43年	鋼橋

※No. 9府中スカイナード(府中駅北口歩道橋)は、令和2年度に改修工事を実施していますが、建設時の構造(橋桁)を引き続き使用しているため、建設年は平成5年です。

3.2.10.2 位置



3-2-10
(りょうり) 橋の整備状況(リソース)

図3-2-10-2 分類別位置図

3.2.10.3 整備状況

(1) 推移

市が管理する橋りょうの数は、道路交通需要が増大した高度経済成長期である昭和35年から昭和44年にかけて建設され急増しており、橋りょうの管理延長は、昭和47年から昭和54年にかけて増加しています。これは、建設技術の向上等により、昭和45年以前に建設された橋りょうに比べ、1橋あたりの規模が大きくなつたことによります。

なお、分離構造の橋りょうは、1つの橋りょうとして建設年が古いものに合わせて集計しています。

3-2-10

インフラの整備状況(橋りょう)

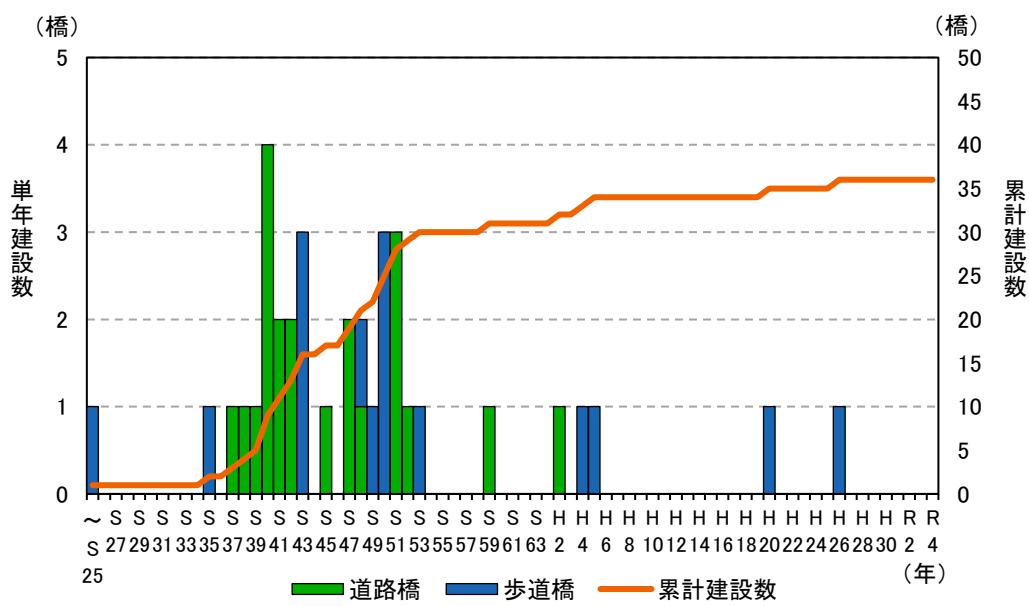


図3-2-10-3 建設数量推移

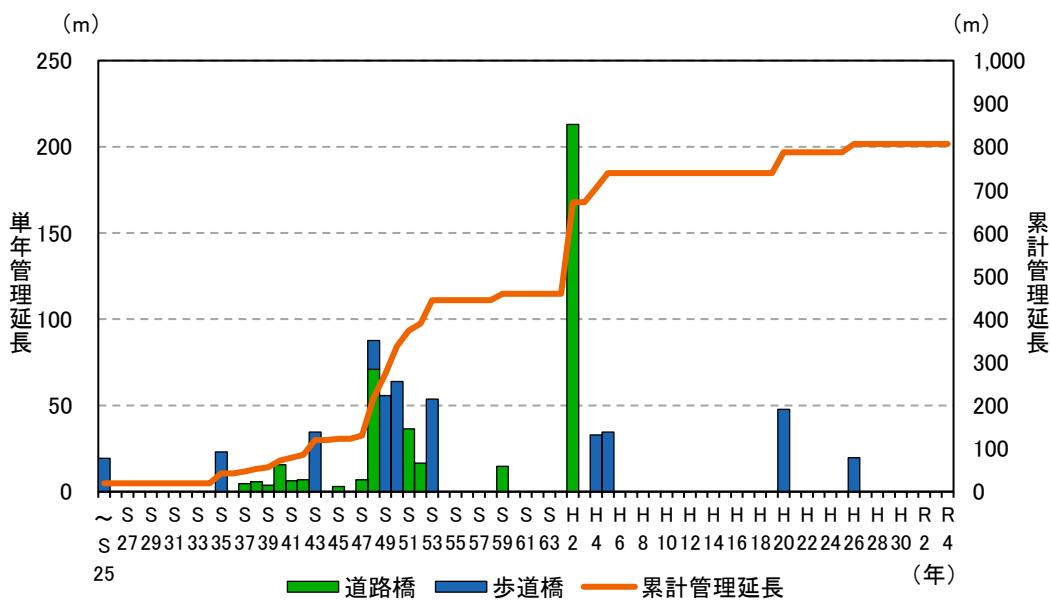


図3-2-10-4 管理延長推移

(2) 建設年

令和4年現在、建設から50年以上を経過した橋りょうは19橋で全体の半数以上になります。これは、全国平均の約37%※と比べ高くなっています。また、建設後40年以上を含めた全体の8割以上の橋りょうを、耐用年数が短い高齢化橋りょうとして維持することとなります。

※出典:『道路メンテナンス年報』(国土交通省道路局、令和5年)

表3-2-10-4 建設後年数区分

経年	建設年代	合計	割合
建設後50年以上経過	～昭和47年	19橋	52.8%
建設後40年～49年が経過	昭和48年～昭和57年	11橋	30.6%
建設後30年～39年が経過	昭和58年～平成4年	3橋	8.3%
建設後20年～29年が経過	平成5年～平成14年	1橋	2.8%
建設後10年～19年が経過	平成15年～平成24年	1橋	2.8%
建設後9年以下	平成25年～	1橋	2.8%
合計	－	36橋	100.0%

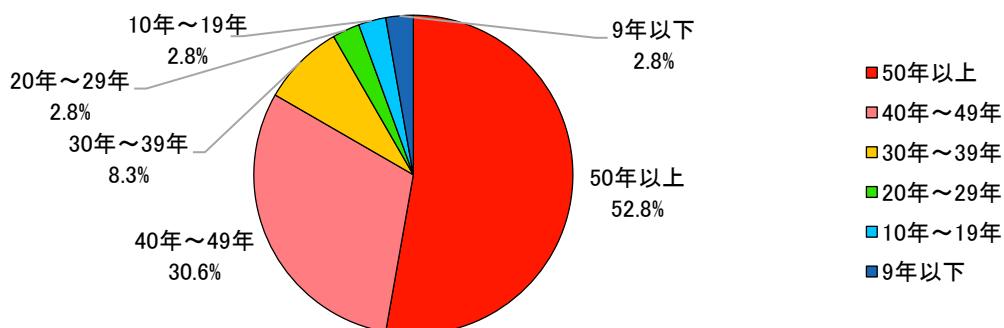


図3-2-10-5 建設後年数区分

橋りょうを今後も供用し続ける条件で将来推計を行いました。令和4年を基準に建設後50年以上と50年未満で整理した場合、建設後50年以上を経過する橋りょうの割合は、10年後の令和14年に83.3%、『府中市インフラマネジメント計画(2018年度)』(平成30年)の計画最終年である令和34年に94.4%となります。

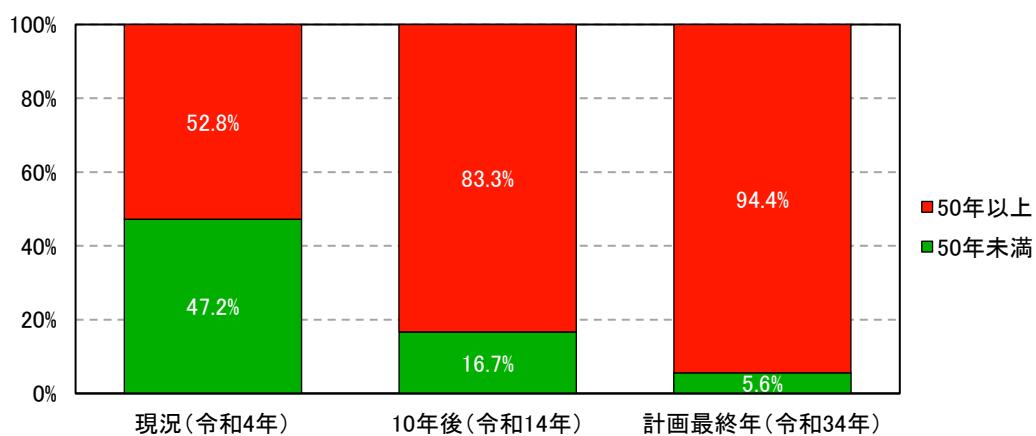


図3-2-10-6 計画期間に建設後50年以上経過する管理橋りょうの割合

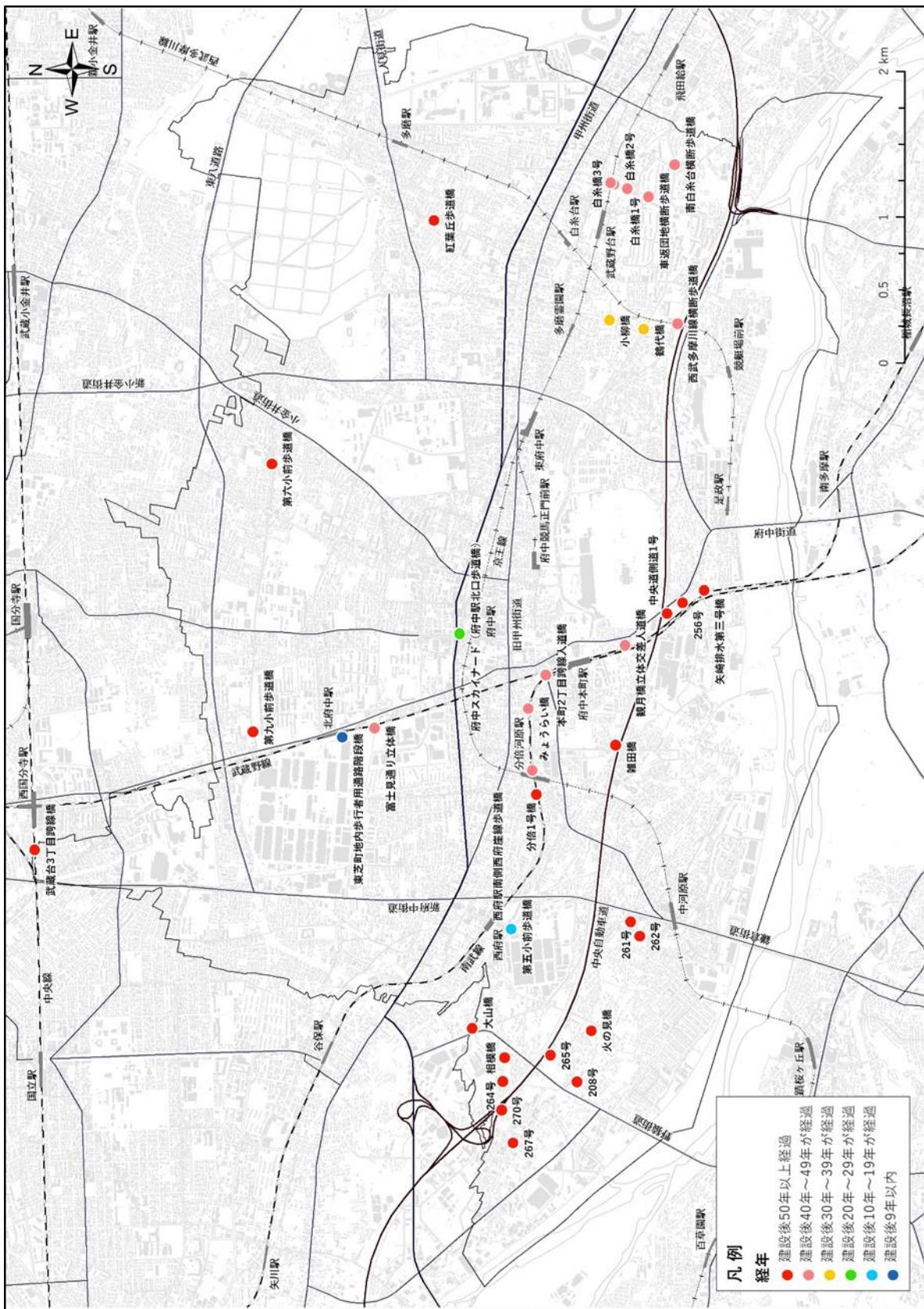


図3-2-10-7 建設年代別位置図

(3) 橋種

市が管理する橋りょうの材質を、橋りょうの数量で集計すると、RC橋及び鋼橋がそれぞれ38.9%となっています。また、橋長で比較すると、鋼橋が53.7%となっています。

表3-2-10-5 橋種別数量及び橋長

橋種	数量	数量割合	橋長	延長割合
PC橋 (プレストレスト・コンクリート橋)	7橋	19.4%	282.92m	35.1%
RC橋 (鉄筋コンクリート橋)	14橋	38.9%	85.83m	10.6%
PC/RC橋	1橋	2.8%	4.50m	0.6%
鋼橋	14橋	38.9%	433.35m	53.7%
合計	36橋	100.0%	806.60m	100.0%

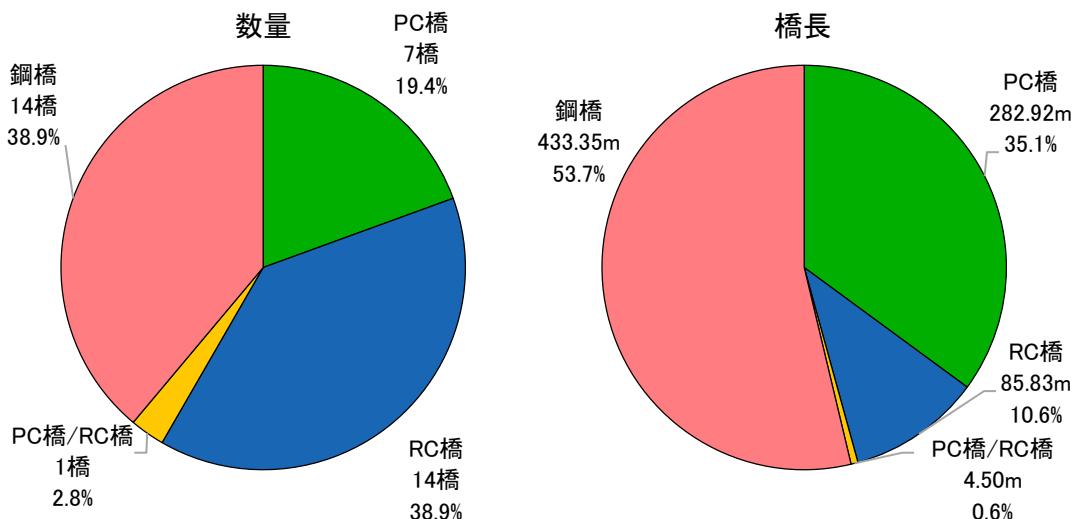


図3-2-10-8 橋種別数量及び橋長

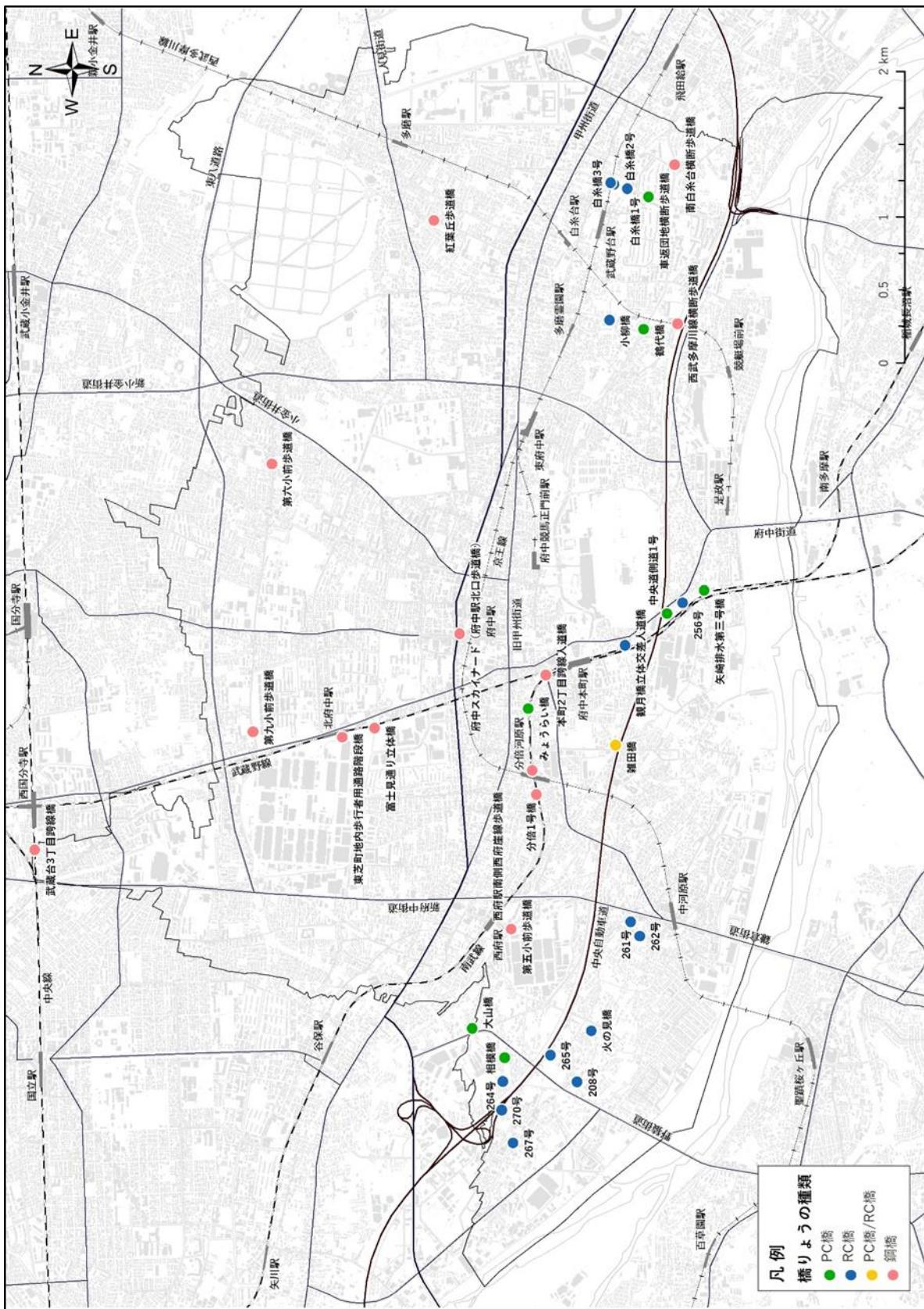


図3-2-10-9 橋種別位置図

(4) 橋長

橋長別に分類すると、橋長が10m以下のものが最も多く建設されています。また、「鶴代橋」は市で唯一100mを越える大型道路橋であり、橋長は213mです。

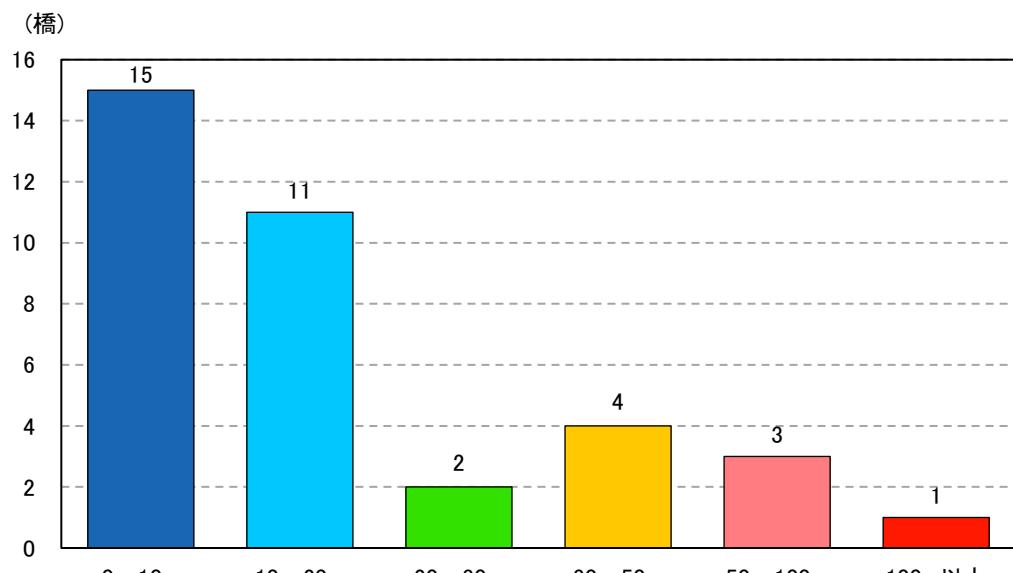
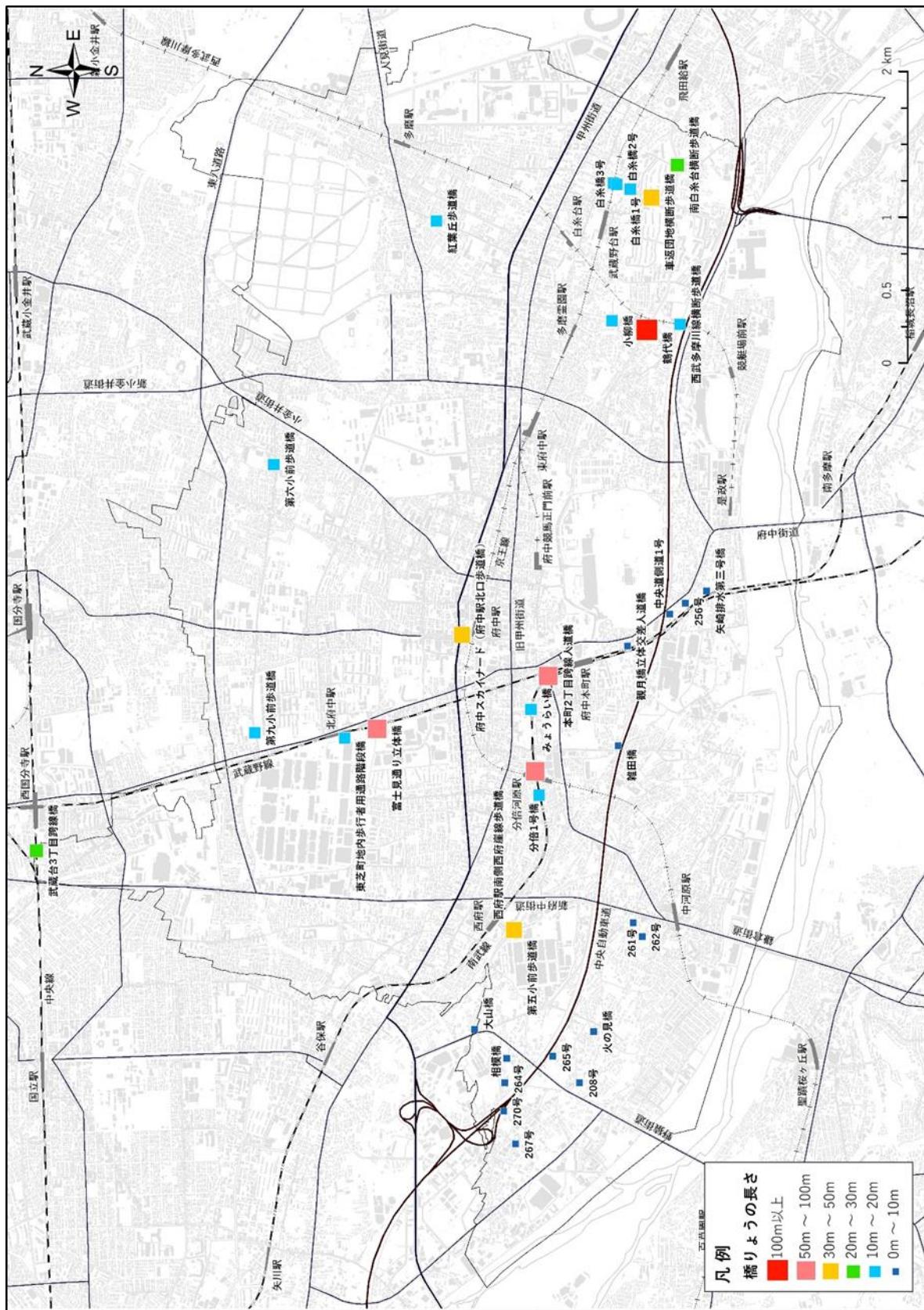


図3-2-10-10 橋長別数量



3.2.10.4 点検結果

(1) 条件

平成25年の道路法等の改正により、道路橋等について、5年に1回の頻度を基本として定期的に点検し、健全性を把握しつつ道路の効率的な維持及び修繕を図るため、必要な措置を講ずるよう規定されました。市における橋りょう36橋（うち2橋は分離構造のため構造ごとに点検・判定）について、令和2年度から令和3年度の2か年にわたり近接目視点検を行いました。橋りょう点検は、『道路橋定期点検要領』（国土交通省道路局、平成31年）に基づいて実施しています。

表3-2-10-6 点検実施橋りょう数

橋長及び分類	令和2~3年度 点検実施橋りょう数	橋種		
		PC橋	RC橋	鋼橋
橋長15m以上の道路橋	4橋	2橋	1橋	1橋
橋長15m未満の道路橋	19橋	6橋	13橋	0橋
歩道橋	15橋	1橋	1橋	13橋
合計	38橋	9橋	15橋	14橋

表3-2-10-7 損傷程度の判定区分

判定区分		状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。

※出典：『道路橋定期点検要領』（国土交通省道路局、平成31年）

(2) 結果

近接目視点検を行った36橋の損傷状況は、次のとおりです。点検の結果では、緊急に補修が必要な「IV判定（緊急措置段階）」の橋りょうはありません。

なお、主な損傷は、上部工と下部工のコンクリートのひび割れや腐食です。

表3-2-10-8 近接目視点検による道路橋の損傷程度一覧(50音順)

No	橋りょう名	橋種	R2 R3	H27 H28	結果概要
1	大山橋	PC	II	I	拡幅部の主桁端部のH鋼及び支承部のアンカーボルトの腐食は、予防保全の観点から速やかに塗替塗装工を行なうことが望ましい。
2	小柳橋	RC	II	III	上下部工のひびわれや防護柵の変形・欠損は、予防保全の観点から補修を行なうことが望ましい。
3	相模橋	PC	I	I	特に目立った損傷は見られず、健全な状態である。
4	白糸橋1号	RC	III	III	主桁や支承部等にうきや鉄筋露出が多数見られ、耐久性確保と第三者被害防止の観点から早期に断面修復工等の補修を行なうことが望ましい。
5	白糸橋2号	RC	III	III	床版の剥離・鉄筋露出は、耐久性確保と第三者被害防止の観点から早急に断面修復工等の補修を行なうことが望ましい。
6	白糸橋3号	RC	III	III	床版の剥離・鉄筋露出は、耐久性確保と第三者被害防止の観点から早急に断面修復工等の補修を行なうことが望ましい。
7-1	雑田橋(1)	RC	II	II	橋台のひびわれは、予防保全の観点から補修を行なうことが望ましい。
7-2	雑田橋(2)	PC	I	I	橋りょう構造の安全性に影響する損傷は見られないが、地覆の剥離・鉄筋露出が広範囲に見られるため、予防保全の観点から補修が望ましい。
8	中央道側道1号	PC	II	II	橋台のひびわれは、予防保全の観点から補修が望ましい。舗装の異常、路面の凹凸は二輪車等の転倒の危険性があるため、早期補修が望ましい。
9	鶴代橋	PC	II	II	橋脚のひびわれは予防保全の観点から補修が望ましい。舗装の異常、路面の凹凸は二輪車等の転倒の危険性があるため、早期補修が望ましい。
10	火の見橋	RC	II	II	主桁及び防護柵の鉄筋露出は、予防保全の観点から断面修復工等の補修を行なうことが望ましい。
11	富士見通り立体橋	鋼	III	III	床版や防護柵等にうきや鉄筋露出が多数見られ、耐久性確保と第三者被害防止の観点から早期に断面修復工等の補修を行なうことが望ましい。
12	みょうらい橋	PC	II	II	主桁、橋台のひびわれや地覆の剥離・鉄筋露出は、予防保全の観点から補修が望ましい。排水柵の土砂詰まりは、維持工事が望ましい。
13-1	矢崎排水第三号橋(1)	PC	III	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られ、PC桁より露出した鋼線の腐食が進行した場合の耐荷力低下が懸念されるため、早期に断面修復工等を行なう必要がある。
13-2	矢崎排水第三号橋(2)	PC	II	II	橋台のひびわれ及び剥離は、予防保全の観点から補修を行なうことが望ましい。
14	208号	RC	II	II	主桁の鉄筋露出及び防護柵の剥離・鉄筋露出、変形・欠損は、予防保全の観点から補修を行なうことが望ましい。
15	256号	RC	I	II	橋りょう構造の安全性に影響する損傷は見られないが、高欄の剥離・鉄筋露出が広範囲に見られるため、予防保全の観点から補修が望ましい。
16	261号	RC	I	I	特に目立った損傷は見られず、健全な状態である。
17	262号	RC	I	I	特に目立った損傷は見られず、健全な状態である。
18	264号	RC	I	II	橋りょう構造の安全性に影響する損傷は見られないが、防護柵の横桟の欠損は、維持工事等での補修が望ましい。
19	265号	RC	I	I	橋りょう構造の安全性に影響する損傷は見られないが、防護柵の支柱に欠損が見られるため、予防保全の観点から補修が望ましい。
20	267号	RC	I	I	特に目立った損傷は見られず、健全な状態である。
21	270号	RC	II	II	主桁、橋脚の鉄筋露出は、予防保全の観点から断面修復工等の補修を行なうことが望ましい。

表3-2-10-9 近接目視点検による歩道橋の損傷程度一覧(50音順)

No	橋りょう名	橋種	R2 R3	H27 H28	結果概要
1	観月橋 立体交差人道橋	RC	III	III	主桁のひびわれが多数見られるため、早期にひびわれ補修を行なうことが望ましい。
2	車返団地横断歩道橋	PC	III	III	主桁、地覆、橋脚、階段部に剥離・鉄筋露出、うき、ひびわれ等が見られ、第三者被害予防や耐久性の確保のため、早期の補修が望ましい。
3	西武多摩川線 横断歩道橋	鋼	III	II	全体的に著しい腐食が生じておおり、踏み板には欠損が見られる。第三者被害予防や耐久性の確保のため、早期の補修が望ましい。
4	第五小前歩道橋	鋼	I	III	補修が実施され、健全性が回復している。特に目立った損傷は見られず、健全な状態である。
5	第六小前歩道橋	鋼	I	III	補修が実施され、健全性が回復している。特に目立った損傷は見られず、健全な状態である。
6	第九小前歩道橋	鋼	I	III	補修が実施され、健全性が回復している。特に目立った損傷は見られず、健全な状態である。
7	東芝町地内 歩行者用通路階段橋	鋼	I	II	軽微な損傷は見られるが、概ね健全である。
8	西府駅 南側西府崖線歩道橋	鋼	II	II	特に目立った損傷は見られず、概ね健全な状態であるが、支承部のアンカーボルトのゆるみ、上部工との接合部のボルトのゆるみ、高欄の落書きは維持工事対応が望ましい。
9	府中スカイナード (府中駅北口歩道橋)	鋼	I	I	改修工事が実施され、健全性が回復している。特に目立った損傷は見られず、健全な状態である。
10	分倍1号橋	鋼	III	II	全体的に腐食が生じておいる。主桁や橋脚基部等の腐食が進行しており、床版からは漏水・遊離石灰が生じておいるため、早期に塗替塗装等の補修を行なうことが望ましい。また、路面の凹凸や舗装の異常は、第三者被害防止の観点から補修を行なうことが望ましい。
11	分倍河原駅人道橋	鋼	III	III	全体的に腐食が生じておおり、階段部の主桁や床版、上部工との接合部等の腐食が進行していることや、階段部の数か所に孔食が見られることから、構造安全性が懸念されるため、早期に塗替塗装や階段部の補強補修等を行なうことが望ましい。
12	武藏台3丁目跨線橋	鋼	III	III	全体的に腐食が生じておおり、床版や支承部等の腐食が進行しているため、早期に塗替塗装等の補修を行なうことが望ましい。また、路面の凹凸や踏み板の欠損は、歩行者等の転倒の危険性があるため、第三者被害防止の観点から断面修復工等の補修を行なうことが望ましい。
13	本町2丁目 跨線人道橋	鋼	II	III	全体的に腐食が生じておおり、主桁や床版等の腐食が進行しているため、予防保全の観点から塗替塗装等の補修を行なうことが望ましい。一部に補修が実施され、健全性が回復している。
14	南白糸台横断歩道橋	鋼	III	III	南側の主桁、横桁に断面欠損を伴う腐食の進行が見られ、早期の補修が必要である。
15	紅葉丘歩道橋	鋼	III	III	全体的に腐食が生じておおり、横桁や橋脚基部、階段蹴上げ等の腐食が進行しているため、早期に塗替塗装等の補修を行なうことが望ましい。

3.2.10.5 地域区分別数量

市が管理する道路橋と歩道橋の地域区分別の数量は、次のとおりです。また、地域区分と橋りょう位置を示した位置図を次に示します。

3-2-10

インフラの整備状況(橋りょう)

表3-2-10-10 地域区分別一覧

地域区分	種別	橋りょう	地域区分	種別	橋りょう名
第1地域	道路橋	白糸橋1号	第5地域	道路橋	-
		白糸橋2号		歩道橋	東芝町地内 歩行者用通路階段橋
		白糸橋3号			武藏台3丁目跨線橋
	歩道橋	紅葉丘歩道橋			
第2地域	道路橋	小柳橋	第6地域	道路橋	富士見通り立体橋
		中央道側道1号		歩道橋	分倍1号橋
		鶴代橋			分倍河原駅人道橋
		矢崎排水第三号橋	第7地域	道路橋	雑田橋
		256号			261号
	歩道橋	車返団地横断歩道橋			262号
		西武多摩川線		歩道橋	観月橋立体交差人道橋
		横断歩道橋車返団地横	第8地域	道路橋	大山橋
		南白糸台横断歩道橋			相模橋
					火の見橋
第3地域	道路橋	-			208号
	歩道橋	第六小前歩道橋			264号
		第九小前歩道橋		歩道橋	265号
第4地域	道路橋	みょうらい橋			267号
	歩道橋	府中スカイナード (府中駅北口歩道橋)			270号
		本町2丁目跨線人道橋		歩道橋	第五小前歩道橋
					西府駅南側 西府崖線歩道橋

インフラの整備状況（橋りょう）

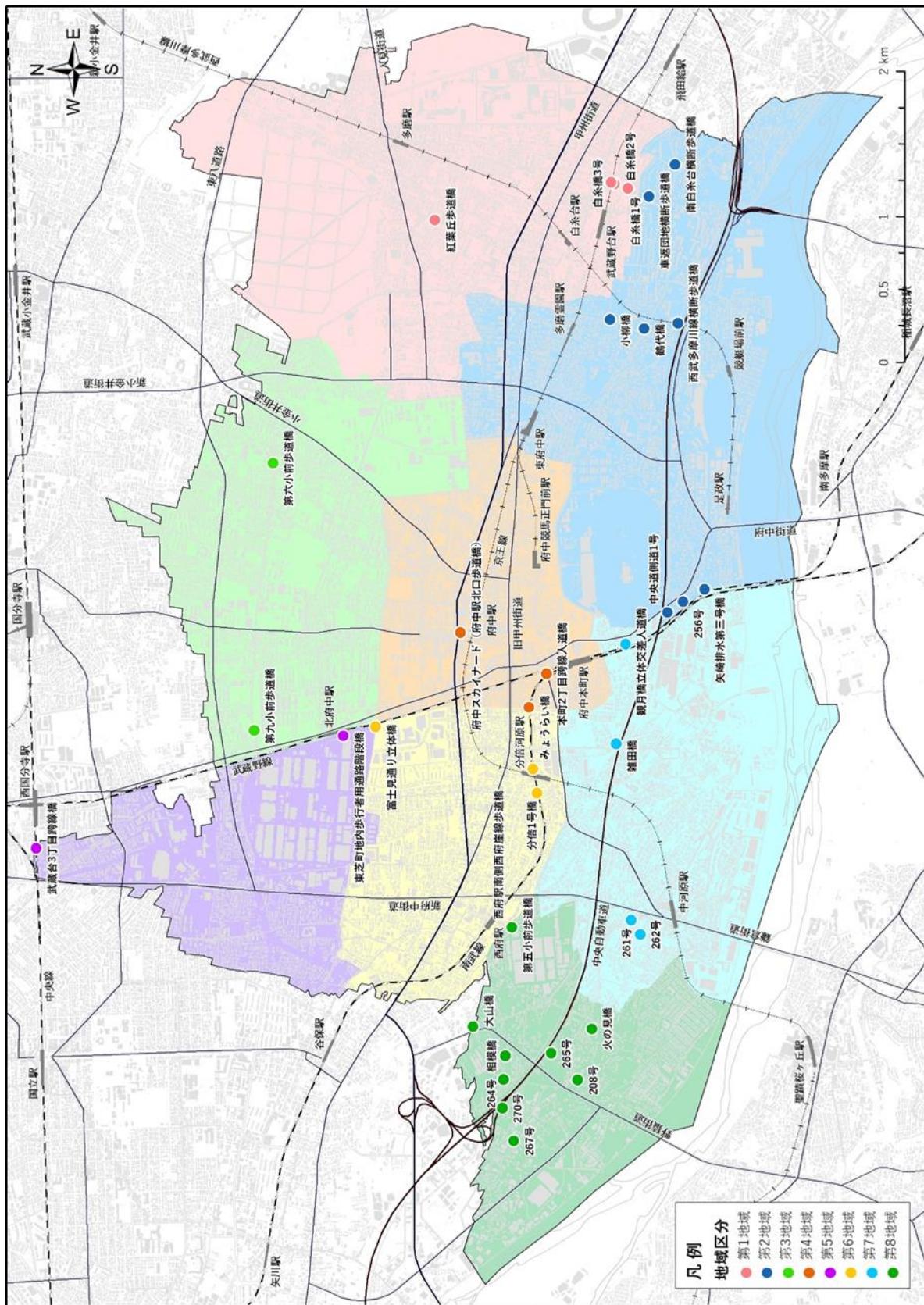


図3-2-10-12 地域区分別位置図

3.2.11 立体横断施設等

市が管理する立体横断施設等の全体数量及び状況は、次のとおりです。

3.2.11.1 全体数量

市が管理する立体横断施設等は、ペデストリアンデッキ、エレベーター、エスカレーターの3種類で、車道または鉄道の路面を横断する歩行者や自転車利用者などを立体的に分離し、安全に通行することなどを目的に設置されています。

表3-2-11-1 立体横断施設等一覧(設置年度順)

No	分類	名称1	名称2	設置駅	設置年度
1	ペデストリアン デッキ	府中駅北口	-	府中駅	平成6年度
2		府中駅南口	-	府中駅	平成7年度
3	エレベーター	府中駅北口歩道橋 エレベーター	-	府中駅	平成6年度
4		府中本町駅構外西側 エレベーター	-	府中本町駅	平成10年度
5		府中本町駅構外北側 エレベーター	-	府中本町駅	平成15年度
6		西府駅自由通路 エレベーター	駅北側	西府駅	平成21年度
7			駅南側		平成21年度
8		西府駅南側歩道橋 エレベーター	-	-	平成21年度
9		分倍河原駅南側 エレベーター	-	分倍河原駅	平成24年度
10		府中駅北口エレベーター	-	府中駅	平成29年度
11		府中駅南口エレベーター	-	府中駅	平成29年度
12		多磨駅自由通路 エレベーター	駅北側	多磨駅	令和2年度
13			駅南側	多磨駅	令和2年度
14		府中スカイナード歩道橋 エレベーター	-	府中駅	令和3年度
15	エスカレーター	西府駅自由通路 エスカレーター	駅北側上り	西府駅	平成21年度
16			駅北側下り		平成21年度
17			駅南側上り		平成21年度
18			駅南側下り		平成21年度
19		多磨駅自由通路 エスカレーター	駅東側上り	多磨駅	令和2年度
20			駅西側上り		令和2年度

※No.2府中駅南口の一部では平成16年度に拡幅工事、平成29年度に設置工事を実施していますが、供用開始日を設置年度としています。

3.2.11.2 位置

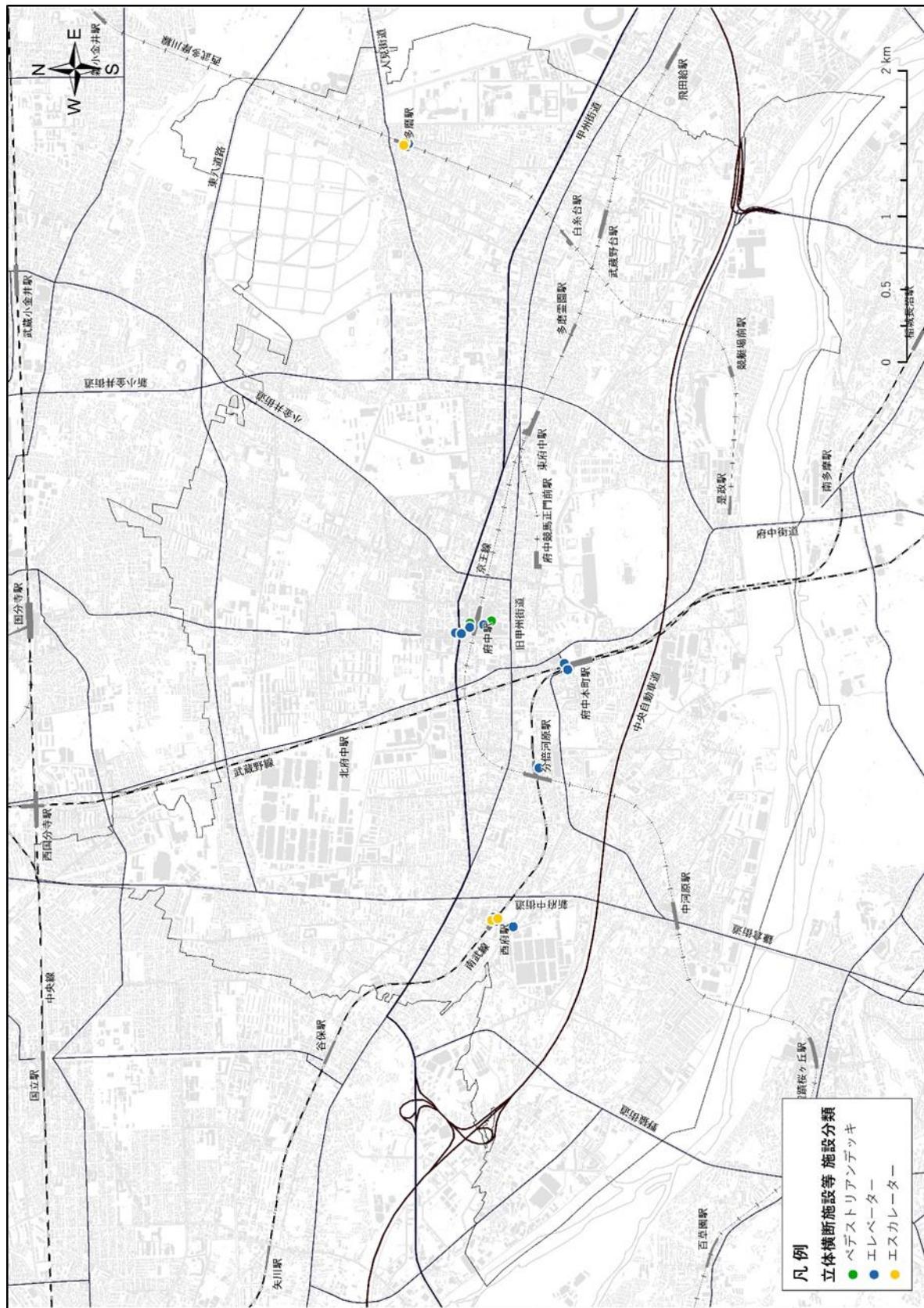


図3-2-11-1 分類別位置図(市全域)

3-2-11

インフラの整備状況(立体横断施設等)

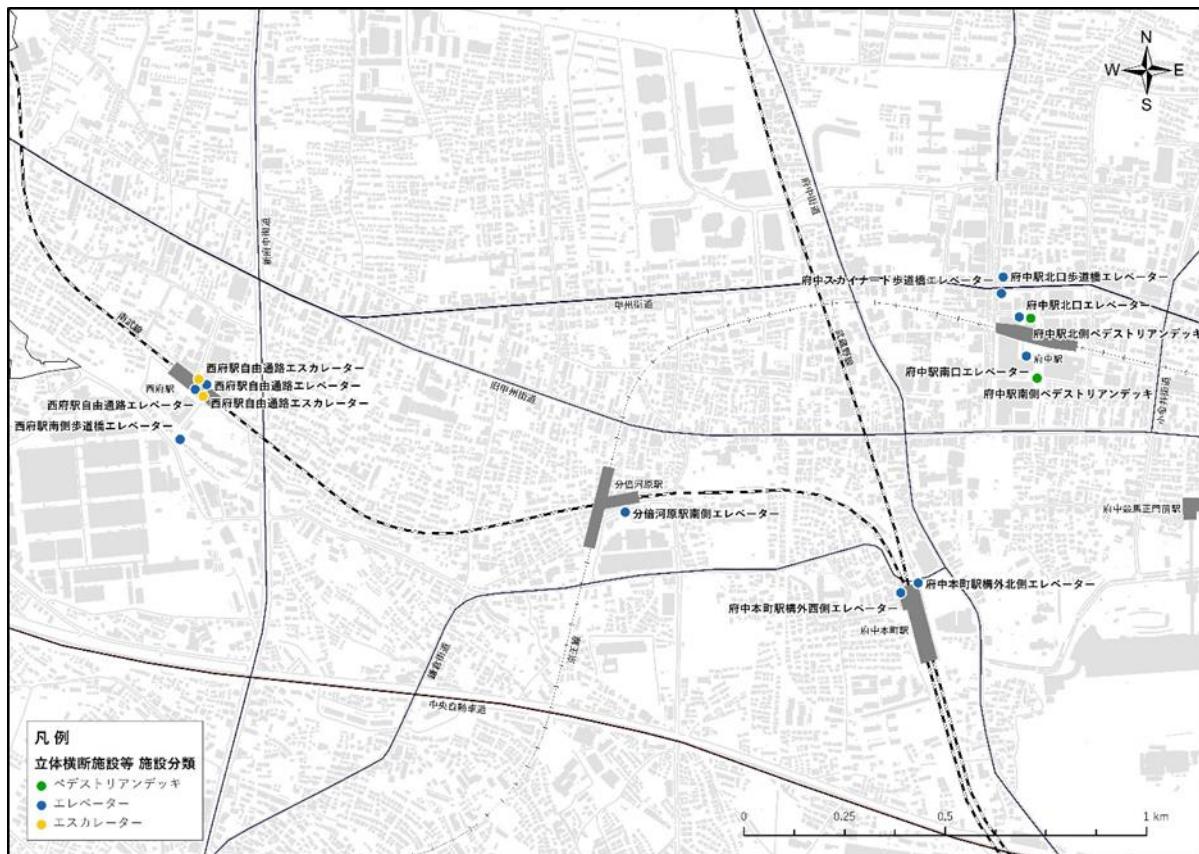


図3-2-11-2 分類別位置図(府中駅・分倍河原駅・府中本町駅・西府駅)

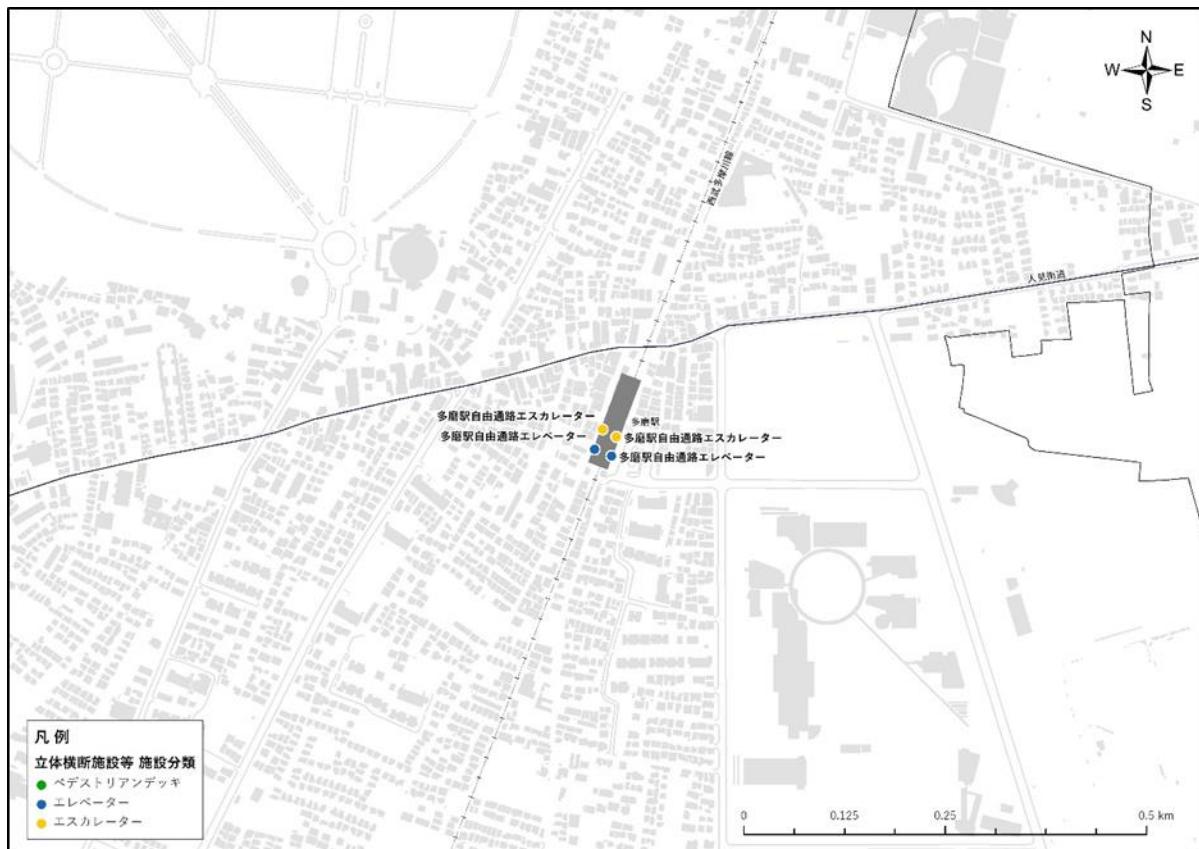


図3-2-11-3 分類別位置図(多磨駅)

3.2.11.3 整備状況

平成30年度から令和4年度までの過去5年間で、令和2年度の多磨駅自由通路の供用開始に併せて、エレベーター2基とエスカレーター2基が設置されたほか、令和3年度に府中スカイナード歩道橋の改修に併せて、エレベーターを1基設置しています。

3.2.11.4 管理状況

（1）ペデストリアンデッキ

平成30年度に近接目視点検及び改修工事を実施しています。また、令和元年度に策定した『府中駅ペデストリアンデッキ維持管理計画』に基づき、今後は5年ごとに定期点検として、近接目視点検を実施する予定です。

（2）エレベーター・エスカレーター

全ての機器を対象に、年1回定期検査報告として、国土交通省の基準に基づき、検査を行っています。

また、月1回保守点検として、安全性と性能面から稼働に問題ないか点検を行っています。そのほか、全てのエレベーターは、遠隔保守監視サービスを実施しており、機器を良好な状態に保つようにしています。

3.2.12 大型構造物

市が管理する大型構造物の全体数量及び状況は、次のとおりです。

3.2.12.1 全体数量

市が管理する大型構造物は、22か所です。なお、大型構造物は、主に鉄道や道路部との交差箇所に、アンダーパスや地下通路部等として、ボックスカルバートや地下道の擁壁などを設置しています。

表3-2-12-1 大型構造物一覧(構造・設備・車線数順)

No	名称1	名称2	路線名称	交差物	構造		設備	車線数
					建築物	擁壁		
1	多磨駅自由通路 [※]	-	市道1-467号	鉄道	●	-	-	-
2	西府駅自由通路	-	-	鉄道	●	-	-	-
3	サントリー前アンダー	第一是政	中央道側道	鉄道	-	● ● ● ● ●	2	
4	観月橋立体	矢崎架道橋	市道4-507号	鉄道	-	● ● ● ● ●	1	
5	矢崎町3丁目歩道アンダー	是政 第二架道橋	市道4-198号	鉄道 高速道路	-	● ● ● ● ●	-	
6	亀里橋アンダー	-	市道4-320号	都道	-	● ● ● ●	-	-
7	二ヶ村緑道	-	是政通り	市道	-	● ● ● ●	-	-
8	新田川緑道	-	-	鉄道	-	● ● ●	-	-
9	横街道アンダーパス	横街道第二	横街道	鉄道	-	● - ● ●	2	
10	村雨川ガード	-	市道4-280号	鉄道	-	● - ● ●	1	
11	武蔵台通りアンダーパス	横街道第一	武蔵台通り	鉄道	-	● - ● -	2	
12	小柳散歩道	-	-	鉄道	-	● - ● -	-	
13	矢崎地下道	-	市道4-132号	鉄道	-	● - ● -	-	
14	九中通りアンダーパス	-	九中通り	市道	-	● - - -	2	
15	白糸台通り アンダーパス	-	白糸台通り	市道	-	● - - -	2	
16	白糸台4丁目擁壁	-	市道2-204号	市道	-	● - - -	1	
17	富士見通り立体	-	富士見通り	鉄道	-	● - - -	-	
18	多磨霊園駅地下道	-	市道2-310号	鉄道	-	- ● ● -	-	
19	西府駅地下通路(西)	-	-	鉄道	-	- ● ● -	-	
20	西府駅地下通路(東)	-	-	鉄道	-	- ● ● -	-	
21	白糸台地下道	-	-	鉄道	-	- ● - -	-	
22	白糸台6丁目通路	-	しみず下通り	市道	-	- ● - -	-	

※No. 1 多磨駅自由通路は道路認定されていますが、大型構造物として集計しています。

3-2-12

インフラの整備状況(大型構造物)

3.2.12.2 位置

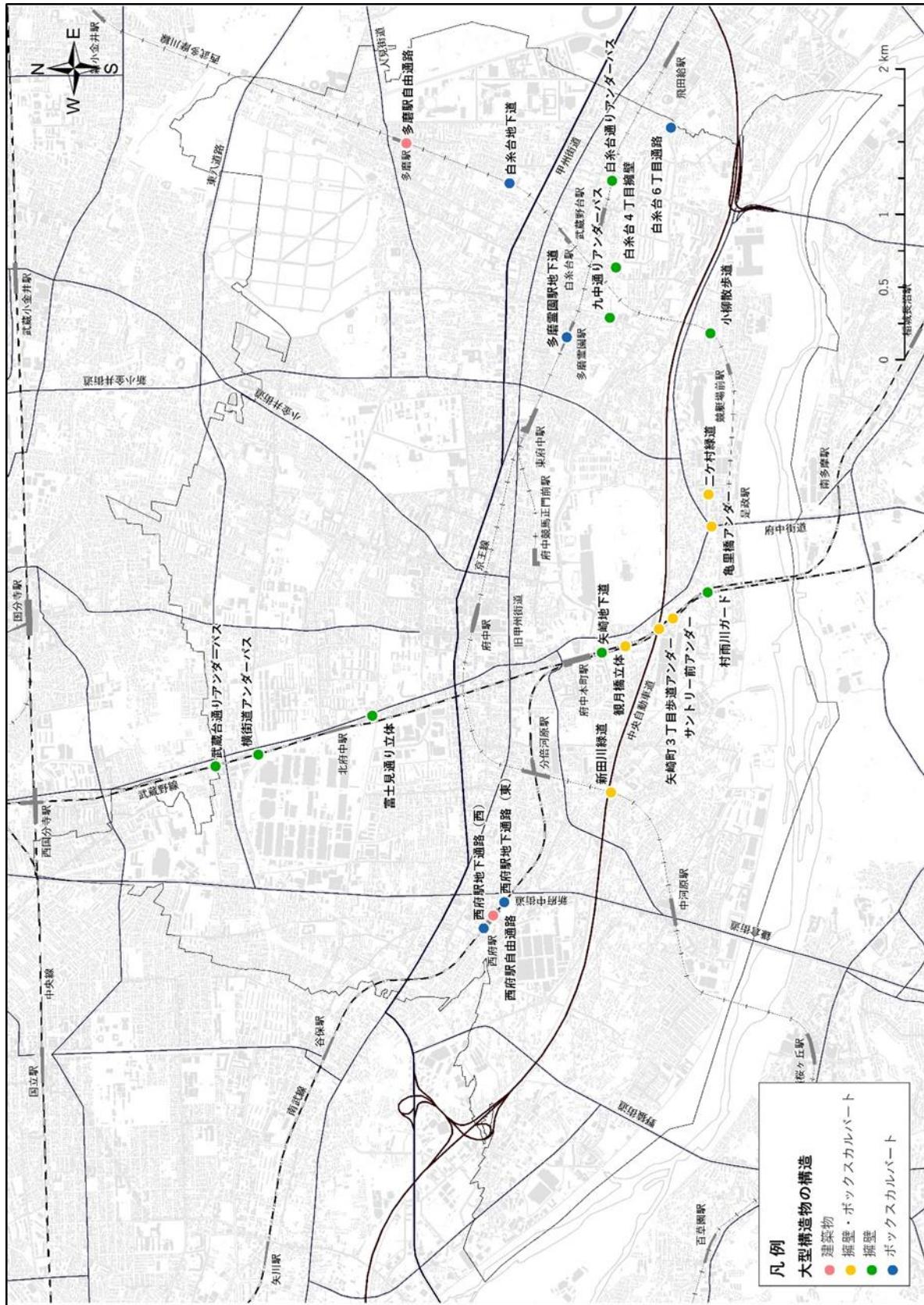


図3-2-12-1 構造別位置図

3.2.12.3 整備状況

令和2年度に多磨駅の橋上駅舎化が行われ、新たに「多磨駅自由通路」が供用開始となり、併せて「多磨駅前地下通学路」が廃止となっています。

3.2.12.4 管理状況

全ての大型構造物に付帯する排水ポンプや冠水表示板について、年1回の定期点検を行っています。

また、令和2年度にサントリー前アンダーにて、冠水警報板の改修工事を実施しています。

3-2-12

インフラの整備状況(大型構造物)

3.2.13 公園緑地等

公園緑地等の全体数量及び状況は、次のとおりです。

3.2.13.1 全体数量

市が開設し、管理している公園緑地等は、409か所あり、総面積は約145万m²です。

市が管理する公園緑地等のうち、公園の区分ごとの箇所数と面積は、次のとおりです。

表3-2-13-1 区別数量及び面積

区分	数量	数量割合	面積	面積割合
都市公園	272か所	66.5%	1,315,154.02m ²	90.5%
広場	46か所	11.2%	24,149.05m ²	1.7%
スポットパーク	52か所	12.7%	7,569.08m ²	0.5%
府中多摩川 かぜのみち	1か所	0.2%	35,047.80m ²	2.4%
市立公園以外 の管理地	38か所	9.3%	71,764.75m ²	4.9%
合計	409か所	100.0%	1,453,684.70m ²	100.0%

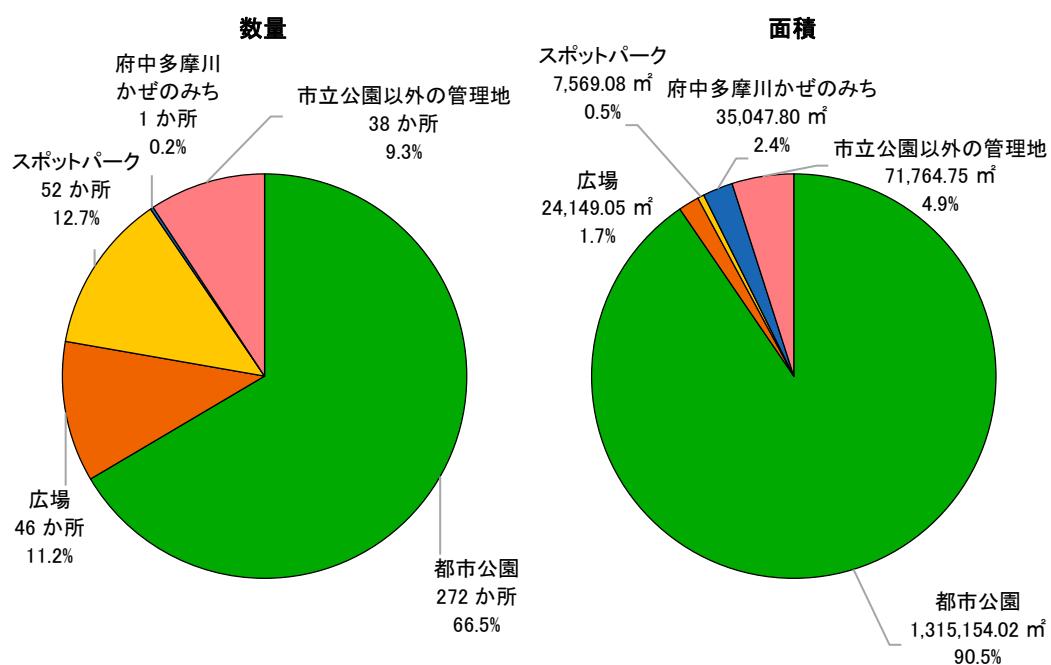


図3-2-13-1 区別数量及び面積

表3-2-13-2 公園緑地等一覧(公園調書順)(1/6)

No	公園区分	公園種別	名称	所在地	地域区分	開設年度	面積(m ²)
1	都市公園	運動	寿中央公園	寿町二丁目6番地	第4地域	昭和30年度	52,235.10
2	都市公園	街区	幸町公園	幸町一丁目24番地	第3地域	昭和34年度	2,255.79
3	都市公園	近隣	美好町公園	美好町一丁目27番地	第6地域	昭和35年度	5,785.15
4	都市公園	街区	清水が丘公園	清水が丘二丁目4番地	第2地域	昭和37年度	932.24
5	都市公園	街区	天神町幼児公園	天神町一丁目7番地	第3地域	昭和40年度	313.68
6	都市公園	街区	浅間町公園	浅間町二丁目4番地	第3地域	昭和40年度	991.74
7	都市公園	街区	紅葉丘公園	紅葉丘三丁目23番地	第1地域	昭和42年度	535.28
8	都市公園	街区	北山町公園	北山町三丁目17番地	第5地域	昭和43年度	324.49
9	都市公園	街区	小柳町公園	小柳町四丁目2番地	第2地域	昭和43年度	448.30
10	都市公園	地区	武蔵台公園	武蔵台二丁目2番地	第5地域	昭和43年度	46,835.08
11	都市公園	街区	新町第2公園	新町一丁目68番地	第3地域	昭和43年度	1,788.67
12	都市公園	総合	郷土の森公園	是政六丁目27番地/矢崎町/五丁目5番地/南町六丁目13番地/是政六丁目35番地/南町六丁目60番地先/是政六丁目地内	第7地域	昭和43年度	338,654.57
13	都市公園	街区	朝日町公園	朝日町一丁目20番地	第1地域	昭和44年度	991.74
14	都市公園	街区	分梅第2公園	分梅町五丁目11番地	第7地域	昭和44年度	2,756.44
15	都市公園	運動	多摩川緑地	住吉町二丁目/是政四丁目/是政五丁目/小柳町六丁目/押立町五丁目	第2・第4地域	昭和45年度	259,549.20
16	都市公園	街区	分梅公園	分梅町二丁目37番地,44番地	第7地域	昭和45年度	6,877.35
17	都市公園	街区	本町公園	本町四丁目24番地	第7地域	昭和45年度	3,312.47
18	都市公園	街区	矢崎公園	矢崎町二丁目16番地,17番地	第7地域	昭和45年度	4,093.04
19	都市公園	街区	是政公園	是政二丁目10番地	第2地域	昭和46年度	1,258.36
20	都市公園	街区	白糸台公園	白糸台二丁目39番地	第1地域	昭和46年度	939.98
21	都市公園	街区	天神町第2幼児公園	天神町二丁目26番地	第3地域	昭和46年度	1,054.33
22	都市公園	街区	美好町幼児公園	美好町二丁目52番地	第6地域	昭和47年度	334.58
23	都市公園	街区	清水が丘第2公園	清水が丘二丁目7番地	第2地域	昭和47年度	287.36
24	都市公園	近隣	西府緑地	四谷一丁目63番地/四谷三丁目52番地/住吉町五丁目22番地	第7・第8地域	昭和47年度	23,832.11
25	都市公園	街区	四谷第3公園	四谷五丁目9番地	第8地域	昭和47年度	1,531.27
26	都市公園	街区	四谷第2公園	四谷一丁目59番地	第8地域	昭和47年度	394.54
27	都市公園	街区	五柳公園	小柳町五丁目9番地	第2地域	昭和47年度	373.06
28	都市公園	街区	小柳町第2幼児公園	小柳町四丁目17番地	第2地域	昭和47年度	336.58
29	都市公園	街区	分梅第3公園	分梅町五丁目20番地	第7地域	昭和47年度	419.75
30	都市公園	街区	西原町公園	西原町三丁目12番地	第5地域	昭和48年度	1,506.53
31	都市公園	街区	是政第2公園	是政一丁目50番地	第2地域	昭和48年度	831.43
32	都市公園	街区	宮西町公園	宮西町三丁目2番地/6番地	第4地域	昭和49年度	1,538.91
33	都市公園	街区	宮西町第2公園	宮西町五丁目4番地/24番地	第4地域	昭和49年度	840.79
34	都市公園	街区	寿町公園	寿町三丁目1番地/3番地	第4地域	昭和49年度	763.56
35	都市公園	街区	武蔵台第2公園	武蔵台三丁目41番地	第5地域	昭和49年度	1,419.69
36	都市公園	街区	浅間町第2公園	浅間町四丁目7番地	第3地域	昭和49年度	1,051.84
37	都市公園	街区	新町第3公園	新町一丁目18番地	第3地域	昭和49年度	1,909.91
38	都市公園	街区	南町幼児公園	南町三丁目37番地	第7地域	昭和49年度	405.46
39	都市公園	街区	南町第2公園	南町一丁目6番地	第7地域	昭和49年度	442.30
40	都市公園	街区	四谷西公園	四谷六丁目18番地	第8地域	昭和49年度	2,969.15
41	都市公園	街区	晴見町公園	晴見町一丁目19番地	第3地域	昭和49年度	883.35
42	都市公園	街区	本宿町公園	本宿町四丁目14番地	第6地域	昭和50年度	6,753.85
43	都市公園	緑道	新田川緑道	日新町～住吉町～分梅町～南町～矢崎町～是政	第7・第8地域	昭和50年度	43,813.61
44	都市公園	緑地	清水が丘緑地	清水が丘二丁目23番地	第2地域	昭和51年度	4,165.54
45	都市公園	街区	若松町公園	若松町三丁目21番地	第1地域	昭和51年度	1,077.33
46	都市公園	街区	美好町第3公園	美好町二丁目5番地	第6地域	昭和51年度	495.93
47	都市公園	地区	小柳公園	小柳町六丁目10番地	第2地域	昭和52年度	51,151.52
48	都市公園	街区	是政第3公園	是政四丁目2番地	第2地域	昭和53年度	322.58
49	都市公園	街区	片町第2公園	片町一丁目10番地	第6地域	昭和53年度	929.26
50	都市公園	街区	四谷第7公園	四谷四丁目54番地	第8地域	昭和53年度	273.65
51	都市公園	街区	白糸台第2公園	白糸台六丁目53番地	第2地域	昭和53年度	771.78
52	都市公園	街区	栄町公園	栄町二丁目4番地	第3地域	昭和53年度	1,540.25
53	都市公園	街区	押立町公園	押立町四丁目17番地	第2地域	昭和53年度	2,164.19
54	都市公園	街区	押立町第2公園	押立町五丁目14番地	第2地域	昭和53年度	418.33
55	都市公園	街区	多磨町公園	多磨町一丁目39番地	第1地域	昭和53年度	1,157.02
56	都市公園	街区	片町第3公園	片町二丁目17番地	第6地域	昭和53年度	1,212.80
57	都市公園	街区	西府町公園	西府町三丁目35番地	第6地域	昭和53年度	2,083.82
58	都市公園	街区	分梅第4公園	分梅町三丁目45番地	第7地域	昭和53年度	607.10
59	都市公園	街区	日新町公園	日新町三丁目27番地	第8地域	昭和54年度	2,074.90
60	都市公園	街区	北山町第2公園	北山町三丁目20番地	第5地域	昭和54年度	2,931.46
61	都市公園	街区	宮町中央公園	宮町二丁目20番地	第4地域	昭和54年度	1,404.16
62	都市公園	街区	本宿町幼児公園	本宿町一丁目32番地	第6地域	昭和54年度	270.47
63	都市公園	街区	押立町第3公園	押立町二丁目32番地	第2地域	昭和54年度	309.81
64	都市公園	街区	八幡町公園	八幡町二丁目12番地	第4地域	昭和54年度	303.00
65	都市公園	街区	紅葉丘第3公園	紅葉丘一丁目9番地	第1地域	昭和54年度	2,545.18

表3-2-13-3 公園緑地等一覧(公園調書順)(2/6)

No	公園区分	公園種別	名称	所在地	地域区分	開設年度	面積(m ²)
66	都市公園	街区	小柳町第3公園	小柳町四丁目34番地	第2地域	昭和54年度	1,302.92
67	都市公園	街区	白糸台第3公園	白糸台四丁目39番地	第2地域	昭和54年度	2,457.87
68	都市公園	近隣	押立公園	押立町一丁目18番地	第2地域	昭和54年度	15,000.00
69	都市公園	街区	本町第2公園	本町三丁目14番地	第7地域	昭和54年度	285.10
70	都市公園	街区	是政第4公園	是政五丁目4番地	第2地域	昭和54年度	310.00
71	都市公園	街区	天神町第3公園	天神町一丁目12番地	第3地域	昭和55年度	337.57
72	都市公園	街区	緑町公園	緑町二丁目6番地	第4地域	昭和55年度	435.46
73	都市公園	街区	天神町公園	天神町一丁目12番	第3地域	昭和55年度	1,774.98
74	都市公園	街区	八幡町第2公園	八幡町二丁目30番地	第4地域	昭和55年度	1,455.08
75	都市公園	街区	住吉町公園	住吉町一丁目63番地	第7地域	昭和55年度	1,974.74
76	都市公園	緑道	二ヶ村緑道	是政四/五/六丁目地内	第2・第7地域	昭和55年度	30,378.27
77	都市公園	緑道	雑田堀緑道	分梅町二丁目～本町四丁目	第7地域	昭和55年度	3,213.00
78	都市公園	街区	武藏台第3公園	武藏台三丁目29番地	第5地域	昭和56年度	2,065.32
79	都市公園	街区	住吉町児童公園	住吉町二丁目30番地	第7地域	昭和56年度	770.70
80	都市公園	街区	日新町幼児公園	日新町五丁目72番地	第8地域	昭和56年度	338.47
81	都市公園	街区	新町第2幼兒公園	新町二丁目70番地	第3地域	昭和56年度	439.01
82	都市公園	街区	栄町北公園	栄町一丁目20番地	第3地域	昭和56年度	2,608.03
83	都市公園	街区	三本木公園	緑町二丁目23番地	第4地域	昭和56年度	3,137.01
84	都市公園	街区	小柳町第2公園	小柳町五丁目1番地	第2地域	昭和56年度	1,996.64
85	都市公園	街区	白糸台東部公園	白糸台六丁目34番地	第1地域	昭和56年度	1,184.61
86	都市公園	緑道	押立緑道	押立町一丁目4番地～三丁目10番地	第2地域	昭和56年度	4,643.24
87	都市公園	街区	四谷南通幼兒公園	四谷三丁目49番地	第8地域	昭和57年度	360.38
88	都市公園	街区	押立町西公園	押立町三丁目9番地	第2地域	昭和57年度	1,874.51
89	都市公園	街区	闘の原公園	若松町二丁目5番地	第2地域	昭和57年度	1,983.20
90	都市公園	街区	天神町第2公園	天神町四丁目18番地	第3地域	昭和57年度	1,096.78
91	都市公園	街区	南町公園	南町三丁目21番地	第7地域	昭和57年度	3,620.89
92	都市公園	街区	新田川分梅公園	分梅町二丁目55番地	第7地域	昭和57年度	2,122.30
93	都市公園	街区	西府町第2公園	西府町五丁目11番地	第6地域	昭和57年度	2,154.89
94	都市公園	街区	栄町中央公園	栄町一丁目1番地	第3地域	昭和57年度	3,599.79
95	都市公園	街区	万蔵庵公園	緑町三丁目27番地	第4地域	昭和58年度	1,956.41
96	都市公園	街区	桶久保公園	府中町三丁目8番地	第4地域	昭和58年度	1,799.08
97	都市公園	街区	晴見町第2公園	晴見町二丁目1番地	第3地域	昭和58年度	1,134.71
98	都市公園	街区	清水が丘第3公園	清水が丘一丁目12番地	第2地域	昭和58年度	1,030.36
99	都市公園	街区	本宿町第2公園	本宿町三丁目11番地	第6地域	昭和58年度	1,443.05
100	都市公園	街区	あかしあの森公園	南町三丁目45番地	第7地域	昭和58年度	4,966.79
101	都市公園	街区	南町第3公園	南町四丁目34番地	第7地域	昭和58年度	1,776.25
102	都市公園	街区	南町南幼児公園	南町五丁目11番地	第7地域	昭和58年度	345.97
103	都市公園	街区	住吉町第2幼兒公園	住吉町五丁目22番地	第7地域	昭和58年度	277.61
104	都市公園	街区	若松町幼児公園	若松町四丁目22番地	第1地域	昭和58年度	429.83
105	都市公園	街区	栄町西児童公園	栄町三丁目11番地	第3地域	昭和58年度	620.98
106	都市公園	街区	住吉町第3幼兒公園	住吉町二丁目19番地	第7地域	昭和59年度	272.51
107	都市公園	街区	八幡町幼児公園	八幡町三丁目17番地	第4地域	昭和59年度	464.73
108	都市公園	街区	押立町緑地	押立町一丁目34番地	第2地域	昭和59年度	2,798.10
109	都市公園	街区	美好町第2公園	美好町三丁目43番地	第6地域	昭和59年度	2,269.33
110	都市公園	街区	住吉町第2公園	住吉町四丁目16番地	第7地域	昭和59年度	1,478.32
111	都市公園	街区	住吉町第3公園	住吉町三丁目65番地	第7地域	昭和59年度	1,318.51
112	都市公園	街区	馬場東公園	府中町一丁目22番地	第4地域	昭和59年度	1,652.81
113	都市公園	街区	八幡宿公園	緑町一丁目5番地	第4地域	昭和59年度	1,983.58
114	都市公園	緑道	四谷綠道	四谷四丁目地内	第8地域	昭和59年度	3,022.57
115	都市公園	緑道	下河原綠道	寿町～宮西町～片町～本町～矢崎町～南町	第4・第7地域	昭和60年度	22,484.29
116	都市公園	街区	本町児童公園	本町四丁目5番地	第7地域	昭和60年度	976.09
117	都市公園	街区	武藏台南公園	武藏台一丁目19番地	第5地域	昭和60年度	1,707.82
118	都市公園	街区	白糸台北公園	白糸台一丁目50番地	第1地域	昭和60年度	1,613.12
119	都市公園	街区	一本木公園	天神町二丁目10番地	第3地域	昭和60年度	1,040.00
120	都市公園	近隣	府中公園	府中町二丁目26番地	第4地域	昭和60年度	22,501.53
121	都市公園	近隣	中河原公園	住吉町二丁目30番地/住吉町五丁目21番地	第7地域	昭和60年度	10,083.02
122	都市公園	近隣	四谷第4公園	四谷六丁目54番地	第8地域	昭和60年度	9,745.25
123	都市公園	近隣	平和の森公園	浅間町一丁目8番地	第3地域	昭和61年度	10,000.16
124	都市公園	街区	新町東公園	新町二丁目25番地	第3地域	昭和61年度	1,971.84
125	都市公園	街区	新町公園	新町二丁目57番地	第3地域	昭和61年度	3,249.56
126	都市公園	街区	北府中公園	晴見町二丁目9番地	第3地域	昭和61年度	4,774.82
127	都市公園	街区	紅葉丘中央公園	紅葉丘一丁目28番地	第1地域	昭和61年度	3,007.78
128	都市公園	街区	稻荷木公園	幸町二丁目13番地	第3地域	昭和61年度	3,804.09
129	都市公園	街区	本町第2児童公園	本町二丁目31番地	第4地域	昭和61年度	500.00
130	都市公園	街区	中島公園	南町四丁目43番地	第7地域	昭和61年度	882.27
131	都市公園	緑道	府中段丘本宿緑道	本宿町一丁目33番地	第6地域	昭和61年度	377.41
132	都市公園	街区	若松町第2幼児公園	若松町三丁目25番地	第1地域	昭和61年度	349.64
133	都市公園	街区	白糸台中央公園	白糸台二丁目67番地	第1地域	昭和61年度	2,369.76
134	都市公園	街区	小野宮公園	住吉町四丁目24番地	第7地域	昭和62年度	1,991.32

表3-2-13-4 公園緑地等一覧(公園調書順)(3/6)

No	公園区分	公園種別	名称	所在地	地域区分	開設年度	面積(m ²)
135	都市公園	街区	御嶽森公園	住吉町四丁目6番地	第7地域	昭和62年度	1,257.54
136	都市公園	街区	西原町東公園	西原町二丁目26番地	第5地域	昭和62年度	1,243.31
137	都市公園	街区	鶴巻公園	是政二丁目16番地	第2地域	昭和62年度	1,231.48
138	都市公園	街区	新町西公園	新町一丁目35番地	第3地域	昭和62年度	1,282.09
139	都市公園	街区	多摩川は政公園	是政五丁目19番地	第2地域	昭和62年度	1,300.02
140	都市公園	街区	紅葉丘北公園	紅葉丘二丁目24番地	第1地域	昭和63年度	1,691.84
141	都市公園	街区	常久公園	若松町一丁目32番地	第2地域	昭和63年度	946.25
142	都市公園	街区	片町第4公園	片町一丁目2番地	第6地域	昭和63年度	573.22
143	都市公園	街区	朝日町第2公園	朝日町二丁目16番地	第1地域	昭和63年度	1,110.93
144	都市公園	緑道	是政緑道	是政二丁目35番地	第2地域	昭和63年度	671.81
145	都市公園	街区	富士見公園	西原町三丁目4番地	第5地域	昭和63年度	2,316.04
146	都市公園	街区	新町北公園	新町三丁目26番地	第3地域	平成元年度	1,884.58
147	都市公園	街区	西森公園	若松町一丁目25番地	第2地域	平成元年度	463.85
148	都市公園	緑道	野溝緑道	若松町三/四丁目地内	第1地域	平成元年度	1,105.23
149	都市公園	緑道	三御殿堀緑道	押立町一丁目14番地	第2地域	平成2年度	1,205.75
150	都市公園	街区	日新町第2公園	日新町五丁目41番地	第8地域	平成2年度	2,123.02
151	都市公園	街区	北番場裏公園	宮西町三丁目11番地	第4地域	平成2年度	1,008.23
152	都市公園	街区	小柳前田公園	小柳町二丁目20番地	第2地域	平成2年度	752.63
153	都市公園	街区	美好町児童公園	美好町二丁目17番地	第6地域	平成3年度	685.28
154	都市公園	街区	芝間公園	南町二丁目43番地	第7地域	平成3年度	1,736.55
155	都市公園	街区	見返り坂公園	北山町四丁目5番地	第5地域	平成4年度	1,706.62
156	都市公園	街区	あかまつ林	栄町二丁目6番地	第3地域	平成4年度	1,374.76
157	都市公園	街区	溝合公園	小柳町二丁目50番地	第2地域	平成4年度	578.79
158	都市公園	街区	花の公園	西府町一丁目29番地	第6地域	平成4年度	462.11
159	都市公園	風致	片町公園	片町三丁目25番地	第6地域	平成4年度	1,201.61
160	都市公園	街区	さんかく公園	武藏台二丁目21番地	第5地域	平成4年度	450.00
161	都市公園	近隣	すずかけ公園	日鋼町1番地	第6地域	平成4年度	9,101.04
162	都市公園	街区	分梅町児童公園	分梅町一丁目5番地	第6地域	平成4年度	469.74
163	都市公園	街区	おおい山公園	多磨町二丁目52番地	第1地域	平成4年度	377.61
164	都市公園	街区	多磨町かりん公園	多磨町二丁目5番地	第1地域	平成4年度	285.35
165	都市公園	街区	鶴代公園	小柳町三丁目16番地	第2地域	平成4年度	656.89
166	都市公園	街区	天神町南公園	天神町一丁目3番地	第3地域	平成5年度	517.74
167	都市公園	街区	せせらぎ公園	北山町四丁目2番地	第5地域	平成5年度	2,081.37
168	都市公園	街区	梅林公園	四谷三丁目66番地	第8地域	平成5年度	690.89
169	都市公園	街区	宮前公園	住吉町三丁目21番地	第7地域	平成5年度	706.55
170	都市公園	街区	番場公園	宮西町四丁目14番地	第4地域	平成5年度	1,316.81
171	都市公園	街区	小柳町西公園	小柳町五丁目2番地	第2地域	平成5年度	614.56
172	都市公園	街区	多摩川南町公園	南町四丁目40番地	第7地域	平成5年度	2,050.00
173	都市公園	街区	南町東児童公園	南町六丁目5番地	第7地域	平成6年度	390.67
174	都市公園	街区	分梅橋公園	分梅町四丁目4番地	第7地域	平成6年度	849.44
175	都市公園	緑道	むさし台緑道	武藏台三丁目19番地	第5地域	平成6年度	1,980.00
176	都市公園	緑道	市川緑道	日新町一丁目13番地	第8地域	平成6年度	3,795.93
177	都市公園	街区	押立町児童公園	押立町一丁目13番地	第2地域	平成6年度	360.00
178	都市公園	緑道	矢崎緑道	矢崎町一丁目39番地	第7地域	平成7年度	331.89
179	都市公園	街区	明ヶ代公園	若松町三丁目18番地	第1地域	平成7年度	431.08
180	都市公園	街区	神明台公園	白糸台三丁目16番地	第1地域	平成7年度	490.62
181	都市公園	街区	鶴巻西公園	是政二丁目7番地	第2地域	平成8年度	295.29
182	都市公園	街区	是政川原公園	是政五丁目6番地	第2地域	平成8年度	336.01
183	都市公園	街区	村中公園	是政三丁目8番地	第2地域	平成8年度	1,709.60
184	都市公園	街区	武藏台遺跡公園	武藏台二丁目29番地	第5地域	平成8年度	639.22
185	都市公園	緑道	やなぎはら緑道	小柳町六丁目23番地	第2地域	平成8年度	690.74
186	都市公園	街区	新宿公園	宮町一丁目27番地	第4地域	平成8年度	690.88
187	都市公園	緑地	四谷南通緑地	四谷五丁目10番地	第8地域	平成8年度	1,967.22
188	都市公園	緑地	南町緑地	南町三丁目47番地	第7地域	平成9年度	565.17
189	都市公園	街区	明星前公園	栄町二丁目1番地	第3地域	平成9年度	403.15
190	都市公園	街区	宮東公園	宮町三丁目9番地	第4地域	平成10年度	316.67
191	都市公園	街区	若松町稻荷台公園	若松町五丁目17番地	第1地域	平成10年度	625.21
192	都市公園	街区	新町児童公園	新町二丁目44番地	第3地域	平成10年度	1,282.60
193	都市公園	街区	馬場先公園	府中町一丁目38番地	第4地域	平成10年度	294.59
194	都市公園	街区	蛇窪台公園	浅間町四丁目5番地	第3地域	平成11年度	540.00
195	都市公園	緑地	府中崖線白糸台緑地	白糸台六丁目47番地	第2地域	平成11年度	342.61
196	都市公園	街区	多磨町北公園	多磨町二丁目54番地	第1地域	平成12年度	771.75
197	都市公園	街区	押立中堀公園	押立町五丁目2番地	第2地域	平成12年度	1,109.24
198	都市公園	街区	向田公園	住吉町三丁目85番地	第7地域	平成12年度	1,000.11
199	都市公園	街区	南町交番前公園	南町四丁目40番地	第7地域	平成13年度	800.00
200	都市公園	街区	四谷第5公園	四谷一丁目16番地	第8地域	平成13年度	707.27
201	都市公園	近隣	四谷さくら公園	四谷五丁目44番地	第8地域	平成13年度	16,529.23
202	都市公園	街区	浅間町三丁目公園	浅間町三丁目18番地	第3地域	平成13年度	1,798.96
203	都市公園	街区	押立宮の前公園	押立町五丁目7番地	第2地域	平成13年度	1,495.07

表3-2-13-5 公園緑地等一覧(公園調書順)(4/6)

No	公園区分	公園種別	名称	所在地	地域区分	開設年度	面積(m ²)
204	都市公園	街区	分梅第5公園	分梅町五丁目2番地	第7地域	平成13年度	835.33
205	都市公園	街区	明ヶ代東公園	若松町三丁目40番地	第1地域	平成13年度	1,048.72
206	都市公園	街区	小田分前田公園	小柳町二丁目19番地	第2地域	平成13年度	811.85
207	都市公園	街区	清水が丘北公園	清水が丘三丁目15番地	第2地域	平成13年度	808.26
208	都市公園	街区	北の原公園	朝日町一丁目29番地	第1地域	平成13年度	1,442.68
209	都市公園	街区	清水坂公園	美好町三丁目23番地	第6地域	昭和63年度	419.40
210	都市公園	広場公園	平和通り広場公園	緑町三丁目33番地	第4地域	平成3年度	209.22
211	都市公園	広場公園	まゆのかけ橋広場公園	寿町三丁目7番地	第4地域	平成6年度	405.46
212	都市公園	広場公園	下河原線広場公園	寿町三丁目3番地	第4地域	平成7年度	424.95
213	都市公園	広場公園	桜通り広場公園	寿町一丁目12番地	第4地域	平成8年度	280.89
214	都市公園	街区	西府ふれあい公園	西府町三丁目3番地	第6地域	平成15年度	1,041.57
215	都市公園	緑地	四谷北通緑地	四谷四丁目30番地	第8地域	平成15年度	2,297.10
216	都市公園	緑地	白明坂緑地	武藏台二丁目10番地	第5地域	平成15年度	1,374.40
217	都市公園	緑地	府中崖線西府町緑地	西府町一丁目43番地	第6地域	平成15年度	7,618.09
218	都市公園	緑地	府中崖線本宿町緑地	本宿町一丁目32番地	第6地域	平成15年度	983.53
219	都市公園	緑地	府中崖線分梅町緑地	分梅町一丁目23番地	第6地域	平成15年度	107.64
220	都市公園	緑地	府中崖線清水が丘緑地	清水が丘二丁目53番地	第2地域	平成15年度	441.00
221	都市公園	緑地	府中崖線小柳町緑地	小柳町一丁目29番地	第2地域	平成15年度	1,142.04
222	都市公園	緑地	府中崖線白糸台第2緑地	白糸台五丁目45番地	第2地域	平成15年度	293.33
223	都市公園	街区	上染屋八幡台公園	白糸台一丁目38番地	第1地域	平成15年度	348.20
224	都市公園	緑地	四谷下堰緑地	四谷五丁目15番地	第8地域	平成16年度	7,875.77
225	都市公園	街区	多磨町東公園	多磨町一丁目29番地	第1地域	平成16年度	1,018.85
226	都市公園	緑道	寿町緑道	寿町三丁目1番地	第4地域	平成17年度	468.72
227	都市公園	街区	兼平公園	晴見町三丁目19番地	第3地域	平成17年度	927.06
228	都市公園	緑地	四谷自然樹林	四谷四丁目25番地	第8地域	平成17年度	1,361.86
229	都市公園	街区	清水が丘三丁目公園	清水が丘三丁目11番地	第2地域	平成18年度	761.26
230	都市公園	近隣	矢崎町防災公園	矢崎町一丁目16番地	第7地域	平成18年度	7,116.65
231	都市公園	街区	西府橋北公園	西府町四丁目2番地	第6地域	平成18年度	1,740.57
232	都市公園	街区	紅葉丘第2公園	紅葉丘三丁目17番地	第1地域	平成18年度	710.67
233	都市公園	街区	紅葉丘東公園	紅葉丘三丁目17番地	第1地域	平成18年度	958.12
234	都市公園	街区	浅間町北公園	浅間町三丁目2番地	第3地域	平成20年度	425.86
235	都市公園	街区	御殿下公園	本町二丁目16番地	第4地域	平成20年度	300.01
236	都市公園	街区	西原町中央公園	西原町3丁目17番地	第5地域	平成20年度	1,211.19
237	都市公園	街区	押立東耕地公園	押立町二丁目38番地	第2地域	平成20年度	909.34
238	都市公園	街区	学園通り新宿山谷公園	天神町三丁目12番地	第3地域	平成21年度	1,033.21
239	都市公園	街区	みなみつばら公園	西府町一丁目49番地	第6地域	平成21年度	1,450.00
240	都市公園	街区	御嶽塚公園	西府町一丁目60番地	第6地域	平成21年度	2,683.68
241	都市公園	歴史	武藏府中熊野神社古墳公園	西府町二丁目9番地	第6地域	平成21年度	2,684.61
242	都市公園	街区	大道北公園	西原町四丁目35番地	第5地域	平成21年度	299.93
243	都市公園	街区	朝日町けやき公園	朝日町一丁目24番地	第1地域	平成22年度	972.57
244	都市公園	街区	四季の杜公園	朝日町一丁目30番地	第1地域	平成22年度	457.91
245	都市公園	緑道	朝日町緑道	朝日町三丁目16番地	第1地域	平成16年度	1,279.22
246	都市公園	緑地	清水が丘地域緑地	清水が丘二丁目37番地	第2地域	平成23年度	848.41
247	都市公園	街区	紅葉丘第2地域公園	紅葉丘三丁目26番地	第1地域	平成23年度	3,125.00
248	都市公園	緑地	白糸台地域緑地	白糸台五丁目22番地	第1地域	平成23年度	1,843.64
249	都市公園	街区	八幡町地域公園	八幡町二丁目33番地	第4地域	平成23年度	1,940.00
250	都市公園	街区	住吉町地域公園	住吉町一丁目11番地	第7地域	平成23年度	565.00
251	都市公園	街区	住吉町第2地域公園	住吉町三丁目19番地	第7地域	平成23年度	1,176.00
252	都市公園	街区	四谷地域公園	四谷二丁目44番地	第8地域	平成23年度	1,219.00
253	都市公園	街区	四谷第2地域公園	四谷三丁目14番地	第8地域	平成23年度	1,018.50
254	都市公園	街区	四谷第3地域公園	四谷四丁目30番地	第8地域	平成23年度	614.00
255	都市公園	街区	南町かえで通り公園	南町一丁目36番地	第7地域	平成23年度	3,070.04
256	都市公園	街区	南町第2地域公園	南町六丁目36番地	第7地域	平成23年度	587.38
257	都市公園	街区	本宿町地域公園	本宿町一丁目4番地	第6地域	平成23年度	594.14
258	都市公園	緑地	本宿町地域緑地	本宿町一丁目34番地	第6地域	平成23年度	330.44
259	都市公園	街区	本宿町第2地域公園	本宿町三丁目30番地	第6地域	平成23年度	912.34
260	都市公園	街区	西府町地域公園	西府町一丁目47番地	第6地域	平成23年度	1,629.00
261	都市公園	街区	西府町第2地域公園	西府町五丁目15番地	第6地域	平成23年度	330.00
262	都市公園	緑道	片町緑道	片町二丁目25番地	第6地域	平成25年度	910.57
263	都市公園	街区	清水が丘東公園	清水ヶ丘三丁目24番地	第2地域	平成25年度	791.56
264	都市公園	街区	雑田堀親水公園	矢崎町三丁目14番地	第7地域	平成25年度	843.81
265	都市公園	緑地	四谷南通第2緑地	四谷四丁目16番地	第8地域	平成26年度	1,423.59
266	都市公園	街区	新田公園	日新町四丁目58番地	第8地域	平成27年度	2,550.49
267	都市公園	街区	西原町四丁目公園	西原町四丁目22番地	第5地域	平成29年度	1,374.13
268	都市公園	街区	分梅第6公園	分梅町四丁目16番地	第7地域	令和元年度	753.30
269	都市公園	街区	白糸台一丁目広場公園	白糸台一丁目42番地	第1地域	令和2年度	622.35
270	都市公園	街区	新町二丁目公園	新町二丁目14番地	第3地域	令和3年度	300.00
271	都市公園	街区	西府町農業公園	西府町四丁目6番地	第6地域	令和3年度	3,553.56
272	都市公園	街区	栄町二丁目公園	栄町二丁目13番地	第3地域	令和3年度	300.00

表3-2-13-6 公園緑地等一覧(公園調書順)(5/6)

No	公園区分	公園種別	名称	所在地	地域区分	開設年度	面積(m ²)
273	広場	-	住吉町第三広場	住吉町三丁目71番地	第7地域	昭和43年度	304.00
274	広場	-	若松町広場	若松町二丁目23番地	第2地域	昭和44年度	1,884.00
275	広場	-	住吉町第四広場	住吉町五丁目11番地	第7地域	昭和53年度	195.79
276	広場	-	多磨町第二広場	多磨町二丁目33番地	第1地域	昭和54年度	4,461.81
277	広場	-	分梅町第三広場	分梅町一丁目23番地	第6地域	平成14年度	342.65
278	広場	-	白糸台第三広場	白糸台四丁目48番地	第1地域	平成14年度	92.00
279	広場	-	栄町広場	栄町一丁目15番地	第3地域	昭和46年度	126.24
280	広場	-	住吉町第五広場	住吉町五丁目21番地	第7地域	昭和47年度	234.45
281	広場	-	新町広場	新町一丁目5番地	第3地域	昭和49年度	161.58
282	広場	-	西府町広場	西府町四丁目14番地	第6地域	昭和49年度	123.44
283	広場	-	分梅町広場	分梅町一丁目8番地	第6地域	昭和55年度	160.72
284	広場	-	天神町広場	天神町四丁目3番地	第3地域	平成8年度	147.29
285	広場	-	なかのせき広場	若松町五丁目6番地	第1地域	平成9年度	195.15
286	広場	-	かわごえどう広場	武藏台二丁目29番地	第5地域	平成11年度	234.06
287	広場	-	西府町第二広場	西府町三丁目30番地	第6地域	平成12年度	272.37
288	広場	-	上ノ関広場	若松町四丁目14番地	第1地域	平成15年度	298.35
289	広場	-	浅間山北広場	浅間町四丁目13番地	第3地域	平成16年度	241.01
290	広場	-	是政東広場	是政二丁目29番地	第2地域	平成18年度	219.88
291	広場	-	是政四丁目広場	是政四丁目8番地	第2地域	平成18年度	241.11
292	広場	-	六所口広場	本町一丁目10番地	第4地域	平成9年度	614.53
293	広場	-	浅間町広場	浅間町三丁目18番地	第3地域	平成13年度	134.30
294	広場	-	千貫塚広場	若松町二丁目21番地	第2地域	平成22年度	220.04
295	広場	-	市営第一武藏台住宅内広場	武藏台一丁目5番地	第5地域	平成9年度	358.10
296	広場	-	市営第二矢崎町住宅内(北)広場	矢崎町二丁目16番地	第7地域	平成2年度	198.41
297	広場	-	市営第二矢崎町住宅内(南)広場	矢崎町二丁目16番地	第7地域	平成3年度	368.11
298	広場	-	市営第三本町住宅内広場	本町四丁目7番地	第7地域	平成4年度	447.02
299	広場	-	市営第四榮町住宅内広場	栄町三丁目13番地	第3地域	平成5年度	417.31
300	広場	-	市営第五是政住宅内広場	是政五丁目15番地	第2地域	平成6年度	250.45
301	広場	-	市営第六若松町住宅内広場	若松町四丁目35番地	第1地域	昭和34年度	743.24
302	広場	-	市営第七西府町住宅内広場	西府町三丁目10番地	第6地域	昭和35年度	221.07
303	広場	-	市営第十南町住宅内広場	南町三丁目30番地	第7地域	平成7年度	167.43
304	広場	-	市営第十一美好町住宅内広場	美好町二丁目51番地	第6地域	昭和40年度	375.31
305	広場	-	市営第十三四谷住宅内広場	四谷三丁目43番地	第8地域	平成14年度	245.30
306	広場	-	市営第二十是政住宅内広場	是政三丁目15番地	第2地域	昭和63年度	63.50
307	広場	-	やまぼうし広場	若松町三丁目33番地	第1地域	平成23年度	197.28
308	広場	-	白糸台こもれび広場	白糸台三丁目31番地	第1地域	平成27年度	215.04
309	広場	-	はなみずき広場	是政一丁目48番地	第2地域	平成28年度	242.07
310	広場	-	日吉町広場	日吉町6番地	第4地域	令和3年度	980.67
311	広場	-	多磨町広場	多磨町二丁目10番地	第1地域	令和3年度	1,610.79
312	広場	-	宮町広場	宮町一丁目32番地	第4地域	令和3年度	65.06
313	広場	-	宮町第二広場	宮町一丁目33番地	第4地域	令和3年度	63.28
314	広場	-	宮町三丁目広場	宮町三丁目6番地	第4地域	令和3年度	1,950.00
315	広場	-	八幡町中央広場	八幡町一丁目5番地	第4地域	令和3年度	109.77
316	広場	-	是政広場	是政三丁目59番地	第2地域	令和3年度	1,759.00
317	広場	-	万作の木公園	栄町三丁目17番地	第3地域	令和3年度	946.09
318	広場	-	美好町広場	美好町二丁目18番地	第6地域	令和3年度	1,249.98
319	スポットパーク	-	スポットパークにしばたけ1	朝日町二丁目16番地	第1地域	昭和60年度	81.65
320	スポットパーク	-	スポットパークにしばたけ2	朝日町二丁目16番地	第1地域	昭和60年度	102.05
321	スポットパーク	-	スポットパークたけのだい1	小柳町一丁目1番地	第2地域	昭和63年度	53.16
322	スポットパーク	-	スポットパークあまくぼ	東芝町1番地	第6地域	昭和63年度	292.90
323	スポットパーク	-	スポットパークやなぎはら	小柳町五丁目29番地	第2地域	昭和63年度	18.10
324	スポットパーク	-	スポットパークさんぽんぎ	緑町一丁目40番地	第4地域	平成元年度	97.30
325	スポットパーク	-	スポットパークなかのせき1	若松町四丁目43番地	第1地域	平成元年度	434.20
326	スポットパーク	-	スポットパークほりごめ1	本宿町三丁目27番地	第6地域	平成元年度	91.59
327	スポットパーク	-	スポットパークなかがわら	四谷四丁目54番地	第8地域	平成元年度	53.43
328	スポットパーク	-	スポットパークわりま	西原町二丁目20番地	第5地域	平成2年度	138.45
329	スポットパーク	-	スポットパークおののみや1	住吉町三丁目19番地	第7地域	平成2年度	283.42
330	スポットパーク	-	スポットパークすわ	押立町二丁目4番地	第2地域	平成2年度	543.23
331	スポットパーク	-	スポットパークいっぽんぎ2	天神町二丁目11番地	第3地域	平成2年度	98.30
332	スポットパーク	-	スポットパークはちまん	白糸台二丁目13番地	第1地域	平成3年度	69.24
333	スポットパーク	-	スポットパークぬくいまえ2	栄町一丁目13番地	第3地域	平成3年度	255.65
334	スポットパーク	-	スポットパークぬくいまえ1	新町一丁目72番地	第3地域	平成3年度	246.60
335	スポットパーク	-	スポットパークにしばら	西府町四丁目15番地	第6地域	平成4年度	30.62
336	スポットパーク	-	スポットパークにしこうち	是政六丁目12番地	第7地域	平成4年度	41.18
337	スポットパーク	-	スポットパークこぶんじまえ	栄町三丁目19番地	第3地域	平成4年度	130.09
338	スポットパーク	-	スポットパークしんめいだい1	白糸台三丁目40番地	第1地域	平成4年度	154.59
339	スポットパーク	-	スポットパークにしばたけ3	多磨町二丁目42番地	第1地域	平成4年度	69.13
340	スポットパーク	-	スポットパークわらびじま	日新町二丁目31番地	第8地域	平成5年度	88.37
341	スポットパーク	-	スポットパークみなみどおり3	四谷四丁目18番地	第8地域	平成5年度	71.36

3-2-13

インフラの整備状況(公園緑地等)

表3-2-13-7 公園緑地等一覧(公園調書順)(6/6)

No	公園区分	公園種別	名称	所在地	地域区分	開設年度	面積(m ²)
342	スポットパーク	-	スポットパークなかじま	南町四丁目40番地	第7地域	平成5年度	292.98
343	スポットパーク	-	スポットパーク寿	寿町三丁目8番地	第4地域	平成6年度	50.64
344	スポットパーク	-	スポットパーク芝間稻荷	南町一丁目45番地	第7地域	平成8年度	123.85
345	スポットパーク	-	スポットパークちまんだい	白糸台一丁目2番地	第1地域	平成9年度	177.40
346	スポットパーク	-	スポットパークみやのまえ	押立町五丁目8番地	第2地域	平成10年度	269.31
347	スポットパーク	-	スポットパークにふ	西府町三丁目30番地	第6地域	平成12年度	75.78
348	スポットパーク	-	スポットパークせんげんちょう1	浅間町三丁目18番地	第3地域	平成13年度	100.00
349	スポットパーク	-	スポットパークせんげんちょう2	浅間町三丁目18番地	第3地域	平成13年度	97.46
350	スポットパーク	-	スポットパークみやひがし	宮町二丁目25番地	第4地域	平成14年度	162.80
351	スポットパーク	-	スポットパークほりごめ2	本宿町三丁目15番地	第6地域	平成18年度	53.64
352	スポットパーク	-	スポットパークいなりぎ	幸町二丁目16番地	第3地域	平成21年度	170.02
353	スポットパーク	-	スポットパークしんめいだい1	白糸台三丁目25番地	第1地域	令和3年度	175.64
354	スポットパーク	-	スポットパークみみはら1	本宿町一丁目9番地	第6地域	令和3年度	185.30
355	スポットパーク	-	スポットパークなかのせき2	若松町四丁目46番地	第1地域	令和3年度	155.00
356	スポットパーク	-	スポットパークしもがわら	南町五丁目37番地	第7地域	令和3年度	108.64
357	スポットパーク	-	スポットパークみみはら2	西府町一丁目19番地	第6地域	令和3年度	66.49
358	スポットパーク	-	スポットパークつるまさき	是政一丁目17番地	第2地域	令和3年度	127.98
359	スポットパーク	-	スポットパークつるしろ1	小柳町三丁目16番地	第2地域	令和3年度	40.74
360	スポットパーク	-	スポットパークいっぽんぎ1	天神町二丁目9番地	第3地域	令和3年度	113.92
361	スポットパーク	-	スポットパークいちかわ	本町四丁目30番地	第7地域	令和3年度	73.00
362	スポットパーク	-	スポットパークあけしろ	若松町三丁目16番地	第1地域	令和3年度	117.56
363	スポットパーク	-	スポットパークたけのだい2	清水が丘三丁目34番地	第2地域	令和3年度	87.14
364	スポットパーク	-	スポットパークせんがんづか	若松町三丁目23番地	第1地域	令和3年度	78.34
365	スポットパーク	-	スポットパークみみどおり1	四谷三丁目55番地	第8地域	令和3年度	297.31
366	スポットパーク	-	スポットパークみみどおり2	四谷三丁目55番地	第8地域	令和3年度	226.56
367	スポットパーク	-	スポットパークやさき	矢崎町一丁目47番地	第2地域	令和3年度	580.38
368	スポットパーク	-	スポットパークだいどうきた	西原町四丁目3番地	第5地域	令和3年度	41.89
369	スポットパーク	-	スポットパークつるしろ2	小柳町三丁目21番地	第2地域	令和3年度	30.00
370	スポットパーク	-	スポットパークおののみや2	住吉町一丁目25番地	第7地域	令和3年度	44.70
371	府中多摩川かぜのみち	-	府中多摩川かぜのみち	四谷～住吉町～南町～是政～小柳町～押立町	第2・第7・第8地域	昭和47年度	35,047.80
372	市立公園以外の管理地	-	四谷公共植栽地1	四谷3-55-33	第8地域	昭和45年度	220.33
373	市立公園以外の管理地	-	四谷公共植栽地2	四谷3-55-49	第8地域	昭和45年度	272.81
374	市立公園以外の管理地	-	四谷公共植栽地3	四谷3-68-11	第8地域	昭和45年度	459.93
375	市立公園以外の管理地	-	四谷公共植栽地4	四谷3-68-13	第8地域	昭和45年度	73.74
376	市立公園以外の管理地	-	四谷公共植栽地5	四谷3-55-45	第8地域	昭和45年度	46.22
377	市立公園以外の管理地	-	四谷公共植栽地6	四谷3-55-108	第8地域	昭和45年度	136.02
378	市立公園以外の管理地	-	栄町一丁目公共植栽地	栄町1-20-31	第3地域	昭和47年度	99.19
379	市立公園以外の管理地	-	日新町3丁目公共植栽地	日新町3-1	第8地域	平成元年度	59.00
380	市立公園以外の管理地	-	四谷2丁目公共植栽地	四谷2-64	第8地域	平成4年度	64.29
381	市立公園以外の管理地	-	西府町4丁目公共植栽地	西府町4-12-51	第6地域	平成4年度	142.74
382	市立公園以外の管理地	-	住吉町3丁目公共植栽地	住吉町3-84先	第7地域	昭和59年度	420.00
383	市立公園以外の管理地	-	分梅町2丁目公共植栽地	分梅町2-48	第7地域	平成3年度	132.21
384	市立公園以外の管理地	-	分梅町2丁目北公共植栽地	分梅町2-48-13	第7地域	平成3年度	53.00
385	市立公園以外の管理地	-	小柳町6丁目公共植栽地	小柳町6-19	第2地域	平成5年度	37.97
386	市立公園以外の管理地	-	宮町1丁目公共植栽地	宮町1-10	第4地域	平成8年度	111.03
387	市立公園以外の管理地	-	小柳町5丁目公共植栽地	小柳町5-1-50外1筆	第2地域	平成15年度	150.02
388	市立公園以外の管理地	-	西原町4丁目公共植栽地	西原町4-8-11	第5地域	平成4年度	52.35
389	市立公園以外の管理地	-	西府町3丁目公共植栽地	西府町3-3-35	第6地域	平成19年度	165.49
390	市立公園以外の管理地	-	朝日町1丁目公共植栽地	朝日町1-24-18外7筆	第1地域	平成22年度	236.34
391	市立公園以外の管理地	-	宮西町1丁目公共植栽地	宮西町1-20-13	第4地域	不明	24.50
392	市立公園以外の管理地	-	日新町5丁目(一里塚)	日新町5-73-8	第8地域	不明	37.22
393	市立公園以外の管理地	-	分梅町3丁目	分梅町	第7地域	不明	7.69
394	市立公園以外の管理地	-	小柳散歩道	小柳町4-6～4-35	第2地域	昭和51年度	4,177.00
395	市立公園以外の管理地	-	三ヶ村遊歩道	是政2丁目、是政3丁目、是政5丁目、是政6丁目	第2地域	昭和53年度	8,058.00
396	市立公園以外の管理地	-	第一都市遊歩道	本町～日吉町～宮町～八幡町～清水が丘	第2・第4地域	昭和55年度	13,362.00
397	市立公園以外の管理地	-	第二都市遊歩道	日新町～本宿町～分梅町～片町～本町～矢崎町	第4・第6・第7・第8地域	昭和55年度	17,982.20
398	市立公園以外の管理地	-	第三都市遊歩道	住吉町～南町	第7地域	昭和57年度	15,184.00
399	市立公園以外の管理地	-	四谷4-5丁目遊歩道	四谷4-12～5-2	第8地域	昭和59年度	1,516.00
400	市立公園以外の管理地	-	むさだいこみち	武藏台2-27	第5地域	昭和63年度	425.94
401	市立公園以外の管理地	-	中河原散歩道	住吉町1-68	第7地域	平成3年度	235.00
402	市立公園以外の管理地	-	よつやさんぽみち(四谷小学校北側)	四谷3-2740内	第8地域	平成7年度	1,243.89
403	市立公園以外の管理地	-	日新町5丁目遊歩道	日新町5-41先	第8地域	平成13年度	739.78
404	市立公園以外の管理地	-	立川段丘府中崖線 本宿地区	本宿町1-33-8	第8地域	昭和46年度	45.93
405	市立公園以外の管理地	-	立川段丘府中崖線 白糸台地区	白糸台6-48-17	第2地域	昭和60年度	240.63
406	市立公園以外の管理地	-	若松苗圃	若松町5-1-3外	第1地域	昭和50年度	4,134.60
407	市立公園以外の管理地	-	四谷4丁目苗圃	四谷4-44外	第8地域	平成元年度	1,268.15
408	市立公園以外の管理地	-	是政公衆トイレ	是政4-30-14	第2地域	昭和55年度	66.66
409	市立公園以外の管理地	-	是政1丁目公共空地	是政1-2-19	第2地域	不明	82.88

3.2.13.2 位置

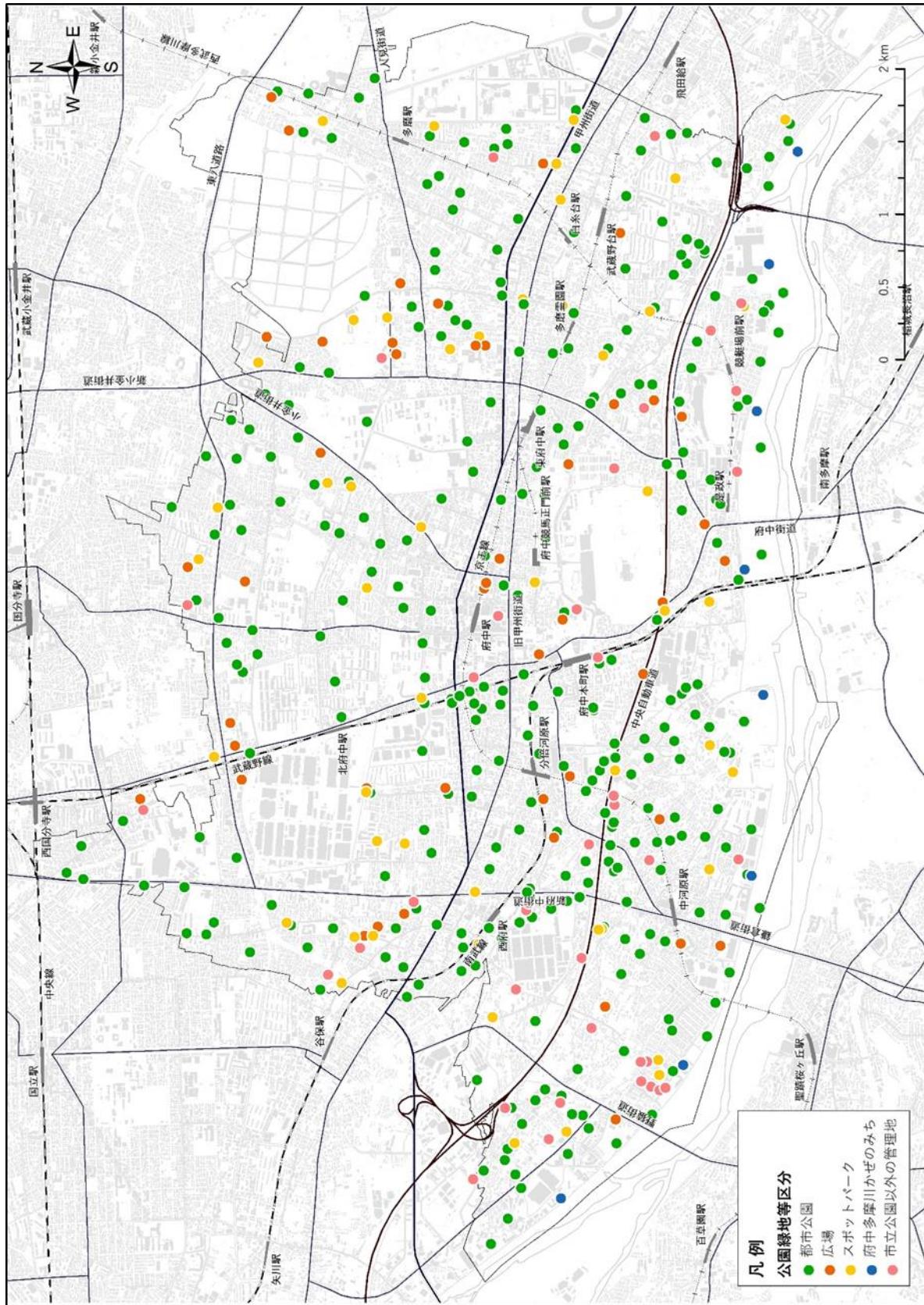


図3-2-13-2 区別位置図

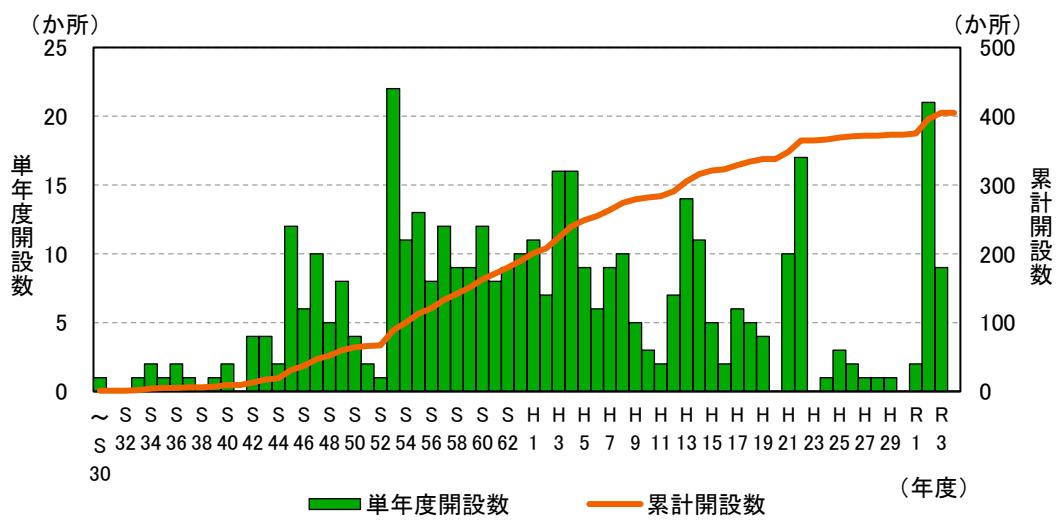
3.2.13.3 整備状況

(1) 年度別開設箇所数

市が管理する公園緑地等は、昭和45年度以降に多く開設され、昭和53年度には、22か所と最も多く開設しています。令和4年度現在405か所あるうち平成4年度以前に開設された公園緑地等は240か所、全体の59.3%にあたります。今後は施設の老朽化に伴い、補修更新費の増大が想定されています。

表3-2-13-8 年度別開設箇所数

開設年度	箇所数	開設年度	箇所数	開設年度	箇所数
昭和30年度以前	1か所	昭和53年度	22か所	平成13年度	14か所
昭和31年度	0か所	昭和54年度	11か所	平成14年度	11か所
昭和32年度	0か所	昭和55年度	13か所	平成15年度	5か所
昭和33年度	1か所	昭和56年度	8か所	平成16年度	2か所
昭和34年度	2か所	昭和57年度	12か所	平成17年度	6か所
昭和35年度	1か所	昭和58年度	9か所	平成18年度	5か所
昭和36年度	2か所	昭和59年度	9か所	平成19年度	4か所
昭和37年度	1か所	昭和60年度	12か所	平成20年度	0か所
昭和38年度	0か所	昭和61年度	8か所	平成21年度	10か所
昭和39年度	1か所	昭和62年度	9か所	平成22年度	17か所
昭和40年度	2か所	昭和63年度	10か所	平成23年度	0か所
昭和41年度	0か所	平成元年度	11か所	平成24年度	1か所
昭和42年度	4か所	平成2年度	7か所	平成25年度	3か所
昭和43年度	4か所	平成3年度	16か所	平成26年度	2か所
昭和44年度	2か所	平成4年度	16か所	平成27年度	1か所
昭和45年度	12か所	平成5年度	9か所	平成28年度	1か所
昭和46年度	6か所	平成6年度	6か所	平成29年度	1か所
昭和47年度	10か所	平成7年度	9か所	平成30年度	0か所
昭和48年度	5か所	平成8年度	10か所	令和元年度	2か所
昭和49年度	8か所	平成9年度	5か所	令和2年度	21か所
昭和50年度	4か所	平成10年度	3か所	令和3年度	9か所
昭和51年度	2か所	平成11年度	2か所	令和4年度	0か所
昭和52年度	1か所	平成12年度	7か所		

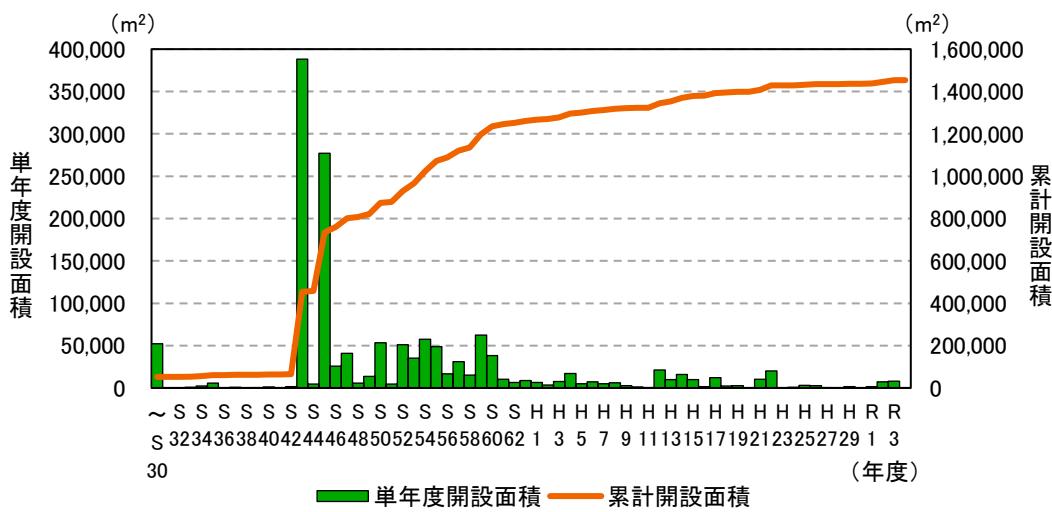


(2) 年度別開設面積

開設面積では、昭和43年度が388,270.06m²と最も多く、「郷土の森公園」や「武蔵台公園」等の面積が大きい公園緑地等が開設されています。

表3-2-13-9 年度別開設面積

開設年度	面積	開設年度	面積	開設年度	面積
昭和30年度以前	52,235.10m ²	昭和53年度	35,338.28m ²	平成13年度	9,992.36m ²
昭和31年度	0.00m ²	昭和54年度	57,622.07m ²	平成14年度	15,759.85m ²
昭和32年度	0.00m ²	昭和55年度	48,754.61m ²	平成15年度	9,894.22m ²
昭和33年度	743.24m ²	昭和56年度	16,812.74m ²	平成16年度	1,487.57m ²
昭和34年度	2,476.86m ²	昭和57年度	30,965.04m ²	平成17年度	11,961.04m ²
昭和35年度	5,785.15m ²	昭和58年度	15,260.46m ²	平成18年度	2,295.27m ²
昭和36年度	0.00m ²	昭和59年度	62,341.87m ²	平成19年度	2,846.40m ²
昭和37年度	932.24m ²	昭和60年度	38,360.10m ²	平成20年度	0.00m ²
昭和38年度	0.00m ²	昭和61年度	10,102.55m ²	平成21年度	10,208.31m ²
昭和39年度	375.31m ²	昭和62年度	6,451.22m ²	平成22年度	20,000.17m ²
昭和40年度	1,305.42m ²	昭和63年度	8,685.20m ²	平成23年度	0.00m ²
昭和41年度	0.00m ²	平成元年度	6,457.16m ²	平成24年度	910.57m ²
昭和42年度	1,612.07m ²	平成2年度	3,266.13m ²	平成25年度	3,058.96m ²
昭和43年度	388,270.06m ²	平成3年度	7,464.71m ²	平成26年度	2,765.53m ²
昭和44年度	4,640.44m ²	平成4年度	17,045.25m ²	平成27年度	242.07m ²
昭和45年度	277,239.45m ²	平成5年度	4,942.17m ²	平成28年度	0.00m ²
昭和46年度	25,680.55m ²	平成6年度	7,060.20m ²	平成29年度	1,374.13m ²
昭和47年度	40,774.60m ²	平成7年度	5,058.52m ²	平成30年度	0.00m ²
昭和48年度	5,614.79m ²	平成8年度	6,217.44m ²	令和元年度	1,375.65m ²
昭和49年度	13,649.04m ²	平成9年度	2,688.94m ²	令和2年度	7,384.82m ²
昭和50年度	53,191.08m ²	平成10年度	1,068.65m ²	令和3年度	8,053.97m ²
昭和51年度	4,672.93m ²	平成11年度	418.39m ²	令和4年度	0.00m ²
昭和52年度	51,151.52m ²	平成12年度	21,189.97m ²		



※数量や面積は『公園調書』より公園緑地等の施設ごとで集約された数字を用いています。なお、開設後に撤去された公園緑地等の面積と開設年度が不明の4か所（「宮西町1丁目公共植栽地」、「日新町5丁目（一里塚）」、「分梅町3丁目」、「是政1丁目公共空地」）を除いています。

3-2-13

インフラの整備状況（公園緑地等）

(3) 公園緑地等別開設面積

施設別の面積では、第7地域に立地する「郷土の森公園」が338,654.57m²と最も広く、市内全ての公園緑地等の面積の23.3%を占めています。また、面積が上位の10施設で、市内の公園緑地等の面積の62.2%を占めています。

表3-2-13-10 公園緑地等一覧(面積順・上位10施設)

順位	名称	地域区分	開設年度	面積	割合
1	郷土の森公園	第7地域	昭和43年度	338,654.57m ²	23.3%
2	多摩川緑地	第2地域・第7地域	昭和45年度	259,549.20m ²	17.9%
3	寿中央公園	第4地域	昭和30年度	52,235.10m ²	3.6%
4	小柳公園	第2地域	昭和52年度	51,151.52m ²	3.5%
5	武蔵台公園	第5地域	昭和43年度	46,835.08m ²	3.2%
6	新田川緑道	第7地域・第8地域	昭和50年度	43,813.61m ²	3.0%
7	府中多摩川かぜのみち	第2地域・第7地域 第8地域	昭和47年度	35,047.80m ²	2.4%
8	二ヶ村緑道	第2地域・第7地域	昭和54年度	30,378.27m ²	2.1%
9	西府緑地	第7地域・第8地域	昭和46年度	23,832.11m ²	1.6%
10	府中公園	第4地域	昭和59年度	22,501.53m ²	1.5%
11位以下				549,685.91m ²	37.8%
合計				1,453,684.70m ²	100.0%

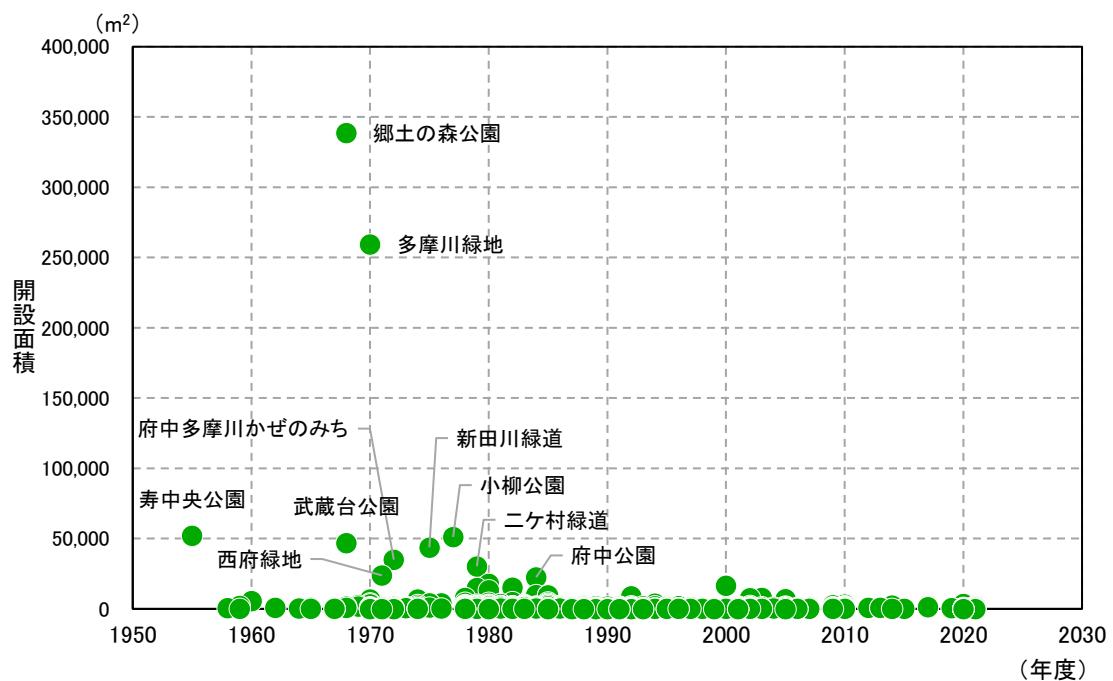


図3-2-13-5 年度別公園緑地等開設面積

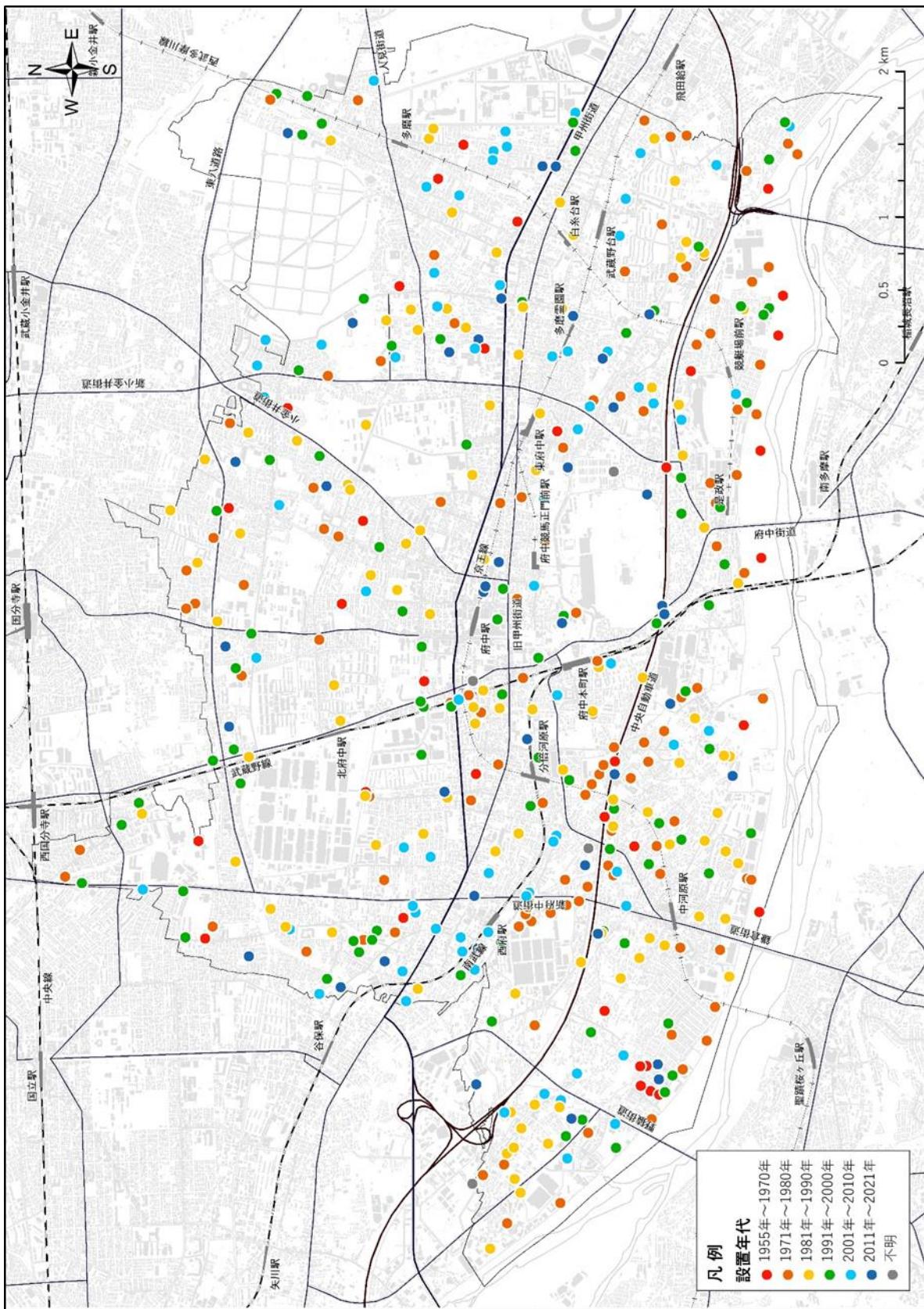


図3-2-13-6 設置年代別位置図

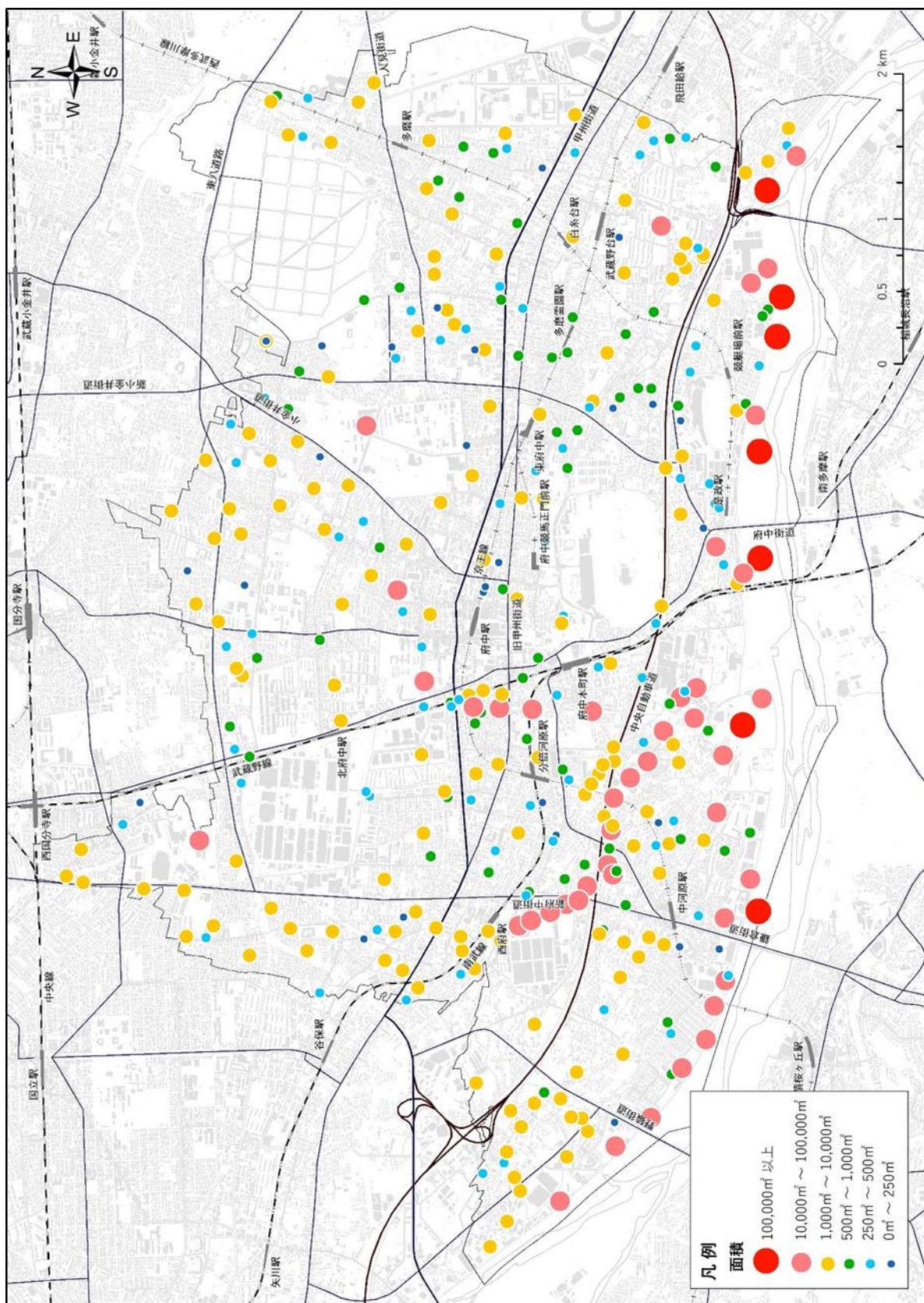


図3-2-13-7 面積別位置図(スポットパーク、市立公園以外の管理地を除く)

3.2.13.4 公園施設の整備状況

(1) 公園施設の数量

市が管理する公園緑地等のうち、都市公園に設置されている遊戯施設の数量は、次のとおりです。

数量は、市が作成した『府中市公園施設長寿命化計画』(令和5年)にて都市公園の遊戯施設を対象に調査を実施し、公園施設の分類は、『公園施設長寿命化計画策定指針(案)【改定版】』(国土交通省都市局、平成30年)に基づいて整理しています。

表3-2-13-11 都市公園における遊戯施設別数量

施設名	設置都市公園数	施設数
踏み板式ぶらんこ	90 か所	92 基
すべり台	103 か所	105 基
ジャングルジム	12 か所	12 基
鉄棒	81 か所	88 基
シーソー	17 か所	17 基
複合遊具	34 か所	35 基
健康器具系施設	29 か所	64 基
フィールドアスレチック遊具	9 か所	12 基
ラダー	15 か所	18 基
スプリング遊具	103 か所	187 基
砂場	140 か所	142 基
石の山・人工的な築山	5 か所	5 基
象形遊具	12 か所	32 基
その他	19 か所	22 基
合計	-	831 基

公園緑地課が管理する便益施設の数量は、次のとおりです。

表3-2-13-12 公園緑地課が管理する便益施設別数量

施設名	設置場所	施設数
便所	100 か所	100 基
水飲み場	225 か所	230 基
時計	73 か所	73 基
合計	-	403 基

※複数の地域にわたり立地している公園の施設数も含んでいます。

【処分制限期間】

『国土交通省所管補助金等交付規則』(総理府・建設省令第九号, 平成12年)に基づく、施設の処分制限期間です。この処分制限期間は、財産としての価値を算出する期限として規定されています。

表3-2-13-13 公園施設の処分制限期間一覧

施設区分	財産名	構造規格等	処分制限期間
遊戯施設	構築物	主として金属製のもの	15年
		主として木製のもの	7年
		その他のもの	10年
便益施設	便所	鉄骨鉄筋コンクリート造または鉄筋コンクリート造	50年
		れんが造、石造またはブロック造	41年
		金属造(骨格材の肉厚が4mm以上のもの)	38年
		金属造 (骨格材の肉厚が3mm以上4mm以下のもの)	30年
		金属造(骨格材の肉厚が3mm以下のもの)	22年
		木造または合成樹脂	24年
		木骨モルタル造	22年

※出典:『国土交通省所管補助金等交付規則』(総理府・建設省令第九号, 平成12年)

(2) 遊戯施設の整備状況

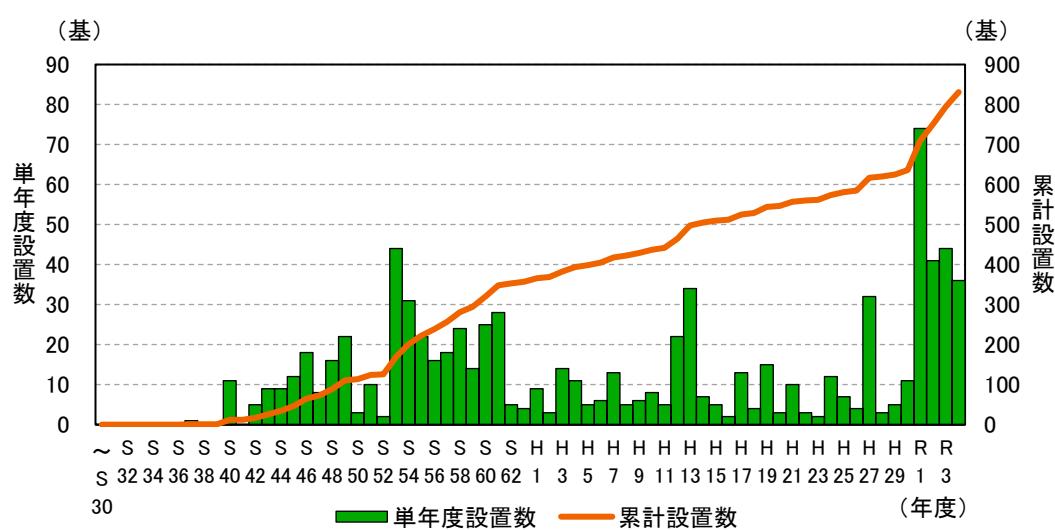
都市公園に設置・管理されている遊戯施設の年度別の設置数量の推移は、次のとおりです。

3-2-13

インフラの整備状況(公園緑地等)

表3-2-13-14 年度別設置数量

設置年度	施設数	設置年度	施設数	設置年度	施設数
昭和30年度以前	0基	昭和53年度	44基	平成13年度	34基
昭和31年度	0基	昭和54年度	31基	平成14年度	7基
昭和32年度	0基	昭和55年度	22基	平成15年度	5基
昭和33年度	0基	昭和56年度	16基	平成16年度	2基
昭和34年度	0基	昭和57年度	18基	平成17年度	13基
昭和35年度	0基	昭和58年度	24基	平成18年度	4基
昭和36年度	0基	昭和59年度	14基	平成19年度	15基
昭和37年度	1基	昭和60年度	25基	平成20年度	3基
昭和38年度	0基	昭和61年度	28基	平成21年度	10基
昭和39年度	0基	昭和62年度	5基	平成22年度	3基
昭和40年度	11基	昭和63年度	4基	平成23年度	2基
昭和41年度	0基	平成元年度	9基	平成24年度	12基
昭和42年度	5基	平成2年度	3基	平成25年度	7基
昭和43年度	9基	平成3年度	14基	平成26年度	4基
昭和44年度	9基	平成4年度	11基	平成27年度	32基
昭和45年度	12基	平成5年度	5基	平成28年度	3基
昭和46年度	18基	平成6年度	6基	平成29年度	5基
昭和47年度	8基	平成7年度	13基	平成30年度	11基
昭和48年度	16基	平成8年度	5基	令和元年度	74基
昭和49年度	22基	平成9年度	6基	令和2年度	41基
昭和50年度	3基	平成10年度	8基	令和3年度	44基
昭和51年度	10基	平成11年度	5基	令和4年度	36基
昭和52年度	2基	平成12年度	22基		



3.2.13.5 地域区分別数量

地域ごとの公園緑地等の開設状況は次のとおりです。開設箇所数では「小柳公園」や「押立公園」が立地する第2地域、面積では「郷土の森公園」が立地する第7地域が多くなっています。

※「多摩川緑地」、「西府緑地」、「新田川緑道」、「二ヶ村緑道」、「下河原緑道」、「府中多摩川かぜのみち」、「第一都市遊歩道」、「第二都市遊歩道」の8つの公園緑地等は、複数の地域にわたり立地しているため、各地域の集計には含めず複数地域として集計しています。

表3-2-13-15 地域区分別数量

地域区分	都市公園	広場	スポットパーク	府中多摩川かぜのみち	市立公園以外の管理地	合計
全域	272 か所	46 か所	52 か所	1 か所	38 か所	409 か所
第1地域	33 か所	8 か所	11 か所	0 か所	2 か所	54 か所
第2地域	51 か所	8 か所	9 か所	0 か所	7 か所	75 か所
第3地域	36 か所	7 か所	8 か所	0 か所	1 か所	52 か所
第4地域	28 か所	6 か所	3 か所	0 か所	2 か所	39 か所
第5地域	18 か所	2 か所	2 か所	0 か所	2 か所	24 か所
第6地域	34 か所	7 か所	7 か所	0 か所	2 か所	50 か所
第7地域	44 か所	7 か所	7 か所	0 か所	6 か所	64 か所
第8地域	23 か所	1 か所	5 か所	0 か所	14 か所	43 か所
複数地域	5 か所	0 か所	0 か所	1 か所	2 か所	8 か所

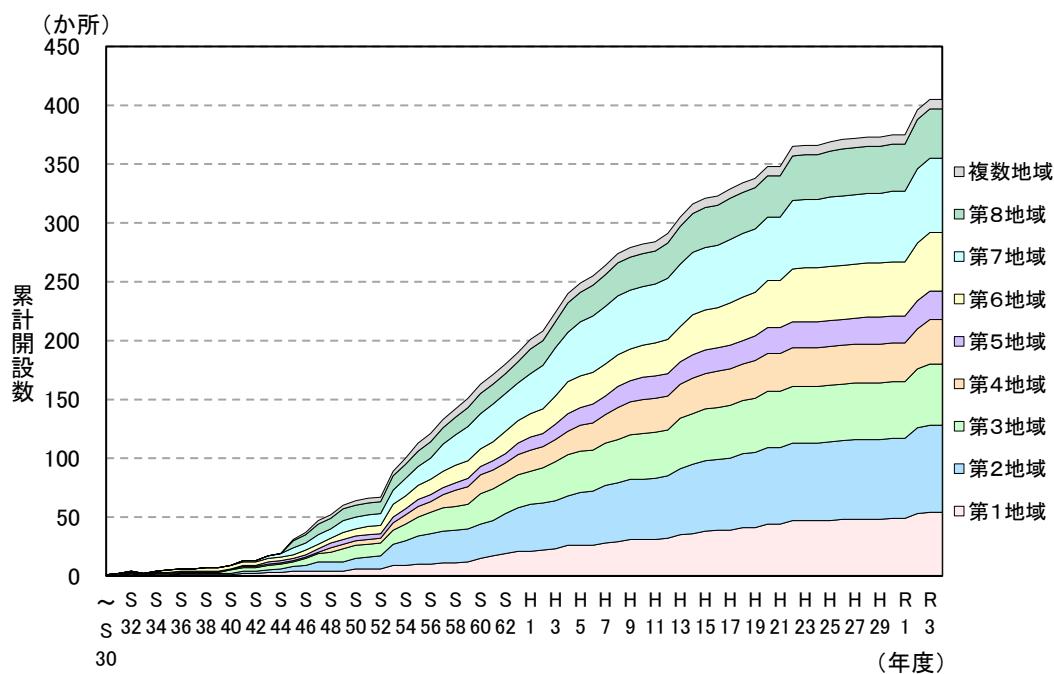


表3-2-13-16 地域区分別面積

地域区分	都市公園	広場	スポットパーク	府中多摩川かぜのみち	市立公園以外の管理地	合計
全域	1,315,154.02m ²	24,149.05m ²	7,569.08m ²	35,047.80m ²	71,764.75m ²	1,453,684.70m ²
第1地域	36,918.82m ²	7,813.66m ²	1,614.80m ²	0.00m ²	4,370.94m ²	50,718.22m ²
第2地域	118,735.56m ²	4,880.05m ²	1,750.04m ²	0.00m ²	12,813.16m ²	138,178.81m ²
第3地域	60,311.89m ²	2,173.82m ²	1,212.04m ²	0.00m ²	99.19m ²	63,796.94m ²
第4地域	100,627.64m ²	3,783.31m ²	310.74m ²	0.00m ²	135.53m ²	104,857.22m ²
第5地域	71,466.60m ²	592.16m ²	180.34m ²	0.00m ²	478.29m ²	72,717.39m ²
第6地域	63,592.68m ²	2,745.54m ²	796.32m ²	0.00m ²	308.23m ²	67,442.77m ²
第7地域	418,559.30m ²	1,915.21m ²	967.77m ²	0.00m ²	16,031.90m ²	437,474.18m ²
第8地域	64,884.05m ²	245.30m ²	737.03m ²	0.00m ²	6,183.31m ²	72,049.69m ²
複数地域	380,057.48m ²	0.00m ²	0.00m ²	35,047.80m ²	31,344.20m ²	446,449.48m ²

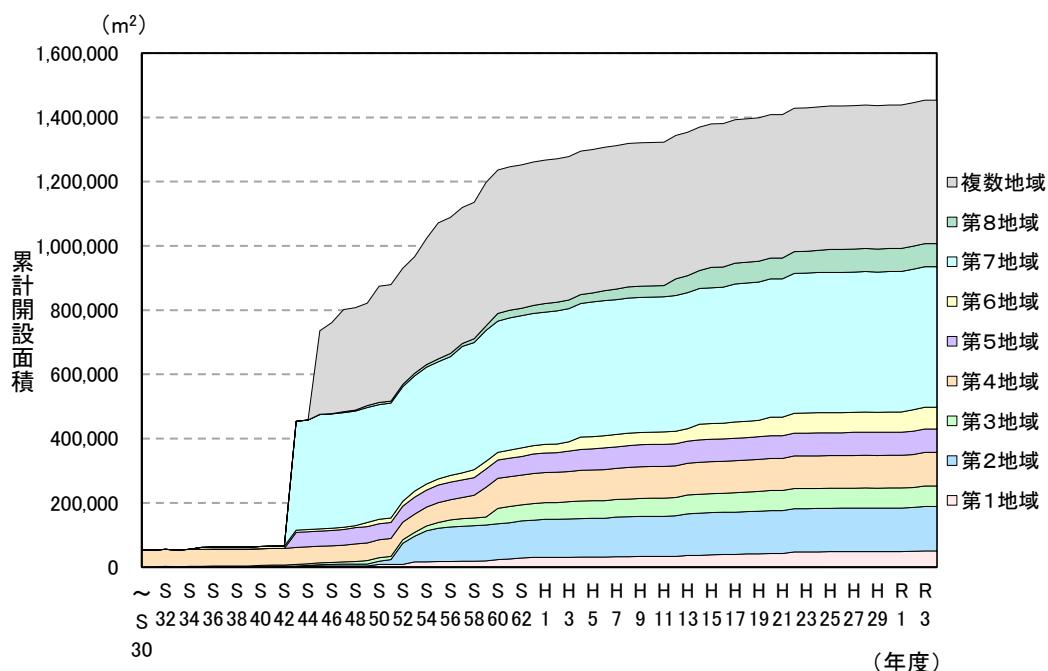


図3-2-13-10 地域区分別累計開設面積の推移

※開設年度不明の4か所を除く

表3-2-13-17 地域区分別・開設年度別面積(m²)

開設年度	全城	第1地域	第2地域	第3地域	第4地域	第5地域	第6地域	第7地域	第8地域	複数地域
昭和30年度	52,235.10	0.00	0.00	0.00	52,235.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
昭和31年度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
昭和32年度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
昭和33年度	743.24	743.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
昭和34年度	2,476.86	0.00	0.00	2,255.79	0.00	0.00	221.07	0.00	0.00	0.00
昭和35年度	5,785.15	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5,785.15	0.00	0.00	0.00
昭和36年度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
昭和37年度	932.24	0.00	932.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
昭和38年度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
昭和39年度	375.31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	375.31	0.00	0.00	0.00
昭和40年度	1,305.42	0.00	0.00	1,305.42	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
昭和41年度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
昭和42年度	1,612.07	535.28	448.30	0.00	0.00	324.49	0.00	304.00	0.00	0.00
昭和43年度	388,270.06	991.74	0.00	1,788.67	0.00	46,835.08	0.00	338,654.57	0.00	0.00
昭和44年度	4,640.44	0.00	1,884.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,756.44	0.00	0.00
昭和45年度	277,239.45	939.98	1,258.36	0.00	0.00	0.00	0.00	14,282.86	1,209.05	259,549.20
昭和46年度	25,680.55	0.00	287.36	1,180.57	0.00	0.00	334.58	0.00	45.93	23,832.11
昭和47年度	40,774.60	0.00	1,541.07	99.19	0.00	1,506.53	0.00	654.20	1,925.81	35,047.80
昭和48年度	5,614.79	0.00	0.00	1,051.84	3,143.26	1,419.69	0.00	0.00	0.00	0.00
昭和49年度	13,649.04	0.00	0.00	2,954.84	0.00	0.00	6,877.29	847.76	2,969.15	0.00
昭和50年度	53,191.08	5,211.93	4,165.54	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	43,813.61
昭和51年度	4,672.93	0.00	4,177.00	0.00	0.00	0.00	495.93	0.00	0.00	0.00
昭和52年度	51,151.52	0.00	51,151.52	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
昭和53年度	35,338.28	8,164.01	13,347.61	1,540.25	1,707.16	2,931.46	4,496.35	802.89	2,348.55	0.00
昭和54年度	57,622.07	0.00	17,767.87	2,112.55	1,890.54	0.00	0.00	5,472.84	0.00	30,378.27
昭和55年度	48,754.61	1,184.61	6,706.54	3,047.04	3,137.01	2,065.32	160.72	770.70	338.47	31,344.20
昭和56年度	16,812.74	0.00	3,857.71	4,696.57	0.00	0.00	2,154.89	5,743.19	360.38	0.00
昭和57年度	30,965.04	429.83	1,030.36	1,755.69	3,755.49	0.00	1,443.05	22,550.62	0.00	0.00
昭和58年度	15,260.46	0.00	2,798.10	0.00	4,101.12	0.00	2,269.33	3,069.34	3,022.57	0.00
昭和59年度	62,341.87	1,613.12	0.00	1,040.00	22,501.53	1,707.82	0.00	11,479.11	1,516.00	22,484.29
昭和60年度	38,360.10	3,191.48	240.63	23,800.47	500.00	0.00	0.00	882.27	9,745.25	0.00
昭和61年度	10,102.55	2,719.40	1,231.48	1,282.09	0.00	1,243.31	377.41	3,248.86	0.00	0.00
昭和62年度	6,451.22	2,802.77	2,362.93	0.00	0.00	0.00	1,285.52	0.00	0.00	0.00
昭和63年度	8,685.20	1,539.43	1,153.76	1,884.58	97.30	2,741.98	0.00	0.00	1,268.15	0.00
平成元年度	6,457.16	0.00	2,501.61	0.00	1,008.23	138.45	91.59	481.83	2,235.45	0.00
平成2年度	3,266.13	69.24	0.00	353.95	0.00	0.00	685.28	2,157.66	0.00	0.00
平成3年度	7,464.71	154.59	578.79	1,751.45	209.22	2,156.62	1,694.34	855.41	64.29	0.00
平成4年度	17,045.25	732.09	656.89	935.05	1,316.81	2,133.72	9,713.52	706.55	850.62	0.00
平成5年度	4,942.17	0.00	902.98	0.00	456.10	0.00	0.00	3,583.09	0.00	0.00
平成6年度	7,060.20	0.00	360.00	0.00	424.95	1,980.00	0.00	499.32	3,795.93	0.00
平成7年度	5,058.52	921.70	2,340.90	147.29	280.89	0.00	0.00	123.85	1,243.89	0.00
平成8年度	6,217.44	177.40	690.74	403.15	1,416.44	997.32	0.00	565.17	1,967.22	0.00
平成9年度	2,688.94	820.36	269.31	1,282.60	316.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平成10年度	1,068.65	0.00	0.00	540.00	294.59	234.06	0.00	0.00	0.00	0.00
平成11年度	418.39	0.00	342.61	0.00	0.00	0.00	75.78	0.00	0.00	0.00
平成12年度	21,189.97	771.75	1,109.24	0.00	0.00	0.00	272.37	1,800.11	17,236.50	0.00
平成13年度	9,992.36	2,583.40	3,115.18	2,130.72	0.00	0.00	342.65	835.33	985.08	0.00
平成14年度	15,759.85	298.35	1,876.37	0.00	162.80	1,374.40	9,750.83	0.00	2,297.10	0.00
平成15年度	9,894.22	1,627.42	150.02	241.01	0.00	0.00	0.00	0.00	7,875.77	0.00
平成16年度	1,487.57	1,018.85	0.00	0.00	468.72	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平成17年度	11,961.04	0.00	761.26	927.06	0.00	0.00	1,794.21	7,116.65	1,361.86	0.00
平成18年度	2,295.27	1,668.79	460.99	0.00	0.00	165.49	0.00	0.00	0.00	0.00
平成19年度	2,846.40	0.00	909.34	425.86	300.01	1,211.19	0.00	0.00	0.00	0.00
平成20年度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平成21年度	10,208.31	1,666.82	220.04	1,203.23	0.00	299.93	6,818.29	0.00	0.00	0.00
平成22年度	20,000.17	5,165.92	848.41	0.00	1,940.00	0.00	3,795.92	5,398.42	2,851.50	0.00
平成23年度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平成24年度	910.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	910.57	0.00	0.00	0.00
平成25年度	3,058.96	0.00	791.56	0.00	0.00	0.00	0.00	843.81	1,423.59	0.00
平成26年度	2,765.53	215.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,550.49	0.00
平成27年度	242.07	0.00	242.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平成28年度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平成29年度	1,374.13	0.00	0.00	0.00	0.00	1,374.13	0.00	0.00	0.00	0.00
平成30年度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
令和元年度	1,375.65	622.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	753.30	0.00	0.00
令和2年度	7,384.82	526.54	866.24	413.92	980.67	41.89	3,805.35	226.34	523.87	0.00
令和3年度	8,053.97	1,610.79	1,759.00	1,246.09	2,188.11	0.00	1,249.98	0.00	0.00	0.00
令和4年度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	1,453,532.41	50,718.22	138,095.93	63,796.94	104,832.72	72,717.39	67,442.77	437,466.49	72,012.47	446,449.48

(1) 第1地域

1) 公園綠地等位置

第1地域は、「浅間山公園」や「武蔵野の森公園」の一部など大規模な都立公園が立地しますが、他の地域と比較して市が管理する公園緑地等の面積が最も小さい地域です。

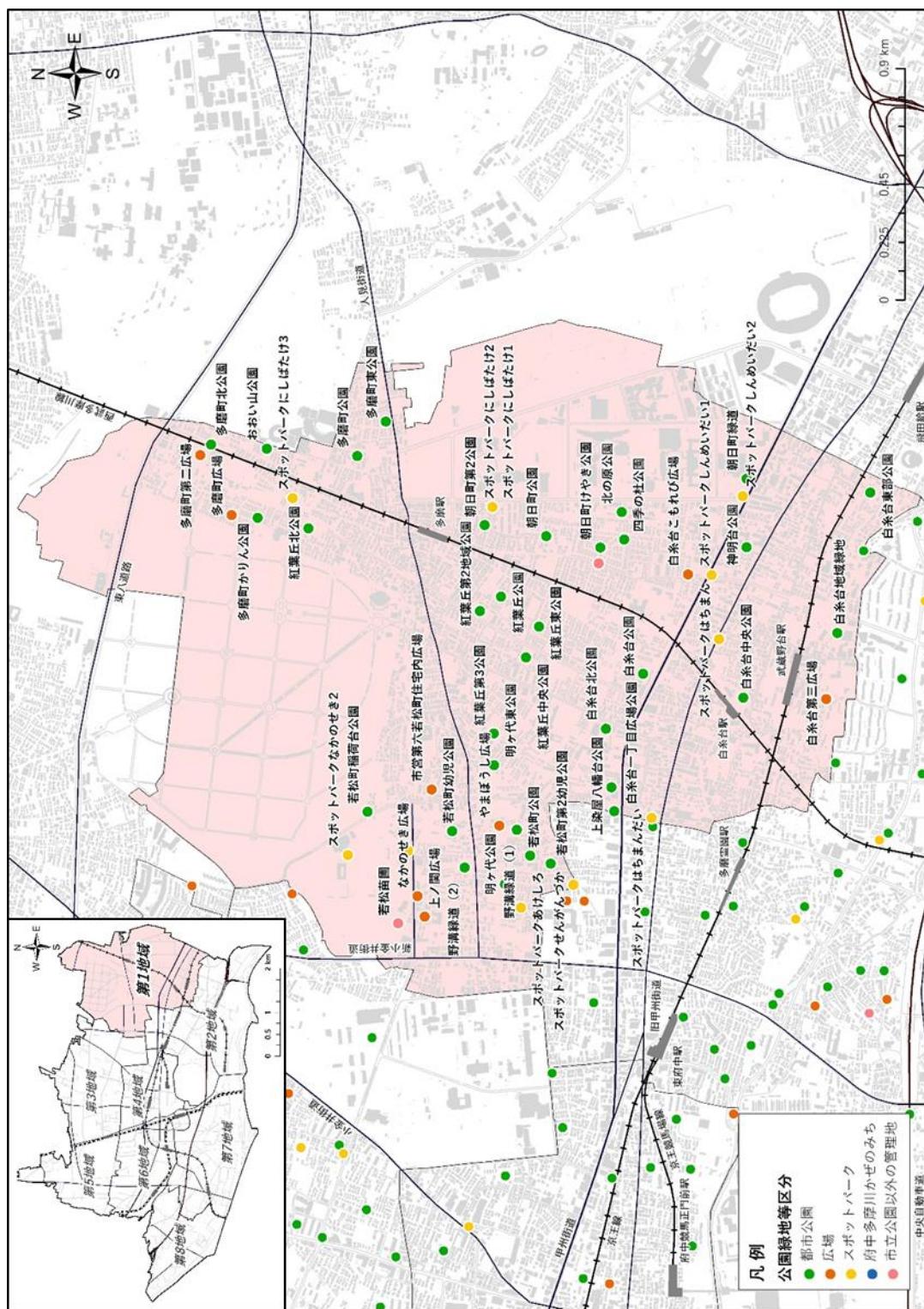


図3-2-13-11 第1地域の公園緑地等位置図

2) 人口・面積

表3-2-13-18 第1地域の人口

	年	人口	地域間比較
総人口	令和4年	40,041人	2位/8地域
	令和22年予測	41,433人	2位/8地域
年少人口	令和4年	5,138人	2位/8地域
高齢人口	令和4年	8,254人	3位/8地域

※令和4年は住民基本台帳より、令和22年予測は令和2年度国勢調査より予測しています。

表3-2-13-19 第1地域の公園緑地等の面積及び人口あたりの面積

項目	数量	地域間比較
地域面積	5,393,692.93m ²	2位/8地域
公園緑地等面積	50,718.22m ²	8位/8地域
総人口あたりの公園緑地等面積	1.27m ² /人	8位/8地域
年少人口あたりの公園緑地等面積	9.87m ² /人	8位/8地域
高齢人口あたりの公園緑地等面積	6.14m ² /人	8位/8地域
市管理公園緑地等面積が占める割合	0.9%	8位/8地域

3) 公園施設

表3-2-13-20 第1地域の都市公園に設置された遊戯施設数量

施設名	施設数
踏み板式ぶらんこ	14基
すべり台	11基
ジャングルジム	1基
鉄棒	9基
シーソー	0基
複合遊具	4基
健康器具系施設	7基
フィールドアスレチック遊具	1基
ラダー	4基
スプリング遊具	24基
砂場	15基
石の山・人工的な築山	2基
象形遊具	0基
その他	1基
合計	93基

表3-2-13-21 第1地域で公園緑地課が管理する便益施設数量

施設名	施設数
水飲み場	28基
時計	4基

(2) 第2地域

1) 公園綠地等位置

第2地域は、「小柳公園」や「押立公園」等の市が管理する規模が大きな公園緑地等が立地しており、他の地域と比較して総人口あたりの公園緑地等面積が最も大きい地域です。

3-2-13

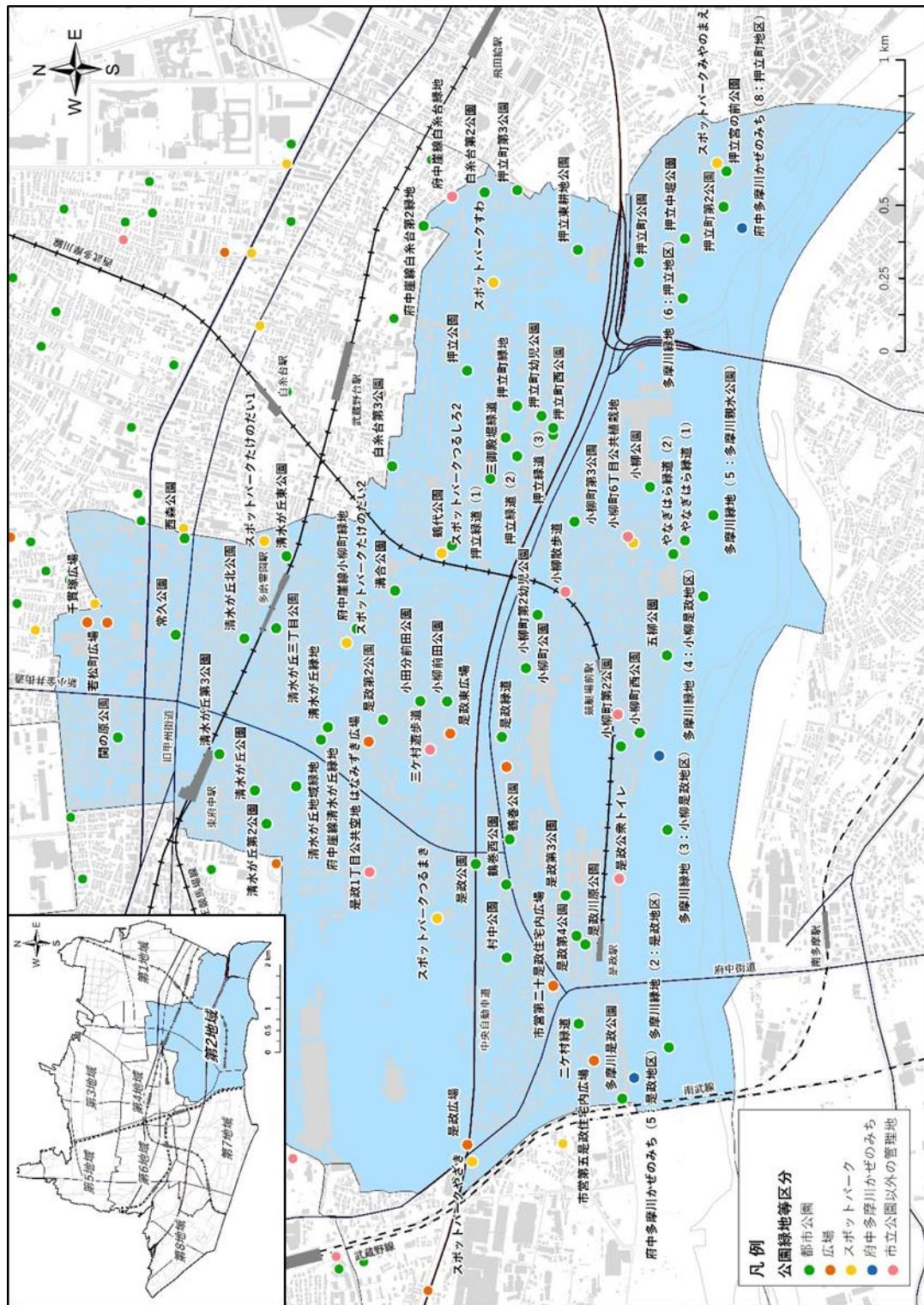


図3-2-13-12 第2地域の公園緑地等位置図

2) 人口・面積

表3-2-13-22 第2地域の人口

	年	人口	地域間比較
総人口	令和4年	45,995 人	1位/8地域
	令和22年予測	44,177 人	1位/8地域
年少人口	令和4年	5,415 人	1位/8地域
高齢人口	令和4年	8,254 人	1位/8地域

※P107の注釈に記載のとおりです。

表3-2-13-23 第2地域の公園緑地等の面積及び人口あたりの面積

項目	数量	地域間比較
地域面積	5,938,570.27m ²	1位/8地域
公園緑地等面積	138,178.81m ²	2位/8地域
総人口あたりの公園緑地等面積	3.00m ² /人	4位/8地域
年少人口あたりの公園緑地等面積	25.52m ² /人	4位/8地域
高齢人口あたりの公園緑地等面積	12.71m ² /人	5位/8地域
市管理公園緑地等面積が占める割合	2.3%	6位/8地域

3) 公園施設

表3-2-13-24 第2地域の都市公園に設置された遊戯施設数量

施設名	施設数
踏み板式ぶらんこ	15 基
すべり台	25 基
ジャングルジム	2 基
鉄棒	18 基
シーソー	8 基
複合遊具	5 基
健康器具系施設	4 基
フィールドアスレチック遊具	1 基
ラダー	1 基
スプリング遊具	44 基
砂場	27 基
石の山・人工的な築山	1 基
象形遊具	3 基
その他	3 基
合計	157 基

表3-2-13-25 第2地域で公園緑地課が管理する便益施設数量

施設名	施設数
水飲み場	40 基
時計	16 基

(3) 第3地域

1) 公園綠地等位置

第3地域は、規模が大きい公園緑地等として、都が管理する「府中の森公園」や市が管理する「平和の森公園」が立地していますが、他の地域と比較して公園緑地等の面積が小さい地域です。

3-2-13

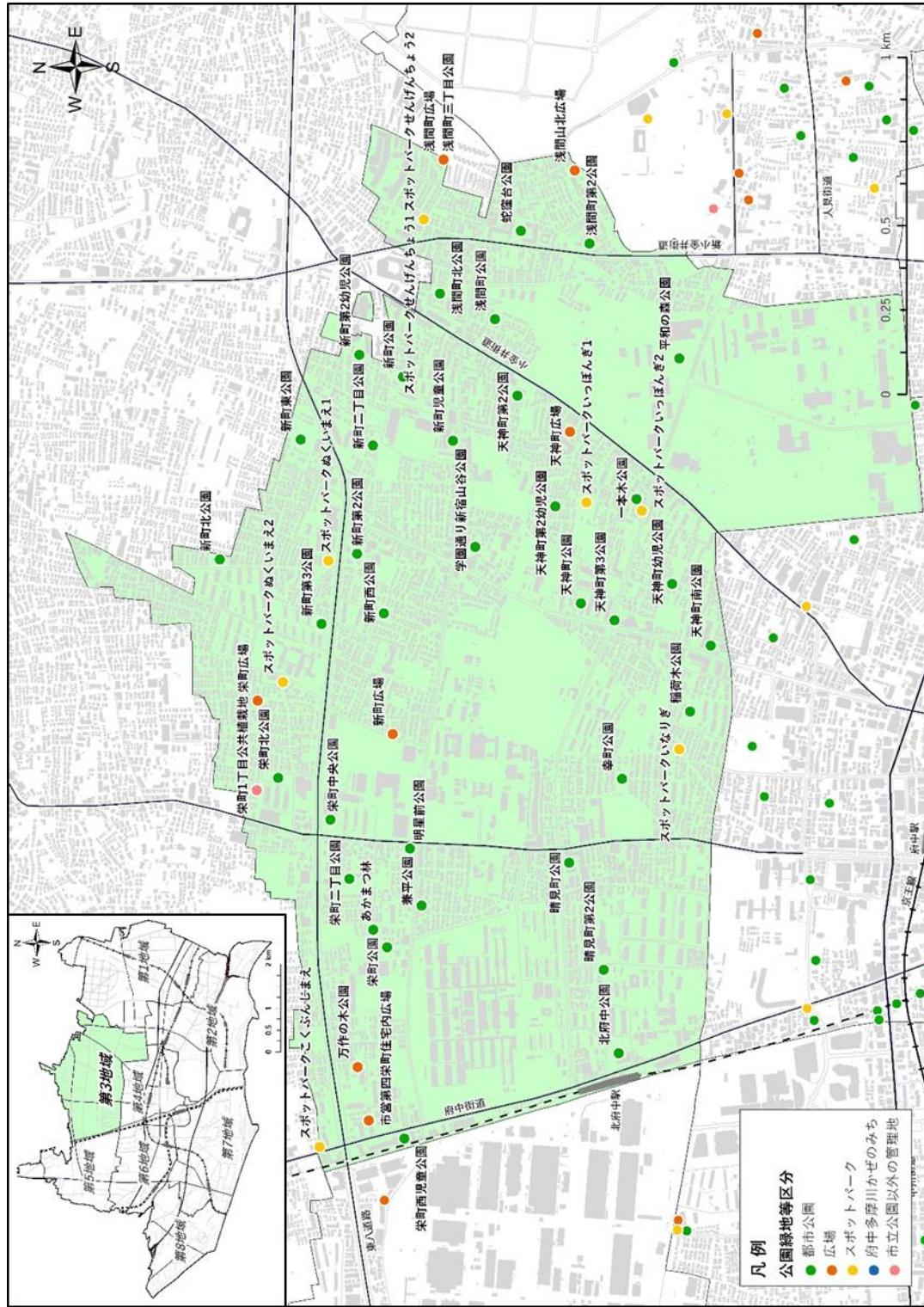


図3-2-13-13 第3地域の公園緑地等位置図

2) 人口・面積

表3-2-13-26 第3地域の人口

	年	人口	地域間比較
総人口	令和4年	39,166 人	4位/8地域
	令和22年予測	39,213 人	3位/8地域
年少人口	令和4年	4,766 人	4位/8地域
高齢人口	令和4年	10,246 人	2位/8地域

※P107の注釈に記載のとおりです。

表3-2-13-27 第3地域の公園緑地等の面積及び人口あたりの面積

項目	数量	地域間比較
地域面積	3,992,537.96m ²	4位/8地域
公園緑地等面積	63,797.94m ²	7位/8地域
総人口あたりの公園緑地等面積	1.63m ² /人	7位/8地域
年少人口あたりの公園緑地等面積	13.39m ² /人	7位/8地域
高齢人口あたりの公園緑地等面積	6.23m ² /人	7位/8地域
市管理公園緑地等面積が占める割合	1.6%	7位/8地域

3) 公園施設

表3-2-13-28 第3地域の都市公園に設置された遊戯施設数量

施設名	施設数
踏み板式ぶらんこ	15 基
すべり台	16 基
ジャングルジム	0 基
鉄棒	10 基
シーソー	3 基
複合遊具	5 基
健康器具系施設	5 基
フィールドアスレチック遊具	0 基
ラダー	5 基
スプリング遊具	28 基
砂場	23 基
石の山・人工的な築山	1 基
象形遊具	8 基
その他	1 基
合計	120 基

表3-2-13-29 第3地域で公園緑地課が管理する便益施設数量

施設名	施設数
水飲み場	35 基
時計	14 基

(4) 第4地域

1) 公園綠地等位置

第4地域は、市の中心部に位置し、最も面積が小さい地域ですが、市民球場・陸上競技場を含有する「寿中央公園」などが立地し、他の地域と比較して公園緑地等が占める面積が大きい地域です。

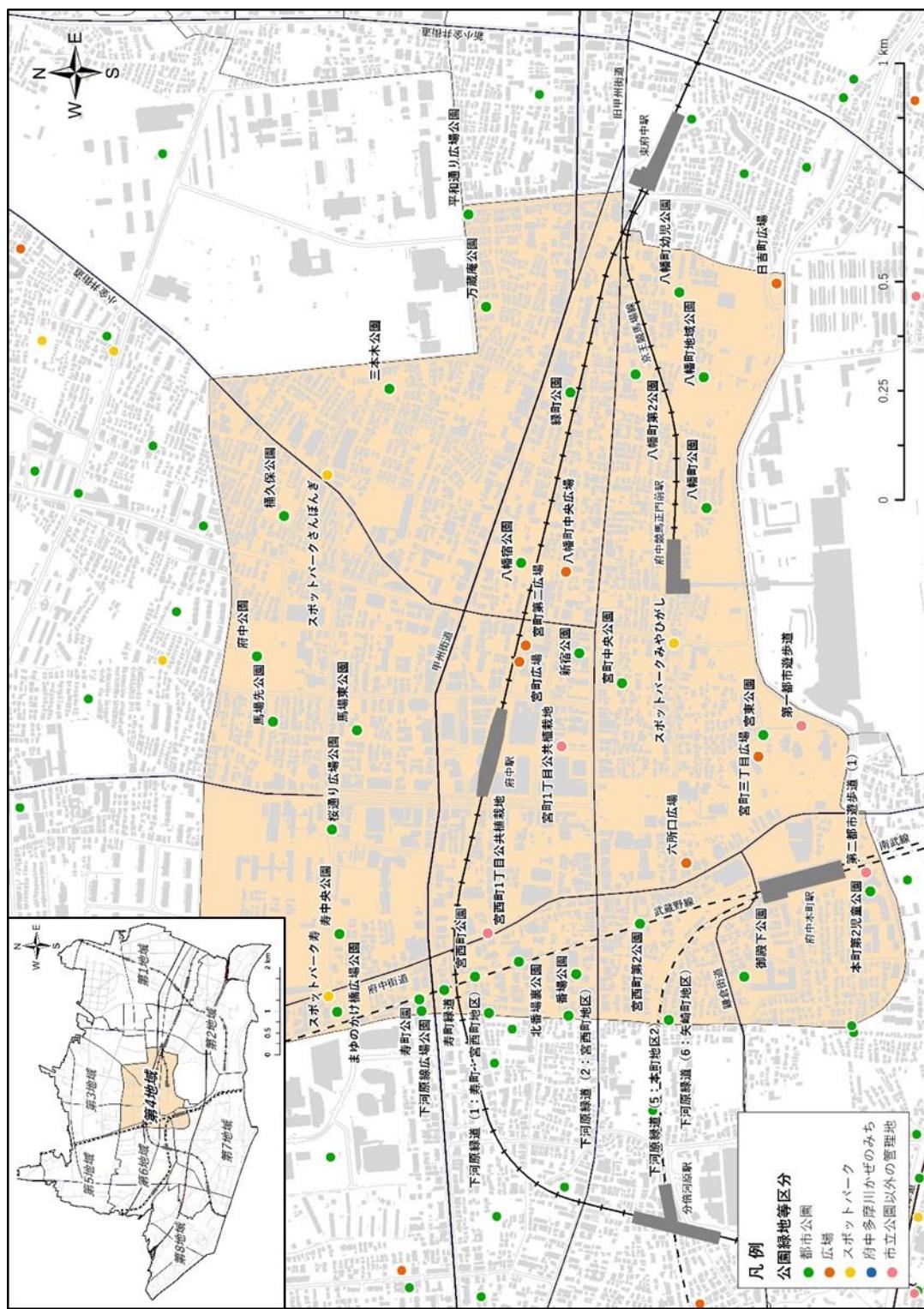


図3-2-13-14 第4地域の公園緑地等位置図

2) 人口・面積

表3-2-13-30 第4地域の人口

	年	人口	地域間比較
総人口	令和4年	39,604 人	3位/8地域
	令和22年予測	37,095 人	4位/8地域
年少人口	令和4年	5,028 人	3位/8地域
高齢人口	令和4年	7,331 人	5位/8地域

※P107の注釈に記載のとおりです。

表3-2-13-31 第4地域の公園緑地等の面積及び人口あたりの面積

項目	数量	地域間比較
地域面積	2,300,686.76m ²	8位/8地域
公園緑地等面積	104,857.22m ²	3位/8地域
総人口あたりの公園緑地等面積	2.65m ² /人	5位/8地域
年少人口あたりの公園緑地等面積	20.85m ² /人	5位/8地域
高齢人口あたりの公園緑地等面積	14.30m ² /人	4位/8地域
市管理公園緑地等面積が占める割合	4.6%	2位/8地域

3) 公園施設

表3-2-13-32 第4地域の都市公園に設置された遊戯施設数量

施設名	施設数
踏み板式ぶらんこ	8 基
すべり台	13 基
ジャングルジム	1 基
鉄棒	11 基
シーソー	1 基
複合遊具	2 基
健康器具系施設	7 基
フィールドアスレチック遊具	2 基
ラダー	2 基
スプリング遊具	18 基
砂場	16 基
石の山・人工的な築山	0 基
象形遊具	0 基
その他	3 基
合計	84 基

表3-2-13-33 第4地域で公園緑地課が管理する便益施設数量

施設名	施設数
水飲み場	22 基
時計	11 基

(5) 第5地域

1) 公園緑地等位置

第5地域は、市の北西部に位置し、規模が大きな「武藏台公園」が立地しています。同地域は、他の地域と比較して総人口あたりの公園緑地等の面積が平均的な地域です。

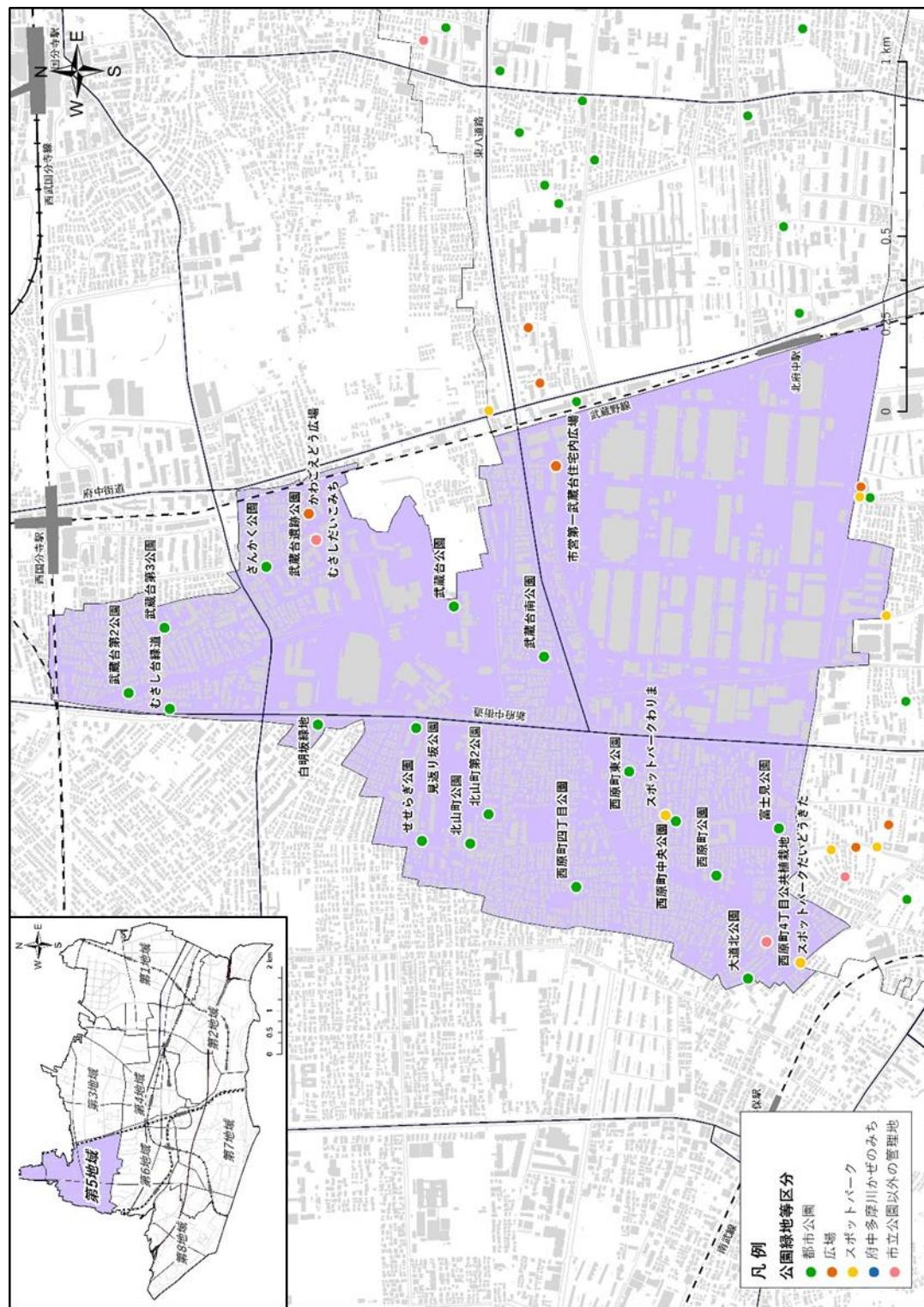


図3-2-13-15 第5地域の公園緑地等位置図

2) 人口・面積

表3-2-13-34 第5地域の人口

	年	人口	地域間比較
総人口	令和4年	16,405 人	8位/8地域
	令和22年予測	15,147 人	8位/8地域
年少人口	令和4年	1,838 人	8位/8地域
高齢人口	令和4年	4,202 人	7位/8地域

※P107の注釈に記載のとおりです。

表3-2-13-35 第5地域の公園緑地等の面積及び人口あたりの面積

項目	数量	地域間比較
地域面積	2,390,919.52m ²	7位/8地域
公園緑地等面積	72,717.39m ²	4位/8地域
総人口あたりの公園緑地等面積	4.43m ² /人	2位/8地域
年少人口あたりの公園緑地等面積	39.55m ² /人	2位/8地域
高齢人口あたりの公園緑地等面積	17.31m ² /人	3位/8地域
市管理公園緑地等面積が占める割合	3.0%	3位/8地域

3) 公園施設

表3-2-13-36 第5地域の都市公園に設置された遊戯施設数量

施設名	施設数
踏み板式ぶらんこ	9 基
すべり台	7 基
ジャングルジム	2 基
鉄棒	6 基
シーソー	1 基
複合遊具	5 基
健康器具系施設	9 基
フィールドアスレチック遊具	3 基
ラダー	1 基
スプリング遊具	20 基
砂場	8 基
石の山・人工的な築山	0 基
象形遊具	5 基
その他	2 基
合計	78 基

表3-2-13-37 第5地域で公園緑地課が管理する便益施設数量

施設名	施設数
水飲み場	16 基
時計	5 基

(6) 第6地域

1) 公園緑地等位置

第6地域は、面積の広い公園緑地等は見られないですが、南側に「府中崖線西府緑道」、東側に「中河原緑道」があり、他の地域と比較して公園緑地等の面積が占める割合が平均的な地域です。

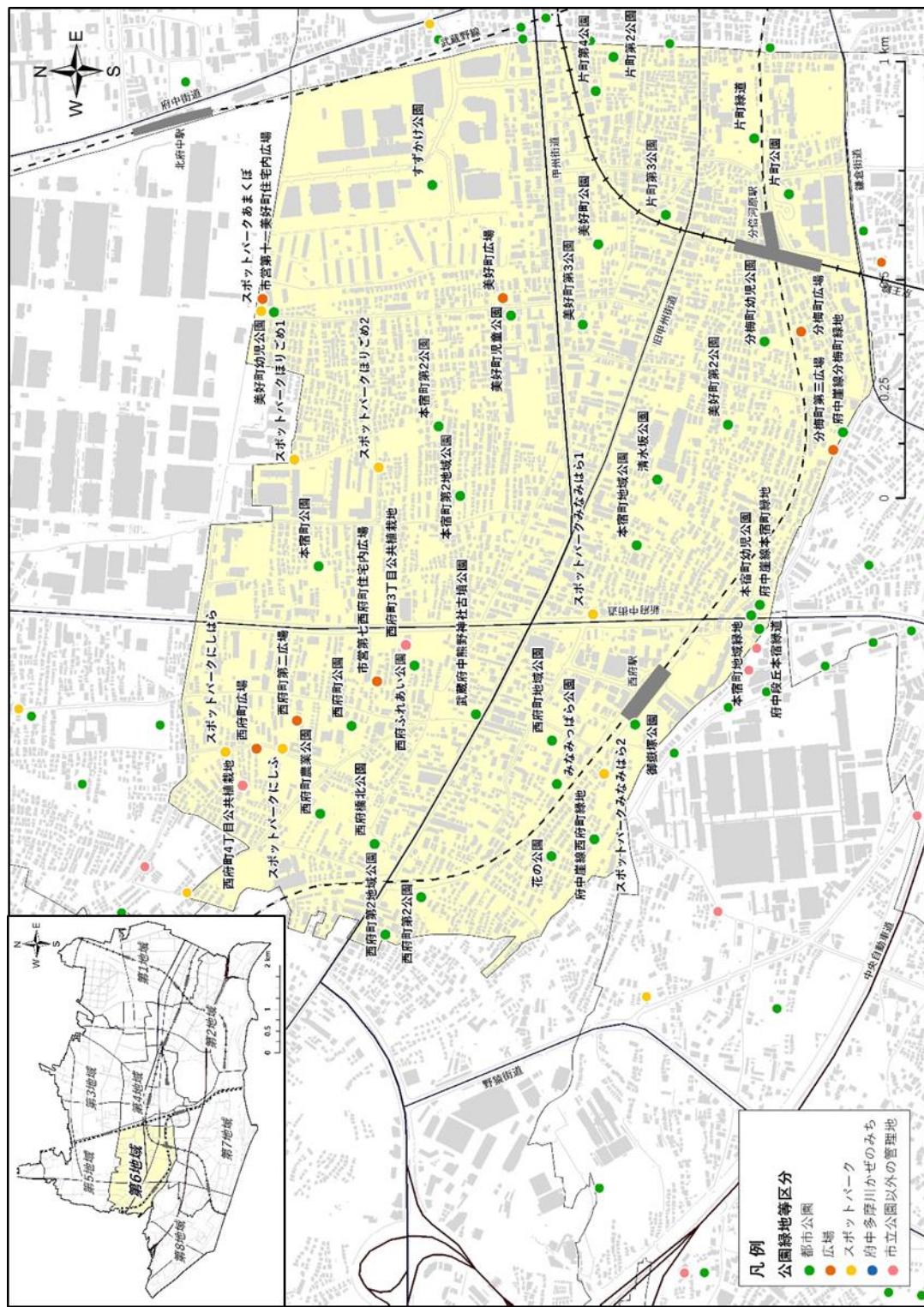


図3-2-13-16 第6地域の公園緑地等位置図

2) 人口・面積

表3-2-13-38 第6地域の人口

	年	人口	地域間比較
総人口	令和4年	29,047人	6位/8地域
	令和22年予測	29,102人	6位/8地域
年少人口	令和4年	3,659人	6位/8地域
高齢人口	令和4年	6,184人	6位/8地域

※P107の注釈に記載のとおりです。

表3-2-13-39 第6地域の公園緑地等の面積及び人口あたりの面積

項目	数量	地域間比較
地域面積	2,447,990.62m ²	6位/8地域
公園緑地等面積	67,442.77m ²	6位/8地域
総人口あたりの公園緑地等面積	2.32m ² /人	6位/8地域
年少人口あたりの公園緑地等面積	18.43m ² /人	6位/8地域
高齢人口あたりの公園緑地等面積	10.91m ² /人	6位/8地域
市管理公園緑地等面積が占める割合	2.8%	4位/8地域

3) 公園施設

表3-2-13-40 第6地域の都市公園に設置された遊戯施設数量

施設名	施設数
踏み板式ぶらんこ	11基
すべり台	10基
ジャングルジム	1基
鉄棒	7基
シーソー	0基
複合遊具	4基
健康器具系施設	2基
フィールドアスレチック遊具	1基
ラダー	2基
スプリング遊具	14基
砂場	16基
石の山・人工的な築山	0基
象形遊具	7基
その他	1基
合計	76基

表3-2-13-41 第6地域で公園緑地課が管理する便益施設数量

施設名	施設数
水飲み場	27基
時計	8基

(7) 第7地域

1) 公園緑地等位置

第7地域は、南東部に「郷土の森公園」が立地するほか、地域内に「中河原緑道」や「新田川緑道」などがあり、他の地域と比較して公園緑地等面積が最も大きい地域です。

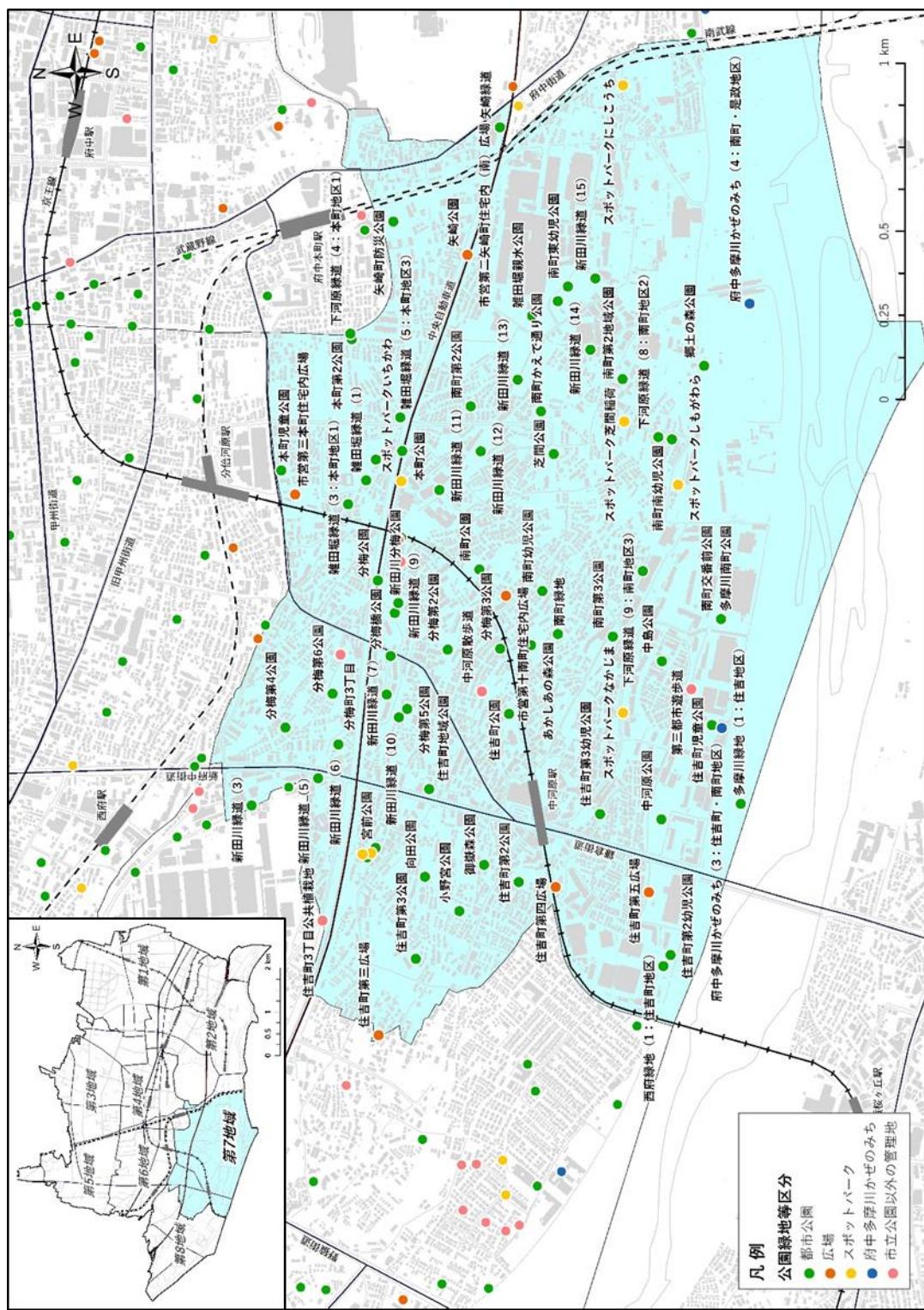


図3-2-13-17 第7地域の公園緑地等位置図

2) 人口・面積

表3-2-13-42 第7地域の人口

	年	人口(人)	地域間比較
総人口	令和4年	32,848人	5位/8地域
	令和22年予測	30,950人	5位/8地域
年少人口	令和4年	4,204人	5位/8地域
高齢人口	令和4年	7,580人	4位/8地域

※P107の注釈に記載のとおりです。

表3-2-13-43 第7地域の公園緑地等の面積及び人口あたりの面積

項目	数量	地域間比較
地域面積	4,136,574.79m ²	3位/8地域
公園緑地等面積	437,474.18m ²	1位/8地域
総人口あたりの公園緑地等面積	13.32m ² /人	1位/8地域
年少人口あたりの公園緑地等面積	104.06m ² /人	1位/8地域
高齢人口あたりの公園緑地等面積	57.71m ² /人	1位/8地域
市管理公園緑地等面積が占める割合	10.6%	1位/8地域

3) 公園施設

表3-2-13-44 第7地域の都市公園に設置された遊戯施設数量

施設名	施設数
踏み板式ぶらんこ	14基
すべり台	17基
ジャングルジム	4基
鉄棒	18基
シーソー	3基
複合遊具	6基
健康器具系施設	11基
フィールドアスレチック遊具	3基
ラダー	2基
スプリング遊具	23基
砂場	25基
石の山・人工的な築山	1基
象形遊具	8基
その他	6基
合計	141基

表3-2-13-45 第7地域で公園緑地課が管理する便益施設数量

施設名	施設数
水飲み場	41基
時計	7基

(8) 第8地域

1) 公園緑地等位置

第8地域は、「府中多摩川かぜのみち」や「新田川緑道」などが東西を通るほか、「四谷さくら公園」など規模が大きな公園緑地等が立地し、総人口あたりの公園緑地等の面積が比較的大きい地域です。

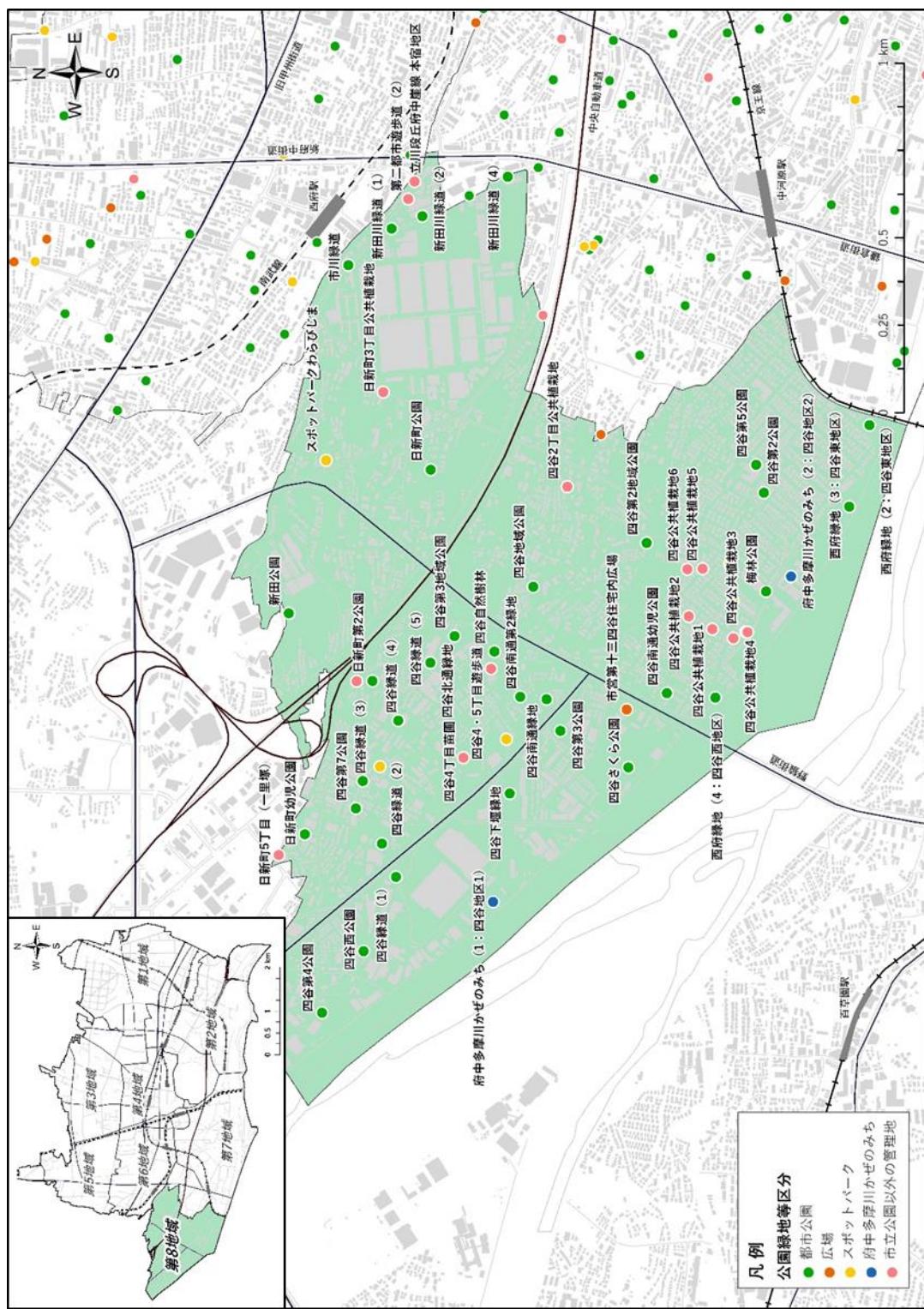


図3-2-13-18 第8地域の公園緑地等位置図

2) 人口・面積

表3-2-13-46 第8地域の人口

	年	人口	地域間比較
総人口	令和4年	16,818人	7位/8地域
	令和22年予測	15,987人	7位/8地域
年少人口	令和4年	2,509人	7位/8地域
高齢人口	令和4年	3,431人	8位/8地域

※P107の注釈に記載のとおりです。

表3-2-13-47 第8地域の公園緑地等の面積及び人口あたりの面積

項目	数量	地域間比較
地域面積	2,706,310.93m ²	5位/8地域
公園緑地等面積	72,049.69m ²	5位/8地域
総人口あたりの公園緑地等面積	4.28m ² /人	3位/8地域
年少人口あたりの公園緑地等面積	28.72m ² /人	3位/8地域
高齢人口あたりの公園緑地等面積	21.00m ² /人	2位/8地域
市管理公園緑地等面積が占める割合	2.7%	5位/8地域

3) 公園施設

表3-2-13-48 第8地域の都市公園に設置された遊戯施設数量

施設名	施設数
踏み板式ぶらんこ	5基
すべり台	5基
ジャングルジム	1基
鉄棒	6基
シーソー	1基
複合遊具	3基
健康器具系施設	15基
フィールドアスレチック遊具	0基
ラダー	1基
スプリング遊具	13基
砂場	10基
石の山・人工的な築山	0基
象形遊具	1基
その他	3基
合計	64基

表3-2-13-49 第8地域で公園緑地課が管理する便益施設数量

施設名	施設数
水飲み場	15基
時計	6基

3.2.14 法定外公共物

法定外公共物の全体数量及び状況は、次のとおりです。

3.2.14.1 全体数量

令和4年度時点における、市の法定外公共物は、里道※（赤道）が85,262m²、水路が167,798m²、市有通路が51,020m²です。本数量は平成14年度に国から譲与された際の見込み数量から算出しています。

※里道とは、道路法が適用されていない法定外公共物であり、古くから道路として利用されていた土地のことです。また、赤道とも言います。

3.2.14.2 整備状況

（1）対象

法定外公共物の次の行為について許認可を行っています。また、草刈や不法投棄の処理等の管理を行っています。

- ・ 工作物の新築、改築、除却等の工事
- ・ 流水水面または敷地を占用、及び使用
- ・ 流水を利用するため、これを停滞させ、または引用すること
- ・ 流水の方向、幅員若しくは深浅または敷地の現況に影響を及ぼす行為
- ・ 土地の掘削、盛土または切土その他土地の形状を変更する行為
- ・ 以上に挙げるもののほか、法定外公共物に関して工事を行い、または法定外公共物を本来の目的以外に使用すること

（2）処分状況

平成29年度から令和4年度までの処分状況については、次のとおりです。

表3-2-14-1 処分状況

年度	里道(赤道)		水路	
	払下面積	交換面積	払下面積	交換面積
平成29年度	82.07m ²	34.62m ²	114.85m ²	120.11m ²
平成30年度	207.50m ²	6.60m ²	210.28m ²	0m ²
令和元年度	185.87m ²	135.28m ²	303.64m ²	300.17m ²
令和2年度	32.96m ²	0m ²	54.72m ²	0m ²
令和3年度	232.01m ²	2.43m ²	0m ²	204.98m ²
令和4年度	429.12m ²	45.30m ²	309.45m ²	40.02m ²
平均	194.92m ²	37.37m ²	165.49m ²	110.88m ²

3-2-14

インフラの整備状況（法定外公共物）

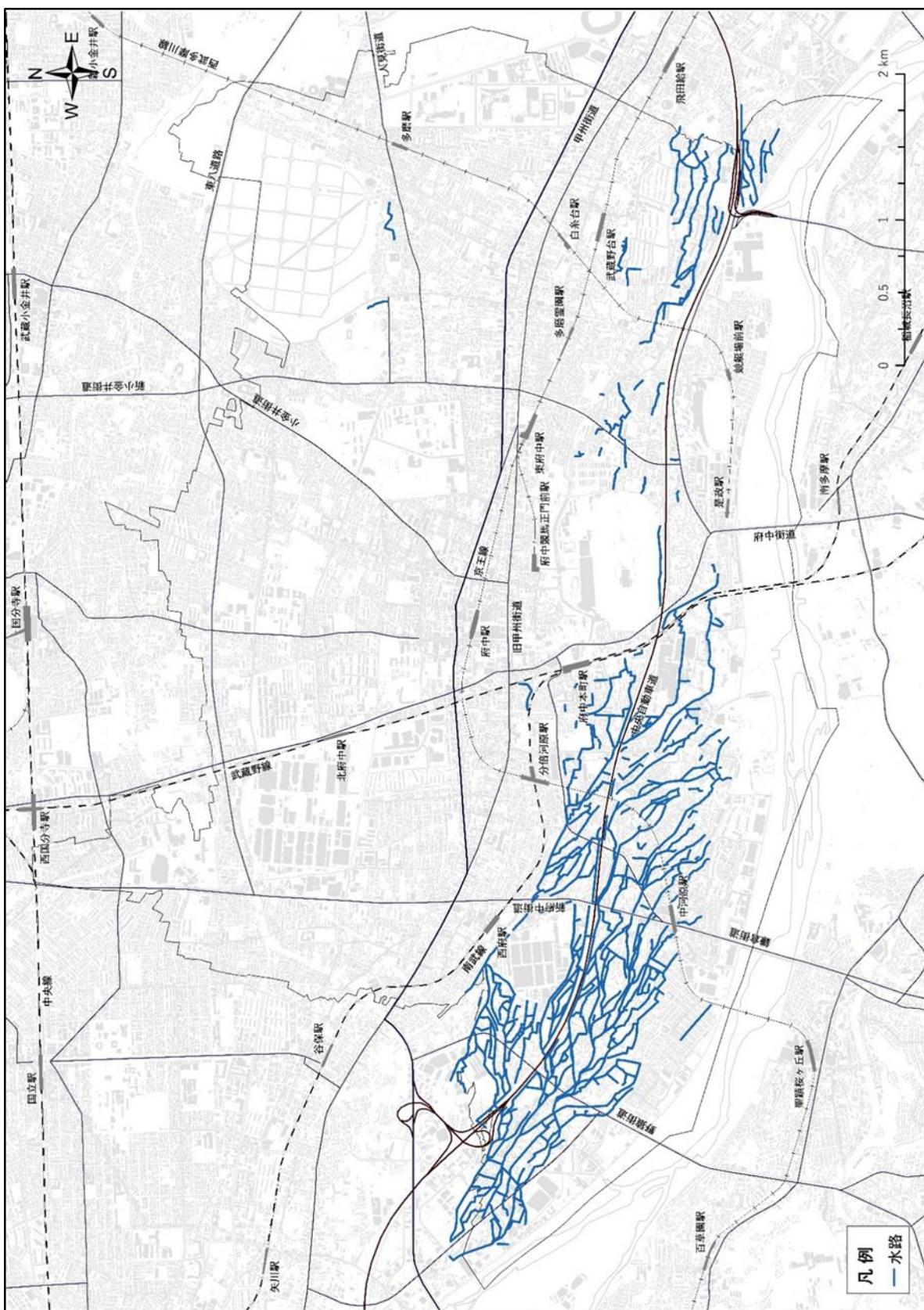


図3-2-14-1 水路位置図

3.2.15 下水道

下水道は、『府中市下水道マスタープラン2020』（令和2年）により、下水道施設の現状の把握と、老朽化対策などの維持管理の方針を定め、下水道事業の中長期的な財政見通しを行っています。

なお、『本白書』では、上記資料に基づいて整理します。

3-2-15

3.2.15.1 全体数量

（1）下水道

市の公共下水道事業は、「北多摩一号処理区」と「野川処理区」の2つの処理区に分けられています。「北多摩一号処理区」の排水は、北多摩一号水再生センターに導かれ、「野川処理区」の排水は、大田区の森ヶ崎水再生センターへ流入しています。

市の下水道は、昭和39年度の事業認可の取得以降、下水道整備区域の拡大を進め、昭和59年度には、下水道計画区域全域の汚水管整備が完了しています。

表3-2-15-1 下水道全体計画区域

処理区名	全体計画区域面積			備考
	合流	分流	合計	
北多摩一号	1,982.40ha	523.33ha	2,505.73ha	全域旅游事業計画取得済み
野川	144.72ha	74.75ha	219.47ha	
合計	2,127.12ha	598.08ha	2,725.20ha	-

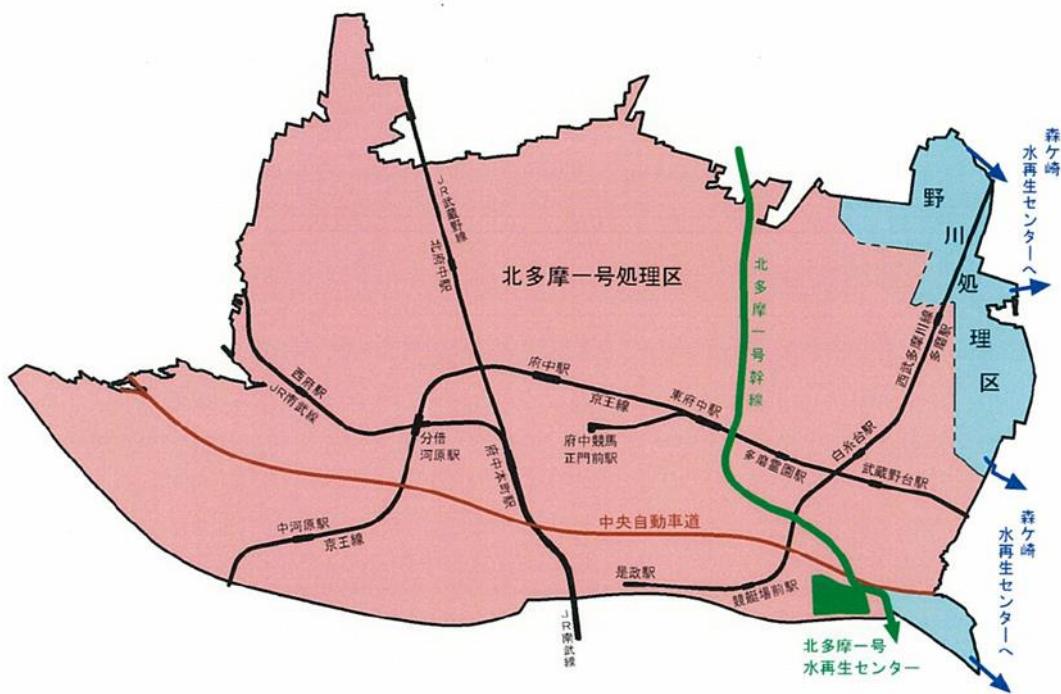


図3-2-15-1 下水道処理区の概要



図3-2-15-2 下水道の合流区分と分流区分

(2) 都市下水路

市の下水道計画は、1時間50mmの降雨を対象に、総延長約12kmの雨水排水施設を整備しています。市の都市下水路はかつての用水路を活用して整備しており、市の中央部から南部地域の雨水を多摩川に直接放流する排水施設です。

3-2-15

インフラの整備状況(下水道)

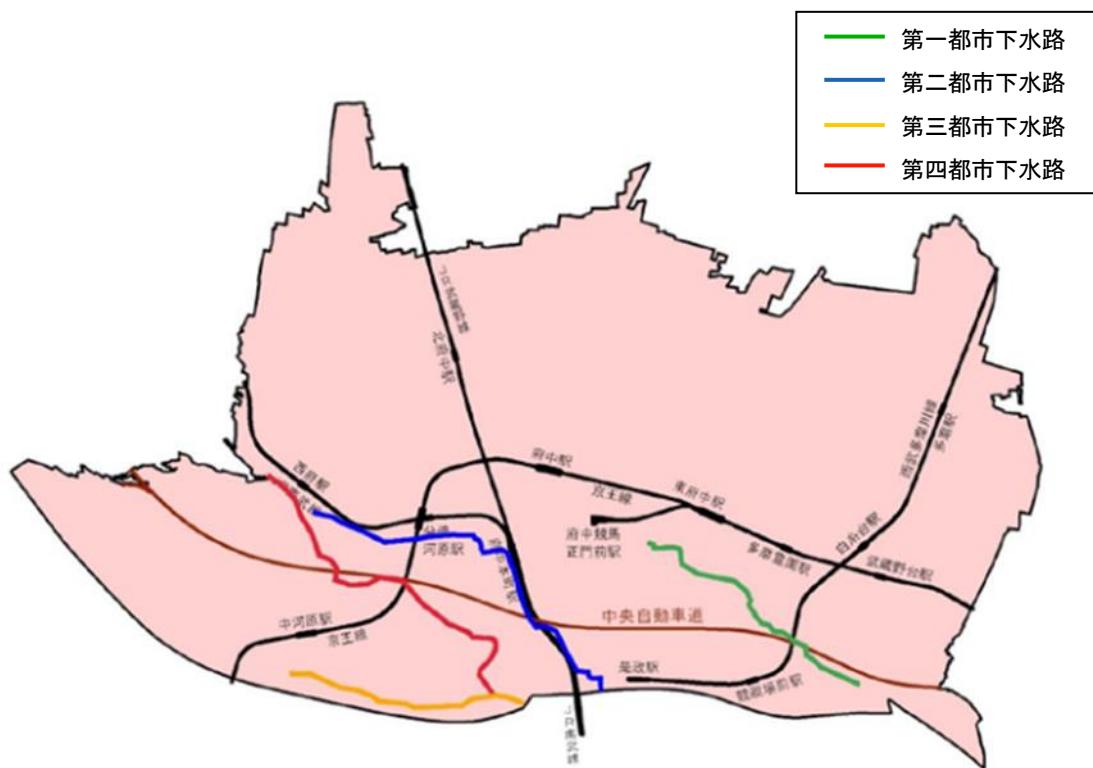


図3-2-15-3 都市下水路の案内図

3.2.15.2 整備状況

(1) 管きよ老朽化

市の下水道管きよ施設は、昭和59年度に普及率100%を達成しています。以降、市では道路新設に伴う管きよの整備を実施しています。

事業を開始した昭和39年度に施工した管きよは、平成26年度に布設後50年を経過し、令和3～14年度にかけて市の管きよの約50%が、一斉に標準耐用年数を迎えます。

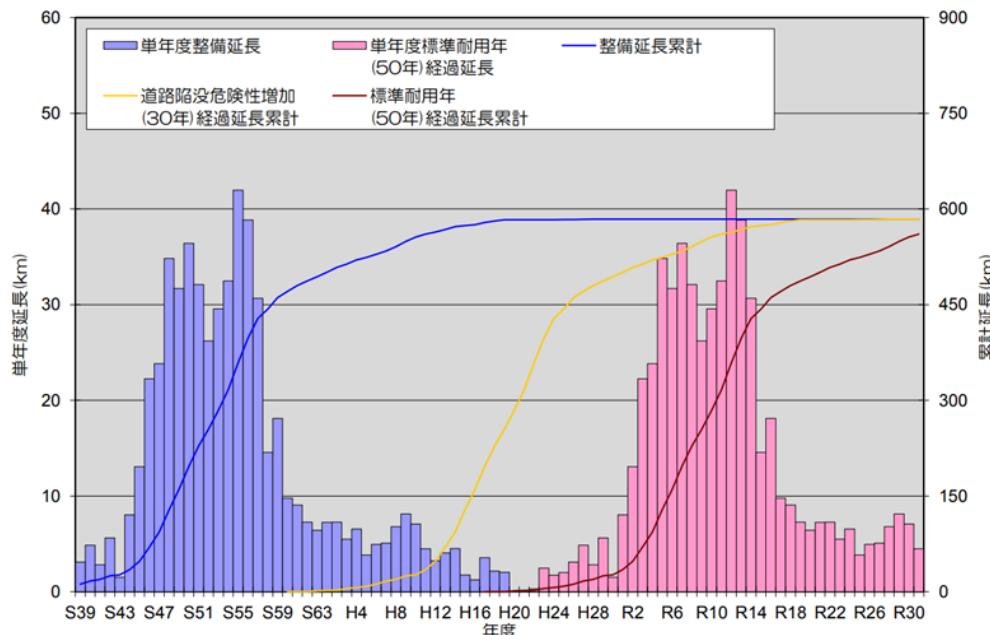


図3-2-15-4 施工年度別整備延長と割合

(2) 管きよの耐震性

布設年度が古い箇所では、マンホールと管きよの接続部分の可とう化*が行われていません。また、経年劣化の進行に伴う耐震性の低下を考慮し、車両通行の確保、下水道の流下機能の確保を図る必要があります。

*可とう化とは、マンホールと管きよの継手部にゴム製などの部材を設置することで、外力による伸縮や振動を吸収し、たわみなどの変形を起こすような自在性を持たせることです。



図3-2-15-5 中越地震における液状化による被害例

(3) 合流式下水道

市では、「北多摩一号処理区」の約79%、「野川処理区」の約66%、市域全体では約78%で合流式下水道を採用しています。

合流式下水道では、大雨の時に大量の雨水が流れ込むと、管きょや処理場の処理能力を超えた未処理下水が河川等の公共用水域に放流されます。その結果、公共用水域の水質汚濁、悪臭の発生、きょう雜物（油やごみ等）流出による景観の悪化、公衆衛生上の観点などから、近年大きな社会問題となっています。

3-2-15

インフラの整備状況（下水道）

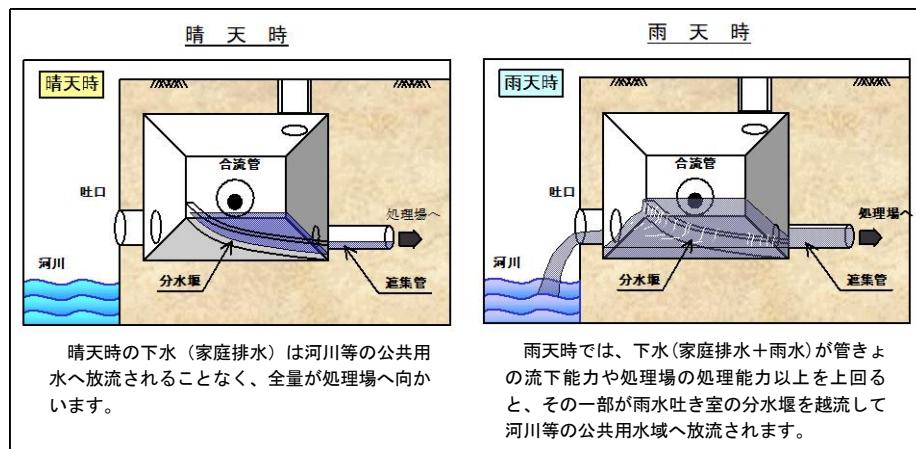


図3-2-15-6 合流式下水道の概要

(4) 都市下水路の老朽化

市の都市下水路は、昭和47年度に第一都市下水路が完成して以降、昭和50年度に第三都市下水路、昭和53年度に第二都市下水路、平成2年度に第四都市下水路が完成しています。

しかし、施工年度が最も新しい第四都市下水路も30年を経過しており、老朽化が進んでいます。昨今の大雨に対する排水機能確保のためにも、適切な維持管理を行っていく必要があります。

3.2.15.3 管理状況

(1) 管きよの維持管理

市の下水道管きよは、年間約3～4億円を投じて維持管理を行っています。



3-2-15

インフラの整備状況(下水道)

図3-2-15-7 維持管理業務の様子

1) 巡回・点検

主要施設では、定期的に巡回や点検を実施しており、詰まり等の緊急時には、高圧洗浄車を用いた清掃やTVカメラ車を用いた調査を行っています。

2) 調査

平成23～30年度の過去8年間の調査実績は、年平均は約41km（約7,400万円）で、総計は約330km（約5億8,900万円）です。これまでマンホールからの目視調査でしたが、平成23年度以降は、TVカメラや潜行目視により管きよ内の調査を行っています。

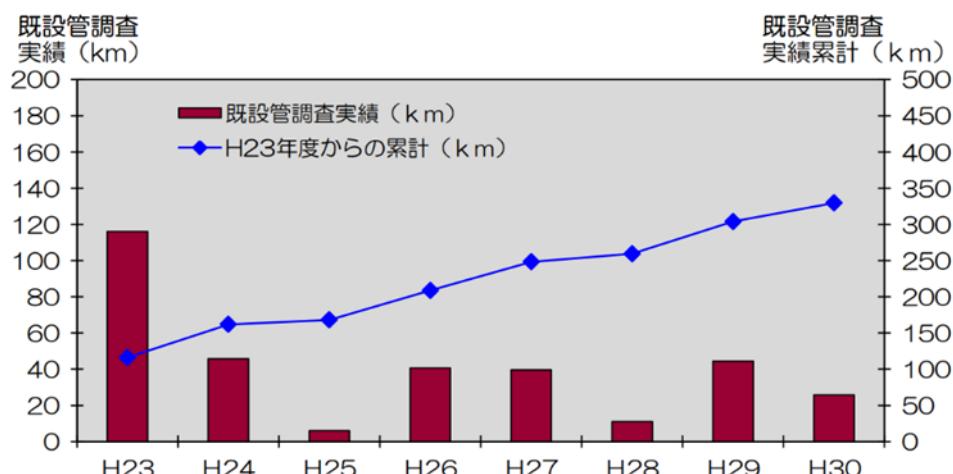


図3-2-15-8 年次別管きよ調査延長実績

3) 清掃

管内の汚泥深調査の結果に基づき、土砂堆積箇所等の清掃を行っています。平成23～30年度の8年間で、年平均6,000箇所の汚泥深調査、年平均12kmの清掃を実施し、事業費は総計約6億1,000万円となっています。

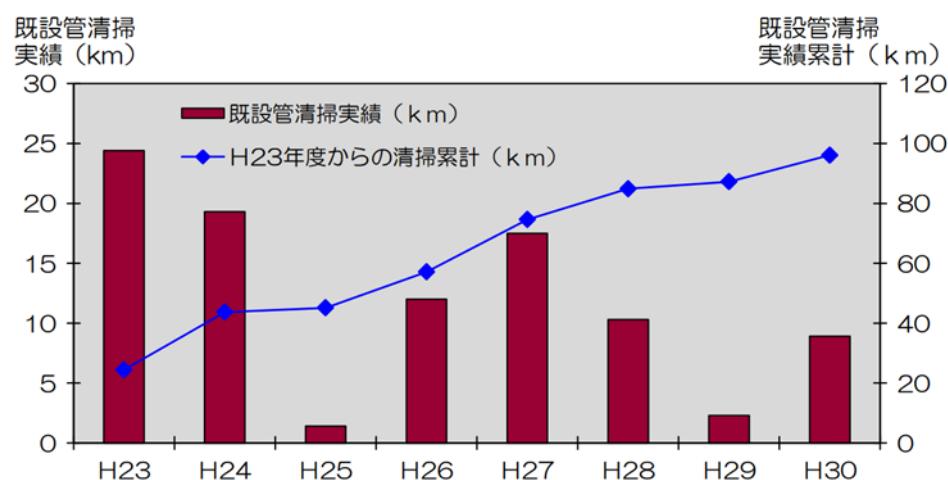


図3-2-15-9 年次別管きょ清掃延長実績

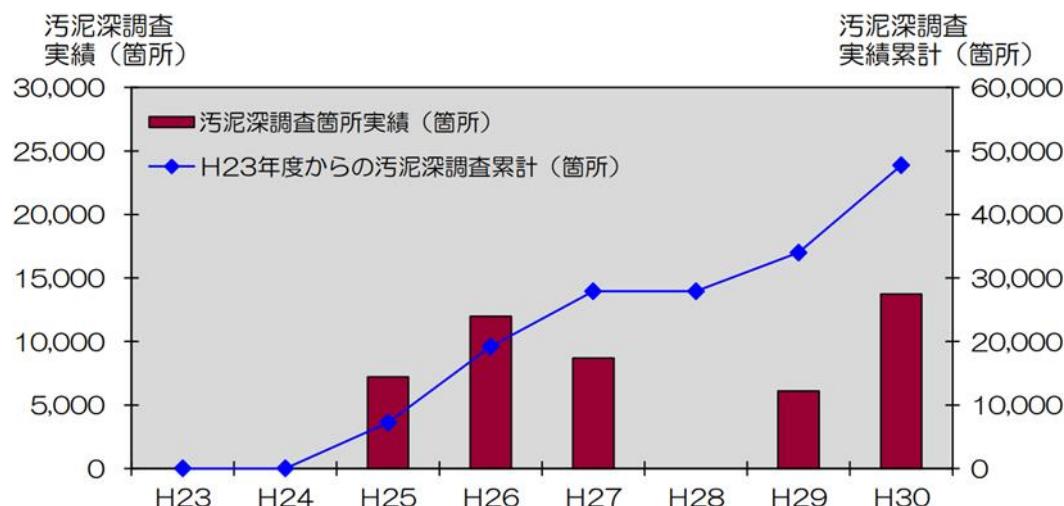


図3-2-15-10 年次別汚泥深調査延長実績

4) 補修

点検や調査により見つかった異常箇所は、緊急の維持工事で補修しています。

(2) ポンプ場の維持管理

市の下水道処理区内の大半は自然流下方式です。しかし、北多摩一号処理区東部第2処理分区（押立町、白糸台の一部）は低地部であり、自然流下による汚水の排出ができません。そのため、流域下水道多摩一号幹線に送水するための押立ポンプ場が設置されています。ポンプ場は機能を停止させることができない非常に重要な施設であり、保守管理を専門の業者に委託して運転しています。



図3-2-15-11 押立ポンプ場

(3) その他の維持管理状況

1) 水質管理

水質管理のための定期的な水質検査を実施しています。また、合流式下水道の改善対策による効果把握を目的とし、雨天時に雨水吐から公共用水域に放流される下水の水質検査を行っています。

2) 水質規制・監視

工場・事業所等からの悪質下水流入を防止するため、下水道法及び下水道条例に基づき、注意書による指導や違反者への改善要請を行っています。

特定事業場に対しては、定期的に水質検査を行っています。

3) 排水設備

一般家庭や事業所から下水が適正に排水されるよう、市民や事業者が所有する排水設備について、適正な管理をお願いしています。

3.3 インフラ管理の現状

市のインフラ管理に関する業務内容と件数は、次のとおりです。市では、インフラの日常の維持管理から、道路や公園緑地等の補修工事などの作業を行っています。

表3-3-1 インフラ管理に関する市の業務内容と数量

施設部門	主な業務内容	取り扱い数量／年(令和4年度)	
		数量	主な内容
道路	パトロール	現地確認	675回
		包括定期巡回	353回
	道路一般許可申請		447件
	道路占用許可申請		1,286件
	道路台帳 平面図 補正測量	道路台帳図 補正作成	39,280m ² 28枚
		道路台帳調書補正	1,880m 37路線
	公共用地 境界確定 測量	申請	92件
		公共用地境界確定 測量	179m 1,793m ²
		法定外公共物用地 境界確定	120m 97m ²
		道路等維持に関する対応件数 (巡回中発見件数含む)	
工事	3,423件		舗装、誘導ブロック、原因者指導 側溝・街渠補修、樹浚渫・防臭、樹蓋交換、防護柵・車止め、看板類設置・補修、道路反射鏡補修、冠水処理、積雪対策、清掃・清掃ごみ回収、車・バイク・自転車回収 不法投棄物処理、その他
	道路事業用地管理		7件
	道路新設整備	1件	測量、設計
		2件	測量、設計(単契)
		0件	工事
	道路改良整備	2件	設計
		19件	測量・設計(単契)
		15件	改良工事
		28件	改良工事(単契)
		0件	その他工事
		1件	その他、診断・調査・測量
		14件	除草、浚渫、U字溝設置等

施設部門	主な業務内容		取り扱い数量／年(令和4年度)		
			数量	主な内容	
道路 橋りょう 立体横断施設等 大型構造物 法定外公共物	工事	みちづくり バリアフリー化整備	1 件	設計	
	電線類地中化事業		1 件	測量、設計、工事	
	けやき並木周辺整備		2 件	測量、設計	
			4 件	測量、設計(単契)	
	都市計画道路事業用地管理		11 件	除草、管理柵、整地工(単契)	
都市計画道路整備事業		6 件	測量、設計(単契)		
道路附属物	標識		-	上記、道路等維持に関わる対応件数に含む	
	街路灯	交通安全灯修理	14 件	球交換	
			36 件	その他修理	
	交通安全灯工事		4 基	設置	
			0 基	塗装	
	防犯灯修理		27 件	球交換	
			58 件	その他修理	
	防犯灯工事		13 基	新設	
			5 基	建て替え	
			1 基	撤去	
			2 基	その他工事	
	道路 反射鏡	点検清掃	1,055 基	3, 167基を3年に1回点検清掃のため、平均値	
		修理	-	上記、道路維持修繕に含む	
		新設	7 基	設置	
	街路樹	除草	166,983m ²	植樹帯、芝生地、草刈 (55, 661m ² の面積を年3回)	
		剪定	2,765 本	中高木(8, 297本を最低3年に1回剪定のため、平均値)	
			63 本	ケヤキ並木(毎年剪定)	
		伐採	124 本	大径木の間引き	
	街路樹等維持に係わる対応件数(巡回中発見件数含む)		1,245 件	剪定(ヤゴ取り含む)、除草、添木の設置・補修、伐採(折れ枝回収含む)	
公園緑地等	公園整備工事		11 件	トイレ改修工事・フェンス改修工事等	
	公園等使用申請		1,025 件	自治会活動、保育園、撮影等	
	公園等占用申請		54 件	電柱・電線・埋設管等、隣接足場工事等	
	樹木管理業務		-	枯損木伐採、剪定、生垣・中低木刈込、除草等	

施設部門	主な業務内容	取り扱い数量／年(令和4年度)	
		数量	主な内容
公園緑地等	池流れ清掃	3 か所	府中公園、西府緑地 多摩川親水公園
	水路清掃	3 か所	二ヶ村緑道、市川緑道 第二都市遊歩道
	砂場殺菌	165 か所	異物除去・消毒、砂補充 検体分析
	パトロール	3,424km	緑道等維持管理にて、毎日・毎週・ 月一にて実施
	清掃業務	219 か所	シルバー清掃
	自治会清掃	120 か所	自治会委託
	ボランティア清掃	50 団体	まちなかきらら (インフラ管理ボランティア活動)
下水道	下水道管清掃	14,678.1m	土砂・モルタル・木根等除去
	既設下水道管調査	13,657.0m	テレビカメラ調査
		262 か所	取付管テレビカメラ調査
	合流式下水道 雨天時放流水質調査	3 か所	雨水吐口BOD測定
	下水道台帳システム整備	1 件	
	維持工事	62 か所	蓋取替え等
		26 件	下水道施設維持補修工事
		1 件	押立ポンプ場非常用発電機及び排 煙除去装置補修工事
		36.37m	公共下水道管撤去工事
	下水道工事 下水道施設老朽化対策工事 下水道施設耐震化工事	6 件	

3.4 インフラ管理ボランティア制度(府中まちなかきらら)の推移

市が清掃用具などの補助を行い、市民や企業に市内の道路や公園の清掃活動を無償ボランティアとして協力していただいている府中まちなかきららの登録団体数は、平成29年度の開始以来、年々増加しています。

なお、登録の種類は2つあり、長期登録は1年以上の継続をすることに加え、1か月に2日以上活動することが条件となっています。一方、短期登録は希望する活動期間が1～7日間であることが条件です。市では、今後も道路・公園のインフラ管理ボランティア制度を推進していきます。

平成29年度以降の登録団体数の推移は、次のとおりです。

表3-4-1 府中まちなかきらら登録団体数

年度	長期登録	短期登録
平成29年度	30団体	31団体
平成30年度	38団体	37団体
令和元年度	38団体	55団体
令和2年度	37団体	42団体
令和3年度	53団体	30団体
令和4年度	64団体	18団体

表3-4-2 府中まちなかきらら登録団体数(分類別)

年度	道路		公園	
	長期	短期	長期	短期
平成29年度	9団体	15団体	21団体	16団体
平成30年度	11団体	15団体	27団体	22団体
令和元年度	12団体	19団体	26団体	36団体
令和2年度	11団体	6団体	26団体	36団体
令和3年度	12団体	6団体	41団体	24団体
令和4年度	13団体	4団体	51団体	14団体

3.5 インフラに係る決算の推移

3.5.1 管理費用位置付け

市のインフラに係る費用の分類は、次のとおりです。

3-5

インフラに係る
決算の
推移

歳出については、維持管理費・補修更新費・諸経費は所管課※の予算、人件費は庁内全体の人事部署の予算となっていますが、並列で整理しています。

歳入は事業に直接充当する補助金等を除き、市全体の予算に入ります。また、地方譲与税はインフラ管理に限らず使用されます。よって、それらすべてが管理費用に充当されるわけではありません。

※平成29年度～令和元年度は管理課・土木課・公園緑地課、令和2年度～令和4年度は道路課（管理課と土木課が統合）・公園緑地課のことを指します。

表3-5-1-1 インフラに係る費用の分類

分類	内容	費目
歳出	維持管理費 日常を維持するための保守等に係る経費	関連する協議会等の負担金測量や調査等委託費、清掃・ごみ処理委託費、施設点検経費、光熱水費、システム等使用料(運営費)、事務費用
	補修更新費 機能を維持するための補修や施設の更新費・新設に係る経費	補修・改良・整備費 設計委託費、新設費など
	諸経費 維持管理費・補修更新費以外の、所管部署における事業や事務の執行上必要な経費	旅費、需用費、通信費など
	人件費 職員の給与や退職手当などに係る経費	人件費、退職手当 間接部門費
歳入	市歳入 使用料や占用料などのインフラを管理することで得る収入や補助金などのインフラを管理するための収入	使用料、占用料、負担金 補助金など
	地方譲与税 地方税制度により、国税が道路延長や面積などの客観的な基準で地方公共団体に配分されることで得る収入	自動車重量譲与税 地方揮発油譲与税

3.5.2 維持管理費及び補修更新費の推移

3.5.2.1 インフラ経費の推移

市全体の決算に対するインフラ経費は次のとおりです。市全体の決算に対してインフラに係る経費は、約5%から約15%の割合で推移し、17年間の平均は約8%です。

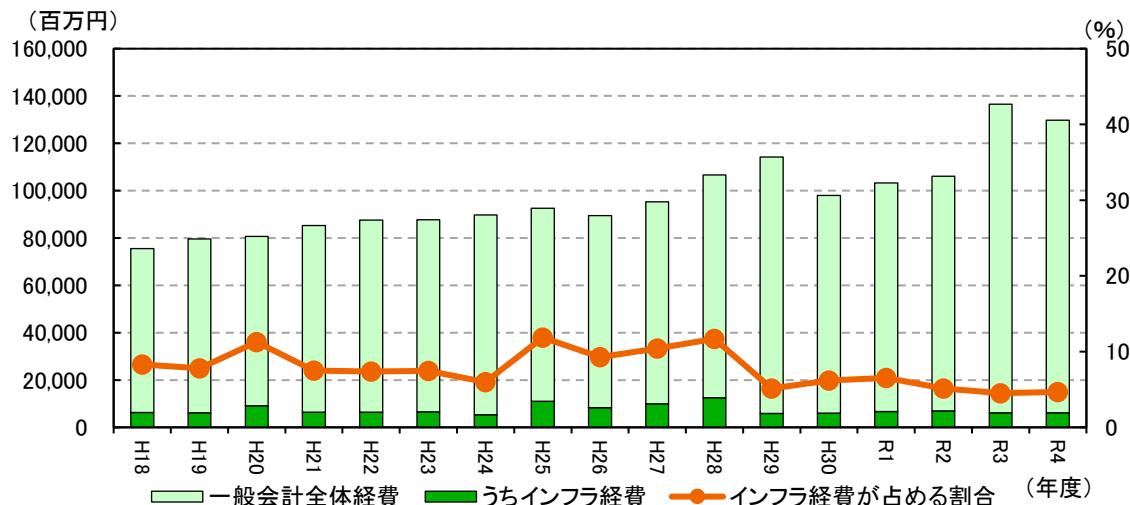


図3-5-2-1 インフラ経費の推移

3.5.2.2 道路・橋りょう・その他道路施設に係る経費の推移

平成元年度以降の各年度決算書に基づき、道路・橋りょう・その他道路施設に係る経費を整理しました。決算費目は、「維持管理費」と「補修更新費」と「諸経費」に大別されます。これらの推移は、平成3年度（28.68億円）をピークに減少傾向にありましたが、近年では増加しています。

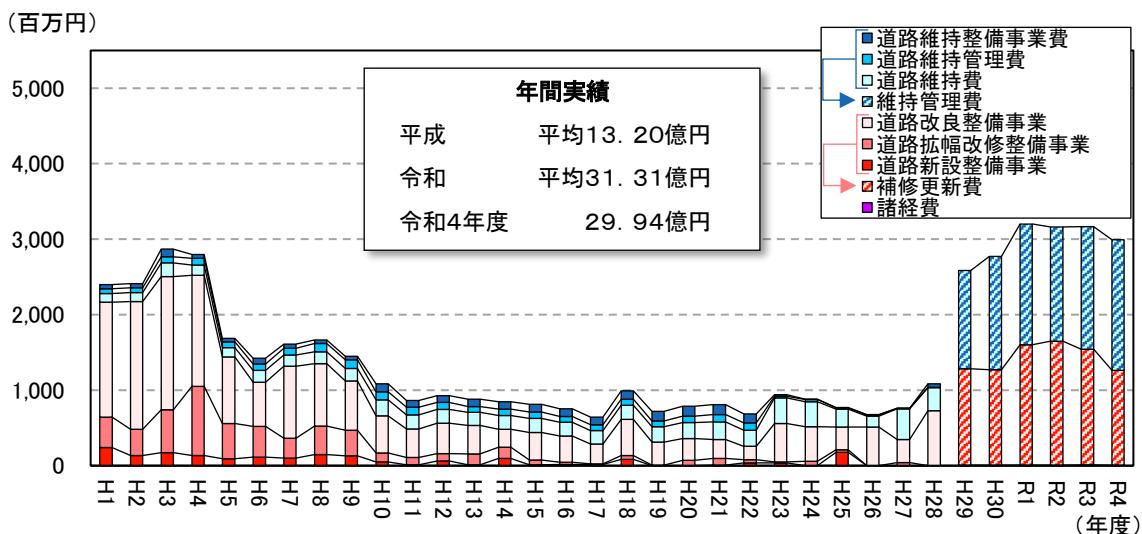


図3-5-2-2 道路・橋りょう・その他道路施設の維持管理、補修更新に係る経費額全体の推移

※平成29年度以降、維持管理に係る経費を維持管理費、補修更新に係る経費を補修更新費、その他を諸経費として集計しています。

3.5.2.3 公園緑地等に係る経費の推移

平成元年度以降の各年度決算書に基づき、公園緑地等に係る維持管理、補修更新の経費の推移を整理しました。

平成元年度～30年度にかけて平均6.64億円で推移していましたが、近年は増加がみられ、令和以降は平均12.75億円となっています。

なお、平成17年度は矢崎町防災公園が開設されたため、「公園新設費」が多くなっています。

3-5

インフラに係る決算の推移

表3-5-2-1 公園緑地等に係る経費の説明

費目	経費の内容
公園新設費	新たに公園を新設する経費
公園改築費	公園を補修、更新する経費
公園管理費	公園の清掃、樹木の剪定などの経費

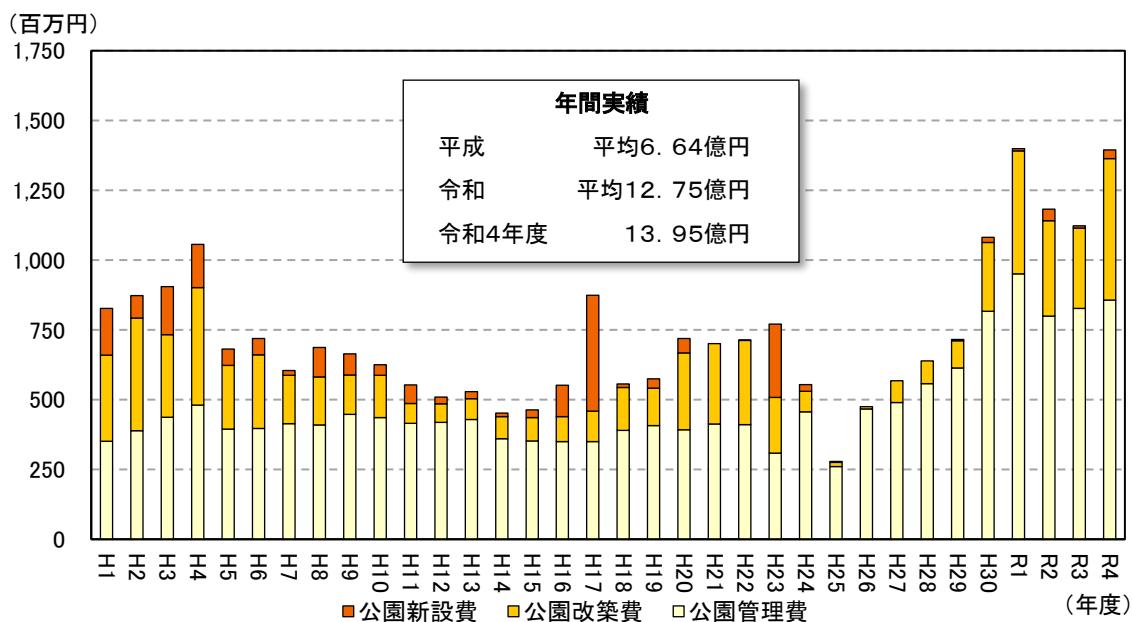


図3-5-2-3 公園緑地等の維持管理、補修更新経費の推移

3.5.3 維持管理に係る経費

平成29年度から令和4年度における、インフラ施設の清掃や光熱水費、点検など日常のメンテナンス等の維持管理に係る経費を目的別に整理しました。

(1) 道路・橋りょう・その他道路施設

道路・橋りょう・その他道路施設の維持管理に係る経費は、近年大幅な増加が見られます。また、「府中市道路等包括管理事業」に係る費用が維持管理費に計上され、運用規模拡大に比例して経費が増加しています。

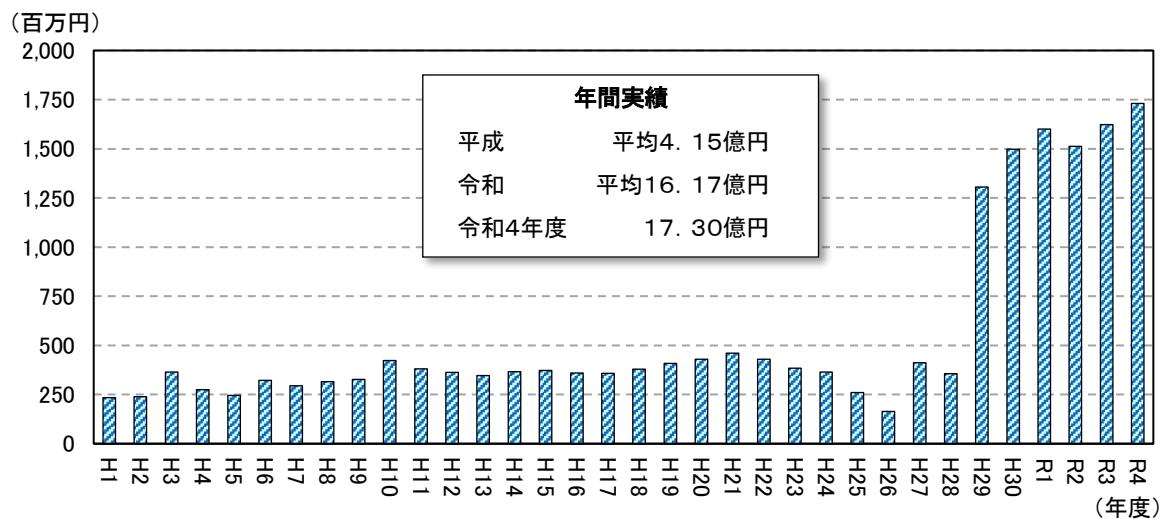


図3-5-3-1 道路・橋りょう・その他道路施設の維持管理費の推移

(2) 公園緑地等

公園緑地等の維持管理に係る経費は、平成元年度以降横ばいで推移していましたが、近年増加傾向にあります。

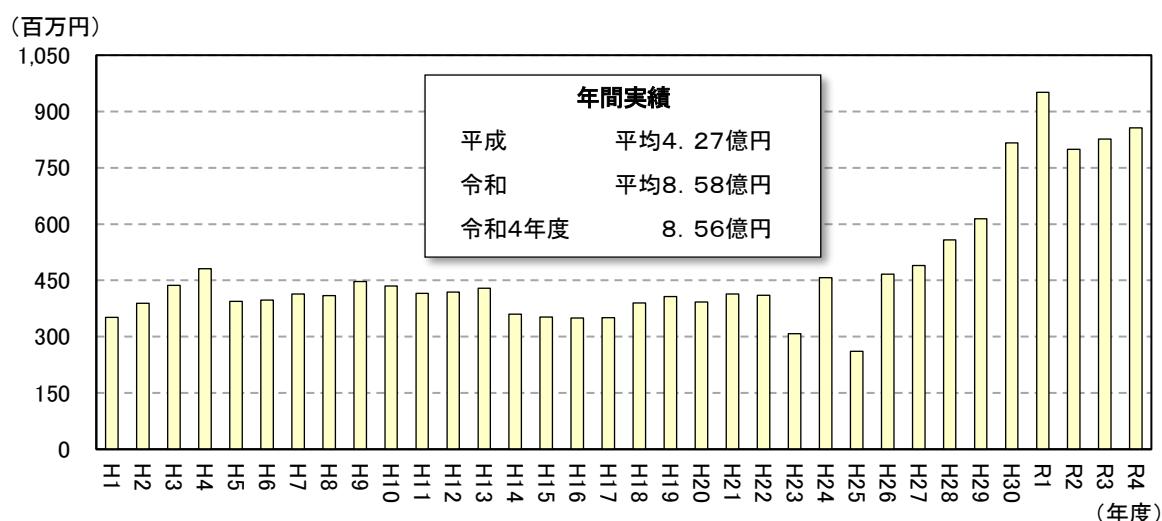


図3-5-3-2 公園緑地等の維持管理費(公園管理費)の推移

府中市道路等包括管理事業

■道路等包括管理事業とは

舗装の補修や街路樹剪定などの異なる業務を一括して複数年度契約で事業者に委託し、合わせて事務処理方法の見直し及び効率化を行うとともに、性能発注※の手法を取り入れることで民間事業者のノウハウを活用し、市民サービスの向上及び管理経費増大の抑制を図ることを目的とする事業です。

※性能発注とは、発注者が求める性能を満たすことを目的とし、受注者が自ら手法を提案して行う委託方式です。この方法の場合、サービス水準を順守するための具体的な手法やプロセス等については、事業者の自由裁量に任せられるため、事業者のノウハウを活かした創意工夫が発揮できます。

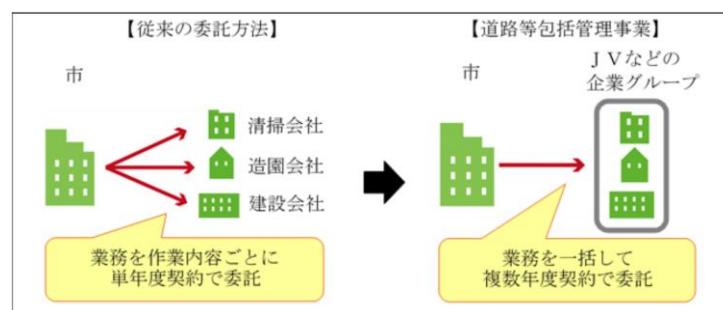


図3-5-3-3 道路等包括管理事業のイメージ

■府中市道路等包括管理事業(全域1期)概要

対象区域	府中市全域(3地区に区分)
期間	令和3年4月から令和6年3月まで
対象業務	(総価契約)統括マネジメント、巡回、清掃、植栽管理、害獣・害虫対応、道路反射鏡・案内標識・街区表示板管理、補修・修繕、事故対応、災害対応、コールセンター、要望相談対応、占用物件管理、法定外公共物管理 (単価契約)補修・更新、樹木剪定等



図3-5-3-4 対象区域

※出典:『府中市道路等包括管理事業運用方針【改定版】』(令和5年)

3.5.3.1 車道

簡易的な舗装の補修や清掃など車道の維持管理に係る経費を整理しました。

平成29年度から令和2年度にかけて増加傾向にありましたが、令和3年度以降、道路等包括管理事業の対象範囲が全域に拡大したこと、経費が大幅に減少しています。

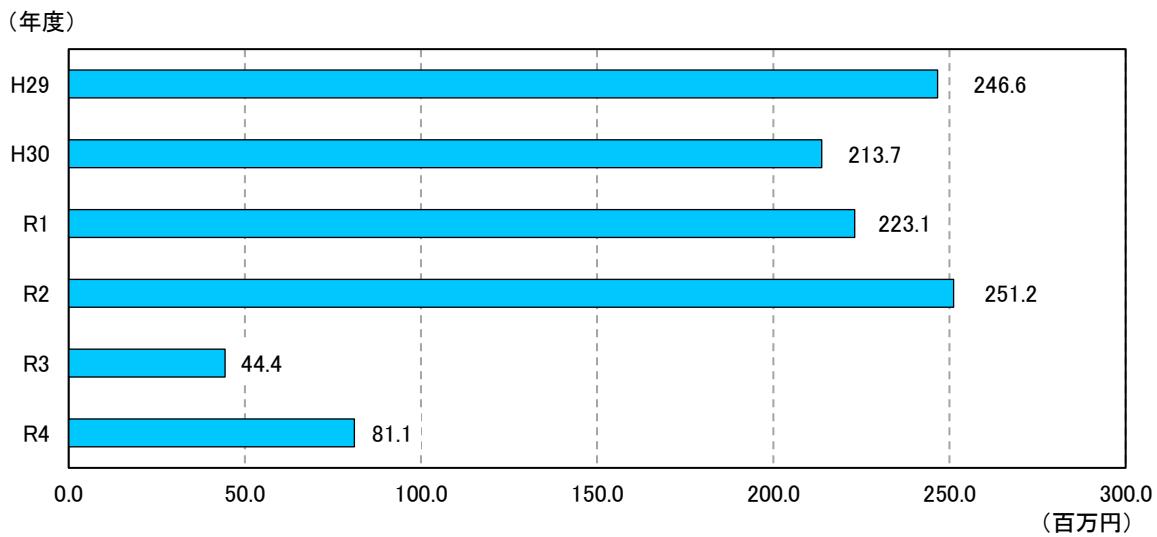


図3-5-3-5 車道の維持管理に係る経費の推移

3.5.3.2 歩道・植樹ます

歩道・植樹ますの維持管理に係る経費を整理しました。

けやき並木通りの植樹帯改修工事を実施した平成29年度と平成30年度が突出して多くなっています。令和元年度以降、減少傾向にあります。

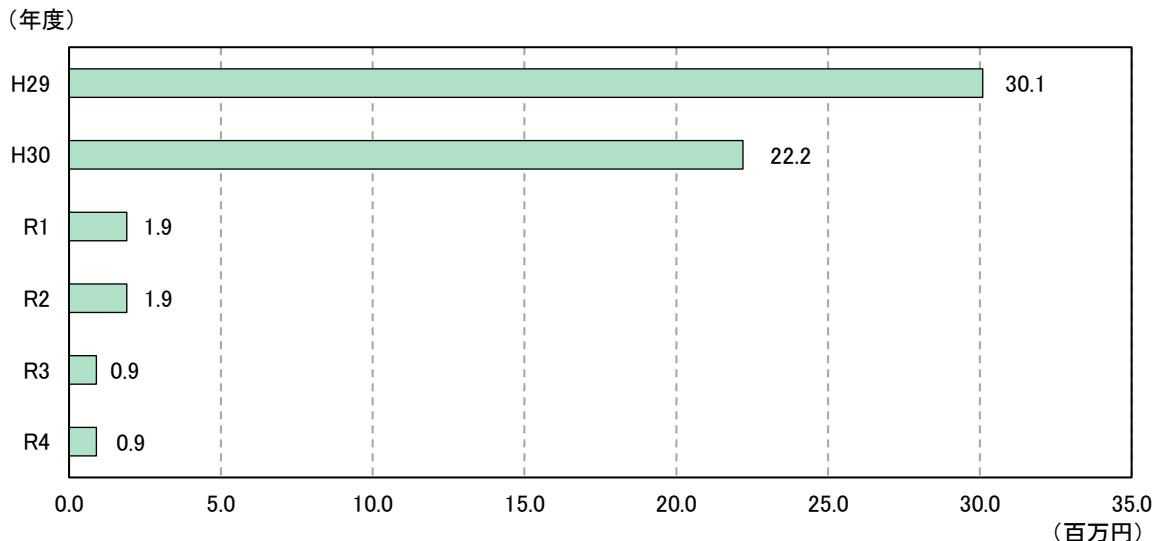


図3-5-3-6 歩道・植樹ますの維持管理に係る経費の推移

3.5.3.3 標識(案内標識・警戒標識・その他標識)

3-5

インフラに係る決算の推移

標識の維持管理に係る経費を整理しました。

平成29年度から令和2年度においては、標識の維持管費を必要とする事例は発生していません。また、令和3年度以降は道路等包括管理事業による維持管理を行っています。

3.5.3.4 街路灯

街路灯の球交換や光熱費などの維持管理に係る経費を整理しました。

維持管理費は、光熱費が大半を占めています。令和元年度に大幅に減少していますが、光熱費の増額に加え、令和3年度と令和4年度に交通安全灯の点検が実施され、増加傾向となっています。

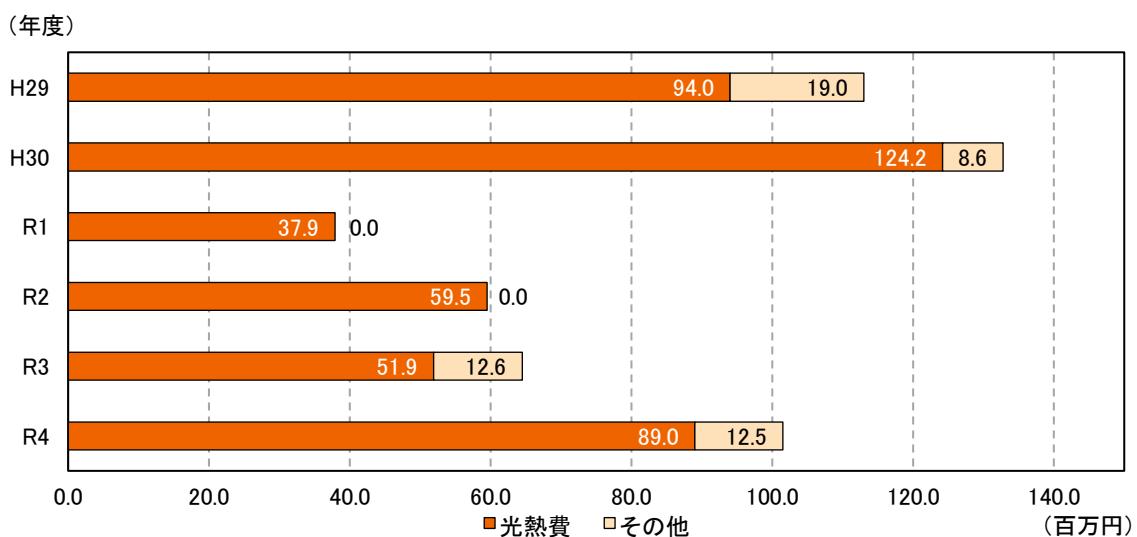


図3-5-3-7 街路灯の維持管理に係る経費の推移

3.5.3.5 道路反射鏡

道路反射鏡の清掃や角度調整などの維持管理に係る経費を整理しました。

経費は平成29年度から令和2年度にかけて概ね減少傾向にあります。令和3年度以降は、道路等包括管理事業内で市全域の道路反射鏡を管理しているため、経費が計上されません。

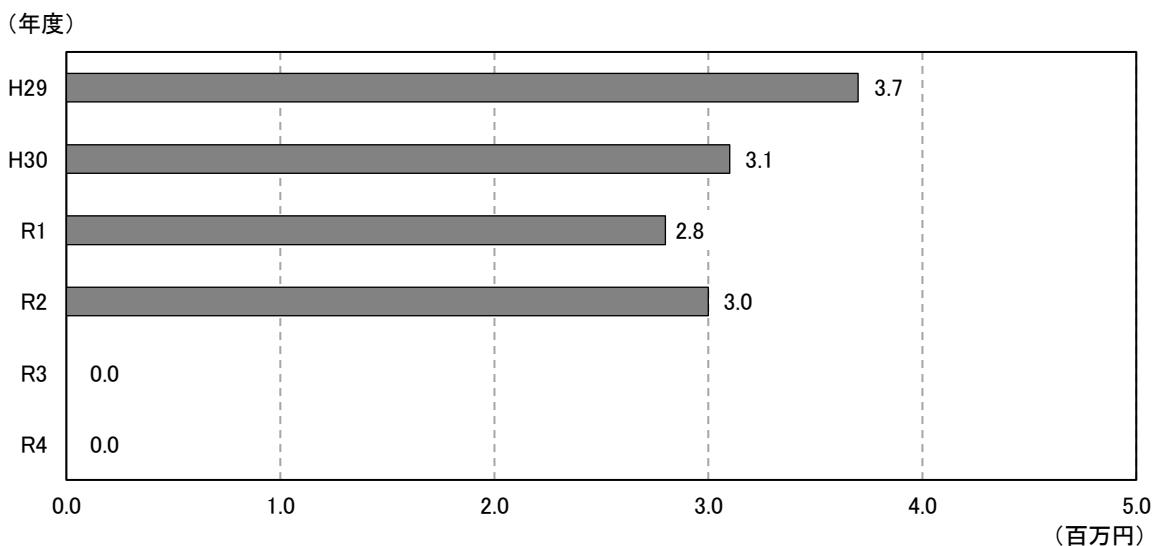


図3-5-3-8 道路反射鏡の維持管理に係る経費の推移

3.5.3.6 街路樹

街路樹の剪定や除草などの維持管理に係る経費を整理しました。

定期的な高木の剪定などを実施し、経費は概ね減少傾向にあります。令和3年度以降は、道路等包括管理事業内で市全域の街路樹を管理しているため、経費が計上されません。

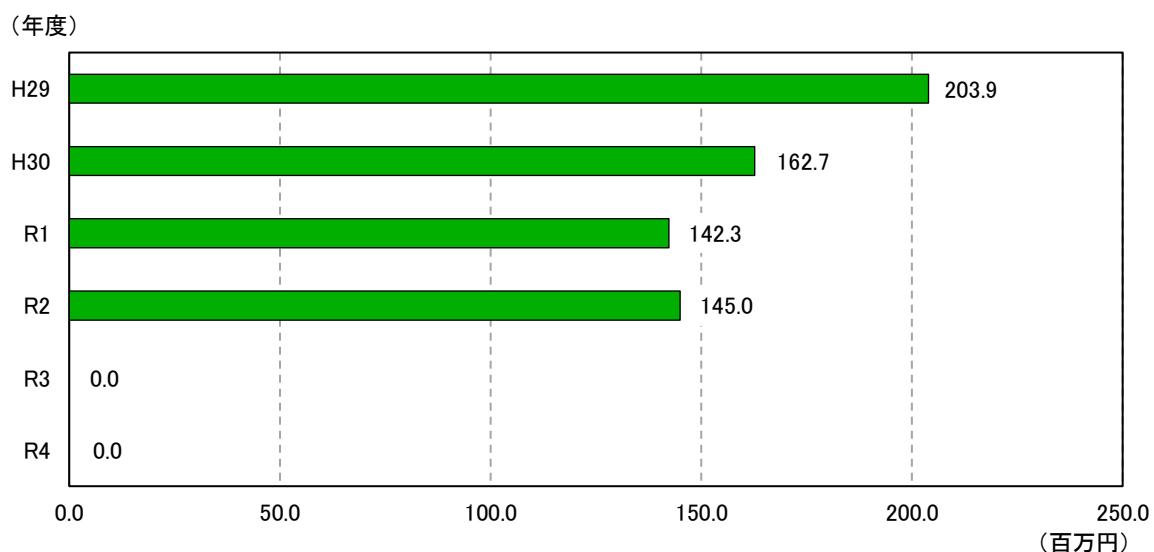


図3-5-3-9 街路樹の維持管理に係る経費の推移

3.5.3.7 橋りょう

橋りょうの法定点検に係る経費を整理しました。
定期点検を実施したため、令和3年度は経費が大幅に増加しています。

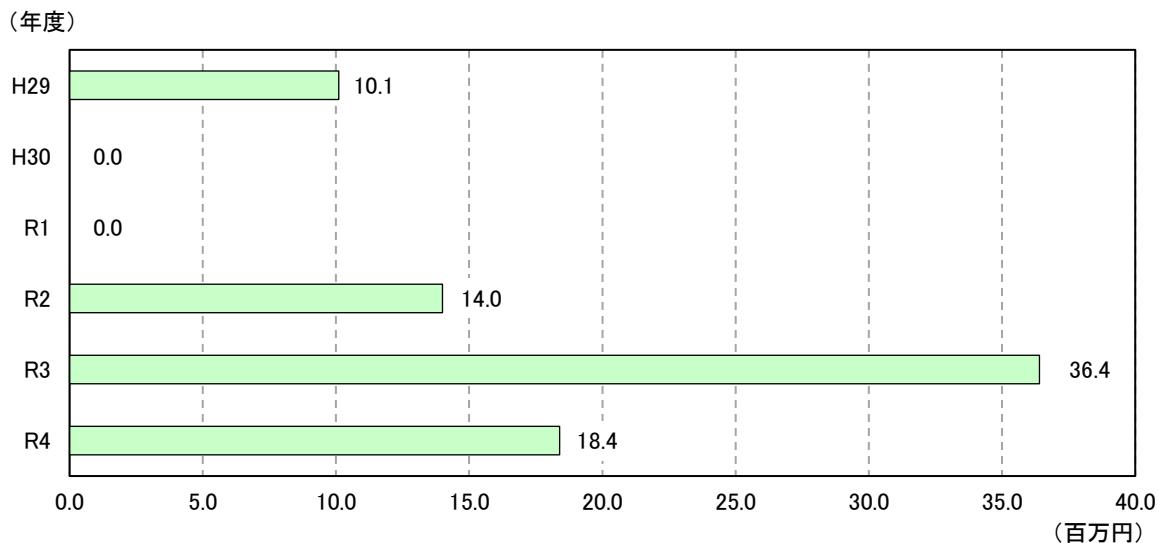


図3-5-3-10 橋りょうの維持管理に係る経費の推移

3.5.3.8 立体横断施設等

立体横断施設等の保守管理などの維持管理に係る経費を整理しました。
エレベーター等の保守管理や警備に係る台数や件数が異なるため、年度ごとに経費の差があります。

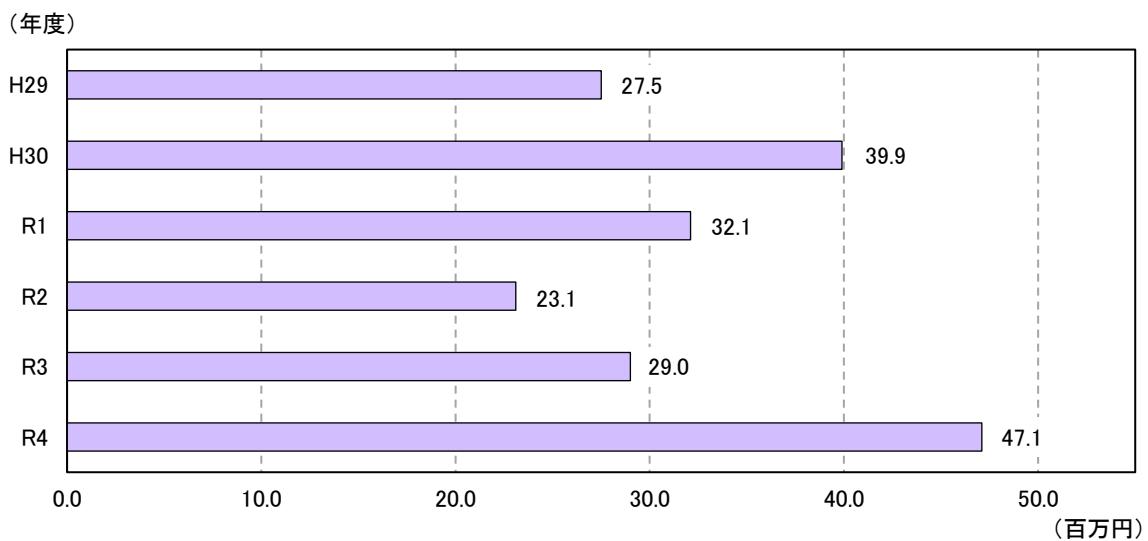


図3-5-3-11 立体横断施設等の維持管理に係る経費の推移

3.5.3.9 大型構造物

大型構造物の保守管理などの維持管理に係る経費を整理しました。

令和元年度以前は、主に西府駅自由通路とポンプ室の管理に係る経費が横ばいで推移していましたが、多磨駅自由通路が開設された令和2年度以降は増加しています。

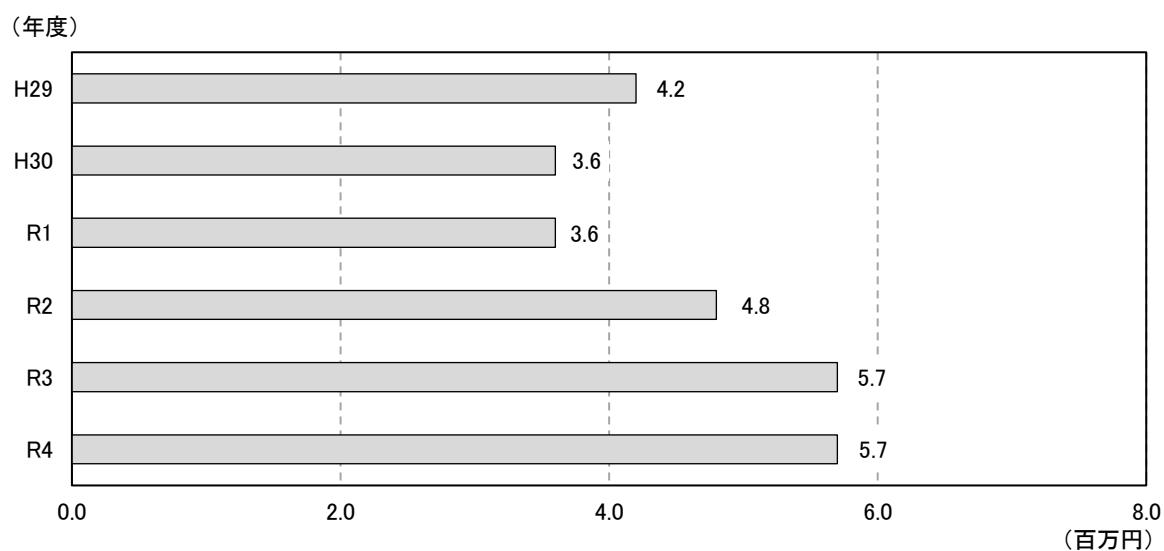


図3-5-3-12 大型構造物の維持管理に係る経費の推移

3.5.3.10 公園緑地等

公園緑地等の清掃や樹木の剪定などの維持管理に係る経費を整理しました。

インフラマネジメントシステムの導入や樹木調査を実施した令和元年度の経費が多くなっていますが、概ね増加傾向にあります。

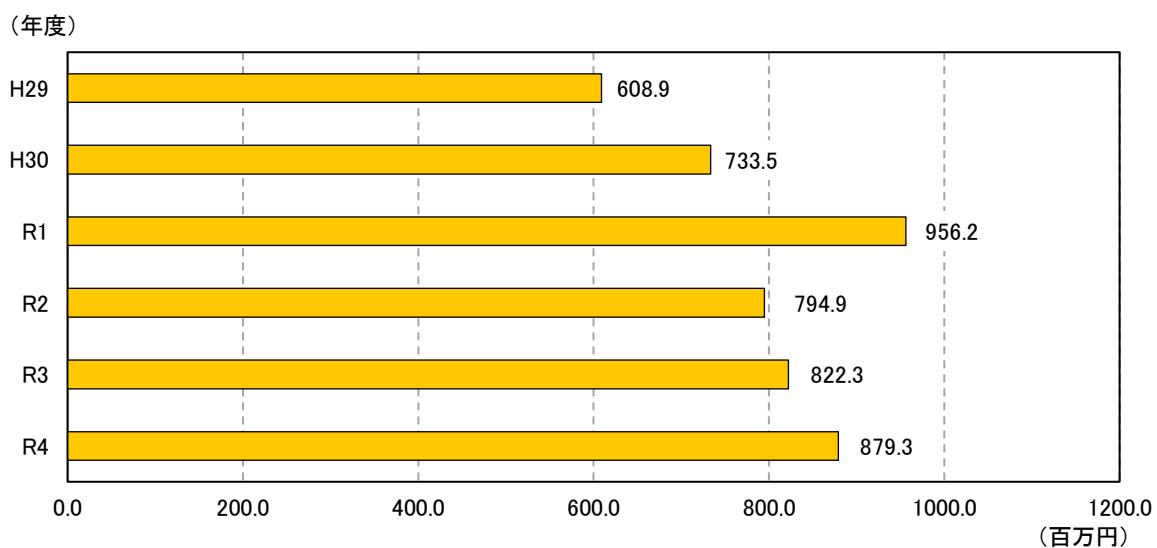


図3-5-3-13 公園緑地等の維持管理に係る経費の推移

3.5.3.11 法定外公共物

法定外公共物の清掃や除草などの維持管理に係る経費を整理しました。

維持管理に加え、法定外公共物活用検討業務を実施した平成30年度、令和2年度は前年度に比べて大幅に経費が増加しています。また、廃道路敷現況調査を実施した令和3年度は、突出して経費が多くなっています。

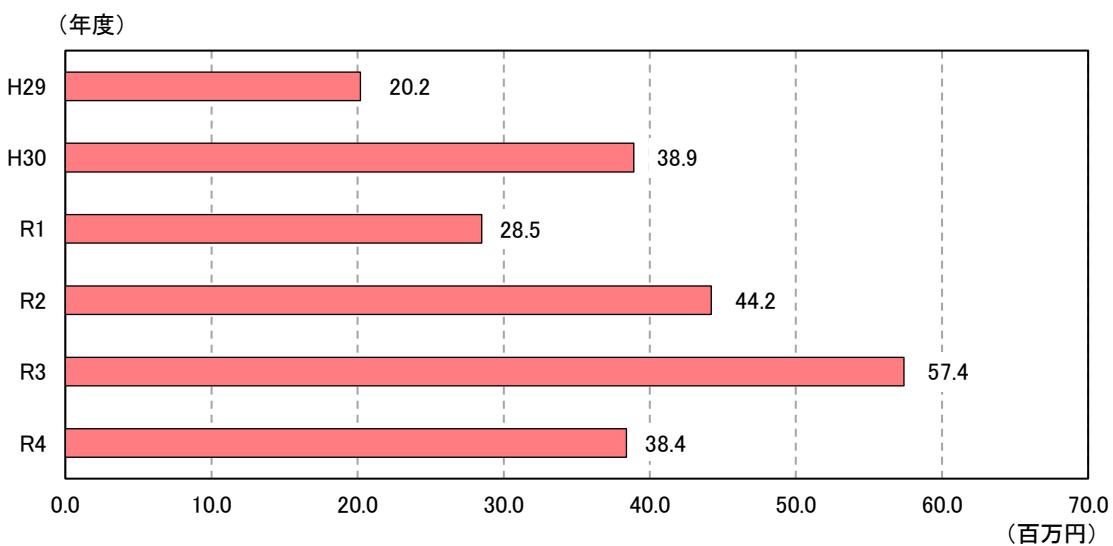


図3-5-3-14 法定外公共物の維持管理に係る経費の推移

3.5.3.12 道路施設・公園緑地等以外の維持管理費

関連協議会等の負担金、システム等使用料など、道路施設・公園緑地等以外の維持管理に係る経費を整理しました。

利用するシステムの増加により、経費が概ね増加傾向にあります。

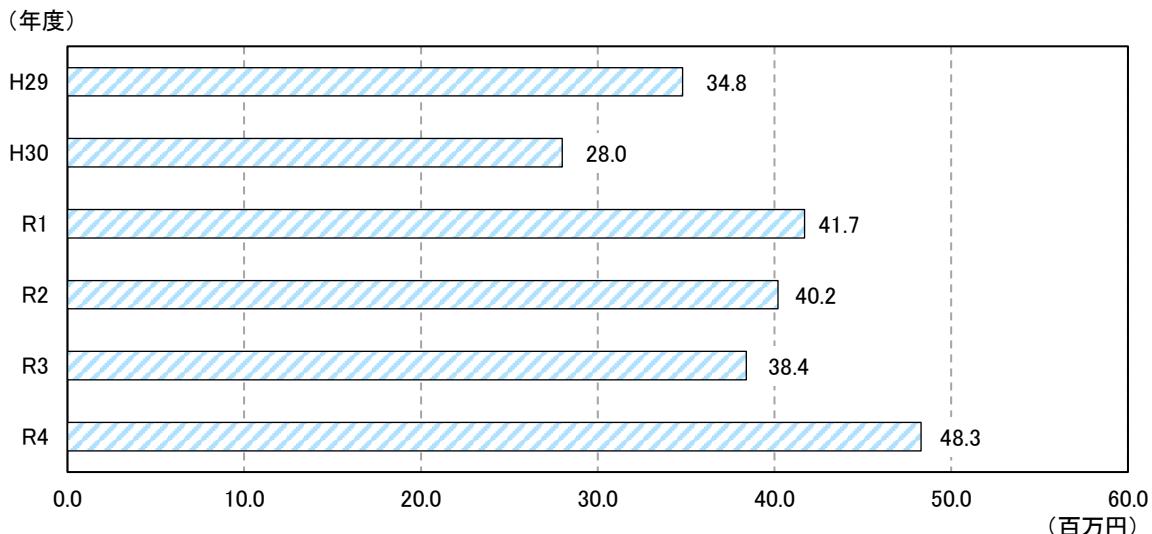


図3-5-3-15 道路施設・公園緑地等以外の維持管理に係る経費の推移

3.5.3.13 道路等包括管理事業に係る経費

道路等包括管理事業に係る経費を予算書に基づいた項目ごとに整理しました。

全項目において、北西地区で試行運用を開始した平成30年度から経費が計上され、事業の対象範囲が全域に拡大した令和3年度に経費が大幅に増加しています。

(年度)

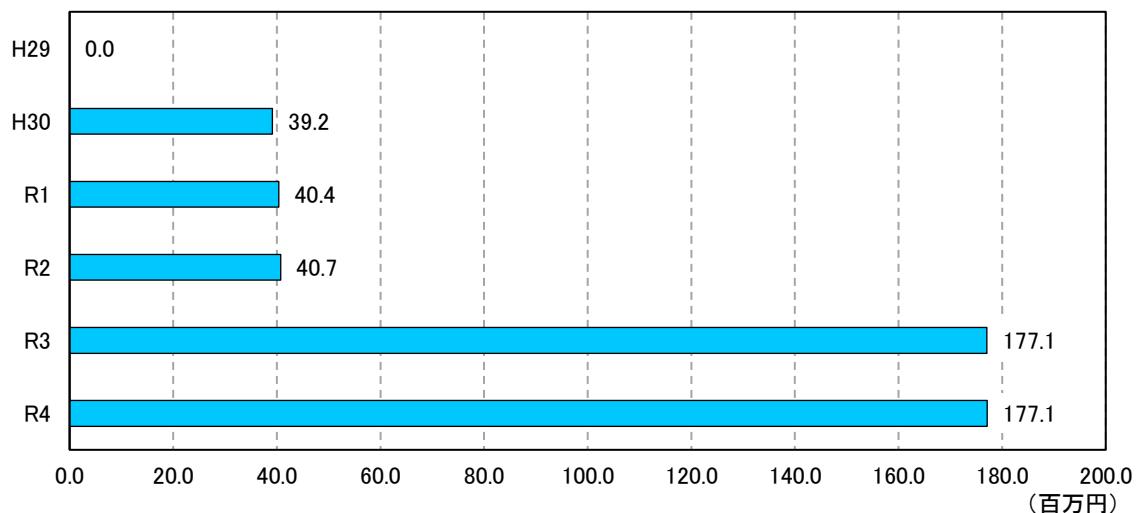


図3-5-3-16 道路等包括管理事業(道路維持・工事)に係る経費の推移

(年度)

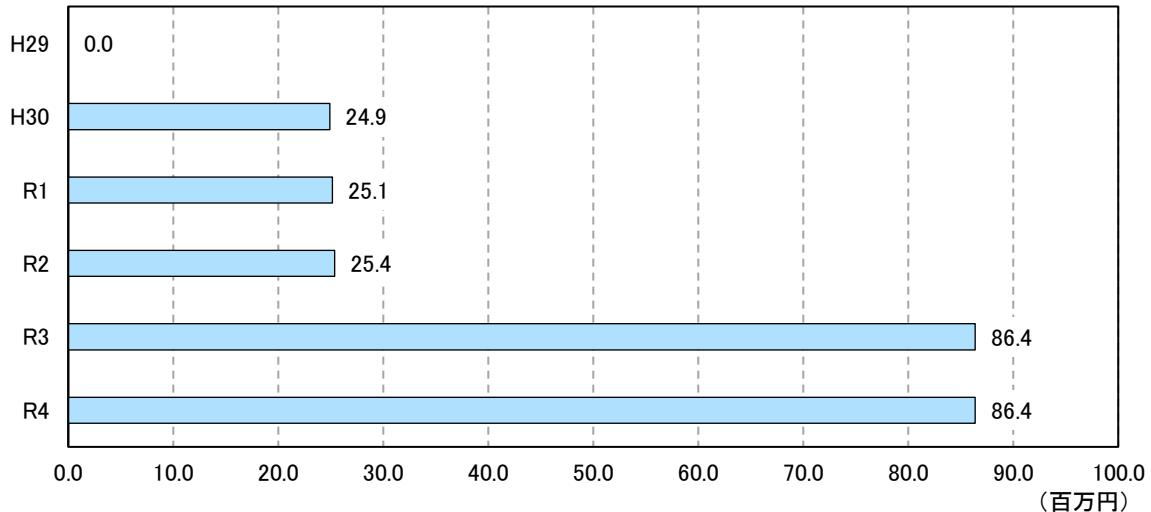


図3-5-3-17 道路等包括管理事業(道路維持・清掃)の維持管理に係る経費の推移

(年度)

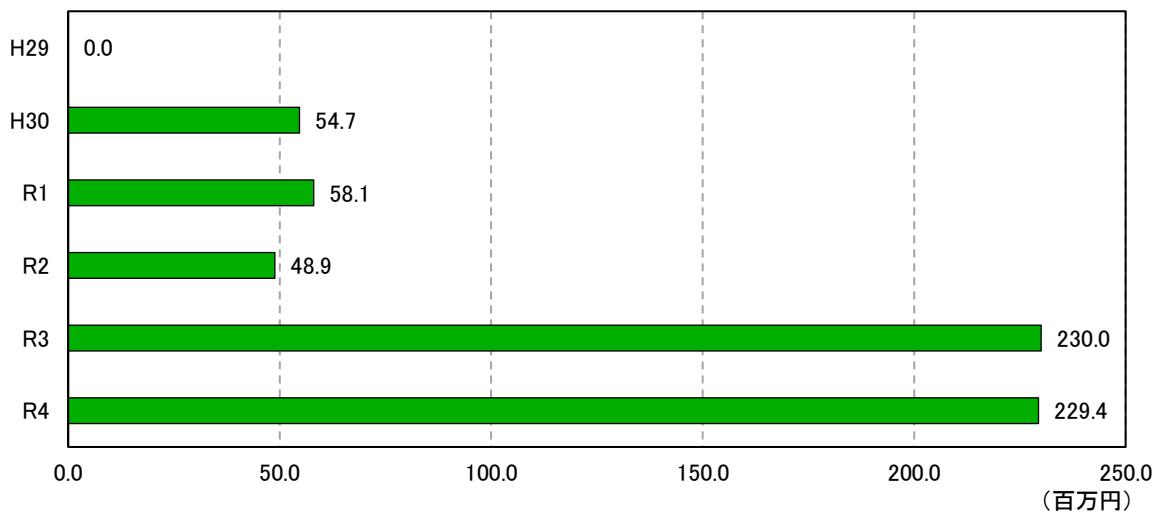


図3-5-3-18 道路等包括管理事業(街路樹)の維持管理に係る経費の推移

(年度)

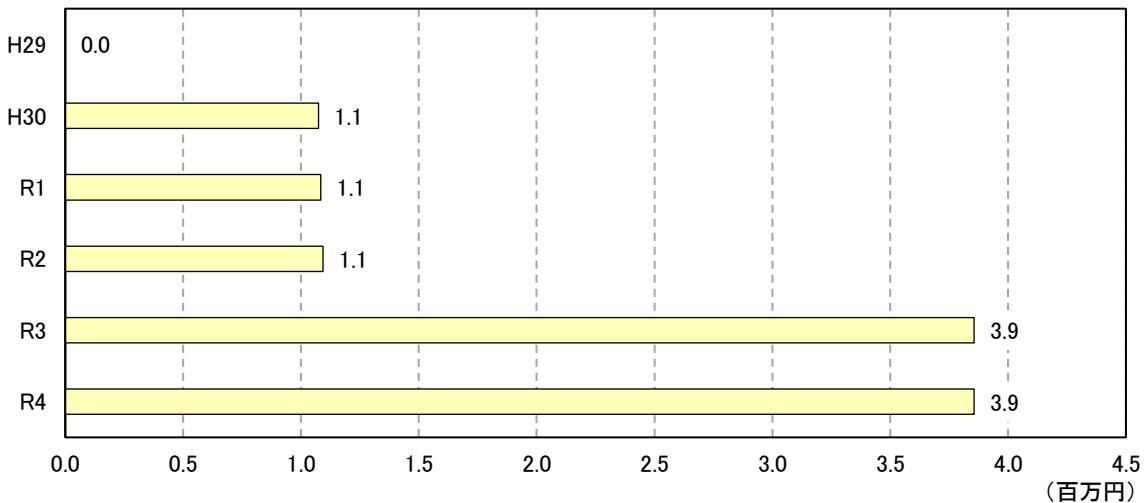


図3-5-3-19 道路等包括管理事業(交通安全施設)の維持管理に係る経費の推移

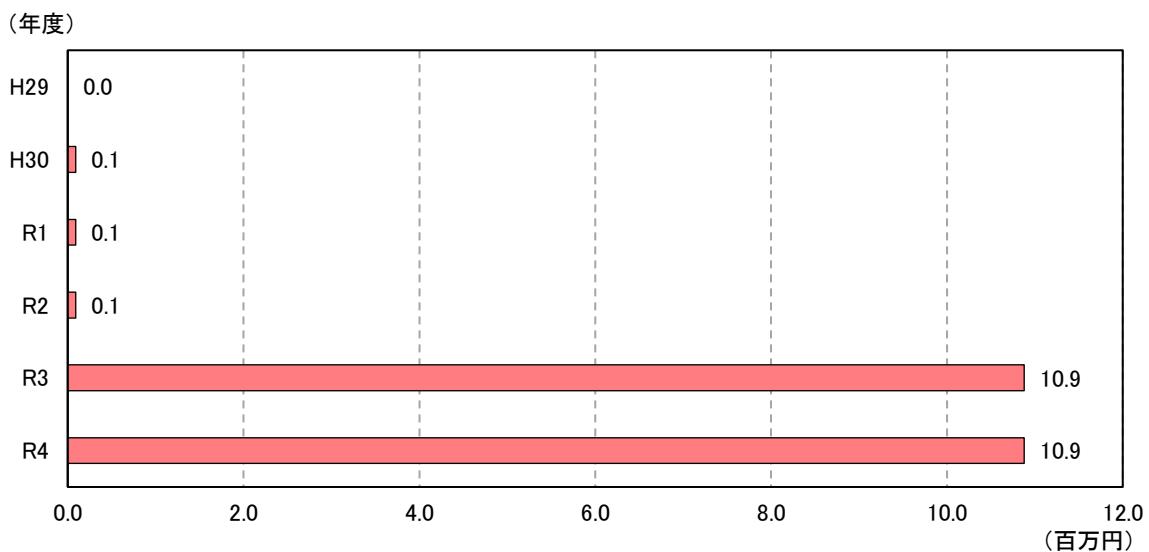


図3-5-3-20 道路等包括管理事業(法定外公共物)の維持管理に係る経費の推移

3.5.3.14 道路等包括管理事業(道路施設以外)

道路施設以外の道路等包括管理事業に係る経費を整理しました。

包括的民間委託実施支援業務や事業評価等の委託費やシステムの借上等、事業を運営するための費用が計上されています。

令和2年度と令和3年度に経費が突出していますが、国からの先導的官民連携支援事業補助金を利用したため、この業務に伴う市独自の支出額は発生しておりません。

令和2年度 道路等包括管理事業効率化方策検討委託 決算額 14.7百万円

令和3年度 道路等包括管理事業高次効率化・拡充化検討委託 決算額 13.8百万円

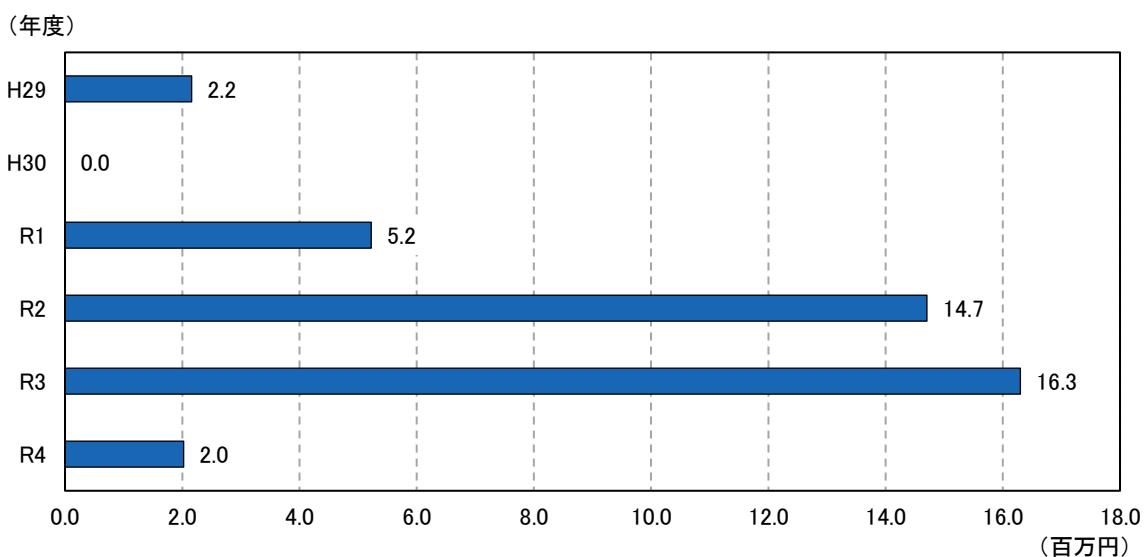


図3-5-3-21 道路等包括管理事業(道路施設以外)の維持管理に係る経費の推移

3.5.4 補修更新に係る経費

(1) 道路・橋りょう・その他道路施設の補修更新に係る経費の推移

平成元年度以降の各年度決算書に基づき、道路・橋りょう・その他のインフラの補修更新に係るインフラ経費を整理しました。

平成初期に比べて減少していますが、過去6年間は概ね増加傾向にあります。

3-5

インフラに係る決算の推移

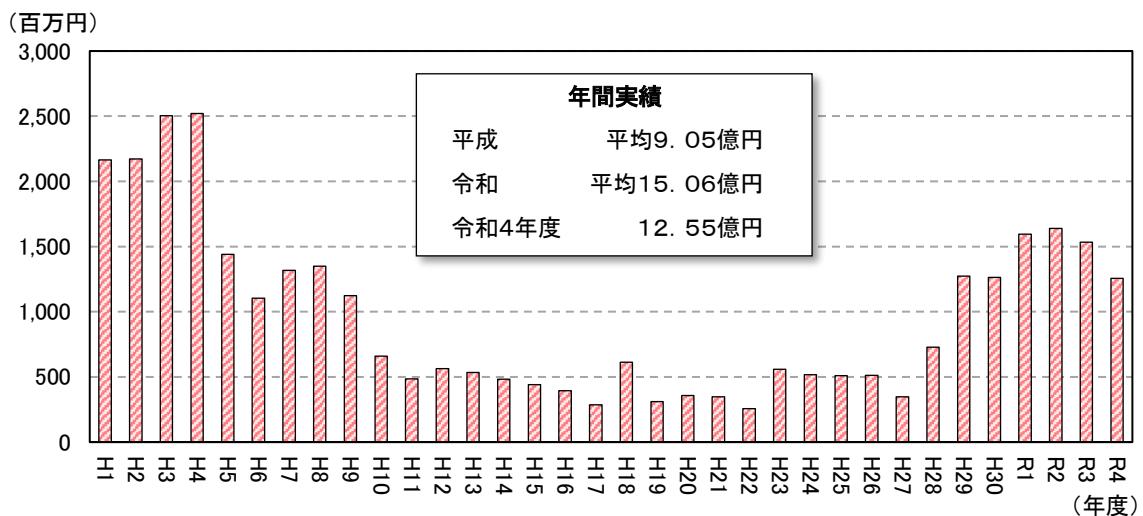


図3-5-4-1 道路・橋りょう・その他インフラの補修更新費の推移

(2) 公園緑地等に係る経費の推移

平成元年度以降の各年度決算書に基づき、公園緑地等に係る補修更新の経費の推移を整理しました。

平成以降、経費は増加と減少を繰り返し、年度により大きな差があります。近年では、公園新設費は減少傾向、公園改築費が増加傾向にあります。

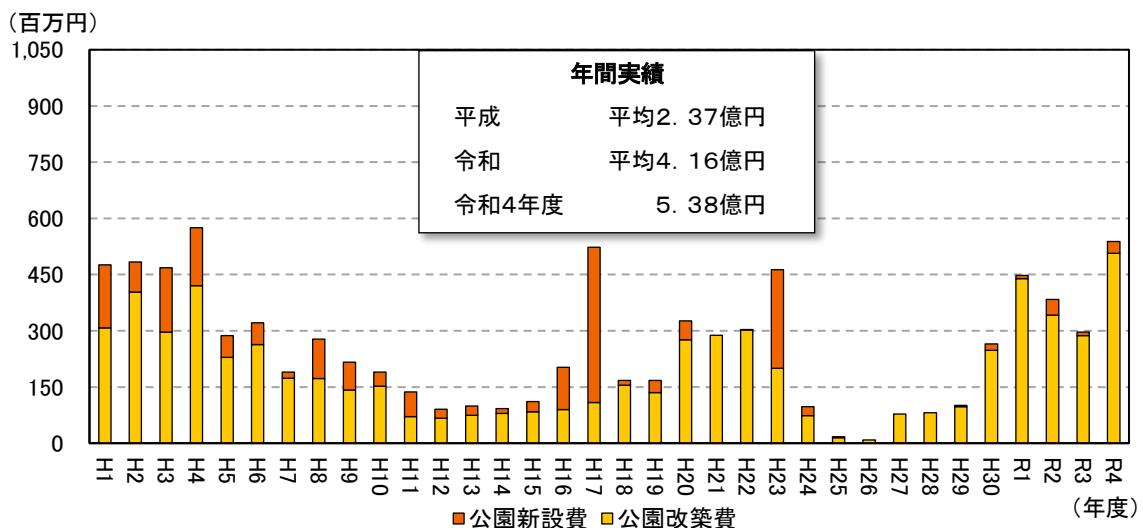


図3-5-4-2 公園緑地等の補修更新費(公園新設費・公園改築費)の推移

3.5.4.1 車道

車道の舗装改良工事などの補修更新に係る経費を整理しました。

大規模な電線共同溝整備工事を実施した平成29年度が突出して経費が多くなっており、平成29年度と令和2年度を区切りに段階的に減少しています。

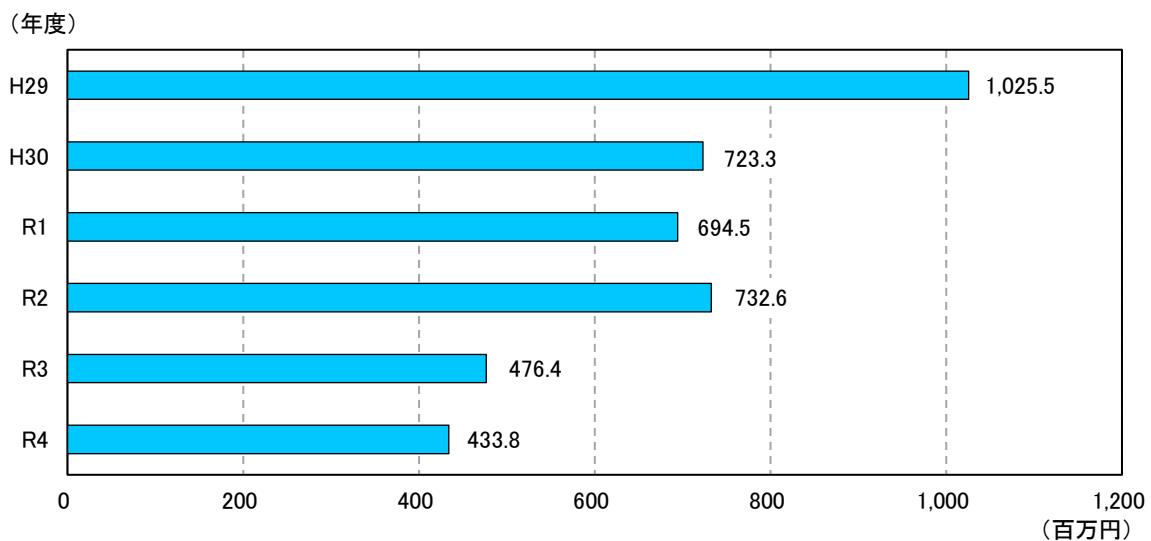


図3-5-4-3 車道の補修更新に係る経費の推移

3.5.4.2 歩道・植樹ます

歩道・植樹ますのバリアフリー化工事などの補修更新に係る経費を整理しました。

バリアフリー化整備工事が行われた平成30年度から令和2年度は経費が突出しています。

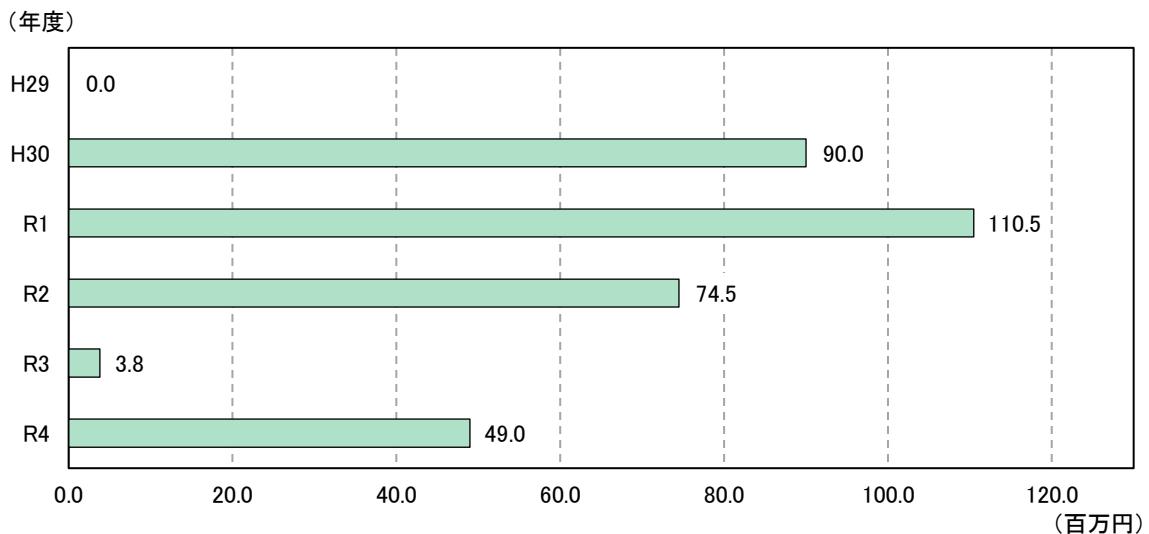


図3-5-4-4 歩道・植樹ますの補修更新に係る経費の推移

3.5.4.3 標識(案内標識・警戒標識・その他標識)

標識の新設などの補修更新に係る経費を整理しました。

平成29年度から令和4年度においては、標識の補修更新費を必要とする事例は発生していません。

3-5

インフラに係る決算の推移

3.5.4.4 街路灯

街路灯の新設、建替えなどの補修更新に係る経費を整理しました。

平成30年度より防犯灯・交通安全灯のLED化が行われ、経費が大幅に増加しています。さらに、令和2年度は競馬場通り整備事業を実施したため、経費が突出しています。

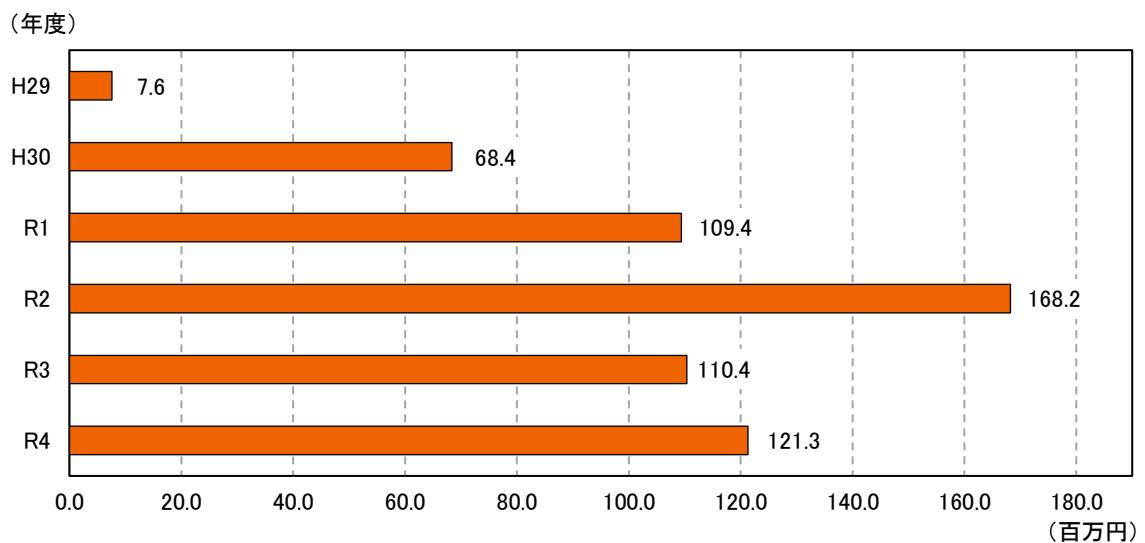


図3-5-4-5 街路灯の補修更新に係る経費の推移

3.5.4.5 道路反射鏡

道路反射鏡の新設、建替えなどの補修更新に係る経費を整理しました。
主に道路反射鏡設置工事費が計上され、過去6年間では概ね減少傾向にあります。

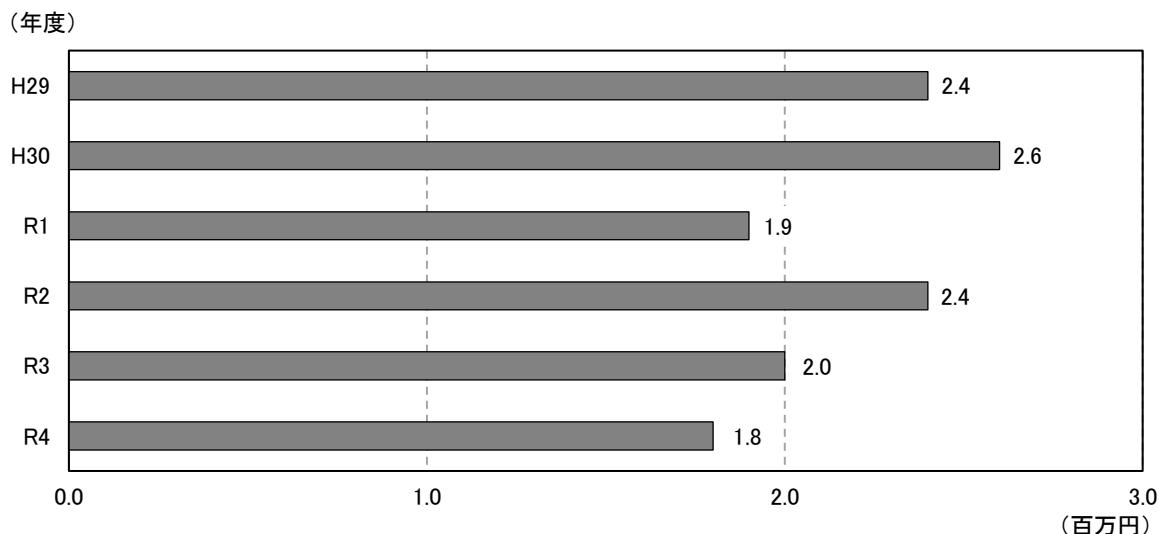


図3-5-4-6 道路反射鏡の補修更新に係る経費の推移

3.5.4.6 街路樹

街路樹の伐採などの補修更新に係る経費を整理しました。
主に大径木の伐採、中低木植替の経費を計上しています。件数が多い年度は、経費が多くなっているため、年度ごとに差が生まれています。

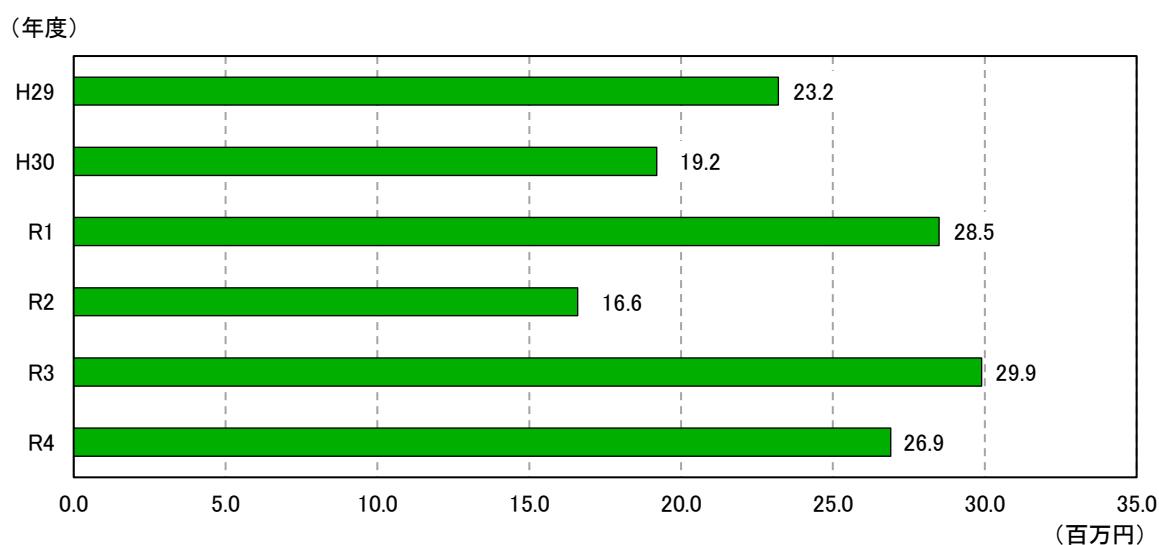


図3-5-4-7 街路樹の補修更新に係る経費の推移

3.5.4.7 橋りょう

橋りょうの設置などの補修更新に係る経費を整理しました。

年度による差があり、補修工事等の件数が多かった令和3年度の経費が突出しています。

3-5

インフラに係る決算の推移

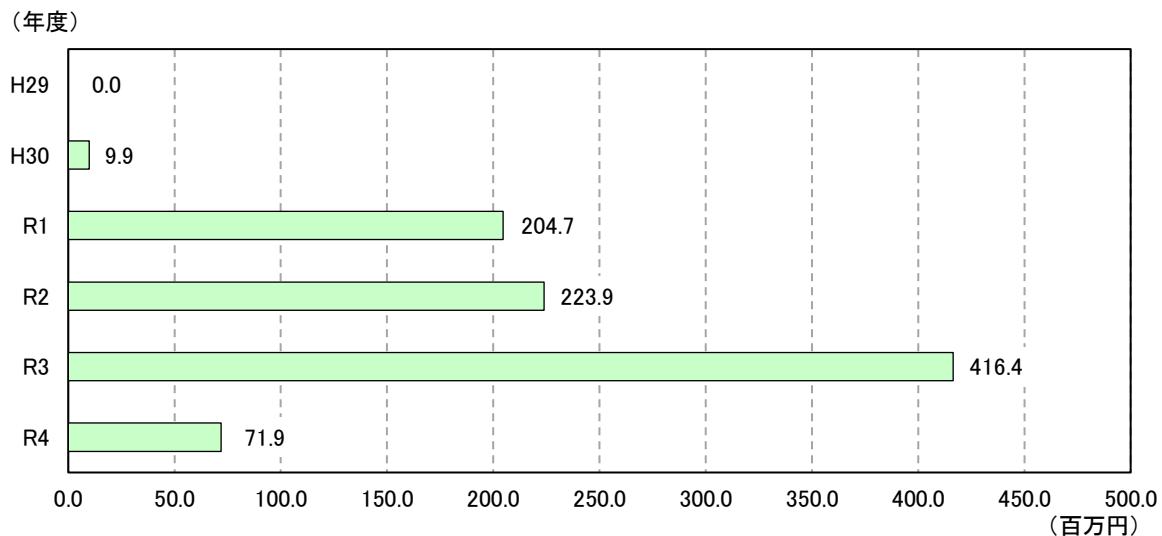


図3-5-4-8 橋りょうの補修更新に係る経費の推移

3.5.4.8 立体横断施設等

立体横断施設等の保守などの補修更新に係る経費を整理しました。

立体横断施設等が新設された平成29年度と令和3年度の経費が突出しています。

(年度)

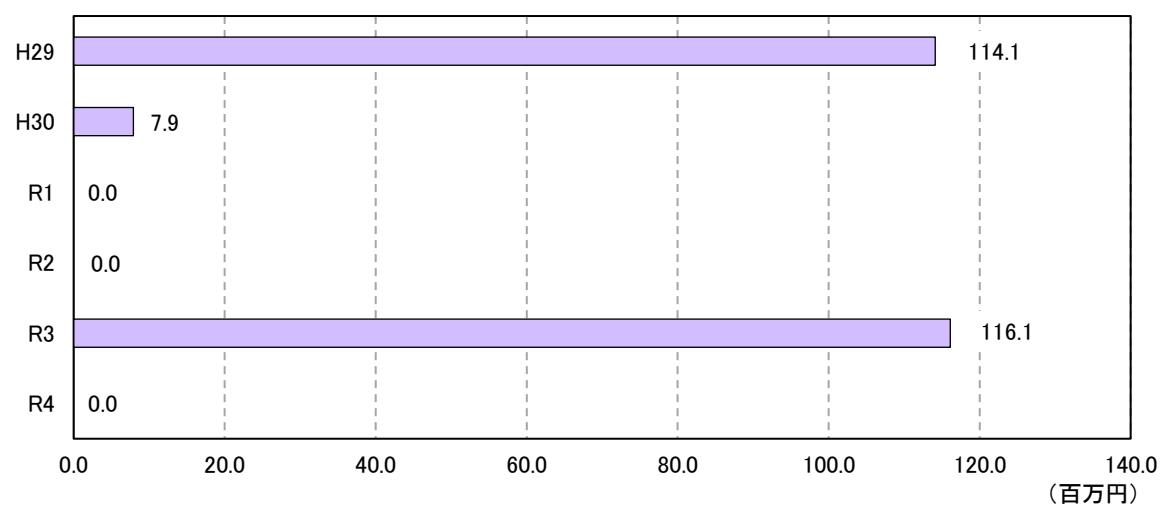


図3-5-4-9 立体横断施設等の補修更新に係る経費の推移

3.5.4.9 大型構造物

大型構造物の設置工事などの補修更新に係る経費を整理しました。

平成29年度から令和4年度においては、大型構造物の補修更新費を必要とする事例は発生していません。

3.5.4.10 公園緑地等

公園緑地等の新設、改修工事などの補修更新に係る経費を整理しました。

平成30年度に建設事業委託料が増加したため、その影響により大幅に増加しています。その後、令和元年度を区切りに減少傾向にあります。維持補修工事費の増額に伴い、令和4年度は著しく増加しています。

(年度)

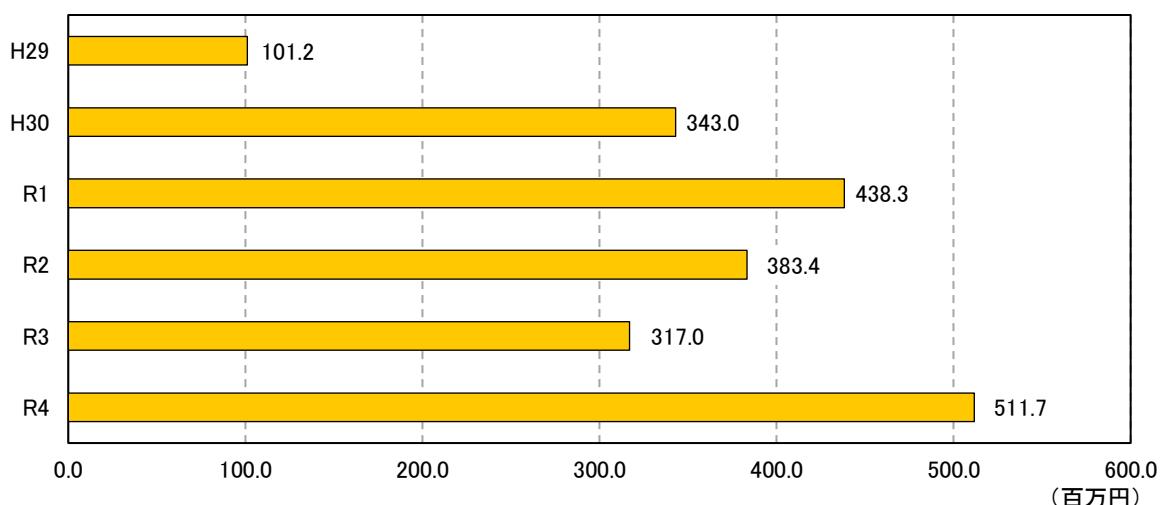


図3-5-4-10 公園緑地等の補修更新に係る経費の推移

3.5.4.11 法定外公共物

法定外公共物の改修工事などの補修更新に係る経費を整理しました。

令和2年度から令和4年度にかけて実施した水路改修工事費や用排水路維持工事費が計上されています。

3-5

インフラに係る決算の推移

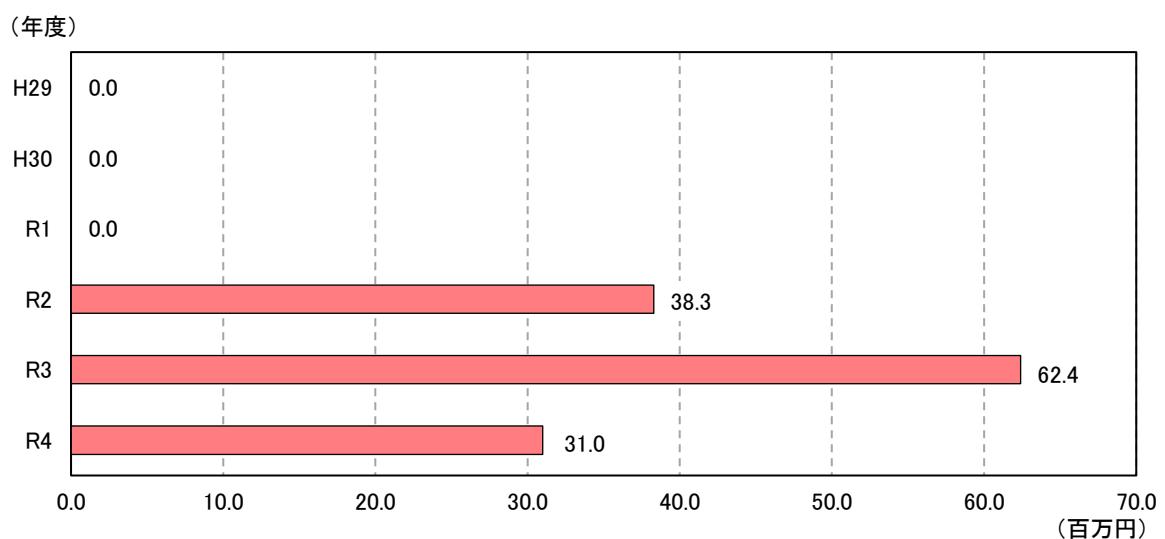


図3-5-4-11 法定外公共物の補修更新に係る経費の推移

3.5.4.12 道路施設・公園緑地等以外の補修更新費

道路施設・公園緑地等以外の補修更新に係る経費を整理しました。

窓口セルフサービスシステムの改良業務や案内表示構造物取替工事を実施した令和元年度、令和4年度のみ経費が計上されています。

(年度)

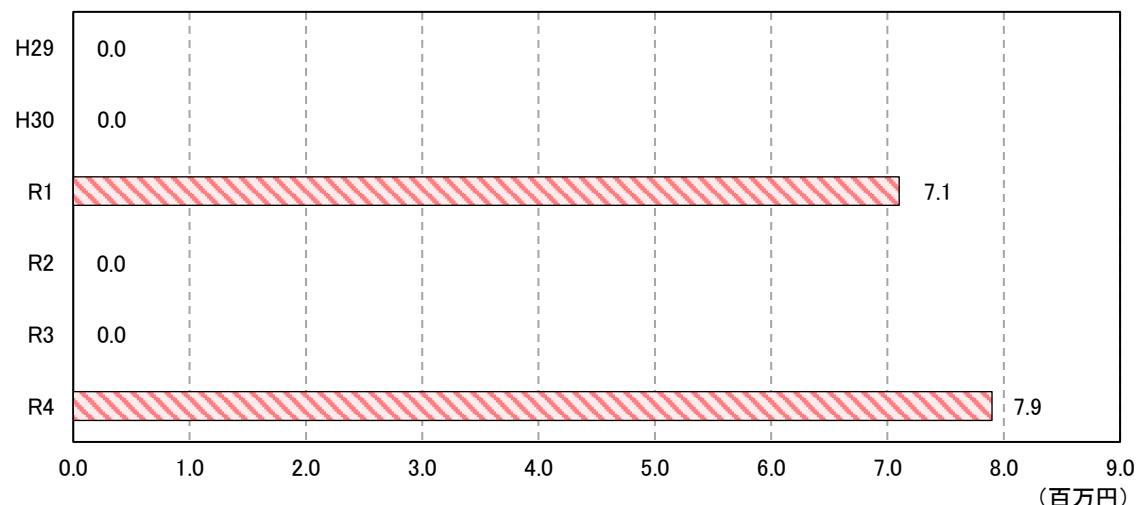


図3-5-4-12 道路施設・公園緑地等以外の補修更新に係る経費の推移

3.5.5 諸経費

維持管理費、補修更新費以外のインフラ管理に係る経費は、次のとおりです。
概ね横ばいで推移していますが、近年では複写機やシステム等の使用料が計上され、経費は増加傾向にあります。

3-5

インフラに係る決算の推移

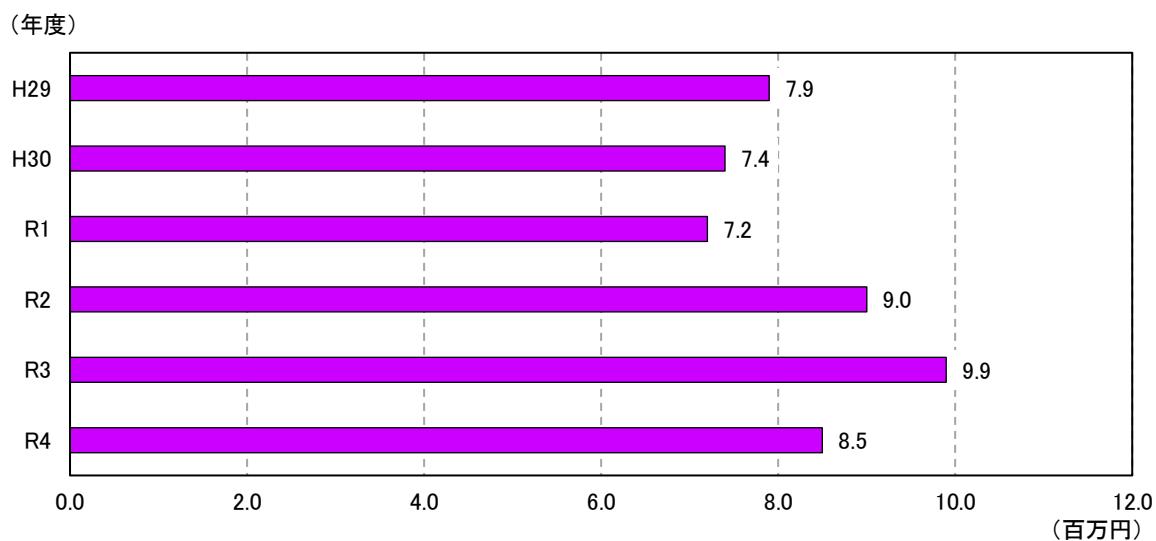


図3-5-5-1 インフラ管理に係る諸経費の推移

3.5.6 人件費

インフラ管理に係る歳出として、所管課※の人件費に係る経費は、次のとおりです。
※P 136 の注釈に記載のとおりです。

表3-5-6-1 人件費実績(所管課)

令和4年度実績	
人件費	305,077 千円
委託費	2,761,021 千円
物件費	158,465 千円
退職手当等	36,419 千円
間接部門費	140,405 千円

【算出方法】

人件費	職員給与費の1人あたりの給与費より算出
委託費・物件費	所管課の決算資料より算出
退職手当等	退職手当等引当金繰入額・所管課人件費割合より算出
間接部門費	純経常行政コスト、一般会計の総務費の割合、所管課の人数割合より算出

※出典:『一般会計等行政コスト計算書』(令和6年)、『広報ふちゅう』(令和5年)、『府中市職員の給与・定員管理等の状況』(令和5年)

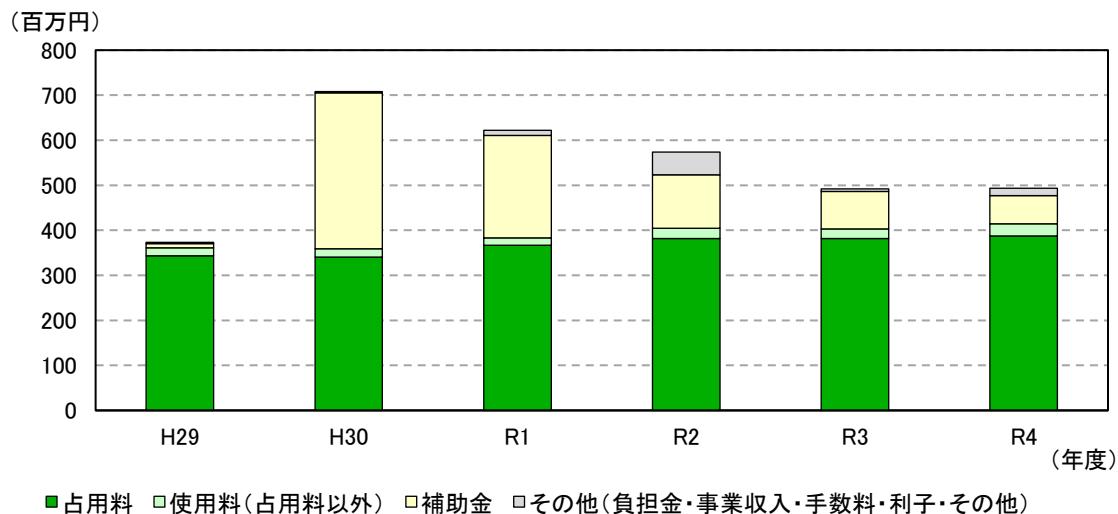
3.5.7 歳入の推移

3.5.7.1 市歳入

所管課※のインフラ管理に係る歳入は次のとおりです。

過去6年間の平均は5.44億円です。占用料は平均3.67億円となっており、半数以上を占めています。占用料と使用料は概ね横ばいで推移していますが、補助金やその他歳入の増減により、総額に差が生じています。

※P136の注釈に記載のとおりです。



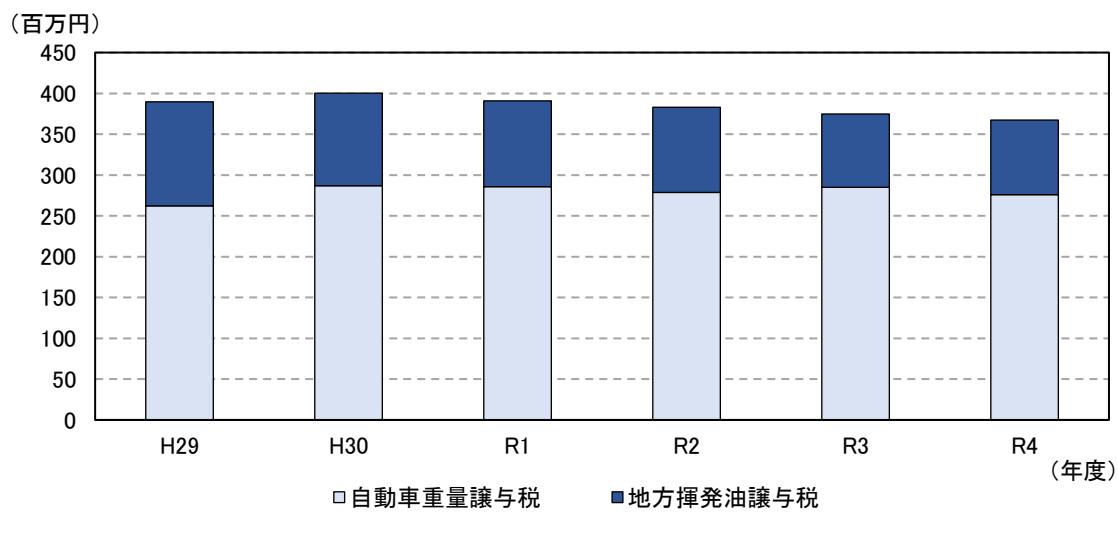
■占用料 □使用料(占用料以外) □補助金 □その他(負担金・事業収入・手数料・利子・その他)

図3-5-7-1 インフラ管理に係る歳入の推移

3.5.7.2 地方譲与税

市の地方譲与税の内訳は次のとおりです。

自動車重量譲与税と地方揮発油譲与税が該当しますが、その使途に制限はなく、一部がインフラ管理に充当されます。なお、過去6年間では、概ね横ばいで推移しています。



□自動車重量譲与税 ■地方揮発油譲与税

図3-5-7-2 地方譲与税内訳の推移

3.5.8 下水道に係る経費

3.5.8.1 支出

下水道は、公営企業会計により独立して事業が行われています。支出には、維持管理費のほか、補修更新費として老朽化対策や地震対策などの建設費と起債償還費(公債費)が計上されています。収入は、主に、下水道使用料と一般会計繰入金のほか、起債が含まれています。

(1) 下水道事業費の総支出の状況

下水道事業費の累計は、平成30年度時点で約2,354億円となります。

昭和56年度をピークに減少傾向となり、下水道の普及率が100%となった昭和59年度以降は、事業費が40億円程度で推移しています。平成30年度の決算額は、約34億円となっています。

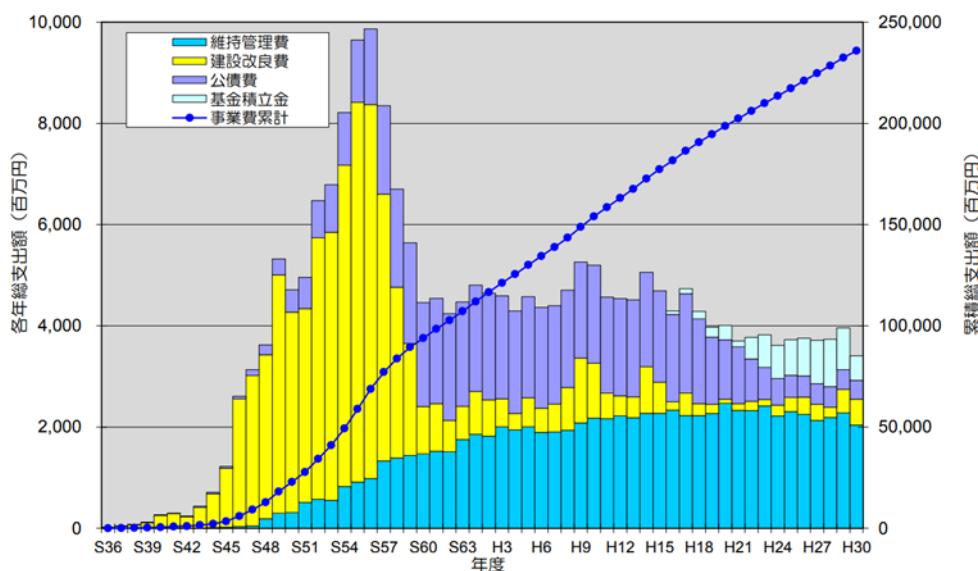


図3-5-8-1 下水道事業費の推移

※出典『府中市下水道マスタープラン2020』(令和2年)

※『本白書』では、グラフ中の「建設費」と「公債費」は「補修更新費」として整理しています。

(2) 建設改良費の推移

下水道施設の建設改良費は、事業着手から現在までに約841億円が投じられており、約760kmの管きよが敷設されています。昭和55年ごろをピークに、整備が概ね完了した昭和60年ごろから建設改良費は激減していますが、近年は、老朽化対策事業により増加傾向にあります。

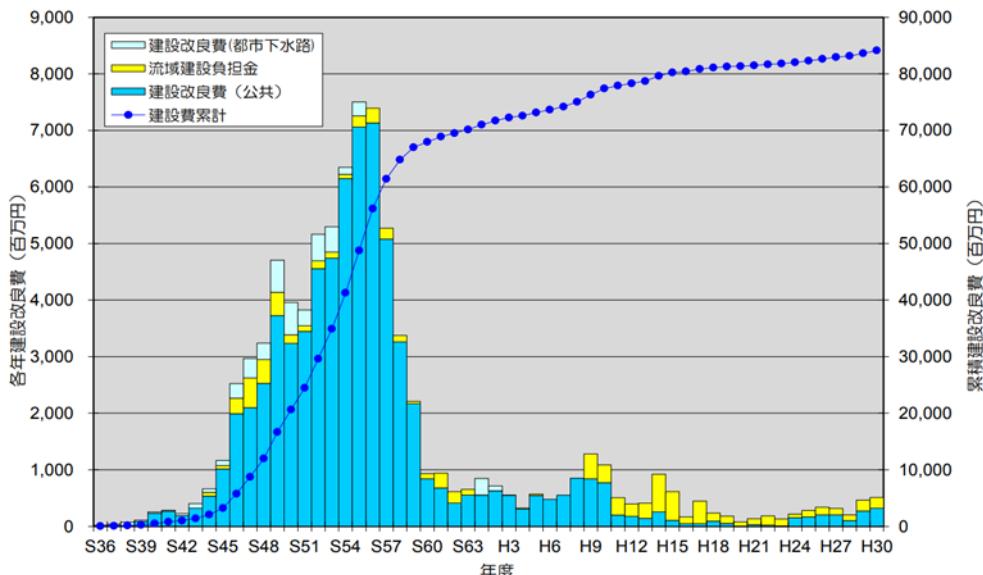


図3-5-8-2 建設改良費の推移

※出典『府中市下水道マスタープラン2020』（令和2年）

(3) 維持管理費の推移

管きよやポンプ場などの下水道施設の維持管理費は、年間約20～23億円で推移し、全体的には横ばいの傾向にあります。そのうちの全体の約65%である約13～15億円が流域下水道の下水処理に係る維持管理負担金です。

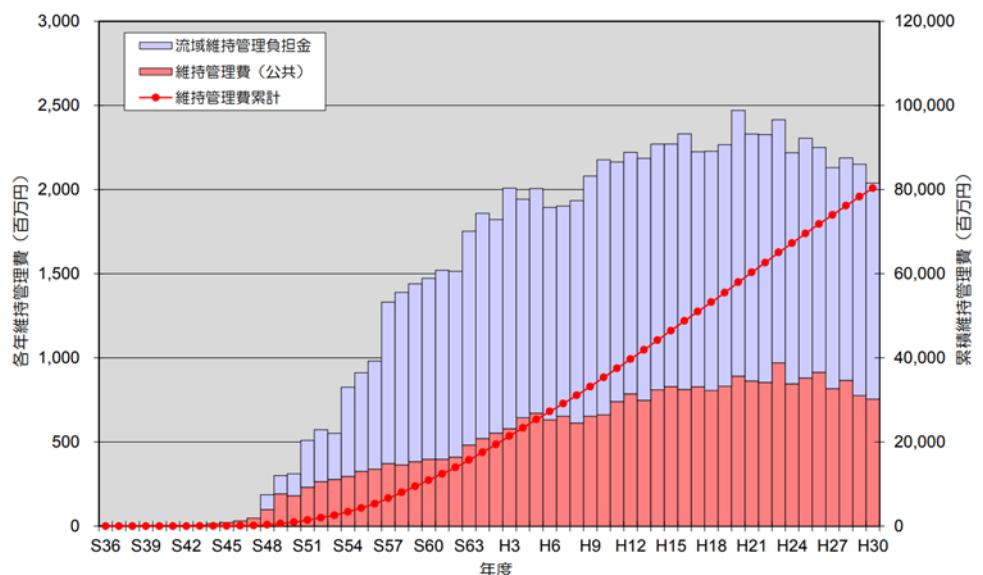


図3-5-8-3 維持管理費の推移

※出典『府中市下水道マスタープラン2020』（令和2年）

(4) 企業債償還費の推移

企業債償還費は、平成2年度の約21億円をピークに建設費の減少に伴い、年々減少する傾向にあります。平成30年度末の企業債償還費は約3億円になっています。

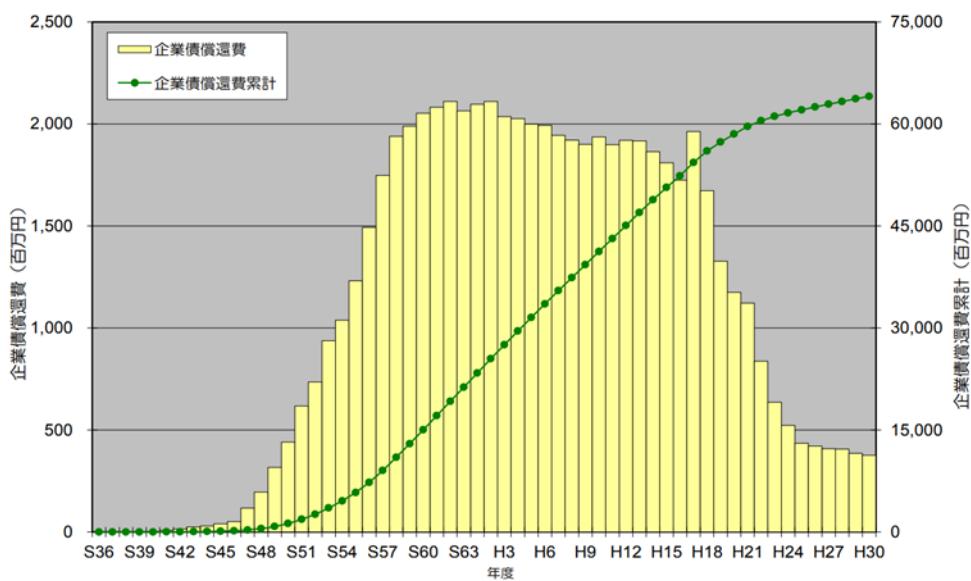


図3-5-8-4 企業債償還費の推移

※出典『府中市下水道マスターplan 2020』（令和2年）

3.5.8.2 収入

下水道課の収入は、下水道使用料収入と雨水処理経費としての一般会計からの繰入金のほか起債などが財源になります。

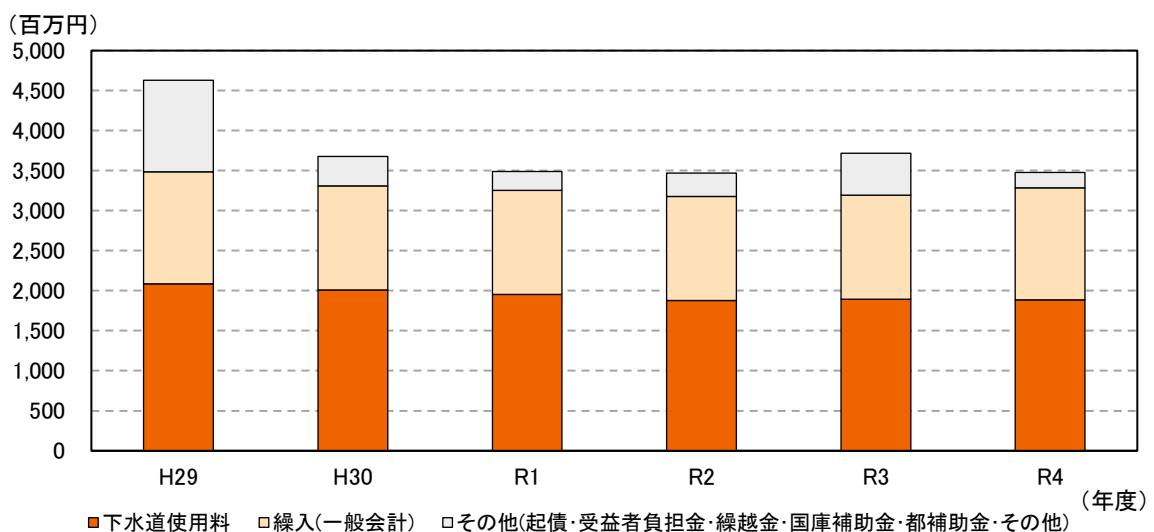


図3-5-8-5 インフラ管理に係る収入の推移(下水道)

3.5.9 歳出・歳入の比較

インフラに係る歳出と歳入は以下のとおりです。

所管課※の歳出は、概ね増加傾向にありましたが、令和元年度以降緩やかに減少しています。歳入は、補助金が多い平成30年度以降概ね減少傾向にあります。

また、下水道課の支出は、2～3年ごとに増減を繰り返しています。収入は、その他が多い平成29年度が突出していますが、概ね横ばいで推移しています。

※P136の注釈に記載のとおりです。

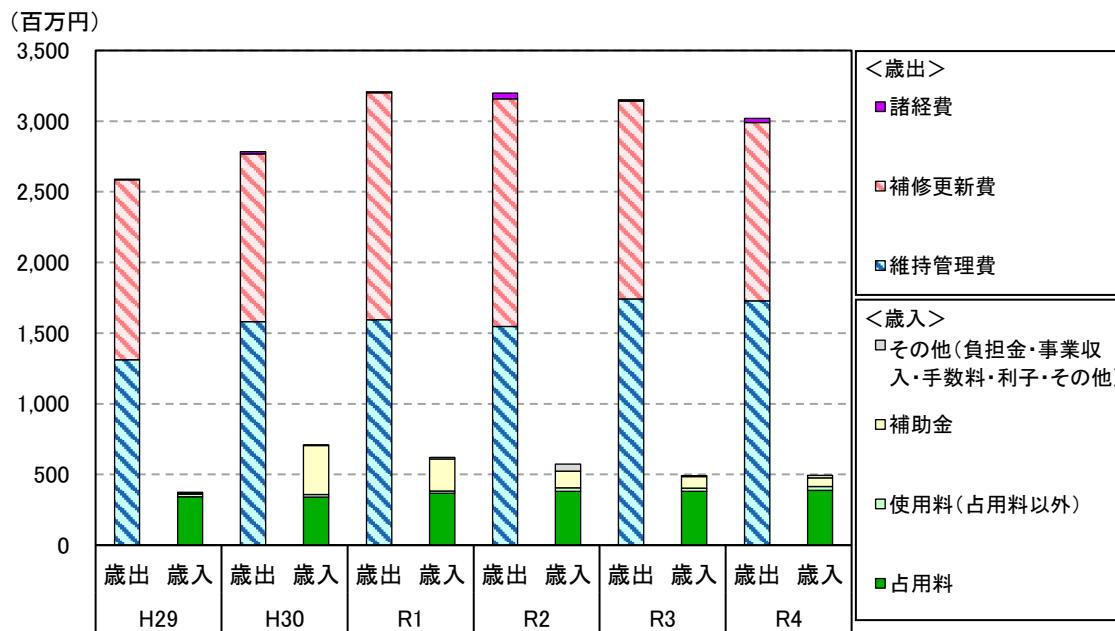


図3-5-9-1 過去6年間の歳出・歳入の内訳(所管課)

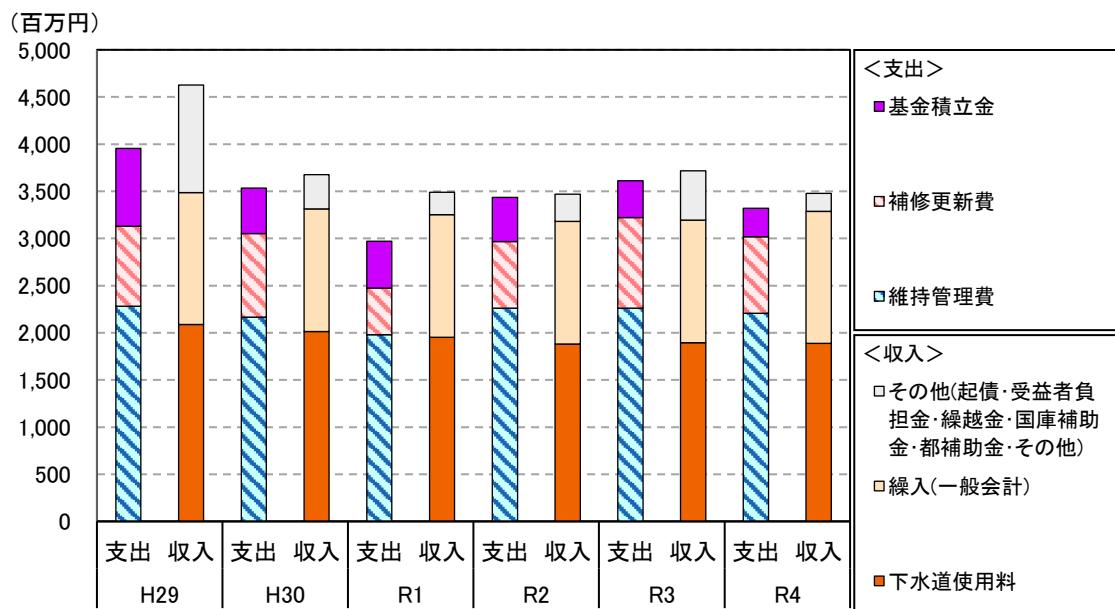


図3-5-9-2 過去6年間の支出・収入の内訳(下水道課)

第4章 将來の管理に係る経費の予測について

第4章 将来の管理に係る経費の予測について

4-1

経費予測の条件

インフラの管理に係る「維持管理費」、「補修更新費」、「人件費」について、今後30年間（令和5年度～令和34年度）の将来予測を算出します。

ただし、下水道は他のインフラと分けて方針を考える必要があります。下水道は一般会計ではなく、令和2年度より公営企業会計となり、個別事業として状況や資金運営の明確化を行っており、下水道使用料や起債などを財源に運営しています。そのため、『本白書』では、道路施設・公園緑地等と下水道の経費を分けて記載します。なお、下水道の将来予測は『府中市下水道マスタープラン2020』（令和2年）により見通しを立てています。

4.1 将来予測の条件

経費を予測するにあたって、インフラの現状の管理水準を維持するための、日常的な管理や工事、補修を行うことを前提とします。実態の分析結果から「維持管理費」、「補修更新費」、「人件費」の将来予測の条件を、それぞれ表4-1-1、表4-1-2、表4-1-3のとおり設定します。なお、原則として各年度による増減を平準化するため、平成29年度から令和4年度までの経費の年間平均に基づき、「維持管理費」、「補修更新費」を算出します。また、同様の考え方から、表4-1-4のとおり設定し、「歳入」を算出します。

表4-1-1 「維持管理」に係る将来予測の条件

施設項目	種別	予測の条件(実態の分析結果より)
道路	車道	5年ごとに実施する路面性状調査の経費を見込んだ、過去6年間における経費の年間平均を計上する。 過去6年間の平均の面積増加分(+7.5km ² /年)を計上する。
	歩道・植樹ます	過去6年間における経費の年間平均を計上する。
道路附属物	標識 (案内標識 警戒標識 その他標識)	5年ごとに定期点検の経費を計上する。
	街路灯	過去6年間における経費の年間平均を計上する。 過去6年平均の年間増加分(+234基/年)を計上する。
	道路反射鏡	過去6年間における経費の年間平均を計上する。 過去6年平均の年間延長増加分(+10基/年)を計上する。
	街路樹	令和5年度予算を計上する。
橋りょう		5年ごとに実施する定期点検の経費等を計上する。
立体横断施設等		過去6年間における経費の年間平均を計上する。 5年ごとに橋梁・ペデストリアンデッキの定期点検等の経費を計上する。
大型構造物		過去6年間における経費の年間平均を計上する。 5年ごとに定期点検の経費を計上する。
公園緑地等		令和5年度予算を計上する。 過去6年間の平均の面積増加分(+3,363m ² /年)を計上する。
法定外公共物		過去6年間における経費の年間平均を計上する。
道路等包括管理事業		全域2期が開始する令和6年度の予算を計上する。
下水道 [*]		『府中市下水道マスターplan2020』(令和2年)を基に、令和2年度から令和31年度までの30年間で見通した、維持管理費を転記している。

※下水道事業では、日常的な清掃、部分的な補修などの経費を「維持管理費」としています。

表4-1-2 「補修更新」に係る将来予測の条件

施設項目	種別	予測の条件(実態の分析結果より)
道路	車道	予防保全型管理(打換え更新→オーバーレイ補修)によるシミュレーションより算出する。 過去6年間の平均の面積増加分(+7.5km ² /年)を計上する。
	歩道・植樹ます	過去6年間における経費の年間平均を計上する。
道路附属物	標識 (案内標識 警戒標識 その他標識)	3年ごとに補修更新工事の経費を計上する。
	街路灯	防犯灯と交通安全灯の球交換を30年間で2回実施することを想定した経費を計上する。
	道路反射鏡	過去6年間における経費の年間平均を計上する。
	街路樹	過去6年間における経費の年間平均を計上する。
橋りょう	『府中市橋梁長寿命化修繕計画』(令和4年)より算出した経費を計上する。	
立体横断施設等	『府中駅ペデストリアンデッキ維持管理計画』(令和2年)より算出した経費を計上する。 エレベーター新設費を計上する。	
大型構造物	擁壁・カルバート修繕費を計上する。 冠水表示板の更新費等を計上する。	
公園緑地等	遊戯施設は、『府中市公園施設長寿命化計画』(令和5年)の設定予算を計上する。 便益施設は、1施設あたりの想定経費と箇所数より算出する。	
法定外公共物	過去6年間における経費の年間平均を計上する。	
下水道	『府中市下水道マスターplan2020』(令和2年)を基に、令和2年度から令和31年度までの30年間で見通した、建設改良費と企業債償還費を転記している。	

表4-1-3 「人件費」に係る将来予測の条件

種別	予測の条件(実態の分析結果より)
人件費	令和4年度の人件費を計上する。

表4-1-4 「歳入」に係る将来予測の条件

種別	予測の条件(実態の分析結果より)
占用料	過去6年間における歳入額の年間平均を計上する。 道路延長増加に伴う増額分を計上する。
使用料	過去6年間における歳入額の平均額を計上する。
補助金	過去6年間における歳入額の年間平均より、歳出に対する補助金の割合を算出し、今後の予測経費に適用する。
自動車重量譲与税	過去6年間における歳入額の年間平均を計上する。 道路延長増加に伴う増額分を計上する。
地方揮発油譲与税	過去6年間における歳入額の年間平均を計上する。 道路延長増加に伴う増額分を計上する。
負担金	過去6年間における歳入額の年間平均を計上する。
事業収入	過去6年間における歳入額の年間平均を計上する。
手数料	過去6年間における歳入額の年間平均を計上する。
その他	過去6年間における歳入額の年間平均を計上する。
下水道	『府中市下水道マスターplan2020』(令和2年)を基に、令和2年度から令和31年度までの30年間で見通した、収益的収入と資本的収入を転記している。

4.2 インフラ経費の将来予測

4.2.1 将来予測の内訳(維持管理費)

4.2.1.1 車道

維持管理に関する経費は、今後30年間で55.26億円、年間あたり1.84億円になると見込んでいます。

道路・広場等の清掃や5年に1回実施する路面性状調査の経費など、過去6年間における経費(1.77億円/年)を今後も計上していくことを想定しています。さらに、今後想定される道路面積増加分(7.5km²/年)に伴う経費(49万円/年)を加味して算出しています。

4.2.1.2 歩道・植樹ます

維持管理に関する経費は、今後30年間で2.89億円、年間あたり0.10億円になると見込んでいます。

歩道の警備や除草作業、植込の清掃など、過去6年間における経費(965万円/年)を今後も計上していくことを想定しています。

4.2.1.3 標識

維持管理に関する経費は、今後30年間で0.39億円、年間あたり0.01億円になると見込んでいます。

今後想定される大型道路標識の点検費(648万円/5年)を計上しています。

4.2.1.4 街路灯

維持管理に関する経費は、今後30年間で30.51億円、年間あたり1.02億円になると見込んでいます。

街路灯の修理費や光熱費など、過去6年間における経費(8,486万円/年)を今後も計上していくことを想定しています。

また、道路延長増加に伴う維持管理費の増加(109万円/年)を加味して算出しています。

4.2.1.5 道路反射鏡

維持管理に関する経費は、今後30年間で0.65億円、年間あたり0.02億円になると見込んでいます。

清掃や軽微な補修など、過去6年間における経費(208万円/年)を今後も計上していくことを想定しています。また、道路延長増加に伴う維持管理費の増加(1万円/年)を加味して算出しています。

4.2.1.6 街路樹

維持管理に関する経費は、今後30年間で1.24億円、年間あたり0.04億円になると見込んでいます。

道路等包括管理事業で担う管理以外の街路樹に係る経費を想定している令和5年度の予算（415万円／年）より算出しています。

4.2.1.7 橋りょう

維持管理に関する経費は、今後30年間で4.13億円、年間あたり0.14億円になると見込んでいます。

5年に1回実施する橋りょう点検の経費等（6,884万円／5年）を計上しています。

4.2.1.8 立体横断施設等

維持管理に関する経費は、今後30年間で10.21億円、年間あたり0.34億円になると見込んでいます。

エスカレーター・エレベーターの定期点検や警備、清掃費など、過去6年間における経費（3,069万円／年）を今後も計上していくことを想定しています。また、5年に1回実施する府中駅前のペデストリアンデッキの点検に係る経費（1,500万円／5年）と府中駅ペデストリアンデッキ維持管理計画費（350万円／10年）を加味して算出しています。

4.2.1.9 大型構造物

維持管理に関する経費は、今後30年間で1.84億円、年間あたり0.06億円になると見込んでいます。

ポンプ室の点検・清掃や西府駅・多磨駅自由通路の維持管理など、過去6年間における経費（460万円／年）を今後も計上していくことを想定しています。さらに、5年に1回実施する擁壁・ボックスカルバートの定期点検の経費（774万円／5年）を加味して算出しています。

4.2.1.10 公園緑地等

維持管理に関する経費は、今後30年間で288.57億円、年間あたり9.62億円になると見込んでいます。

清掃・ごみ回収費、植栽管理費、光熱水費等について令和5年度の予算（9.33億円／年）より算出しています。また、過去6年間に増加した公園緑地等の面積（3,363m²／年）を今後も増加するものと想定し、それに伴う維持管理費の増加（186万円／年）を加味して算出しています。

4.2.1.11 法定外公共物

維持管理に関する経費は、今後30年間で11.38億円、年間あたり0.38億円になると見込んでいます。

境界確定に伴う測量や清掃等について、過去6年間における経費（3,794万円／年）を今後も計上していくことを想定しています。

4.2.1.12 道路等包括管理事業

維持管理に関する経費は、今後30年間で205.97億円、年間あたり6.87億円になると見込んでいます。

道路等包括管理事業が全域2期に移行する令和6年度の予算（6.87億円／年）を今後も計上していくことを想定し、算出しています。

4.2.1.13 下水道

令和2年度から令和31年度までの維持管理費の総額は653.36億円、年間あたり21.78億円になると見込んでいます。

日常的な維持補修のほか、流域下水道の下水処理に係る維持管理負担金を想定しています。なお、維持管理費の総額は次のとおり算出しています。

表4-2-1-1 維持管理費の予測

項目・期間	短期 (令和2~6年度)	中期 (令和7~11年度)	長期 (令和12~31年度)	合計 (令和2~31年度)
維持管理費 [※]	4,428百万円	4,605百万円	18,420百万円	27,453百万円
維持管理負担金	6,580百万円	6,320百万円	24,983百万円	37,883百万円
合計	11,008百万円	10,925百万円	43,403百万円	65,336百万円

※市の下水道施設の維持管理に要する経費です。

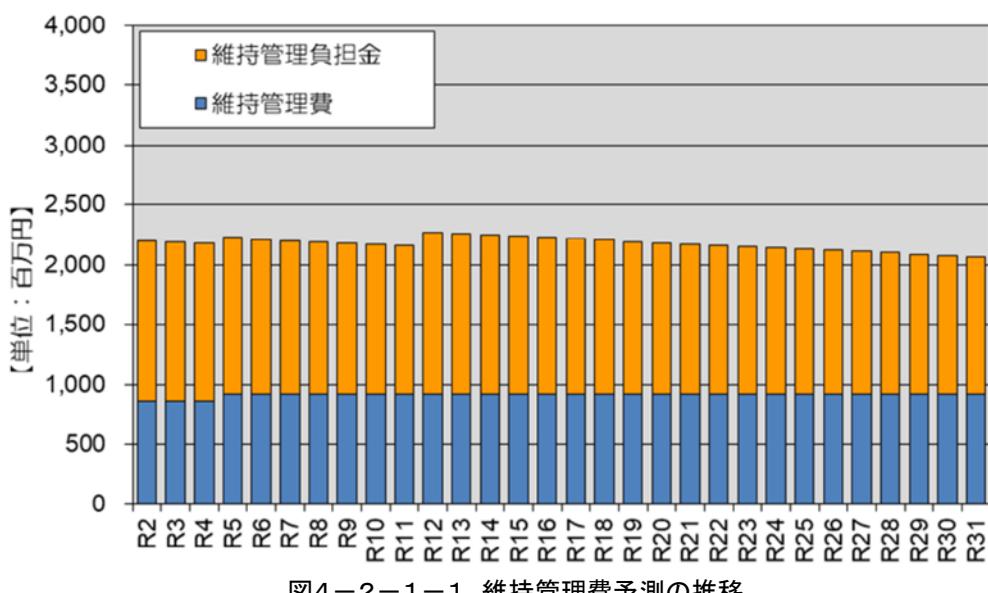


図4-2-1-1 維持管理費予測の推移

※出典：『府中市下水道マスターplan 2020』（令和2年）

4.2.1.14 維持管理費の将来予測

維持管理費の将来予測は、次のとおりです。

維持管理費は、日常的な清掃や部分的な補修などの保守、定期点検等に係る経費です。そのため、管理量や労務費単価の上昇、緊急な対応により増加する可能性もあります。

表4-2-1-2 維持管理費の将来予測

施設項目		30年間の予測経費 (令和5年度～令和34年度) I	30年間を平均化する場合の予測経費 II = I ÷ 30	実績額 (平成29年度～令和4年度) III	30年間を平均化する場合の予測経費と実績額の差額 IV = II - III
①	道路	車道	55.26 億円	1.84 億円/年	1.77 億円/年 0.07 億円/年 (実績額比 4.0%)
		歩道・植樹ます	2.89 億円	0.10 億円/年	0.10 億円/年 0 億円/年
	道路附属物	標識	0.39 億円	0.01 億円/年	(該当実績無し) 0.01 億円/年
		街路灯	30.51 億円	1.02 億円/年	0.85 億円/年 0.17 億円/年 (実績額比 20.0%)
		道路反射鏡	0.65 億円	0.02 億円/年	0.02 億円/年 0 億円/年
		街路樹	1.24 億円	0.04 億円/年	1.09 億円/年 -1.05 億円/年 (実績額比 -96.3%)
		橋りょう	4.13 億円	0.14 億円/年	0.13 億円/年 0.01 億円/年 (実績額比 7.7%)
		立体横断施設等	10.21 億円	0.34 億円/年	0.33 億円/年 0.01 億円/年 (実績額比 3.0%)
		大型構造物	1.84 億円	0.06 億円/年	0.05 億円/年 0.01 億円/年 (実績額比 20.0%)
		公園緑地等	288.57 億円	9.62 億円/年	7.99 億円/年 1.63 億円/年 (実績額比 20.4%)
		法定外公共物	11.38 億円	0.38 億円/年	0.38 億円/年 0 億円/年
②	道路等 包括管理事業	205.97 億円	6.87 億円/年	5.17 億円/年 1.70 億円/年 (実績額比 32.9%)	
	道路施設・公園緑地等 (①)	407.07 億円	13.57 億円/年	12.71 億円/年 0.86 億円/年 (実績額比 6.8%)	
	合計額 (①+②)	613.04 億円	20.43 億円/年	17.88 億円/年 2.55 億円/年 (実績額比 14.3%)	

下水道 ^{※1}	653.36 億円	21.78 億円/年	21.93 億円/年	-0.15 億円/年 (実績額比-0.7%)
-------------------	-----------	------------	------------	---------------------------

※項目ごとに集計し、端数処理を行っているため、合計に記載している数値と内訳の合計値が一致しない場合があります。

※ 1 : 下水道における支出を含みます。

4.2.2 将来予測の内訳(補修更新費)

4.2.2.1 車道

(1) 劣化予測式の想定

国・都道府県・政令指定都市等の多くの団体で採用されている『舗装調査・試験法便覧』(社団法人日本道路協会, 平成19年)に基づき、平成23年度と平成28年度に実施された路面性状調査の結果を分析することにより、劣化予測式を作成しました。

1) 幹線市道の劣化予測式

幹線市道の劣化予測式は、以下のとおりです。

表4-2-2-1 幹線市道の劣化予測式

項目	予測式	工事後の値
ひび割れ率(%)	$C_{i+5} = 1.1292C_i + 1.8058$	0%
わだち掘れ量(mm)	$R_{i+5} = 1.0476R_i + 1.6500$	4mm

C_i : 現在(最新測定値)のひび割れ率

C_{i+5} : 5年後のひび割れ率

R_i : 現在(最新測定値)のわだち掘れ量

R_{i+5} : 5年後のわだち掘れ量

初期値 : 補修工事後のひび割れ率、わだち掘れ量

i : 経過年数

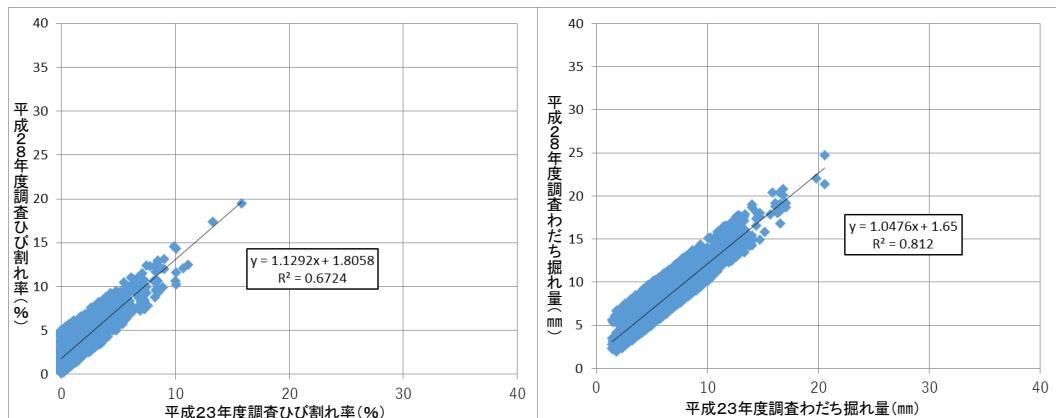


図4-2-2-1 幹線市道の劣化予測式(ひび割れ率・わだち掘れ量)

2) 一般市道の劣化予測式

一般市道の劣化予測式は、以下のとおりです。

表4-2-2-2 一般市道の劣化予測式

項目	予測式	初期値
ひび割れ率(%)	$C_{i+5} = 1.0557C_i + 1.9935$	0%
わだち掘れ量(mm)	$R_{i+5} = 1.0058R_i + 1.6709$	0mm

C_i : 現在(最新測定値)のひび割れ率

C_{i+5} : 5年後のひび割れ率

R_i : 現在(最新測定値)のわだち掘れ量

R_{i+5} : 5年後のわだち掘れ量

初期値 : 補修工事後のひび割れ率、わだち掘れ量

i : 経過年数

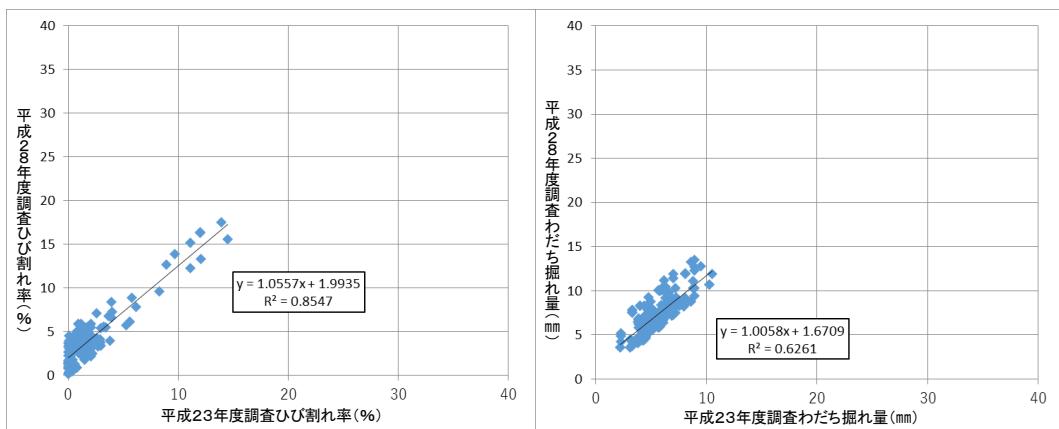


図4-2-2-2 一般市道の劣化予測式(ひび割れ率・わだち掘れ量)

(2) 将来予測の設定

1) 管理水準

今後の舗装における安全性の確保と機能を維持するため、適切な時期に措置を実施する管理水準を設定します。

『府中市道路舗装長寿命化修繕計画』(令和2年度)における舗装の管理水準に基づき、「MCI値が4.0を超え5.0以下(修繕が望ましい)」では維持管理、「MCI値4.0以下(修繕が必要、早急に修繕が必要)」では補修更新を実施します。

表4-2-2-3 MCI値の管理水準

評価ランク	評価の範囲	判定結果	措置内容
水準Ⅰ	$0.0 \leq \text{MCI値} \leq 3.0$	早急に修繕が必要	補修更新
水準Ⅱ	$3.0 < \text{MCI値} \leq 4.0$	修繕が必要	補修更新
水準Ⅲ	$4.0 < \text{MCI値} \leq 5.0$	修繕が望ましい	維持管理
水準Ⅳ	$5.0 < \text{MCI値}$	望ましい管理水準	健全

2) 補修サイクル

長期的な維持管理を実施するため、補修サイクルを設定します。

維持管理の措置内容は、損傷が軽微な段階で表層を回復するオーバーレイ補修を実施します。補修更新の措置内容は、損傷が激しい状態で表層から路盤までを回復する打換え更新を実施します。

ただし、維持管理は、表層の回復のみのため、路盤までの回復を定期的に行う必要があります。維持管理と補修更新は繰返し実施する必要があります。

表4-2-2-4 MCI値の閾値における措置方法

MCI値の閾値	措置内容	工法	補修対象
MCI値 ≤ 3.0	補修更新	打換え更新	表層から路盤
MCI値 ≤ 4.1	維持管理	オーバーレイ補修	表層のみ

維持管理方法として、損傷が激しくなってから措置を実施する事後保全型管理と、損傷が軽微な状態で措置を実施する予防保全型管理があります。

表4-2-2-5 補修サイクル

維持管理方法	補修サイクル
事後保全型管理	「打換え更新」の繰返し
予防保全型管理	「打換え更新」→「オーバーレイ補修」の繰返し※

※現在の路盤の損傷状態を一律とするため、打換え更新から実施します。

事後保全型管理と予防保全型管理を比較した結果は、次のとおりです。

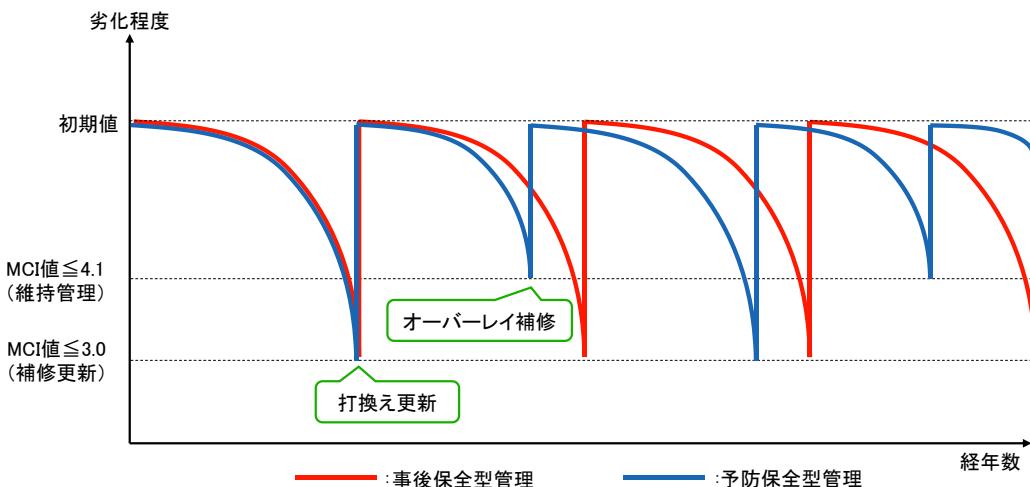


図4-2-2-3 事後保全型管理と予防保全型管理の比較

事後保全型管理は、MCI値3.0の段階で補修更新を実施することに対し、予防保全型管理は、MCI値4.1の段階でオーバーレイ補修を実施しているため、高い水準で劣化程度を保つことができます。

(3) 将来予測の比較

1) 幹線市道の事後保全型管理

幹線市道の事後保全型管理を劣化予測式によって将来予測しました。

1サイクルは20年間であり、合計経費は58.08億円、年間あたり2.90億円になると見込んでいます。また、1サイクルの平均MCI値は、5.4となります。

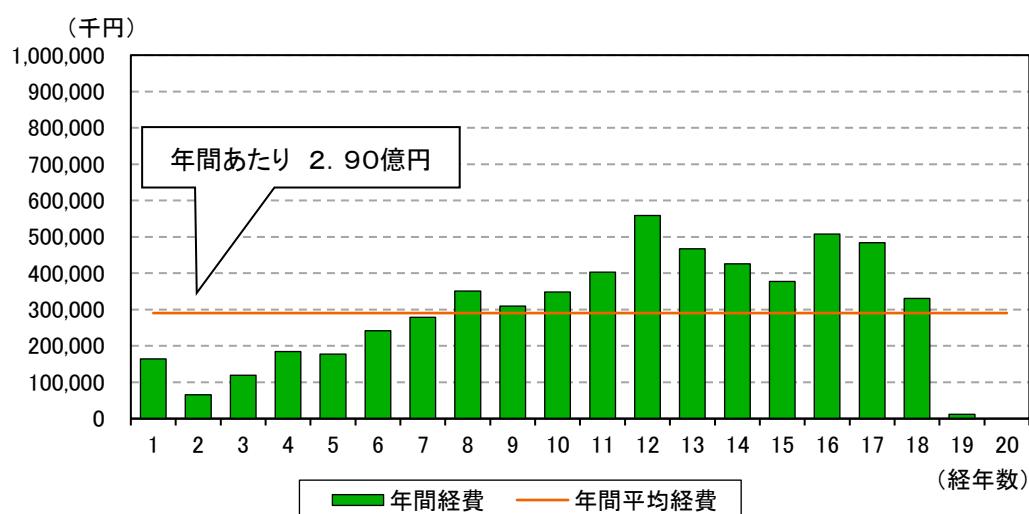


図4-2-2-4 1サイクルにおける事後保全型管理の経費(幹線市道)

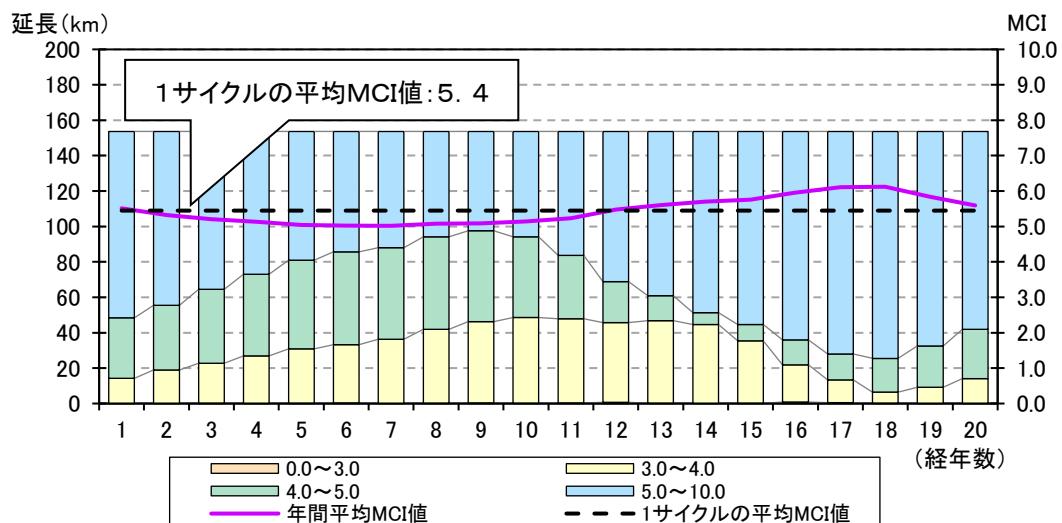


図4-2-2-5 1サイクルにおける事後保全型管理の劣化程度(幹線市道)

2) 幹線市道の予防保全型管理

幹線市道の予防保全型管理を劣化予測式によって将来予測しました。

1サイクルは36年間であり、合計経費は96.80億円、年間あたり2.69億円になると見込んでいます。また、1サイクルの平均MCI値は、5.7となります。

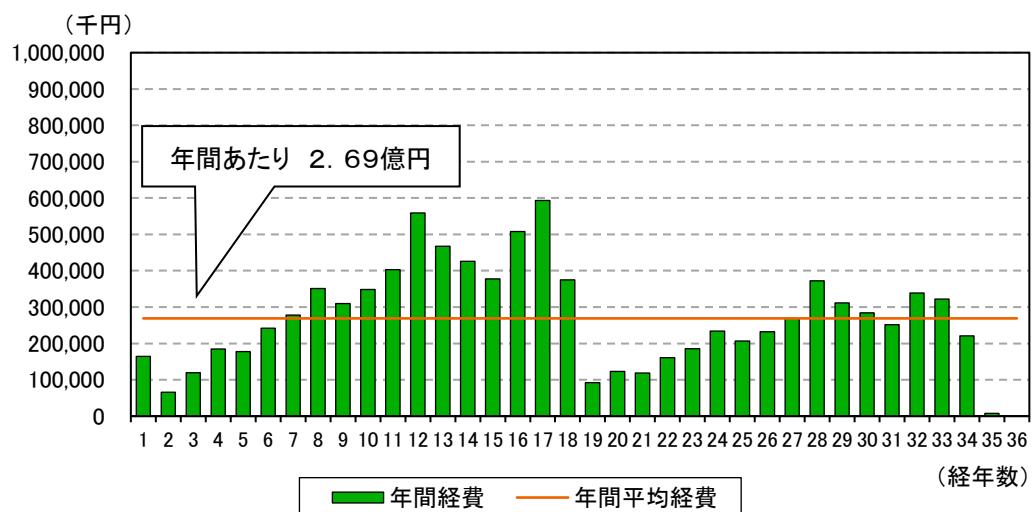


図4-2-2-6 1サイクルにおける予防保全型管理の経費(幹線市道)

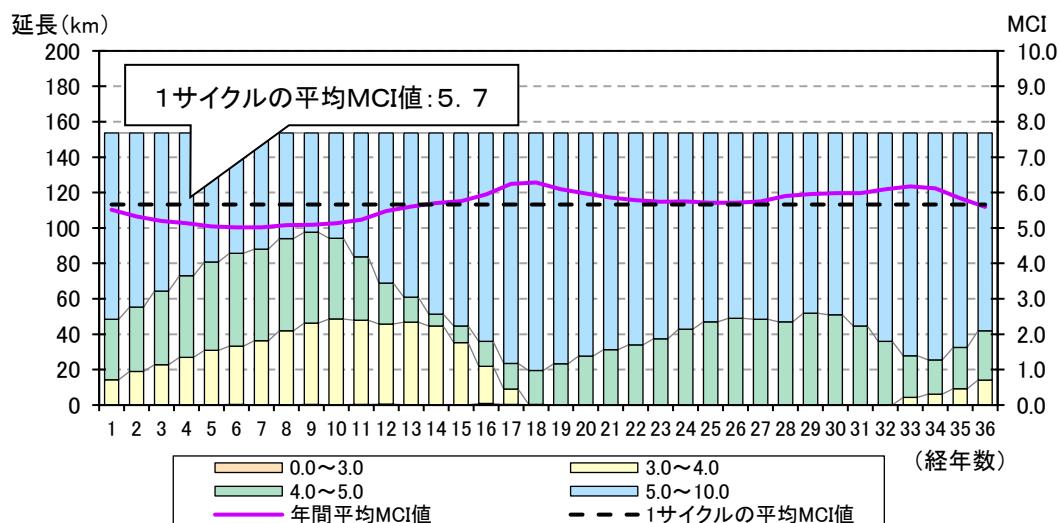


図4-2-2-7 1サイクルにおける予防保全型管理の劣化程度(幹線市道)

3) 一般市道の事後保全型管理

一般市道の事後保全型管理を劣化予測式によって将来予測しました。

1サイクルは33年間であり、合計経費は116.88億円、年間あたり3.54億円になると見込んでいます。また、1サイクルの平均MCI値は、5.1となります。

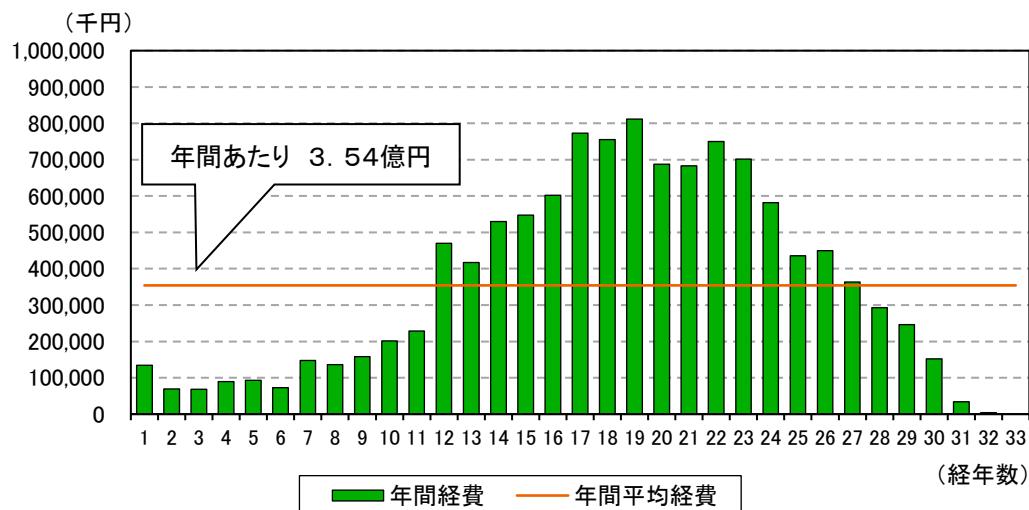


図4-2-2-8 1サイクルにおける事後保全型管理の経費(一般市道)

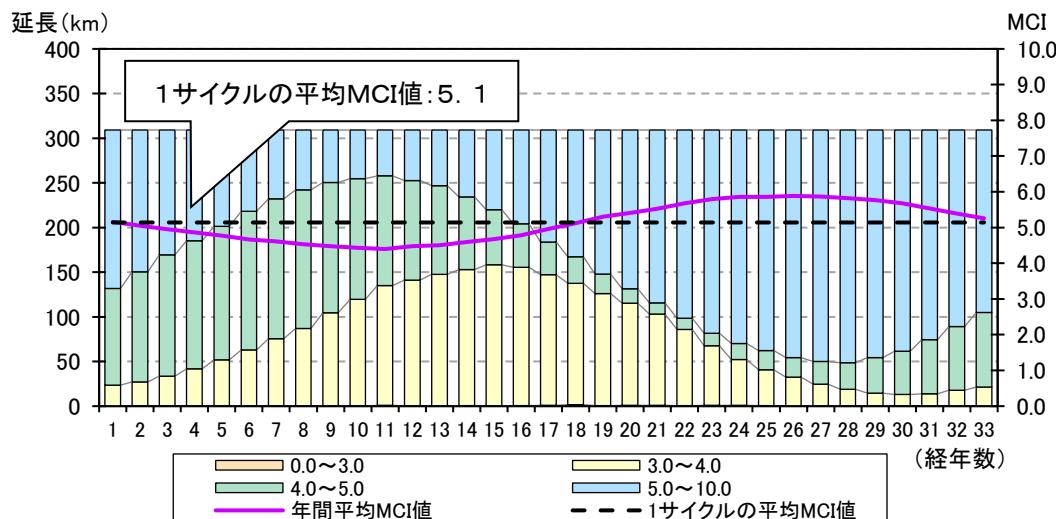


図4-2-2-9 1サイクルにおける事後保全型管理の劣化程度(一般市道)

4) 一般市道の予防保全型管理

一般市道の予防保全型管理を劣化予測式によって将来予測しました。

1サイクルは57年間であり、合計経費は194.80億円、年間あたり3.42億円になると見込んでいます。また、1サイクルの平均MCI値は、5.4となります。

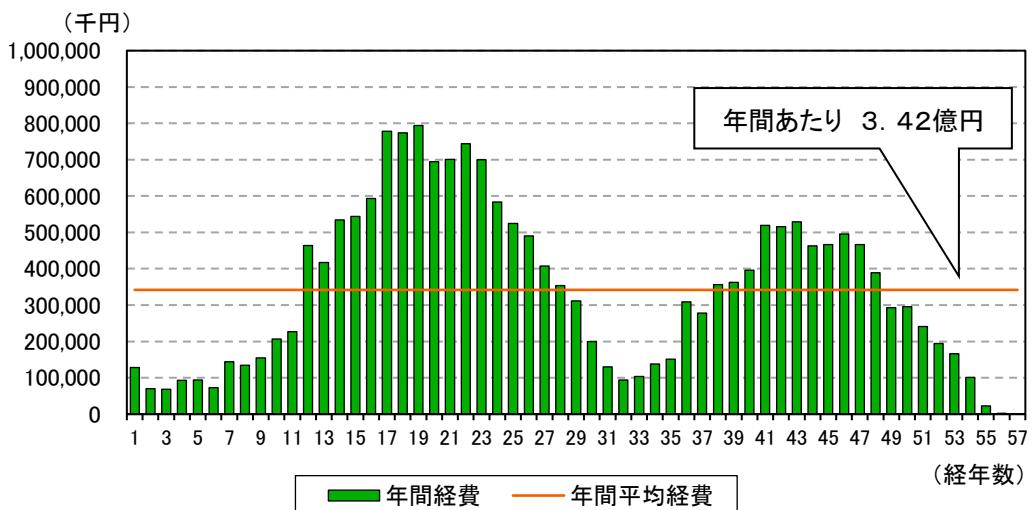


図4-2-2-10 1サイクルにおける予防保全型管理の経費(一般市道)

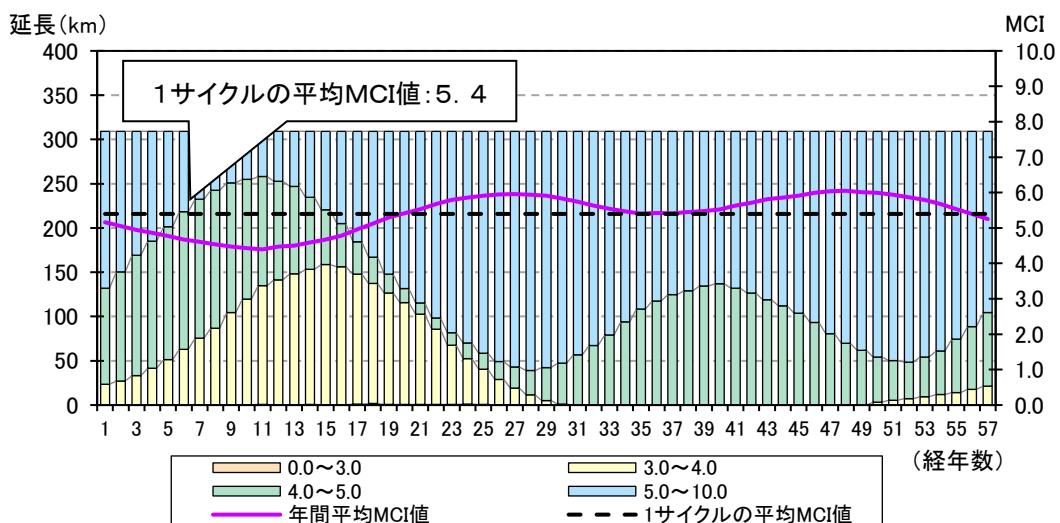


図4-2-2-11 1サイクルにおける予防保全型管理の劣化程度(一般市道)

5) 比較結果

幹線市道及び一般市道の事後保全型管理と予防保全型管理における将来予測比較は、次のとおりです。

表4-2-2-6 幹線市道の将来予測比較

比較項目	事後保全型管理	予防保全型管理
1サイクル年数	20年	36年
合計経費	58.08億円	96.80億円
年間あたり経費	2.90億円	2.69億円
1サイクルの平均MCI値	5.4	5.7

表4-2-2-7 一般市道の将来予測比較

比較項目	事後保全型管理	予防保全型管理
1サイクル年数	33年	57年
合計経費	116.88億円	194.80億円
年間あたり経費	3.54億円	3.42億円
1サイクルの平均MCI値	5.1	5.4

幹線市道の予防保全型管理は、事後保全型管理と比較して、年間あたり0.21億円の経費が減少し、1サイクルの平均MCI値は0.3高くなります。

また、一般市道の予防保全型管理は、事後保全型管理と比較して、年間あたり0.12億円の経費が減少し、1サイクルの平均MCI値は0.3高くなります。

幹線市道と一般市道ともに、年間あたり経費が減少し、1サイクルの平均MCI値が高くなることから、30年間の将来予測は予防保全型管理で算出します。

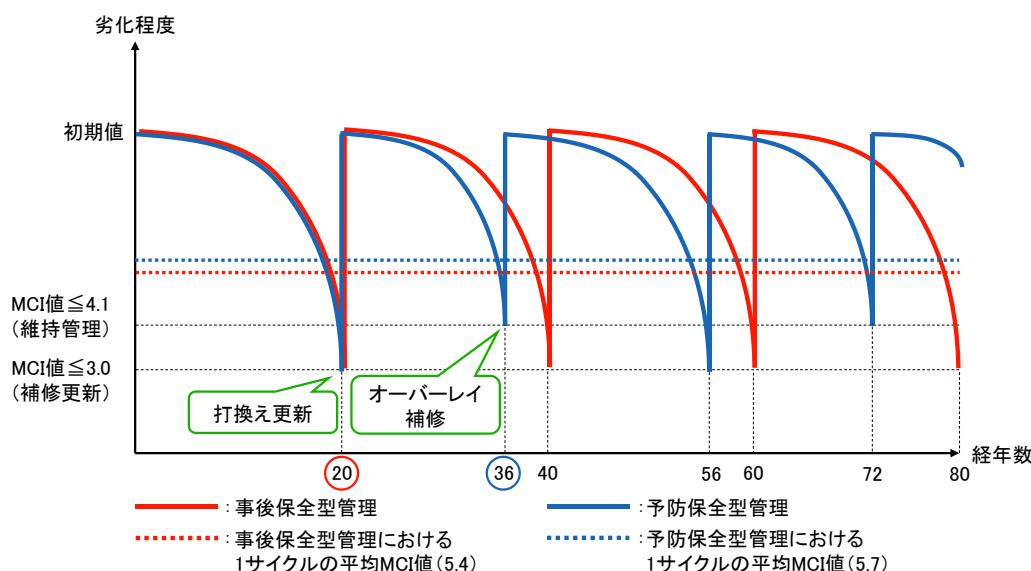


図4-2-2-12 幹線市道における事後保全型管理と予防保全型管理の比較

(4) 30年間における将来予測

1) 幹線市道

幹線市道の予防保全型管理による30年間の経費予測を行ったところ、合計経費は85.39億円、年間あたり2.85億円、30年間の平均MCI値は5.6になると見込んでいます。

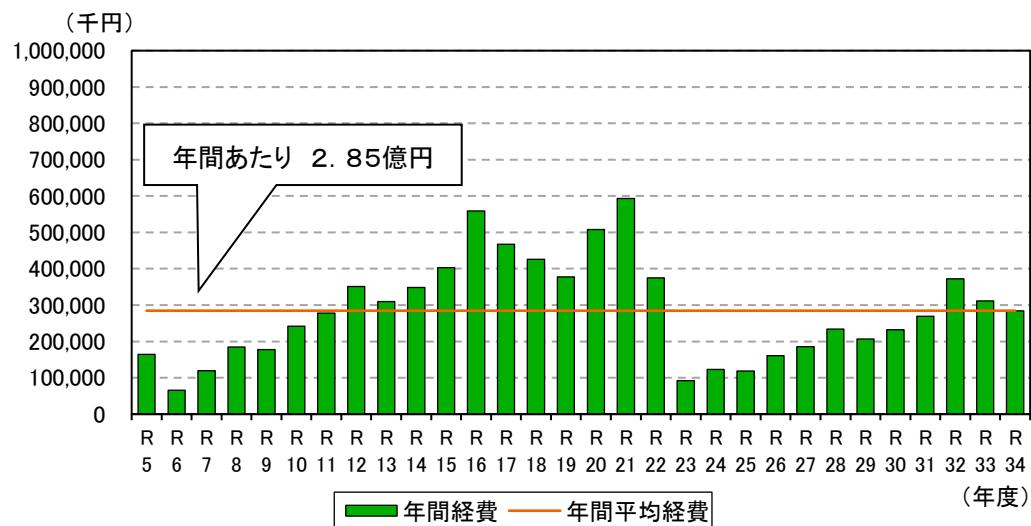


図4-2-2-13 車道舗装の予防保全型管理に係る経費(幹線市道)

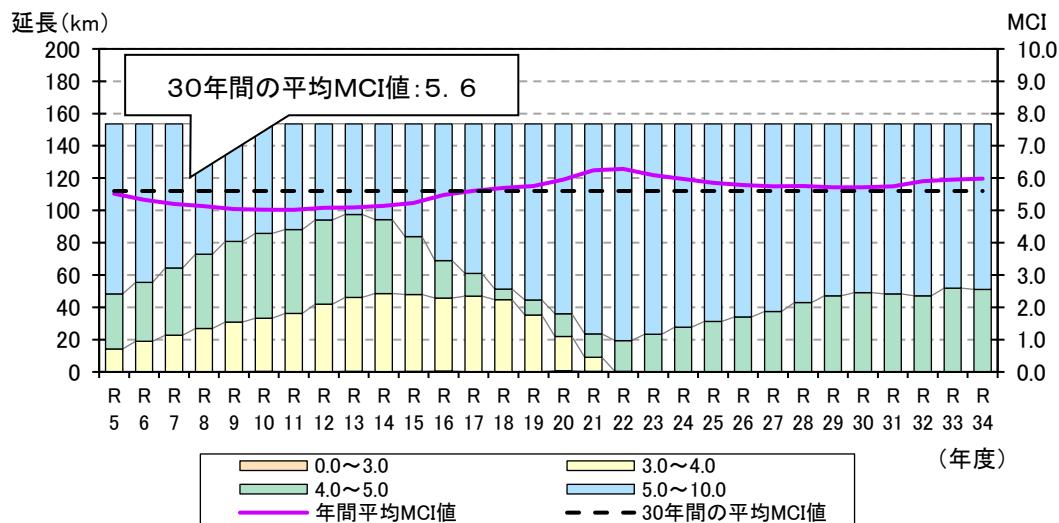


図4-2-2-14 予防保全型管理による舗装劣化程度(幹線市道)

2) 一般市道

幹線市道の予防保全型管理による30年間の経費予測を行ったところ、合計経費は120.01億円、年間あたり4.00億円、30年間の平均MCI値は5.1になると見込んでいます。

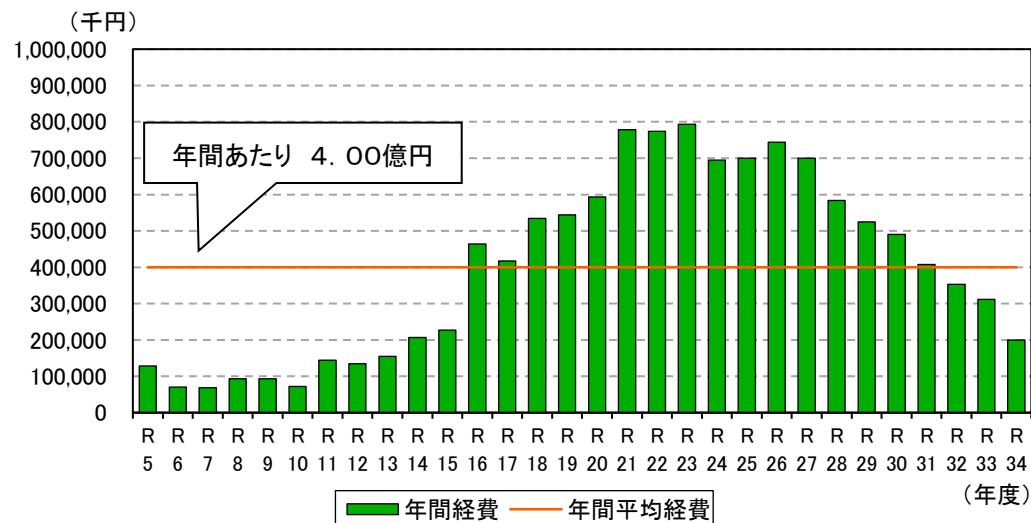


図4-2-2-15 車道舗装の予防保全型管理に係る経費(一般幹線)

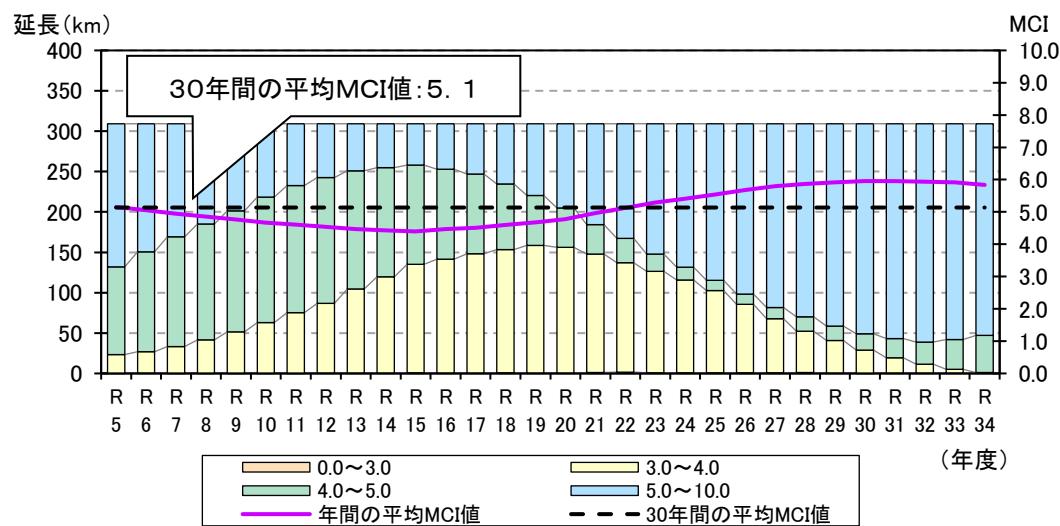


図4-2-2-16 予防保全型管理による舗装劣化程度(一般市道)

3) 結果

30年間における経費予測及び劣化予測は次のとおりです。

表4-2-2-8 経費予測

道路分類	30年間の予測経費 (令和5年度～令和34年度)	年間あたりの予測経費
幹線市道	85.39 億円	2.85 億円/年
一般市道	120.01 億円	4.00 億円/年
増加分	8.71 億円	0.29 億円/年
合計	214.11 億円	7.14 億円/年

補修更新に関する経費は、今後30年間で214.11億円、年間あたり7.14億円になると見込んでいます。

今後想定される道路面積増加分（平均7.5km²/年）に伴う経費（2,905万円/年）を加味して算出しています。

表4-2-2-9 劣化予測

道路分類	令和3年度時点の 平均MCI値	30年間の 平均MCI値 (令和5年度～令和34年度)	平均MCI値の差
幹線市道	6.0	5.6	-0.4
一般市道	5.6	5.1	-0.5

平均MCI値は、令和3年度時点の幹線市道は6.0、一般市道は5.6に対し、30年間の平均MCI値における幹線市道は5.6、一般市道は5.1となります。そのため、平均MCI値の差は、幹線市道が-0.4、一般市道は-0.5となります。また、適切な時期に補修を実施するため、管理水準を満たした維持管理となります。

4.2.2.2 歩道・植樹ます

補修更新に関する経費は、今後30年間で16.39億円、年間あたり0.55億円になると見込んでいます。

歩道の改修工事費など、過去6年間における経費（5,463万円／年）を今後も計上していくことを想定しています。

4.2.2.3 標識

補修更新に関する経費は、今後30年間で0.79億円、年間あたり0.03億円になると見込んでいます。

3年ごとに実施する案内表示構造物取替工事の経費（787万円／3年）を加味して、算出しています。

4.2.2.4 街路灯

補修更新に関する経費は、今後30年間で11.90億円、年間あたり0.40億円になると見込んでいます。

防犯灯と交通安全灯の球交換を30年間で2回実施する場合の経費（防犯灯：1万円／基、交通安全灯：6万円／基）を加味して、算出しています。

4.2.2.5 道路反射鏡

補修更新に関する経費は、今後30年間で0.65億円、年間あたり0.02億円になると見込んでいます。

設置工事など、過去6年間における経費（217万円／年）を今後も計上していくことを想定しています。

4.2.2.6 街路樹

補修更新に関する経費は、今後30年間で7.21億円、年間あたり0.24億円になると見込んでいます。

大径木の伐採及び街路樹の更新など、過去6年間における経費（2,403万円／年）を今後も計上していくことを想定しています。

4.2.2.7 橋りょう

補修更新に関する経費は、今後30年間で75.62億円、年間あたり2.52億円になると見込んでいます。

『府中市橋梁長寿命化修繕計画』（令和4年）より算出した補修更新費（2.52億円／年）を計上しています。

4.2.2.8 立体横断施設等

補修更新に関する経費は、今後30年間で53.30億円、年間あたり1.78億円になると見込んでいます。

今後想定されるエレベーターの新設費（1.05億円／年）や『府中駅ペデストリアンデッキ維持管理計画』（令和2年）より算出した補修更新費（7,235万円／年）を加味して算出しています。

4.2.2.9 大型構造物

補修更新に関する経費は、今後30年間で14.30億円、年間あたり0.48億円になると見込んでいます。

今後想定される擁壁・カルバートの補修費（4,617万円／年）、冠水表示板の更新費（149万円／年）を加味して、算出しています。

4.2.2.10 公園緑地等

補修更新に関する経費は、今後30年間で49.79億円、年間あたり1.66億円になると見込んでいます。

『府中市公園施設長寿命化計画』（令和5年）より算出した遊戯施設の補修更新費設定予算（8,000万円／年）に、過去6年間における便益施設の補修更新費（8,596万円／年）を加味して、算出しています。

4.2.2.11 法定外公共物

補修更新に関する経費は、今後30年間で6.58億円、年間あたり0.22億円を見込んでいます。

水路の改修工事など、過去6年間における経費（2,194万円／年）を今後も計上していくことを想定しています。

4.2.2.12 下水道

下水道事業で予想する経費のうち、補修更新費として整理する「建設改良費」と「企業債償還費」の予測を示します。

(1) 建設改良費の予測

令和2年度から令和31年度までの建設改良費の総額は、596.43億円となり、そのうち老朽化対策は479.99億円で、約80%を占めます。

表4-2-2-10 建設改良費予測

項目	短期 (令和2~6年度)	中期 (令和7~11年度)	長期 (令和12~31年度)	合計 (令和2~31年度)
老朽化施設の改築更新	1,158百万円	6,444百万円	40,397百万円	47,999百万円
地震対策	70百万円	316百万円	1,151百万円	1,537百万円
雨水対策	858百万円	509百万円	1,022百万円	2,389百万円
広域的な視野による汚水処理	749百万円	749百万円	6,160百万円	7,658百万円
事務費等	10百万円	10百万円	40百万円	60百万円
合計	2,845百万円	8,028百万円	48,770百万円	59,643百万円

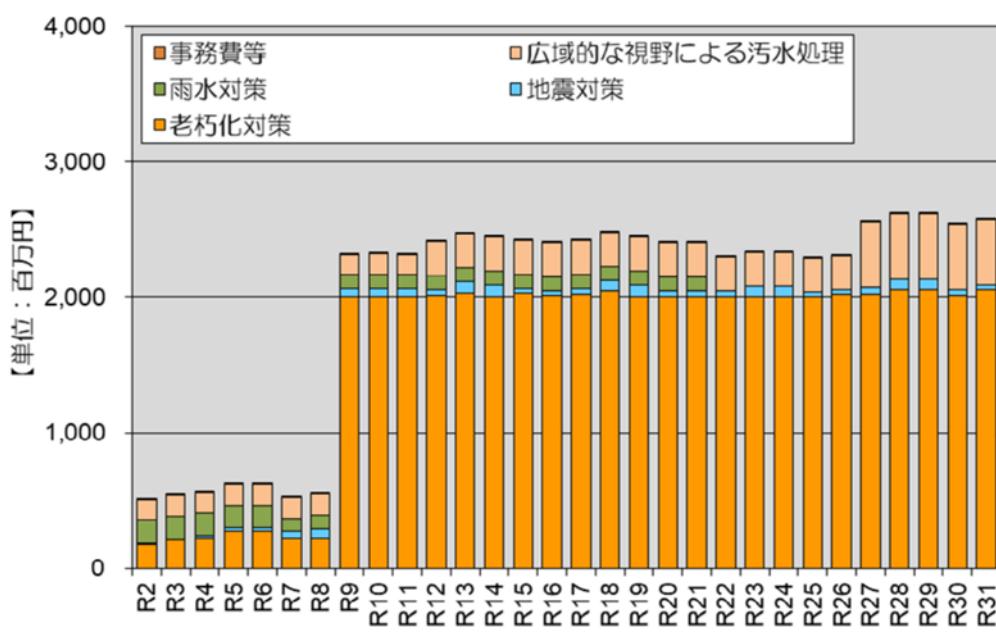


図4-2-2-17 建設改良費予測の推移

※出典『府中市下水道マスタープラン2020』(令和2年)

(2) 企業債償還費の予測

令和2年度から令和31年度までの企業債償還費の総額は196.03億円となります。令和9年度から老朽化対策が本格化するため、償還費が増加する見込みです。

表4-2-2-11 企業債償還費の予測

項目	短期 (令和2~6年度)	中期 (令和7~11年度)	長期 (令和12~31年度)	合計 (令和2~31年度)
元金	1,435 百万円	1,413 百万円	9,339 百万円	12,187 百万円
利子	317 百万円	409 百万円	6,690 百万円	7,416 百万円
合計	1,752 百万円	1,822 百万円	16,029 百万円	19,603 百万円

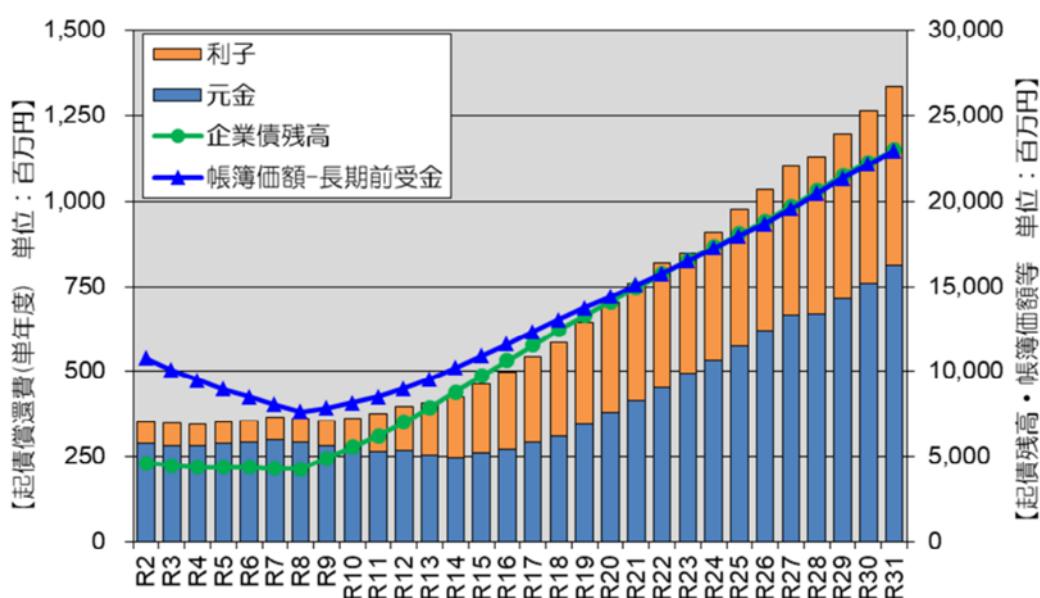


図4-2-2-18 企業債償還費予測の推移

※出典 『府中市下水道マスターplan 2020』(令和2年)

4.2.2.13 補修更新費の将来予測

補修更新費の将来予測は次のとおりです。

なお、補修更新費は、機能を維持するための補修や施設更新費等に係る経費です。街路灯と公園緑地等は、実績額が超過することが予想されます。

表4-2-2-12 補修更新費の将来予測

4-2

インフラ経費の将来予測

施設項目		30年間の予測経費 (令和5年度～令和34年度) I	30年間を平均化する場合の予測経費 II = I ÷ 30	実績額 (平成29年度～令和4年度) III	30年間を平均化する場合の予測経費と実績額の差額 IV = II - III
道路	車道	214.11 億円	7.14 億円/年	6.81 億円/年	0.33 億円/年 (実績額比 4.8%)
	歩道・植樹ます	16.39 億円	0.55 億円/年	0.55 億円/年	0 億円/年
道路附属物	標識	0.79 億円	0.03 億円/年	(該当実績無し)	0.03 億円/年
	街路灯	11.90 億円	0.40 億円/年	0.98 億円/年	-0.58 億円/年 (実績額比-59.2%)
	道路反射鏡	0.65 億円	0.02 億円/年	0.02 億円/年	0 億円/年
	街路樹	7.21 億円	0.24 億円/年	0.24 億円/年	0 億円/年
橋りょう		75.62 億円	2.52 億円/年	1.54 億円/年	0.98 億円/年 (実績額比 63.6%)
立体横断施設等		53.30 億円	1.78 億円/年	0.40 億円/年	1.38 億円/年 (実績額比 345.0%)
大型構造物		14.30 億円	0.48 億円/年	(該当実績無し)	0.48 億円/年
公園緑地等		49.79 億円	1.66 億円/年	3.49 億円/年	-1.83 億円/年 (実績額比-52.4%)
法定外公共物		6.58 億円	0.22 億円/年	0.22 億円/年	0 億円/年
合計額		450.64 億円	15.02 億円/年	14.25 億円/年	0.77 億円/年 (実績額比 5.4%)
下水道 ^{※1}		792.46 億円	26.42 億円/年	7.85 億円/年	18.57 億円/年 (実績額比 236.6%)

※項目ごとに集計し、端数処理を行っているため、合計に記載している数値と内訳の合計値が一致しない場合があります。

※ 1：下水道における支出を含みます。

4.2.3 将来予測の内訳(人件費)

人件費の将来予測は、所管課※における人件費の令和4年度の実績額である4.81億円／年を今後も計上することを想定し、算出しています。

なお、ここでの人件費には、給与のほか退職手当、市の組織を運営するために必要な間接経費を含みます。

※平成29年度～令和元年度は管理課・土木課・公園緑地課、令和2年度～令和4年度は道路課（管理課と土木課が統合）・公園緑地課のことを指します。

4.2.3.1 人件費の将来予測

人件費の将来予測は次のとおりです。

表4-2-3-1 人件費(所管課)の将来予測

種別	30年間の 予測経費 (令和5年度～ 令和34年度)	30年間を平均化する 場合の予測経費	実績額 (令和4年度)
人件費	91.52 億円	3.05 億円/年	3.05 億円/年
退職手当等	10.93 億円	0.36 億円/年	0.36 億円/年
間接部門費	42.12 億円	1.40 億円/年	1.40 億円/年
合計額	144.57 億円	4.82 億円/年	4.81 億円/年

※項目ごとに集計し、端数処理を行っているため、合計に記載している数値と内訳の合計値が一致しない場合があります。

4.2.4 歳出の将来予測

現状を維持する場合の、歳出（「維持管理費」+「補修更新費」+「道路等包括管理事業費」+「人件費」）の将来予測は、次のとおりです。

なお、予測の結果、現状の機能を30年間にわたり維持するためには、実績額では不足することが予想されます。

表4-2-4-1 インフラ経費の将来予測

施設項目		30年間の予測経費 (令和5年度～令和34年度) I	30年間を平均化する場合の予測経費 II = I ÷ 30	実績額 (平成29年度～令和4年度) III	30年間を平均化する場合の予測経費と実績額の差額 IV = II - III
①	道路	車道	269.37 億円	8.98 億円/年	8.58 億円/年 0.40 億円/年 (実績額比 4.7%)
		歩道・植樹ます	19.28 億円	0.64 億円/年	0.65 億円/年 -0.01 億円/年 (実績額比-1.5%)
	道路附属物	標識	1.18 億円	0.04 億円/年	(該当実績無し) 0.04 億円/年
		街路灯	42.41 億円	1.41 億円/年	1.83 億円/年 -0.42 億円/年 (実績額比-23.0%)
		道路反射鏡	1.30 億円	0.04 億円/年	0.04 億円/年 0 億円/年
		街路樹	8.45 億円	0.28 億円/年	1.33 億円/年 -1.05 億円/年 (実績額比-78.9%)
		橋りょう	79.75 億円	2.66 億円/年	1.67 億円/年 0.99 億円/年 (実績額比 59.3%)
	大型構造物	立体横断施設等	63.51 億円	2.12 億円/年	0.73 億円/年 1.39 億円/年 (実績額比 190.4%)
		大型構造物	16.14 億円	0.54 億円/年	0.05 億円/年 0.49 億円/年 (実績額比 980.0%)
		公園緑地等	338.36 億円	11.28 億円/年	11.48 億円/年 -0.20 億円/年 (実績額比-1.7%)
	②	法定外公共物	17.96 億円	0.60 億円/年	0.60 億円/年 0 億円/年
		道路等包括管理事業	205.97 億円	6.87 億円/年	5.17 億円/年 1.70 億円/年 (実績額比 32.9%)
③	人件費	144.57 億円	4.82 億円/年	4.81 億円/年 0.01 億円/年 (実績額比 0.2%)	
道路施設・公園緑地等(①)		857.71 億円	28.59 億円/年	26.96 億円/年 1.63 億円/年 (実績額比 6.0%)	
道路施設・公園緑地等道路等包括管理事業(①+②)		1,063.68 億円	35.46 億円/年	32.13 億円/年 3.33 億円/年 (実績額比 10.4%)	
合計額(①+②+③)		1,208.25 億円	40.28 億円/年	36.94 億円/年 3.34 億円/年 (実績額比 9.0%)	
④	下水道 ^{※1}	1,352.19 億円	50.08 億円/年	29.78 億円/年 20.30 億円/年 (実績額比 68.2%)	
	下水道を含む合計額(①+②+③+④)	2,560.44 億円	90.36 億円/年	66.72 億円/年 23.64 億円/年 (実績額比 35.4%)	

※項目ごとに集計し、端数処理を行っているため、合計に記載している数値と内訳の合計値が一致しない場合があります。

※1：下水道分は、他施設項目との合算を行うにあたり、『下水道マスタープラン2020』における短期計画（令和2～6年度）の総額に5分の2を乗じた額と中期計画（令和7～11年度）及び長期計画（令和12～31年度）の総額を足した額を27年間分（令和5～31年度）として計上しています。また、下水道における支出を含みます。

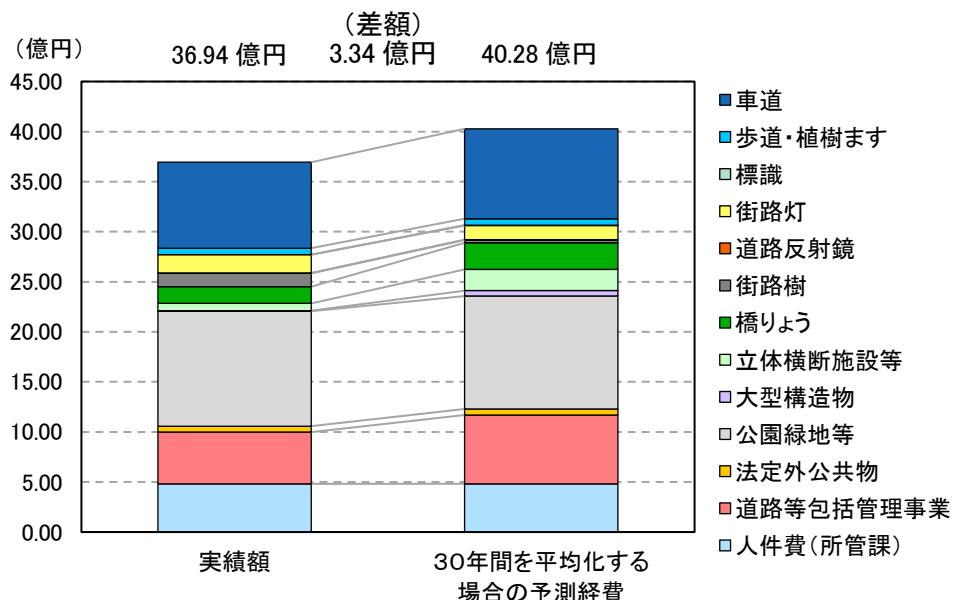


図4-2-4-1 インフラ経費の実績額と予測経費の比較(下水道を除く)

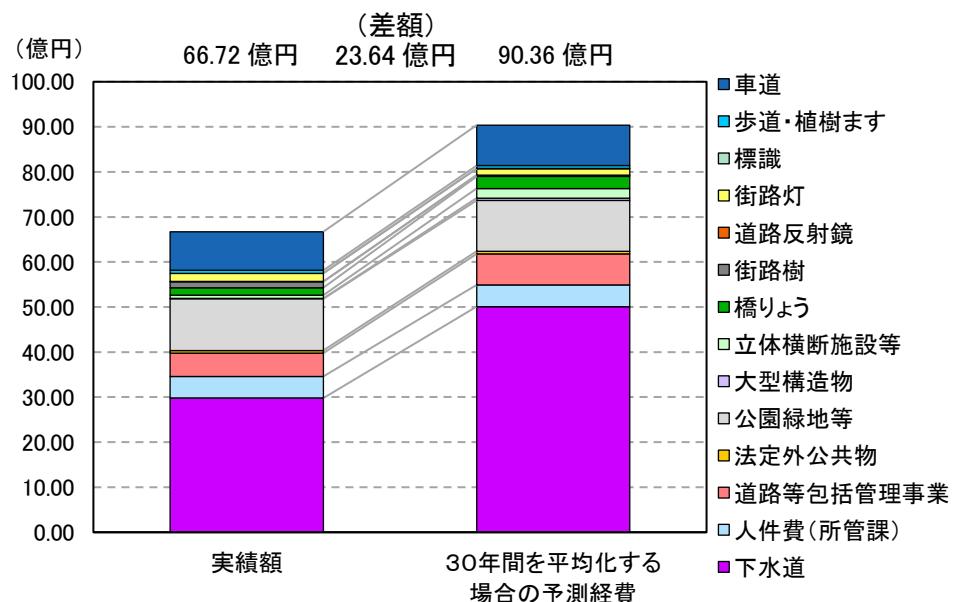


図4-2-4-2 インフラ経費・支出の実績額と予測経費の比較(全体)

4.2.5 歳入の将来予測

現状を維持する場合の、歳入の将来予測は、次のとおりです。

なお、予測の結果、現状より道路延長が増加することから占用料や各種譲与税が増加することが予想されます。

表4-2-5-1 歳入の将来予測

4-2

インフラ経費の将来予測

種別		30年間の予測経費 (令和5年度～令和34年度) I	30年間を平均化する場合の予測経費 II = I ÷ 30	実績額 (平成29年度～令和4年度) III	30年間を平均化する場合の予測経費と実績額の差額 IV = II - III
①	占用料	112.34 億円	3.74 億円/年	3.67 億円/年	0.07 億円/年 (実績額比 1.9%)
	使用料(占用料以外)	6.16 億円	0.21 億円/年	0.21 億円/年	0 億円/年
	補助金	48.26 億円	1.61 億円/年	1.41 億円/年	0.20 億円/年 (実績額比 14.2%)
	自動車重量譲与税	86.37 億円	2.88 億円/年	2.79 億円/年	0.09 億円/年 (実績額比 3.2%)
	地方揮発油譲与税	32.42 億円	1.08 億円/年	1.05 億円/年	0.03 億円/年 (実績額比 2.9%)
	負担金	0.81 億円	0.03 億円/年	0.03 億円/年	0 億円/年
	事業収入	3.25 億円	0.11 億円/年	0.11 億円/年	0 億円/年
	手数料	0.34 億円	0.01 億円/年	0.01 億円/年	0 億円/年
	その他	0.10 億円	0.003 億円/年	0.003 億円/年	0 億円/年
合計額 (①)		290.05 億円	9.67 億円/年	9.28 億円/年	0.39 億円/年 (実績額比 4.2%)
②		下水道 ^{※1}	1,613.59 億円	59.76 億円/年	37.43 億円/年 (実績額比 59.7%)
下水道を含む合計額 (①+②)		1,903.64 億円	69.43 億円/年	46.71 億円/年	22.72 億円/年 (実績額比 48.6%)

※項目ごとに集計し、端数処理を行っているため、合計に記載している数値と内訳の合計値が一致しない場合があります。

※1：下水道分は、他施設項目との合算を行うにあたり、『下水道マスタープラン2020』における短期計画（令和2～6年度）の総額に5分の2を乗じた額と中期計画（令和7～11年度）及び長期計画（令和12～31年度）の総額を足した額を27年間分（令和5～31年度）として計上しています。また、下水道における収入を含みます。

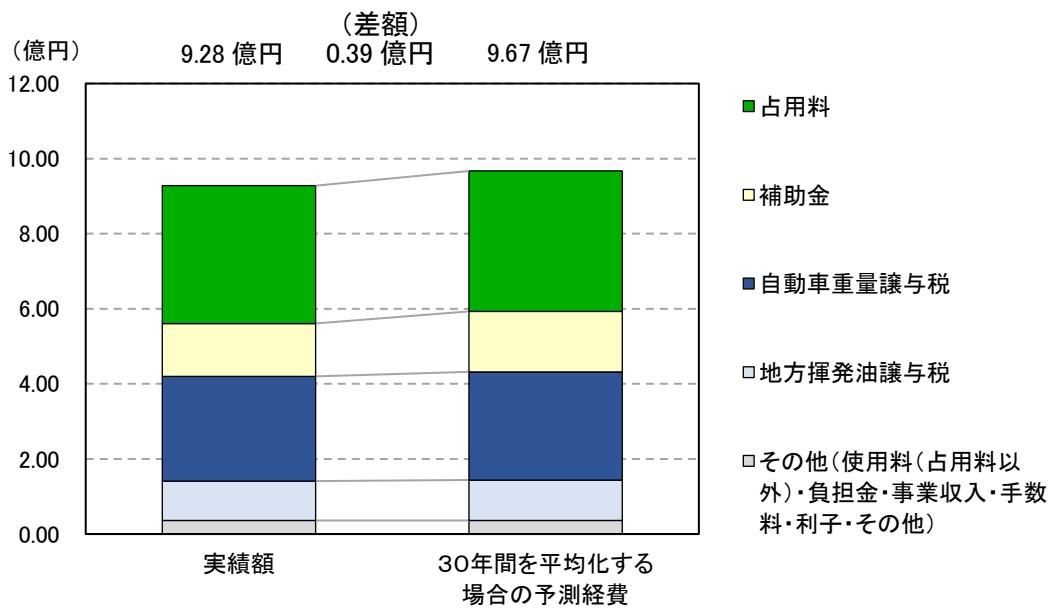


図4-2-5-1 歳入の実績額と予測経費の比較（下水道を除く）

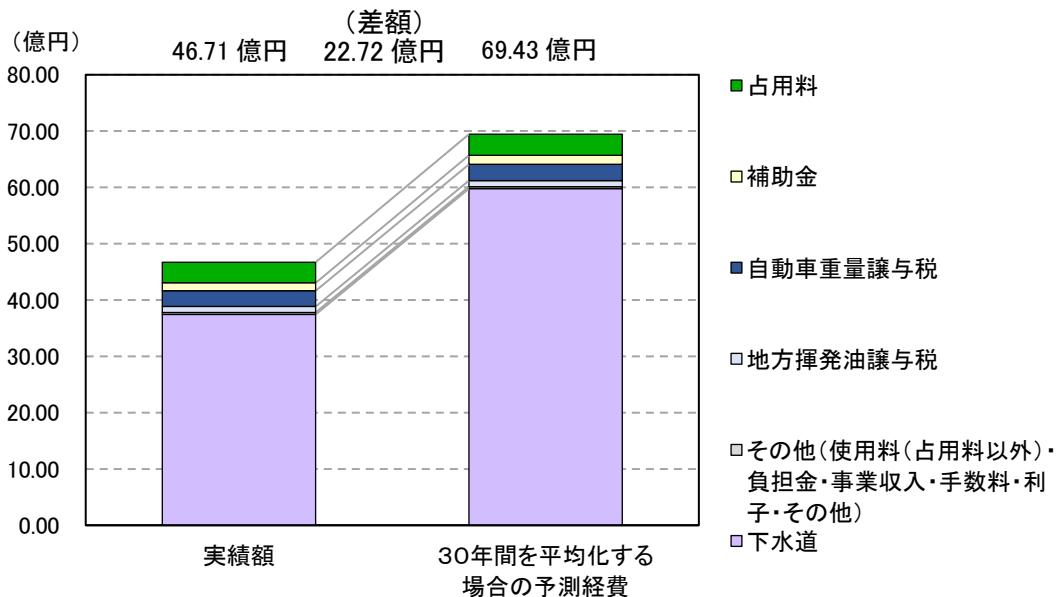


図4-2-5-2 歳入・収入の実績額と予測経費の比較（全体）

4.2.6 歳出・歳入の将来予測の比較

インフラ管理に係る歳出と歳入の将来予測は以下のとおりです。

令和14年度は橋りょうの補修更新費が増加することで、歳出と歳入ともに予測経費が突出しています。

4-2

インフラ経費の将来予測

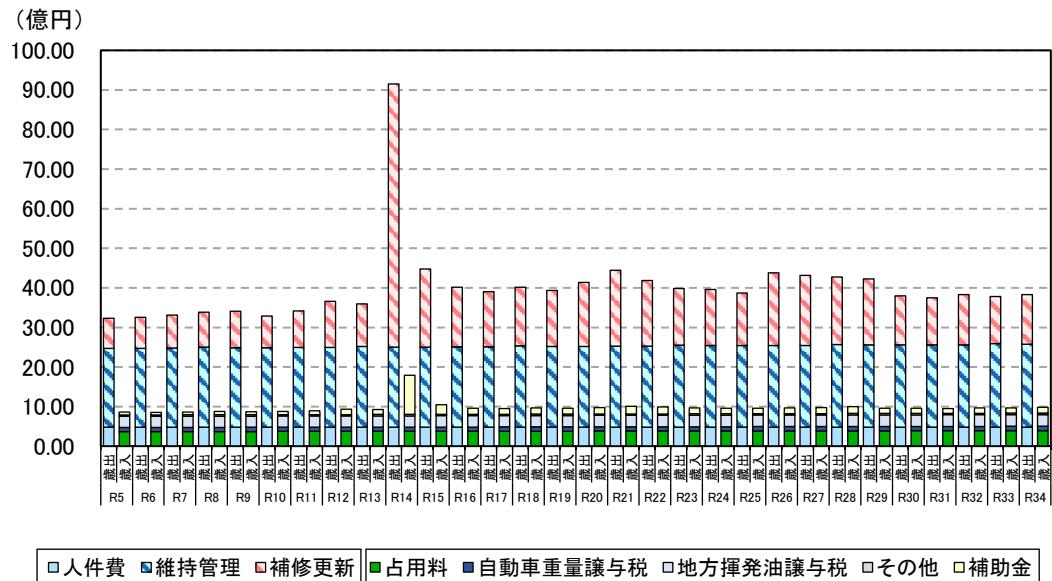


図4-2-6-1 歳出・歳入の将来予測(下水道を除く)

※歳出：「本白書」内で想定している将来経費を計上しています。

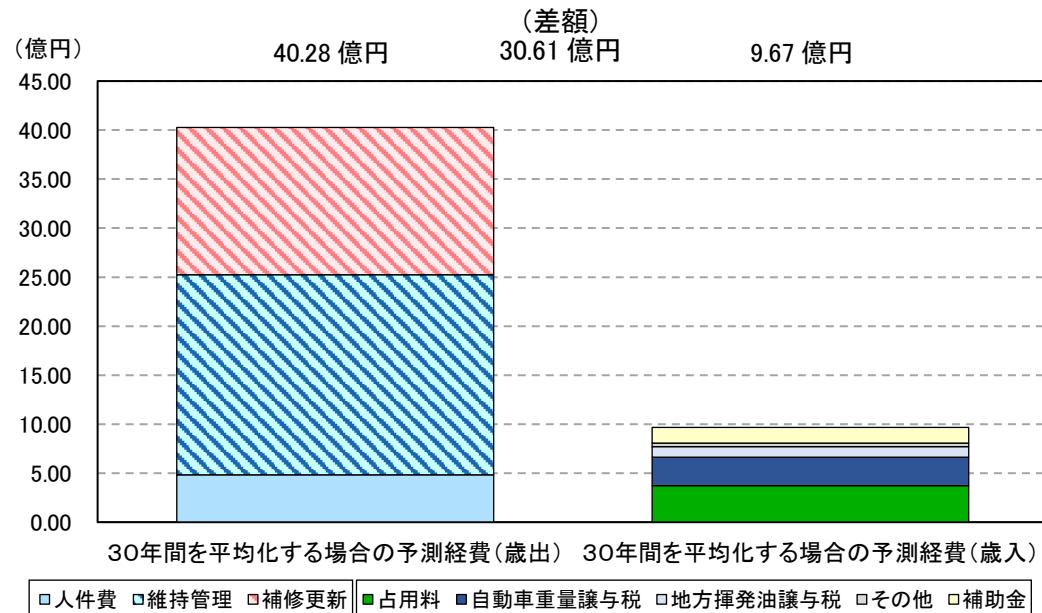


図4-2-6-2 歳出・歳入の予測経費の比較(下水道を除く)

下水道の支出と収入の将来予測は以下のとおりです。

令和2年度から令和31年度までの収益的収入と資本的収入の総額は1,773.15億円となる見込みです。そのうち、収益的収入の46%を下水道使用料、資本的収入の50%を企業債が占めています。

表4-2-6-1 収益的収入の予測

項目	短期 (令和2~6年度)	中期 (令和7~11年度)	長期 (令和12~31年度)	合計 (令和2~31年度)
下水道使用料	9,932 百万円	9,540 百万円	34,372 百万円	53,844 百万円
他会計補助金	5,273 百万円	4,742 百万円	24,825 百万円	34,840 百万円
長期前受金戻入	7,752 百万円	6,105 百万円	13,686 百万円	27,543 百万円
収益的収入	22,957 百万円	20,387 百万円	72,883 百万円	116,227 百万円

表4-2-6-2 資本的収入の予測

項目	短期 (令和2~6年度)	中期 (令和7~11年度)	長期 (令和12~31年度)	合計 (令和2~31年度)
国・都補助金	319 百万円	1,154 百万円	7,369 百万円	8,842 百万円
企業債	1,090 百万円	3,284 百万円	26,077 百万円	30,451 百万円
他会計補助金 出資金	2,227 百万円	2,758 百万円	5,310 百万円	10,295 百万円
基金繰入金	0 百万円	1,500 百万円	10,000 百万円	11,500 百万円
資本的収入	3,636 百万円	8,696 百万円	48,756 百万円	61,088 百万円

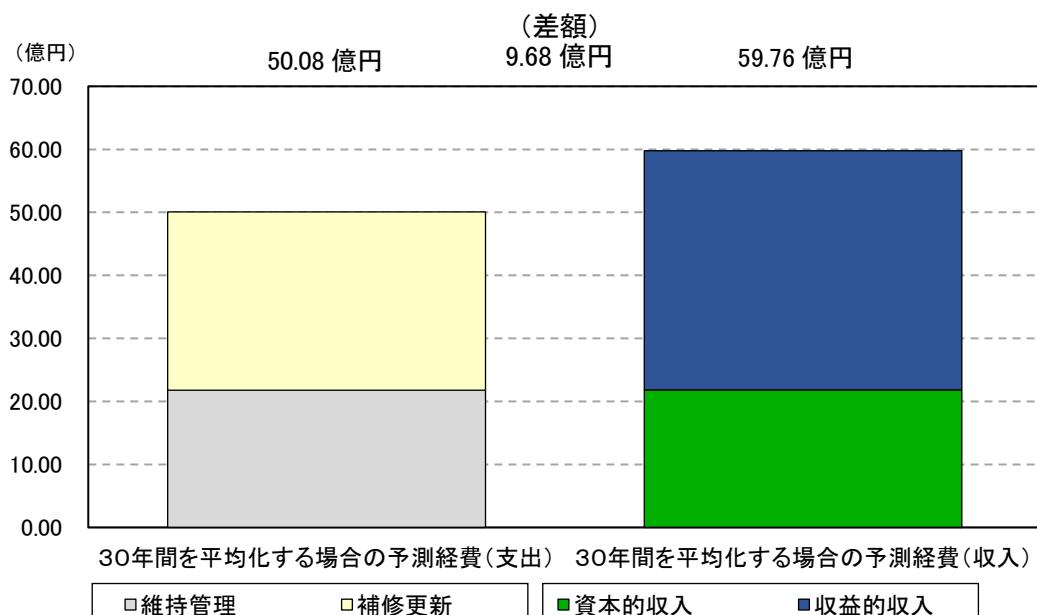


図4-2-6-3 支出・収入の予測経費の比較(下水道)

4.3 将来予測の概要

4.3.1 歳出

インフラ管理に係る歳出の実績額は36.94億円／年です。それに対して、予測経費は、40.28億円／年です。比較すると、実績額の9.0%にあたる3.34億円／年の不足が生じます。

また、下水道の支出を含めた全体の実績額は66.72億円／年です。それに対して、予測経費は、90.36億円／年です。比較すると、実績額の35.4%にあたる23.64億円／年の不足が生じます。

4.3.2 車道

車道の実績額は8.58億円／年です。それに対して、予測経費は8.98億円／年です。比較すると、実績額の4.7%にあたる0.40億円／年の不足が生じます。

車道の管理に必要な経費が不足すると、路面に空いた穴を塞ぐことや舗装の補修更新が十分に実施できなくなることなどが想定されます。

4.3.3 歩道・植樹ます

歩道・植樹ますの実績額は0.65億円／年です。それに対して、予測経費は0.64億円／年です。比較すると、植栽管理等が道路等包括管理事業に含まれたことなどにより、実績額の-1.5%にあたる0.01億円／年の超過が生じます。

4.3.4 標識

案内標識等の維持管理は、道路等包括管理事業の事業内容に含まれているため、標識の実績額はありません。それに対して、予測経費は0.04億円／年です。比較すると、0.04億円／年の不足が生じます。

標識の管理に必要な経費が不足すると、破損の補修や新設等ができなくなることなどが想定されます。

4.3.5 街路灯

街路灯の実績額は1.83億円／年です。それに対して、予測経費は1.41億円／年です。比較すると、実績額の-23.0%にあたる0.42億円／年の超過が生じます。

4.3.6 道路反射鏡

道路反射鏡の実績額は0.04億円／年です。それに対して、予測経費は同額の0.04億円／年です。

道路反射鏡の管理に必要な経費が不足すると、点検・清掃や破損の補修、新設ができないことなどが想定されます。

4.3.7 街路樹

街路樹の実績額は1. 33億円／年です。それに対して、予測経費は0. 28億円／年です。比較すると、樹木剪定業務が道路等包括管理事業に含まれたことなどにより、実績額の-78. 9%にあたる1. 05億円／年の超過が生じます。

4.3.8 橋りょう

橋りょうの実績額は1. 67億円／年です。それに対して、予測経費は2. 66億円／年です。比較すると、実績額の59. 3%にあたる0. 99億円／年の不足が生じます。

橋りょうの管理に必要な経費が不足すると、破損の補修や架け替えができなくなることなどが想定されます。

4.3.9 立体横断施設等

立体横断施設等の実績額は0. 73億円／年です。それに対して、予測経費は2. 12億円／年です。比較すると、実績額の190. 4%にあたる1. 39億円／年の不足が生じます。

立体横断施設等の管理に必要な経費が不足すると、エレベーター・エスカレーター・ペデストリアンデッキにおける破損の補修や大規模改修ができなくなることなどが想定されます。

4.3.10 大型構造物

大型構造物の実績額は0. 05億円／年です。それに対して、予測経費は0. 54億円／年です。比較すると、実績額の980. 0%にあたる0. 49億円／年の不足が生じます。

大型構造物の管理に必要な経費が不足すると、擁壁・ボックスカルバート・自由通路などにおける破損の補修や大規模改修ができなくなることなどが想定されます。

4.3.11 公園緑地等

公園緑地等の実績額は11. 48億円／年です。それに対して、予測経費は11. 28億円／年です。比較すると、実績額の-1. 7%にあたる0. 20億円／年の超過が生じます。

4.3.12 法定外公共物

法定外公共物の実績額は0. 60億円／年です。それに対して、予測経費は同額の0. 60億円／年です。

法定外公共物の管理に必要な経費が不足すると、水路の補修更新工事ができなくなることなどが想定されます。

4.3.13 道路等包括管理事業

道路等包括管理事業の実績額は、令和3年度から市全域を対象として開始した全域1期の予算額である5.17億円/年です。それに対して、予測経費は6.87億円/年です。比較すると、実績額の32.9%にあたる1.70億円/年の不足が生じます。

道路等包括管理事業の予測経費は、令和6年度から開始する全域2期の予算額を今後も計上することを想定しており、実績額の基となった全域1期とは事業内容が異なります。

4-3

将来予測の評価

4.3.14 人件費

人件費の実績額は4.81億円/年です。それに対して、予測経費は4.82億円/年です。

人件費の予測経費は、実績額が今後も計上されることを想定しています。人件費には、給与のほか退職手当、市の組織を運営するために必要な間接経費を含みます。

4.3.15 下水道

下水道の実績額は29.78億円/年です。それに対して、予測経費は50.08億円/年です。比較すると、実績額の68.2%にあたる20.30億円/年の経費の不足が生じます。

今後は老朽化対策費や建設改良費が増加する見込みを踏まえ、基金の積立てと運用を計画的に行うなど、財源の確保に努める必要があります。

4.3.16 歳入

インフラ管理に係る歳入の実績額は9.28億円/年です。それに対して、予測収入は9.67億円/年です。比較すると、実績額の4.2%にあたる0.39億円/年の増加を見込みます。この増加の要因は、インフラの総量の増加に伴う占用料・地方譲与税の増加を見込んだことによるものです。

また、下水道の収入を含めた全体の実績額は46.71億円/年です。それに対して、予測収入は69.43億円/年です。比較すると、実績額の48.6%にあたる22.72億円/年の増加を見込みます。この増加の要因は、管きよの老朽化対策のための企業償還費などの増加を見込んだことによるものです。

4.4 『前白書』と『本白書』の経費比較

『前白書』と『本白書』の全体経費における、年間予測経費及び実績額について比較しました。

表4-4-1 『前白書』と『本白書』の経費比較(全体)

施設項目		『前白書』 35年間を 平均化する場合の 予測経費 (平成30年度～ 令和34年度)	『本白書』 30年間を 平均化する場合の 予測経費 (令和5年度～ 令和34年度)	『前白書』 実績額 (平成24年度～ 平成28年度)	『本白書』 実績額 (平成29年度～ 令和4年度)
①	道路	車道	9.67 億円/年	8.98 億円/年	7.78 億円/年
		歩道 植樹ます	0.44 億円/年	0.64 億円/年	0.31 億円/年
	道路附属物	標識	0.05 億円/年	0.04 億円/年	0 億円/年
		街路灯	2.08 億円/年	1.41 億円/年	2.06 億円/年
		道路 反射鏡	0.07 億円/年	0.04 億円/年	0.07 億円/年
		街路樹	2.45 億円/年	0.28 億円/年	2.43 億円/年
		橋りょう	1.16 億円/年	2.66 億円/年	0.25 億円/年
	立体横断施設等	立体横断施設等	0.37 億円/年	2.12 億円/年	0.22 億円/年
		大型構造物	0.17 億円/年	0.54 億円/年	0.12 億円/年
		公園緑地等	11.73 億円/年	11.28 億円/年	7.08 億円/年
	法定外公共物	法定外公共物	0.40 億円/年	0.60 億円/年	0.40 億円/年
		道路等包括 管理事業	-	6.87 億円/年	-
②	③	人件費	5.00 億円/年	4.82 億円/年	5.00 億円/年
合計額 (①+②+③)		33.59 億円/年	40.28 億円/年	25.72 億円/年	36.94 億円/年

下水道 ^{※1}	(25年間) 60.10 億円/年	(27年間) 50.08 億円/年	(25年間) 34.80 億円/年	(27年間) 29.78 億円/年
-------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

※項目ごとに集計し、端数処理を行っているため、合計に記載している数値と内訳の合計値が一致しない場合があります。

※1：下水道における支出を含みます。

【『前白書』と『本白書』の予測経費のかい離における主な理由】

- 過年度に比べて増加している項目は、労務費単価の上昇や管理数量の増加が影響しています。
- 過年度に比べて減少している項目は、令和3年度より市全域で道路等包括管理事業による管理が開始され、施設項目ごとの維持管理費が減少したことが影響しています。
- 街路灯はESCO事業でLED化が行われたため、減少しています。
- 立体横断施設等は、過年度に比べて昇降機の更新頻度を多く計上したため、増加しています。
- 公園緑地等は算出方法及び対象施設数が異なるため、減少しています。

第5章 インフラマネジメントの関心

第5章 インフラマネジメントの関心

5.1 インフラマネジメントの関心

市が実施している『第51回市政世論調査』(令和元年)で、インフラマネジメントについての理解や関心をアンケート形式で聴取しました。

本調査は、市政に対する意見・要望を聴取し、諸施策に対する市民の考え方を把握することによって、今後の行政運営上の参考とすることを目的としています。

調査の方法は、次のとおりです。

表5-1-1 調査の方法

調査地域	市全域
調査対象者	市民のうち満18歳以上の男女個人
標本数	1,500人
抽出方法	層化二段無作為抽出方法(地点を用いた二段抽出法)
調査方法	郵送法(郵送配布、郵送回収)
調査期間	令和元年5月13日(月)～7月12日(金)
回収数	992件(回収率:66.1%)

聴取した結果は、次のとおりです。

16. インフラマネジメントについて

市では、これまでに多くのインフラ（道路、橋、公園、下水道など）を整備し管理を行ってきました。しかし、インフラの老朽化や厳しい財政状況の長期化などから、「インフラマネジメント白書」で今後の管理費を試算したところ、現在と同じ手法及び水準で管理していくためには、財源が大きく不足することが明らかになりました。持続可能なインフラ管理を行い市民生活の安全を確保するため、「府中市インフラマネジメント計画（2018年度）」を策定し、インフラマネジメントに取組んでいます。

（1）市のインフラの維持管理に対する現状や課題についての関心度

問35. あなたは、市のインフラの維持管理に対する現状や課題について、どのくらい関心をお持ちですか。次の中から当てはまるものを1つだけ選んでください。 (n = 992)

1. 強い関心がある
2. 少し関心がある
3. あまり関心がない
4. 全く関心がない

インフラの維持管理に対する現状や課題について、「強い関心がある」と「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合は8割近く（77.2%）を占めている。

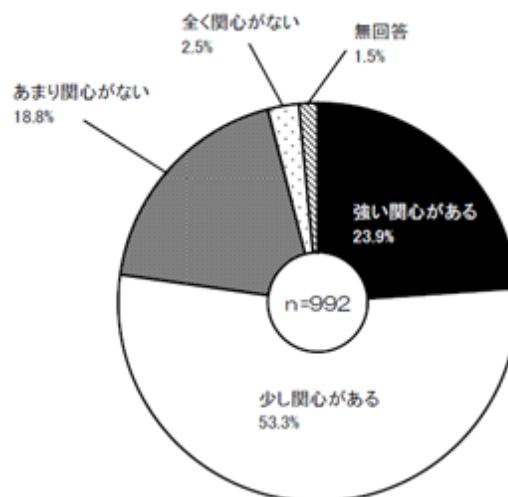


図 16-1 市のインフラの維持管理に対する現状や課題についての関心度

[n=992]		
市のインフラ維持管理に対する現状や課題への関心	回答者数(人)	割合(%)
強い関心がある	237	23.9
少し関心がある	529	53.3
あまり関心がない	186	18.8
全く関心がない	25	2.5
無回答	15	1.5

表 16-1 市のインフラの維持管理に対する現状や課題についての関心度

性別／年代別でみると、「強い関心がある」と「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合は、「男性／60～69歳」(87.9%)が最も高く、最も低い「女性／18～29歳」(53.0%)以外の性別年代で7割を超えている。

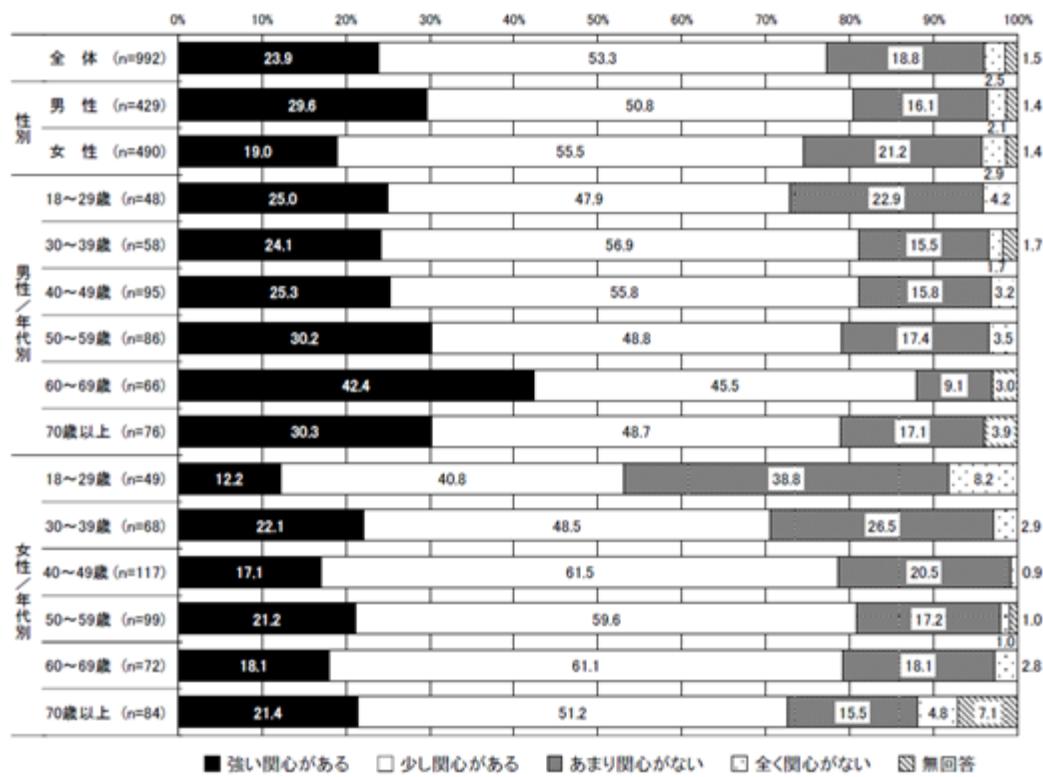


図 16-2 市のインフラの維持管理に対する現状や課題についての関心度(性別／年代別)

	強い関心がある	少し関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	無回答	(%)
全体 (n=992)	23.9	53.3	18.8	2.5	1.5	
男性 (n=429)	29.6	50.8	16.1	2.1	1.4	
女性 (n=490)	19.0	55.5	21.2	2.9	1.4	
男性／18～29歳 (n=48)	25.0	47.9	22.9	4.2	0.0	
男性／30～39歳 (n=58)	24.1	56.9	15.5	1.7	1.7	
男性／40～49歳 (n=95)	25.3	55.8	15.8	3.2	0.0	
男性／50～59歳 (n=86)	30.2	48.8	17.4	3.5	0.0	
男性／60～69歳 (n=66)	42.4	45.5	9.1	0.0	3.0	
男性／70歳以上 (n=76)	30.3	48.7	17.1	0.0	3.9	
女性／18～29歳 (n=49)	12.2	40.8	38.8	8.2	0.0	
女性／30～39歳 (n=68)	22.1	48.5	26.5	2.9	0.0	
女性／40～49歳 (n=117)	17.1	61.5	20.5	0.9	0.0	
女性／50～59歳 (n=99)	21.2	59.6	17.2	1.0	1.0	
女性／60～69歳 (n=72)	18.1	61.1	18.1	2.8	0.0	
女性／70歳以上 (n=84)	21.4	51.2	15.5	4.8	7.1	

表 16-2 市のインフラの維持管理に対する現状や課題についての関心度(性別／年代別)

(2) 「府中市インフラマネジメント計画(2018年度)」を知っているか

問36. インフラマネジメントの取組を進めていく上での方向性を示している「府中市インフラマネジメント計画(2018年度)」があることを知っていますか。次の中から当てはまるものを1つだけ選んでください。(n=992)

1. 読んだ
2. 知っているが、読んでいない
3. 知らない

「府中市インフラマネジメント計画(2018年度)」について、「知らない」(82.1%)が8割を超えていている。

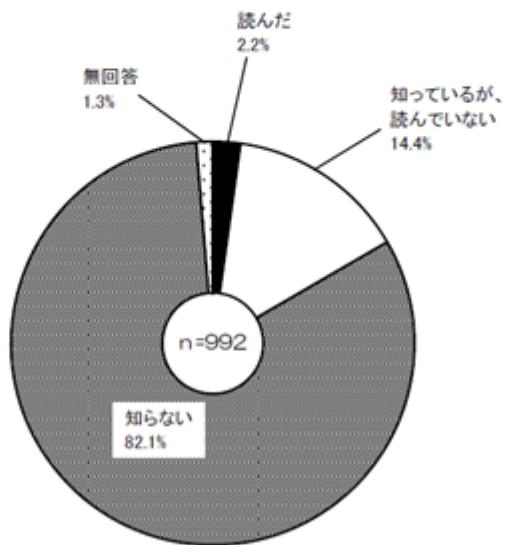


図16-3 「府中市インフラマネジメント計画(2018年度)」を知っているか

[n=992]		
「府中市インフラマネジメント計画(2018年度)」を知っているか	回答者数(人)	割合(%)
読んだ	22	2.2
知っているが、読んでいない	143	14.4
知らない	814	82.1
無回答	13	1.3

表16-3 「府中市インフラマネジメント計画(2018年度)」を知っているか

性別／年代別でみると、「男性／70歳以上」が、「読んだ」(3.9%)、「知っているが、読んでいない」(28.9%)ともに最も高い。

「知らない」は、割合の高い順に、「女性／18～29歳」(98.0%)、「女性／40～49歳」(93.2%)、「男性／30～39歳」(91.4%)となっている。

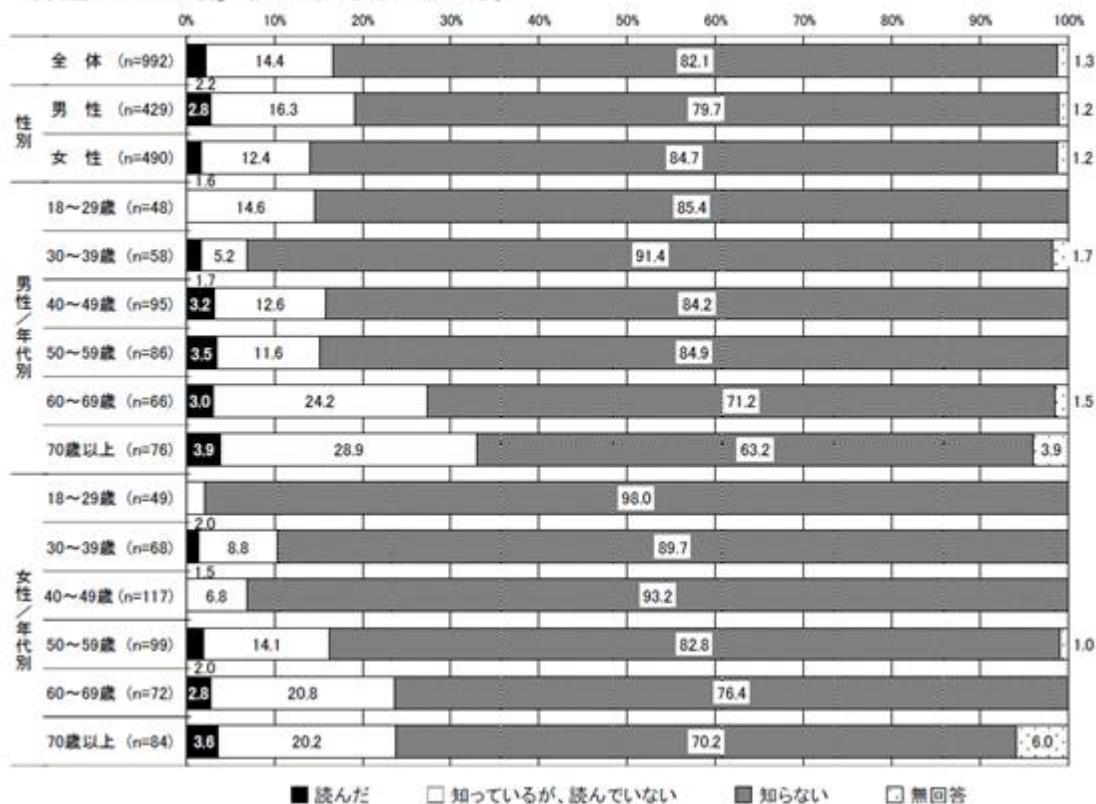


図 16-4 「府中市インフラマネジメント計画（2018年度）」を知っているか(性別／年代別)

	読んだ	知っているが、 読んでいない	知らない	無回答	(%)
全体 (n=992)	2.2	14.4	82.1	1.3	
男性 (n=429)	2.8	16.3	79.7	1.2	
女性 (n=490)	1.6	12.4	84.7	1.2	
男性／18～29歳 (n=48)	0.0	14.6	85.4	0.0	
男性／30～39歳 (n=58)	1.7	5.2	91.4	1.7	
男性／40～49歳 (n=95)	3.2	12.6	84.2	0.0	
男性／50～59歳 (n=86)	3.5	11.6	84.9	0.0	
男性／60～69歳 (n=66)	3.0	24.2	71.2	1.5	
男性／70歳以上 (n=76)	3.9	28.9	63.2	3.9	
女性／18～29歳 (n=49)	0.0	2.0	98.0	0.0	
女性／30～39歳 (n=68)	1.5	8.8	89.7	0.0	
女性／40～49歳 (n=117)	0.0	6.8	93.2	0.0	
女性／50～59歳 (n=99)	2.0	14.1	82.8	1.0	
女性／60～69歳 (n=72)	2.8	20.8	76.4	0.0	
女性／70歳以上 (n=84)	3.6	20.2	70.2	6.0	

表 16-4 「府中市インフラマネジメント計画（2018年度）」を知っているか(性別／年代別)

(3) 「府中市インフラマネジメント計画(2018年度)」で示している施策をどう思うか

問37. 将来も必要となるインフラを安全な状態で提供していくためには、様々な視点で検討する必要があります。「府中市インフラマネジメント計画(2018年度)」では、以下のような施策を示していますが、これらの施策についてどう思いますか。施策項目ごとに、選択肢の中から最も当てはまるものをそれぞれ1つだけ選んでください。(n=992)

「府中市インフラマネジメント計画(2018年度)」の施策について、「実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」を合わせた『実施すべきと思う』は、「舗装や橋などの点検結果に基づき、計画的に補修することで、長寿命化を図る」(94.0%)、「インフラマネジメントの内容や取組など、インフラ管理の実態を市民に周知し、理解を求める」(91.4%)、「インフラの異常や不具合などを受ける情報通信技術を活用した通報制度を導入し、迅速化を図る」(90.7%)の順が高い。

「どちらかといえば実施すべきでない」と「実施すべきでない」を合わせた『実施すべきでないと思う』は、「市民生活に影響が出ない範囲において、インフラを減らす」(36.8%)が最も高い。

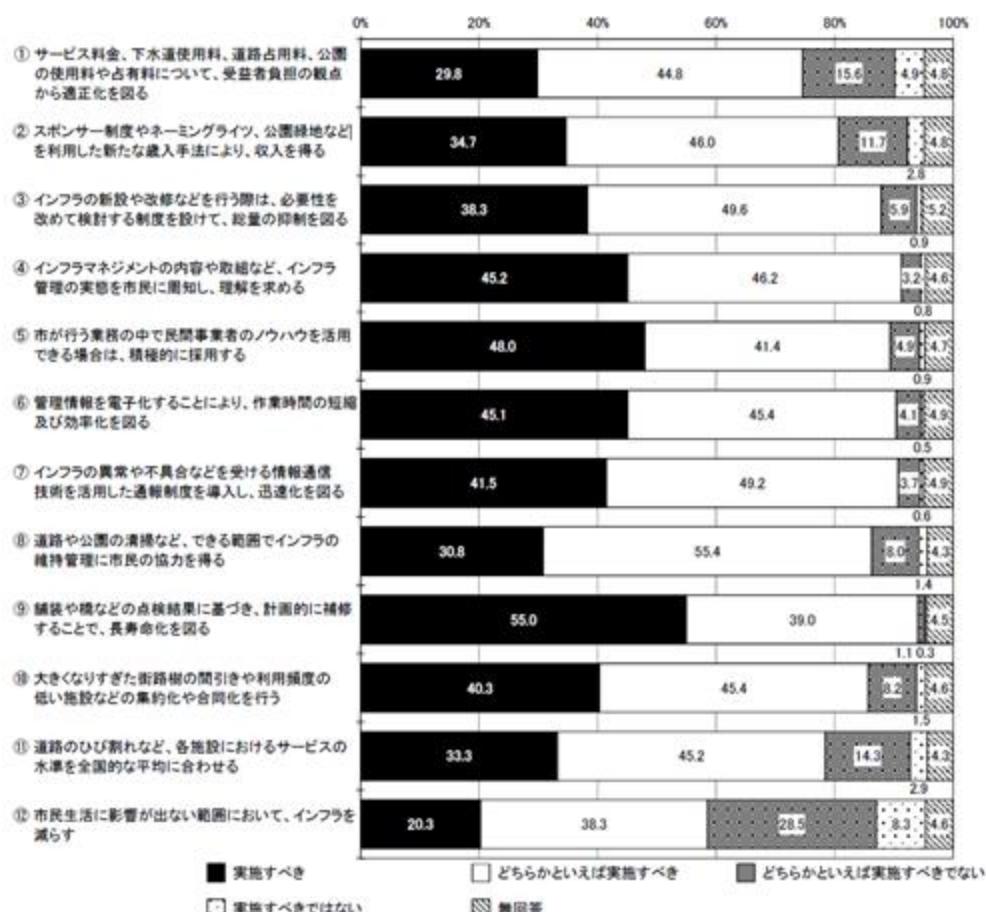


図16-5 「府中市インフラマネジメント計画(2018年度)」で示している施策をどう思うか

「府中市インフラマネジメント計画(2018年度)」の施策について	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきでない	実施すべきではない	無回答	(%)
①サービス料金、下水道使用料、道路占用料、公園の使用料や占有料について、受益者負担の観点から適正化を図る	29.8	44.8	15.6	4.9	4.8	
②スポンサー制度やネーミングライツ、公園緑地などを利用した新たな収入手法により、収入を得る	34.7	46.0	11.7	2.8	4.8	
③インフラの新設や改修などを行う際は、必要性を改めて検討する制度を設けて、総量の抑制を図る	38.3	49.6	5.9	0.9	5.2	
④インフラマネジメントの内容や取組など、インフラ管理の実態を市民に周知し、理解を求める	45.2	46.2	3.2	0.8	4.6	
⑤市が行う業務の中で民間事業者のノウハウを活用できる場合は、積極的に採用する	48.0	41.4	4.9	0.9	4.7	
⑥管理情報を電子化することにより、作業時間の短縮及び効率化を図る	45.1	45.4	4.1	0.5	4.9	
⑦インフラの異常や不具合などを受ける情報通信技術を活用した通報制度を導入し、迅速化を図る	41.5	49.2	3.7	0.6	4.9	
⑧道路や公園の清掃など、できる範囲でインフラの維持管理に市民の協力を得る	30.8	55.4	8.0	1.4	4.3	
⑨舗装や植栽などの点検結果に基づき、計画的に補修することで、長寿命化を図る	55.0	39.0	1.1	0.3	4.5	
⑩大きくなりすぎた街路樹の間引きや利用頻度の低い施設などの集約化や合同化を行う	40.3	45.4	8.2	1.5	4.6	
⑪道路のひび割れなど、各施設におけるサービスの水準を全国的な平均に合わせる	33.3	45.2	14.3	2.9	4.3	
⑫市民生活に影響が出ない範囲において、インフラを減らす	20.3	38.3	28.5	8.3	4.6	

表 16-5 「府中市インフラマネジメント計画(2018年度)」で示している施策をどう思うか

5.2 アンケート結果及び評価

令和元年に発生した台風15号などの自然災害や、令和6年に発生した能登半島地震などの震災が頻発している中、近年、防災・減災に対するインフラのあり方や強靭化が注目されています。そのような状況において、市内のインフラ施設は、建設50年以上を経過する割合が増加し、老朽化が進んでいることから、市のインフラの現状について、安心・安全の観点からも関心を持っている市民は8割近くを占め、5年が経過した『前白書』から更に意識が変化していることが考えられます。

しかし、市の取組についてアンケート回答者の8割以上が『前計画』の公表を知らないことから、市民への情報提供や周知に課題があるものと考えられます。

アンケートの回答内では、「管理情報を電子化することにより、作業時間の短縮及び効率化を図る」や「インフラの異常や不具合などを受ける情報通信技術を活用した通信制度を導入し、迅速化を図る」について、「実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」という意見が9割以上であることから、デジタル技術を活用し、効率的な管理を実施していくなど、『前計画』で考えられていた内容について、市民の理解も得やすい環境であると考えられます。

また、「道路や公園の清掃など、できる範囲でインフラの維持管理に市民の協力を得る」について、「実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」という意見が8割以上であることから、市民の協力のもとインフラを管理していくことに理解を得られていることも考えられます。

インフラなどの施設の縮減に関する回答は、「大きくなりすぎた街路樹の間引きや利用頻度の低い施設などの集約化や合同化を行う」について、「実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」という意見が8割以上でした。

一方、「市民生活に影響が出ない範囲において、インフラを減らす」について、「実施すべきではない」、「どちらかといえば実施すべきではない」という意見が4割近くを占めていることから、先に述べたような方策を実施する必要性について、市から説明をしなければ市民の理解は得られないものと考えられます。

このことから、市民に市の現状を理解してもらった上で、今後はインフラを共有の財産として愛着を持ち、デジタル技術の活用による効率化や、市民の協力のもとインフラの管理を進め、安心・安全かつ適切な方策と説明が必要であると考えています。

第6章 参考資料(用語の解説)

第6章 参考資料(用語の解説)

『本白書』の用語の解説は、次のとおりです。

第6章

参考資料(用語の解説)

索引用語	用語解説
あ行	
1 アンカーボルト	構造部材や装置をコンクリートの土台に固定するための部品です。
2 アンダーパス	交差する鉄道や道路などの下を通過するため、周辺より低く造られた道路のことです。
3 一般市道	市道のうち、幹線市道以外で、通り名称が付与されていない路線のことです。
4 インフラ	インフラストラクチャーの略称です。道路、橋りょう、公園、下水道などを指します。
5 インフラマネジメント	試算により経費が不足することが判明した中、コスト管理を含めた最も適切な手法でインフラを維持管理することです。
6 インフラマネジメントシステム	市が管理するインフラの情報を電子データ化し、一元化するためのシステムのことです。
7 うき	壁や床などにおいて、モルタルやタイルなどが下地から剥離する現象または劣化のことを指します。
8 打換え	舗装補修工法の一種で、アスファルト舗装を支える碎石などの路盤から置き換える工法のことです。工事規模は大きくなりますが、補修後の耐用年数は長くなります。
9 縁石	車道と歩道を分けるためのブロックです。
10 沿道	道路に沿ったところです。
11 大型構造物	市内の鉄道や道路部との交差箇所に存在するアンダーパスや地下通路部に設置している構造物のことです。
12 オーバーレイ	舗装補修工法の一種で、アスファルト舗装部分を置き換える工法のことです。工事規模は小さくて済みますが、耐用年数は打換えに比べて短くなります。
13 汚泥深調査	管きょを適切に維持管理するため、管きょ内に堆積した汚泥の堆積状況を把握するための調査のことです。
か行	
14 街区単位	市街地を構成する単位で、街路などによって囲まれた共通の空間特性を帯びる一区域のことです。
15 階段蹴上げ	階段の一段の高さのことです。水平面は踏面と言います。
16 街路灯	交通の安全を確保することを目的とする交通安全灯や防犯対策を目的とする防犯灯の総称です。
17 拡幅	道路や通路などの幅員を広げることです。
18 下層路盤	アスファルト混合物やセメントコンクリート版からの重さを分散し、路床に伝える役割をもつ路盤のうち下側の層です。

索引用語		用語解説
19	下部工	橋りょう構造部のうち、上部構造(橋台や橋脚に支持される、橋げた部分の総称)からの荷重などを地盤へ伝達するための、下部構造(橋台・橋脚及びそれらの基礎の総称)の工作物のことです。
20	管きよ	汚水及び雨水を流す管のことです。
21	冠水警報板	アンダーパス内で水位検出を行い、冠水通行止、冠水通行注意などの冠水表示を行うためのものです。
22	幹線	道路・鉄道・電信などの大もとの線または主な道筋となる線のことです。下水道事業においては、下水排除施設の骨格をなす管路のことです。また、ポンプ場計画を策定するための中心的な管きよのことを指します。
23	幹線市道	市道のうち、道路交通の骨格となる道路のことです。通り名称を付与しています。
24	企業債償還費	起債による債務の返済に充てる費用のことです。
25	基金積立金	特定の目的や財源変動に備えるため、計画的に積み立てておく資金のことです。
26	起債	地方自治法第230条の規定に基づき地方債を発行することです。
27	起債償還費	建設時の地方債の償還費のことです。国債、地方債、社債などの債券の発行や募集し、サービス提供事業者に費用を一時的に全額支払い、その後自治体などに申請して払い戻しを受けることです。
28	規制標識	道路標識の一種です。道路を通行する際の禁止、規制、制限などの事項を指示する標識のことです。
29	基層	路盤の上で路盤の傾きなどの整正や、表層に加わる重さを均一に路盤に伝える役割をもつ層です。
30	北多摩一号水再生センター	北多摩一号水再生センターの処理区域は、府中市・国分寺市の大部分、立川市・小金井市・小平市・東村山市の一部で、計画処理面積は5, 124haです。
31	境界確定	土地所有者同士が合意契約を結び、土地の境界を確定させることです。ここでは、市道や里道・水路などの法定外公共物と隣接地の境界を明確化することを言います。
32	共架金具	電信柱に街路灯などの設備を取り付ける金具のことです。
33	共架柱	電柱に電柱所有者以外の設備を取り付けることです。
34	橋脚基部	橋桁を支える柱の基礎となる部分のことです。
35	橋種	橋梁の種類のことです。主な材料により、木橋、PC橋、石橋、鋼橋、複合橋等に分類されます。
36	鏡体	道路反射鏡の鏡の部分のことです。
37	橋台	橋の両端にあり、橋を支える基礎となる台状の部分のことです。
38	切土	傾斜を切り取ることで平坦な地面を作り出すことです。また、整地のための造成工事のことです。

第6章

索引用語		用語解説
39	掘削	土砂や岩石を掘って削る工程のことです。
40	警戒標識	道路標識の一種です。道路上で警戒すべきことや危険を知らせ、注意深い運転を促すためのものです。
41	建設改良費	地方公営企業が行う新規もしくは、増改築の工事などに要する資金のことです。
42	公園改築費	公園の構造部分の一部もしくは、すべてを壊して新しいものに修理するための費用のことです。
43	公園新設費	公園を新しく設けるための費用のことです。
44	公園灯	公園内に設置してある夜間照明灯のことです。
45	鋼橋	主要部材に、鋼を用いて建設された橋りょうのことです。コンクリートと比べ強度は上がりますが、部材の断面が薄くなるために振動やたわみへの配慮が必要となります。
46	公共施設	インフラを除いた、市が所有する庁舎や学校などの公共建築物のことです。
47	公共植栽地	美しい景観の形成や快適な生活環境の確保などを目的として設けた植樹のことです。
48	交差点街区(交差点巻込みごと)	交差点で区切られた街区のことです。街区とは、市区町村内の一区画、または市街地の一区画のことで、ブロックとも呼ばれます。
49	孔食	金属が局部腐食して生じる穴のことです。針でついた程度の小さな穴または、その周囲で腐食が進行する現象を指します。
50	高欄	橋の欄干のことです。
51	国勢調査	我が国に住んでいるすべての人と世帯を対象とする国の中でも重要な統計調査です。国勢調査から得られる様々な統計は、国や地方公共団体の政治・行政、企業において利用され、国民生活に役立てられています。
52	個別施設計画	国が策定したインフラ長寿命化基本計画の中で市に策定要請があった、個別施設ごとの具体的な対応方針を定める目的を持つた計画のことです。
さ行		
53	歳入	市における1年間の収入のことです。
54	敷地	建造物や道路などを建てる際に使う土地のことです。
55	事後保全	損傷や故障に気づいてから対策を講じ、故障や破損を補修する工法のことです。(⇒予防保全)
56	支承	橋りょうにおいて、橋台や橋脚上で橋げたを支持する部品のことです。
57	施設案内標識	施設の目的地の方向や距離などの経路を案内するためのものです。
58	自然流下方式	下水道管に勾配を付け、自然な流れのままに下水を下流へ流す輸送方法です。

索引用語		用語解説
59	自動車重量譲与税	市町村の道路財源に充当するために創設された地方譲与税のことです。国が徴収した自動車重量税額の1／3を市町村に譲与する制度で、平成22年度から当分の間、譲与分は407／1000に引き上げられています。現在の使途は、道路財源に限定されていません。
60	地覆	橋の高欄の基礎であり、側端部で道路に接して取り付けられる横材のことです。
61	市有通路	市道ではないため、道路法の規定が適用されないものですが、市で所有し、一般交通の用に供している通路のことです。
62	住民基本台帳	氏名、生年月日、性別、住所などが記載された住民票を編成したもので、住民の方々に関する事務処理の基礎となるものです。
63	主桁	橋の水平方向に渡した桁のことで、荷重を支える役割があります。
64	処分制限期間	公園の施設について、財産として処分するべき期間のことです。補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令に定められ、『国土交通省所管補助金等交付規則』（総理府・建設省令第九号、平成12年）に規定されています。
65	償還費	サービス提供事業者に費用を一時的に全額支払い、その後自治体などに申請して払い戻しを受けることです。
66	上層路盤	アスファルト混合物やセメントコンクリート版からの重さを分散し、路床に伝える役割をもつ路盤の上側の層です。
67	床版	橋を通る車両の重みを橋桁や橋脚に伝える部分のことを指します。
68	上部工	橋りょうの橋台や橋脚の上に設けられる、橋桁部分の工作物のことです。
69	使用料	市の管理する施設を使用する際の料金のことです。
70	常緑樹	一年を通して葉が付いている樹木です。
71	植樹ます	主として街路樹を植栽するために、歩道、自転車道及び自転車歩行者道の一部に、縁石等で区画して設けられる植栽地のことです。
72	スポットパーク	市民の憩いの場として設置している小規模な公園のことです。
73	先導的官民連携支援事業	地方公共団体が先導的な官民連携事業の導入検討を行う際に必要となる調査委託費を国が助成することにより、官民連携事業の案件形成を促進する事業のことです。
74	占用料	道路等に著しい支障を与えないことを条件に、許可を得た企業などが独占的に使用することに対して徴収する料金のことです。
75	層化二段無作為抽出方法	標本調査で無作為抽出を行う際の一般的な手法のことで、地域、個人といった2段階での抽出を行う方法です。

第6章

索引用語	用語解説
た行	
76 第7次府中市総合計画	市の最上位計画として、市の将来の長期的な展望の下に、市政のあらゆる分野を対象とした、総合的かつ計画的なまちづくりの指針を定めるものです。
77 第三者被害	公共施設等が第三者に対して、人的・物的に関わらず、被害や交通障害などを与えること、またはその恐れを生じさせることを言います。橋梁や建築物を構成するコンクリート片等が落下して事故を起こすことなどがあります。
78 団塊ジュニア世代	日本で第2次ベビーブームと呼ばれる1971年(昭和46年)から1974年(昭和49年)に生まれた世代のことです。
79 地域区分	令和3年度に改定した、『府中市都市計画に関する基本的な方針(府中市都市計画マスターplan)』の地域区分のことです。地域区分は、地域の特性や住環境などから、8つに区分されています。
80 地下通路部	地下に設けられた通路のことを指します。線路や道路等を横断する際に設置します。
81 地方揮発油譲与税	道路整備を促進するために創設された地方譲与税のことです。市町村道分42／100に相当する額を道路台帳に記載されている延長及び面積によりあん分し、各市町村に譲与されます。
82 地方譲与税	国税として徴収した税を道路延長や面積等の一定の基準で、地方公共団体に配分されることで得る収入です。
83 長寿命化修繕計画	施設の点検結果に基づき、長寿命化及び維持管理費の縮減・平準化を図るために必要な修繕時期等を定めた計画のことです。
84 道路維持費	市が管理する道路について、道路の維持に係る予算項目のことです。具体的には、施設の管理委託費や光熱水費などのことと言います。
85 道路特性	道路個別の特徴、空間特性や沿道特性などのことです。
86 道路反射鏡	見通しの悪い交差点やカーブにおいて、ドライバーから死角となる箇所にいる車や歩行者の存在を知らせる道路附属物のことです。カーブミラーとも言います。
87 道路密度	国の土地面積に対して、国全体の道路網の長さの比率を測ったものです。
88 道路率	区域の面積中に対する道路面積の比率のことです。
89 独立柱	独立した柱に設置しているものです。街路灯や道路反射鏡などがあります。
90 都市公園	都市公園法に基づき、地方公共団体や国が設置する公園または緑地のことです。都市公園の役割としては、都市環境の改善や、都市の防災空間、レクリエーション・コミュニティ活動の場、動植物の生息・生育空間、地域活性化の拠点などがあげられます。
91 土木工事台帳	土木工事における原価を集計する台帳のことです。

索引用語		用語解説
な行		
92	塗替塗装工	橋梁に塗膜の劣化や腐食があった場合、古い塗膜を取除き、再塗装を行う工事です。
93	ネーミングライツ	公共施設の名前を付与する命名権と企業などに付与する代わりに対価を得る等の諸利権のことです。施設の運営維持や利用者のサービス向上に繋がります。
94	根上がり	街路樹の生長により太くなった根が、歩道の縁石や塗装を持ち上げてしまう状態のことです。
95	野川処理区	全6市(府中市、小金井市、武蔵野市、三鷹市、調布市、狛江市)で構成されています。
は行		
96	廃道路敷現況調査	区域変更や供用の廃止により不用となった道路の現在の状況を調査することです。
97	払下	官公庁が不用となった土地などを民間に売り渡すことです。
98	表層	舗装された道路の最上部にある層です。一般的に、アスファルト舗装やコンクリート舗装があります。
99	腐食	金属材料が化学的、電気的にその表面から浸食され、変質・消耗していくことです。
100	蓋(縁石)	蓋は側溝などの用排水溝に被せる板状のもののことです。縁石は道路等で車道部と歩道部区切り等のための石のことです、縁石と蓋が一体となっているものもあります。
101	負担金	公益事業によって特別の利益を受ける者などに、その事業に必要な経費の全部または一部を負担させる金銭のことです。
102	府中市インフラマネジメント計画(2018年度)	インフラマネジメントの全体の方向性を示す、府中市の策定する行政計画のことです。計画期間は平成30年度から令和34年度までの35年間とし、『前白書』の結果を反映した計画としています。平成25年1月に策定した『前計画』を、平成30年度に改定しています。
103	府中市インフラマネジメント計画(2024年度)	『府中市インフラマネジメント計画(2018年度)』の次期計画のことです。
104	府中市インフラマネジメント白書(2017年度)	インフラマネジメントの方向性を示すにあたり、施設や業務の現状及び課題等の把握、施設の管理に係る将来経費の予測などの結果をまとめた行政資料のことです。平成24年10月に策定した『前白書』を、平成30年3月に改定しています。
105	府中市下水道マスターplan2020	令和2年度から令和31年度までの30年間を計画期間とし、下水道事業における多種多様な課題に対応できるよう、中長期的な視点による安定的かつ有効的な整備方針及び経営方針を明らかにするものです。
106	府中市公共施設等総合管理計画	令和3年度に改定し、公共施設及びインフラの現況や課題を整理した上で、公共施設とインフラの総合的かつ計画的な維持管理に連携して取組むための計画のことです。

第6章

参考資料／用語の解説

索引用語		用語解説
107	府中市公共施設マネジメント推進プラン	効果的に公共施設マネジメントの取組を推進していくための実行計画として位置付けています。
108	府中市人口ビジョン及び府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略	本市の人口の現状分析及び目指すべき将来的な展望を示し、人口問題に関する市民の認識の共有を図るため、令和42年までを対象とする府中市人口ビジョンを策定するとともに、その長期的な展望の実現に向け、まち・ひと・しごとの創生に関する7年間の目標や施策を定める戦略として令和元年度に修正されました。
109	府中市都市計画マスタープラン	令和3年度に策定し、地域固有の自然や歴史、生活文化、産業等の特性を踏まえつつ、創意工夫のもとまちづくりの具体的な将来ビジョンを示すものであり、今後、市町村が都市計画によるまちづくりを展開する上で、重要な指針となるものです。
110	府中市緑の基本計画2020	令和2年度に策定し、公園や緑道、遊歩道などの整備や維持管理、身近な緑やまとまった樹林、農地、水辺などの保全、住宅地や商店街、工場に至る民間施設及び公共施設などにおける緑化の推進に関する様々な取り組みを体系的に示した計画です。
111	府中多摩川かぜのみち	歩行者優先で散歩やジョギングなどに利用できるみちです。
112	ペデストリアンデッキ	広場と横断歩道橋の機能を持ち、建物と接続して整備した、歩行者の通行専用道路のことです。
113	便益施設	飲食店、売店、駐車場、便所などを言います。『本白書』では便所、水飲み場、時計のことを指します。
114	法定外公共物	道路法、下水道法、河川法の適用を受けない土地のうち、インフラとして管理する市有地のことです。
115	補助金	行政上の目的に合わせて市に無償で交付される、現金給付のことです。
116	舗装率	車などが利用する道路の全長に対して舗装された道路の占める割合のことです。
117	ボックスカルバート	道路の下に、水路、通路などの空間を得るために盛土あるいは地盤内に設けられる函の形をした構造物のことです。函渠とも言います。
ま行		
118	まちなかきらら	地域の道路や公園において、市民の皆さんのが愛着を持って自主的に清掃活動などを行う制度です。
119	窓口セルフサービスシステム	窓口サービスを申請者自身による機械操作で行うシステムのことです。
や行		
120	遊離石灰	コンクリートやセメント内で他の物質と結合せず、単体で残った酸化カルシウムなどの成分のことです。
121	擁壁	土砂が崩れるのを防ぐために設けるコンクリートやブロック積などからなる壁のことです。

索引用語		用語解説
122	横桟	横方向に組まれている桟のことです。
123	予防保全	損傷や故障が起きる前に対策を講じ、その後の故障や破損による機能不全が起きにくくする手法のことです。(⇒事後保全)
ら行		
124	ライフサイクルコスト	計画、設計、施工、維持管理、解体、廃棄までに要する管理経費の総額のことです。
125	落葉樹	秋に全ての葉を落とす樹木です。
126	立体横断施設	横断歩道橋、地下横断歩道などの歩行者が道路等を横断するための立体的な施設を言います。『本白書』では、ペデストリアンデッキ、エレベーター、エスカレーターなどを指します。
127	流出土堆積	土が降雨等により流し出され、積み重なったものです。
128	路床	舗装の下面から約1mの部分のことで、主に土でできています。舗装道路を造る際にローラーなどで堅くした地盤のことです。
129	路面性状測定車	走行車両の荷重などにより起きる路面の損傷を走行しながら点検できる車のことです。
アルファベット		
130	ESCO事業	省エネルギー改修にかかる全ての経費を光熱水費の削減分で賄う事業です。
131	H鋼	断面がHの字に似た形をした鋼です。
132	LED灯	LEDライトを使用した夜間照明灯のことです。蛍光灯と比べて電気使用量は少ないため、公共施設ではLED灯に更新しています。
133	PARKFUL	スマートフォンアプリやWebメディアで公園の情報発信を行っている公園専門メディアです。
134	PC橋	主要部材に、プレストレストコンクリートを用いて建設された橋りょうのことです。鉄筋コンクリートと比べて高コストとなりますが、強度が上がることにより長い支間長へ橋を架けることが可能です。
135	RC橋	主要部材に、鉄筋コンクリートを用いて建設された橋りょうのことです。低コストであるという利点はありますが、強度が低いので支間長が短い橋りょうに利用されています。

府中市インフラマネジメント白書 (2023年度)

発行日 令和6年3月

編集・発行 府中市都市整備部道路課

〒183-0056

東京都府中市寿町1丁目5番地 府中駅北第2庁舎2階

電話 042-364-4111(代表)

042-335-4430(直通)

FAX 042-335-0499

ホームページ <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>

